

**湖南省第五次地域福祉計画・地域福祉  
活動計画策定のための  
各種アンケート調査結果報告書**

**令和8年3月  
湖南省**

## 【目次】

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査概要	1
3.	調査結果の見方	2
4.	結果概要	3
II	中学生・高校生アンケート調査結果	10
1.	回答者ご本人について	10
2.	地域のことについて	12
3.	地域での活動について	19
4.	まちづくりについて	28
III	市民アンケート調査結果	46
1.	回答者について	46
2.	地域での暮らしについて	53
3.	困りごとや相談について	84
4.	地域福祉に関する学びや活動について	93
5.	地域福祉について	108
IV	民生委員・児童委員等アンケート調査結果	141
1.	回答者ご本人について	141
2.	地域について	146
3.	活動について	160
4.	避難行動要支援者の情報について	171
5.	自由記述	177
V	団体アンケート調査結果	179
1.	団体について	179
2.	地域について	182
3.	活動について	192
4.	自由記述	200
VI	福祉事業所アンケート調査結果	203
1.	事業所について	203
2.	地域について	205
3.	活動について	214
4.	自由記述	223
VII	相談支援機関アンケート調査結果	224
1.	組織・体制について	224
2.	地域について	226
3.	活動について	235
4.	自由記述	242

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

「湖南省第五次地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定にあたり、市の現状や課題等を把握し、計画策定の基礎資料とするため、市民および地域で活動している方々にアンケート調査を実施しました。

## 2. 調査概要

区分	対象者	調査期間	調査方法	回収状況		
				配布数	回収数	回収率
中学生	中学1～3年生	令和8年1～2月 (2月3日締切)	学校にて案内を配布し、web回答	1,452件	711件	49.0%※
高校生	湖南省在住の高校生世代 (15～17歳)	令和7年12月4日～12月24日	案内を郵送し、web回答	500件	107件	21.4%
一般市民	湖南省市民 (18～85歳)	令和7年12月4日～12月24日	郵送による配布・郵送およびweb回答	4,000件	1,453件 (web:400)	36.3% (web:10.0%)
民生委員・児童委員等	民生委員・児童委員・地域まちづくり協議会役員・区役員・健康推進員・保護司	令和7年12月～令和8年1月	手渡し・郵送による配布・回収	193件	146件	75.6%
団体	湖南省で活動している団体	令和7年12月4日～12月24日	郵送による配布・回収	98件	70件	73.5%
福祉事業所	湖南省で活動している福祉事業所	令和7年12月4日～12月24日	郵送による配布・回収	55件	29件	52.7%
相談支援機関	湖南省で活動している相談支援機関	令和7年12月4日～12月24日	郵送による配布・回収	22件	16件	72.7%

※湖南省の中学生1,452人のうち、どの学年に配布したかは学校の裁量によるため、回収率は、対象者である1,452人を母数として算出。

※中学生・高校生の回収率については、学年不明者の3名を除いて算出。

### 3. 調査結果の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対する、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 自由記述の「●●」は手書き文字の解読不能を示しています。

## 4. 結果概要

### (1) 各調査結果の概要

※凡例 【中高】：中学生・高校生 【一般】：一般市民 【民生】：民生委員・児童委員等 【団体】：団体  
 【福祉】：福祉事業所 【相談】：相談支援機関

地域活動を支える人づくり	
人権の尊重	<p>【一般】「権利擁護」という言葉の認知度は、16.2%。</p> <p>【民生・団体・福祉・相談】特に支援が必要と思う対象については、「外国人市民」の割合が前回調査より増加。</p> <p>【民生・団体】地域の課題として「外国人市民とのつながりをもつのが難しい」が約1割。</p>
地域への関心・福祉意識	<p>【中高】住んでいる地域について、「そう思う（とてもそう思う・まあまあそう思う）」のは、「親切な人が多い」が約8割、「地域が安全で、安心して生活できる」「自然や環境がよく、過ごしやすい」が約7割。</p> <p>【中高】大人になっても「湖南省に住民続きたい・住みたい」は10.2%、「通学や仕事などで湖南省をはなれても、いずれは湖南省に住みたい」が17.5%。</p> <p>【一般】身近に感じる地域への「愛着を感じている」は約2割、「まあまあ愛着を感じている」は約5割。</p> <p>【一般】福祉に「とても関心がある」が約1割、「ある程度関心がある」が約5割。関心のある分野は「高齢者に関すること」が約7割、「障がいのある人に関すること」「こども・子育てに関すること」が約3割。</p> <p>【一般】福祉について学ぶ機会が「ある」は約1割、「あるが、少ない」が約3割。機会としては「自治会の行事」「まちづくり協議会の活動」「社会福祉協議会の行事・講座」「市の行事・講座」が約2割。</p>
活動への参加・参画	<p>【中高】地域の行事や活動に参加したことがあるのは、約6割。市全域やもっと広い範囲でボランティアに参加したことがあるのは約4割。参加のきっかけは、「家族にすすめられて」「友だちに誘われて」が約4割、「自分から興味を持って参加した」が約3割。今後参加してみたい地域の行事や活動は、「お祭りやイベントの手伝い（ボランティアまつりなど）」が最も多く約4割。</p> <p>【中高】参加しやすくするために必要なことは、「気軽に取り組めること（短い時間でもできるなど）」が約6割、「無理なく続けられること」「特別な技術がなくてもできること」が約3割。</p> <p>【一般】地域での交流の場やイベントへは「よく参加する」が1割、「たまに参加する」が約4割。参加しない理由としては、「時間が合わない、時間的な余裕がない」が約3割、「興味のあるイベントや活動がない」が約2割。</p> <p>【一般】市民活動・ボランティア活動に「参加している」は16.4%。参加している、もしくは以前参加していた活動は「地域の清掃・美化や地域おこし」「地域の祭りや伝統行事など」が多く、約4割。</p> <p>【民生・団体・福祉・相談】地域における助けあい・支えあい活動を活発にするために</p>

	<p>重要なことは、民生・福祉では「行政による助けあい・支えあい活動の活動費・運営費等の資金的な援助」、団体では「ボランティアなどの活動の拠点となる場の整備」、相談では「困っている人と支援できる人とをつなぐ人材の育成」が最も多い。</p>
担い手やリーダーの育成	<p>【一般】まちづくり協議会の認知度は、約 3 割（うち、「活動を知っていて、参加している」が 6.0%）。民生委員・児童委員の認知度は約 4 割（うち、「活動を知っていて相談したことがある」が 4.5%）。</p> <p>【一般】市民活動・ボランティア活動に参加しやすい条件としては、「時間にゆとりがある」が 5 割、「自分が健康である」が約 4 割。</p> <p>【民生】活動上の課題は「活動の担い手が高齢化している」が約 8 割、「同じ人ばかりが活動を担っていて、負担が大きい」が約 6 割、「後継者がいない」が約 5 割。</p> <p>【団体】活動上の課題は「活動の担い手が高齢化している」が約 8 割、「後継者がいない」が約 5 割、「行事等に新たに参加する人が少ない」が約 4 割。</p> <p>【民生・団体】地域の課題として、「地域の役員などのなり手がいない」が最も多い。</p> <p>【民生・団体】地域において新たな担い手を発掘し、育成していくために必要なことは、民生で「定年退職者など地域で活動可能な人への広報・周知の充実」が約 7 割、若者や子育て世代が参加しやすい活動の工夫が約 5 割と多く、団体で「定年退職者など地域で活動可能な人への広報・周知の充実」が約 7 割、「地域行事やイベントを通じた活動内容の広報・PR」が約 4 割と多い。</p>

地域で支え合う力を高めるつながりづくり	
地域でのつながりづくり	<p>【中高】普段近所の大人とどれくらい接しているかについては、「あいさつをする程度の人がいる」が約 5 割、「会えば話をする人がある」が約 2 割。</p> <p>【中高】学校や自分の家以外で気軽に過ごせる居場所は、「公園や広場」「お店（カフェ、飲食店、本屋、カラオケなど）」が約 4 割、「運動やスポーツができる場所」が約 3 割。</p> <p>【一般】近所の人との関係は、「会えば話をする人がある」が約 5 割、「あいさつをする程度の人がある」が約 3 割。近所づきあいをほとんどしていない理由としては、「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」が約 5 割。</p> <p>【一般】近所づきあいの満足度は、「満足」が約 3 割、「やや満足」が約 4 割。</p> <p>【一般】地域にどのような集いの場や居場所、交流の場があるかについては、「わからない・知らない」が約 4 割。</p> <p>【一般】近所づきあいの中で手助けしてほしいことは、「災害時等の避難の手伝い」が約 3 割、「急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶなどの手助け」「ひとり暮らし高齢者などの見守り」が約 2 割。手助けできそうなことは、「災害時等の避難の手伝い」「急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶなどの手助け」「特にない」が約 3 割。</p> <p>【民生】地域のつながりについては、「日常的な付きあいがあり、つながりはまあまあ強い」が約 6 割。</p> <p>【団体・福祉・相談】住民相互の助け合いに関する意識については、団体では「あまり高くない」が減少し、「どちらかと言えば高い」が増加。一方、福祉事業所および相談機関では「あまり高くない」が増加し、「どちらかと言えば高い」が減少。</p>

<p>地域コミュニティの強化</p>	<p>【中高】近所づきあいや関わりで今後大切になると思うことは、「あいさつを交わすこと」が約7割、次いで「困ったときに助け合うこと」が5割、「災害や緊急時に協力し合うこと」が約3割。</p> <p>【一般】身近に感じる「地域」の範囲は、「区・自治会」が約4割、「隣近所」が約3割、小学校区が約1割。</p> <p>【一般】住民相互の支えあい、助けあいが「とても必要だと思う」が約3割、「ある程度必要だと思う」が約9割。</p> <p>【一般】助けあいを活発にするために重要なことは「近隣や地域におけるあたたかな人間関係の構築」が最も多く約5割。</p> <p>【一般】まちづくり協議会の認知度は、約3割（うち、「活動を知っていて、参加している」が6.0%）。</p> <p>【民生・団体】地域の課題については、「地域の役員などのなり手がいない」「地域のことに関心のない人が多い」「地域の行事に参加する人が少ない」が多い。</p> <p>【民生】地域福祉を進める上で市や社協に期待することは、「地域住民同士が助け合い、支えあうことができる仕組みづくり」が約5割、「福祉活動の中心を担う地域における人材の育成・確保」が約4割、「現在の役職の後継者づくり」が約3割。</p> <p>【団体】地域で活動する中で市や社協に期待することは、「団体や活動についてのPR」「会員募集の支援」が約5割、「活動場所の提供」が約3割。</p>
<p>見守りの充実</p>	<p>【一般】地域で暮らす中で「孤独だ」「孤立している」と「よく感じる」は3.0%、「ときどき感じる」は11.0%。</p> <p>【一般】地域に孤立している人や気がかりな人が「いる」は9.2%。</p> <p>【一般】今後参加したい市民活動・ボランティア活動は、「見守り・声かけ」が約3割、「スポーツ・レクリエーション」「自治会」等が約1割。</p> <p>【民生】優先度が高いと考える地域の支え合いの活動や取組は「ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者、子どもなどを対象とする見守り」「車を運転できない人などへの外出支援」「様々な世代が気軽に集うことができる居場所づくり」「地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり」が約3割と多い。</p> <p>【民生・団体】支援が必要な人に気づく機会は「地域の見守り活動などから」が最も多い。</p> <p>【民生・団体・福祉・相談】特に支援が必要と思う対象については、民生・団体・福祉で「ひとり暮らし高齢者」「高齢者のみの世帯」「認知症高齢者」が多い。相談では「ひとり暮らしの高齢者」「高齢者や障がいのある人を介護している人」「地域から孤立している人」が多い。</p>

安全・安心に暮らせる地域づくり	
防災・防犯体制	<p>【一般】近所づきあいの中で手助けしてほしいこと、手助けできそうなことは共に「災害時等の避難の手伝い」が最も多い。</p> <p>【一般】地震などの災害が発生したとき「同居する家族や近所の人の手助けがあれば避難できる」が15.1%、「避難できない」が3.5%。</p> <p>【一般】災害時に要支援者を手助けする地域協力者となることが「できる」が14.8%、「誰かと一緒ならできる」が38.3%。</p> <p>【一般】災害ボランティアセンターの「活動内容まで知っている」は4.5%。</p> <p>【民生】避難行動要支援者への支援や関わりとして行っていることは「対象者の見守りや日常的な声かけ」が約5割、「避難訓練等の防災活動への参加」「対象者の安否確認や災害時の声かけ」が約3割。</p> <p>【民生】避難行動要支援者を支援する上での課題は「支援時の役割分担や連携や明確でない」「支援対象者や名簿の情報が十分に共有されていない」が約6割。</p> <p>【団体・福祉・相談】災害発生時の体制整備については、団体は「特に整備はされていない」が約6割、福祉は「災害時対応マニュアルがある」「避難訓練・研修を定期的実施している」が約8割、相談は「避難訓練・研修を定期的実施している」が約9割。</p>
困難を抱える人への支援	<p>【一般】成年後見制度について、「関心があり、機会があれば学びたい」が6.1%、「少し関心がある」が20.9%。</p> <p>【一般】市民後見人について、「関心があり、機会があればやってみたい」が1.8%、「少し関心がある」が13.0%。</p> <p>【一般】保護司の「活動内容まで知っている」は16.3%。</p> <p>【一般】再犯防止のためにすべきことについて、「雇用が確保されること」が約6割、6「住宅が確保されること」が約5割。</p>
健やかな暮らしへの取組	<p>【一般】日頃の生活の中で不安を感じているのは、「自分や家族の老後のこと」「自分や家族の健康のこと」が多く、約5割。</p> <p>【一般】健康推進員の「活動内容まで知っている」は12.2%。</p>
環境整備	<p>【一般】日頃の生活の中で「地域での移動や通院手段のこと」に不安を感じているのは、16.2%、「地域での買い物のこと」は9.4%。</p> <p>【一般】近所づきあいの中で手助けできそうなこととして、「買い物のお手伝い」は19.0%、「サロンや通院など近くまでの外出のつきそい」は7.7%。</p> <p>【民生・団体・福祉・相談】地域の課題については、「交通手段がなく、通院や買い物など外出に困っている人が多い」が前回と比較して大幅に増加。</p>

適切な支援を届けるための体制づくり	
包括的な支援体制	<p>【一般】困った時の相談先は、「市役所など行政機関の窓口」が19.5%、「地域包括支援センター」が6.7%、「社会福祉協議会の窓口」が3.4%。</p> <p>【一般】日頃の生活で不安や悩みがあるときや地域で孤立している人や気がかりな人に気づいたとき、解決に向けて行動ができる仕組みは「身近な地域で気軽に相談できる場所があると良い」が約5割。</p> <p>【福祉】地域で活動する中で市や社協に期待することは、「困難ケースへの対応」が約6割、「福祉や支えあいを担う人材の育成」が約5割、「活動上必要な情報の提供」が約3割。</p> <p>【相談】地域で活動する中で市や社協に期待することは、「困難ケースへの対応」が5割、「相談支援実施上の助言」「福祉や支えあいを担う人材の育成」が約4割。</p> <p>【相談】断らない相談や包括的な相談支援を実施するために今後強化が必要と思われる機能や取組について、「様々な制度や分野に関する知識をつける」「関係する機関との顔の見える関係づくり」が約7割、「支援を行うにあたっての各相談支援機関等の明確な役割分担」が約4割。</p>
情報発信	<p>【一般】福祉に関する情報の入手先は、「市の広報誌「広報こなん」」が最も多く、約4割。</p> <p>【一般】福祉に関する情報を「あまり得ることができない」が23.1%、「ほとんど得ることができない」が16.0%。その理由は、「福祉に関するパンフレットや広報紙を見る機会が少ない」「どこへ行けば福祉に関する情報を得られるのか、わからない」が約5割、「福祉に関する情報を知っている人が身近にいない」が約3割。</p> <p>【民生・団体・福祉・相談】福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報の住民への周知については、「あまりできていない」が民生で約4割、団体で約5割、福祉で約3割、相談で約6割。</p>
福祉サービスの提供体制	<p>【福祉】サービスの質の向上のために取り組んでいることは、「サービス提供にかかる職員研修の実施」が約9割、「災害時対応マニュアルの作成」が約8割、「個人情報保護・管理の徹底」が約7割。</p> <p>【相談】サービスの質の向上のために取り組んでいることは、「相談支援にかかる職員研修の実施・参加」が約9割、「個人情報保護・管理の徹底」が約7割、「利用者家族とのつながりの強化」が約6割。</p>
地域福祉の推進体制	<p>【団体】支援対象者だけでなく地域に対してできることについては、「地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり」が約4割、「地域の様々な団体との連携」「様々な世代が気軽に集うことができる居場所づくり」が約3割。</p> <p>【福祉】支援対象者だけでなく地域に対してできることについては、「相談窓口の提供（公的機関へのつなぎ役）」が約8割、「サービス提供を通じた貢献」が約6割、「課題共有の場（会議等）への参加」が約5割。</p> <p>【相談】支援対象者だけでなく地域に対してできることについては、「課題共有の場（会議等）への参加」が約8割、「相談支援を通じた貢献」「福祉に関する役立つ情報や技術の伝達」が約6割。</p>

## (2) 課題のまとめ

- 人権や権利擁護に関する理解については、引き続き広げていくことが求められます。「権利擁護」という言葉の認知度は16.2%となっており、成年後見制度や市民後見人、再犯防止なども含めて、制度や考え方をわかりやすく伝えていくことが大切です。
- 外国人市民に関しては、支援が必要な対象として挙げる割合が前回調査より増加しており、地域の中でのつながりづくりや情報提供のあり方について、今後さらに検討していくことが求められます。
- 地域への愛着や福祉への関心は一定程度みられるものの、福祉について学ぶ機会がある人は一部にとどまっています。特に若い世代については、地域のよさを感じている回答が多くみられる一方で、将来の居住意向にはさまざまな考え方がみられることから、地域との関わりを持ち続けられる工夫が必要です。
- 地域活動やボランティア活動については、参加している人が一部にとどまっており、参加しやすい条件として「時間のゆとり」や「気軽に取り組めること」などが挙げられています。多様な人が無理なく関われるよう、参加のきっかけや関わり方を工夫していくことが大切です。
- 地域活動や団体活動においては、担い手の高齢化や後継者不足が共通した課題となっています。同じ人に負担が集まりやすい状況もうかがえることから、定年退職者、若い世代、子育て世代など、多様な層が関わりやすい環境づくりや周知の工夫が求められます。
- 地域でのつながりについては、一定の近所づきあいや満足感がみられる一方で、地域にどのような集いの場や居場所があるのか「わからない・知らない」とする人も少なくありません。身近な交流の場や居場所を充実させるとともに、その存在を知ってもらう取組も必要です。
- 地域コミュニティについては、役員のなり手不足や地域行事への参加者の減少、地域への関心の薄れなどが課題として挙げられています。自治会やまちづくり協議会等の活動について、参加しやすい形や多様な人が関わりやすい運営のあり方を考えていくことが求められます。
- 地域で孤立している人や気がかりな人への対応については、見守りや声かけ、外出支援、居場所づくりなどを組み合わせながら、地域の中で支え合える仕組みを充実させていくことが大切です。特に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者、地域から孤立している人などへの支援が求められています。
- 防災・防犯の面では、災害時の避難支援に対する意識はみられるものの、支援時の役割分担や情報共有には課題が残っています。平時からの見守りや関係づくりを土台としながら、地域での避難支援体制をより実効性のあるものとしていくことが大切です。
- 困難を抱える人への支援については、生活困窮、ひきこもり、権利擁護、再犯防止など、複合的な課題に対応していくことが求められます。制度の周知に加え、それぞれの状況に応じて必要な支援につながる体制を整えていくことが必要です。

- 日常生活においては、老後や健康への不安が多くみられ、あわせて通院や買い物など移動に関する不安もみられます。介護予防や健康づくりを進めるとともに、移動や外出を支える生活支援についても検討していくことが求められます。
- 相談支援については、身近な地域で気軽に相談できる場所を求める声が多く、福祉事業所や相談支援機関からも困難ケースへの対応や関係機関の連携強化が期待されています。誰もが早い段階で相談につながりやすい環境づくりが重要です。
- 福祉に関する情報については、「十分得られていない」と感じている人が一定数みられ、どこに行けば情報が得られるのかわかりにくいという状況もうかがえます。必要な人に必要な情報が届くよう、わかりやすく伝える工夫や、多様な媒体を活用した周知が求められます。
- 地域福祉を進めるうえでは、住民、団体、福祉事業所、相談支援機関、行政、社協がそれぞれの役割を担いながら、連携して取り組んでいくことが大切です。地域に対してできることとして、参加のきっかけづくりや居場所づくり、相談窓口の提供、課題共有の場への参加などが挙げられており、多様な主体が力を発揮できる体制づくりが求められます。

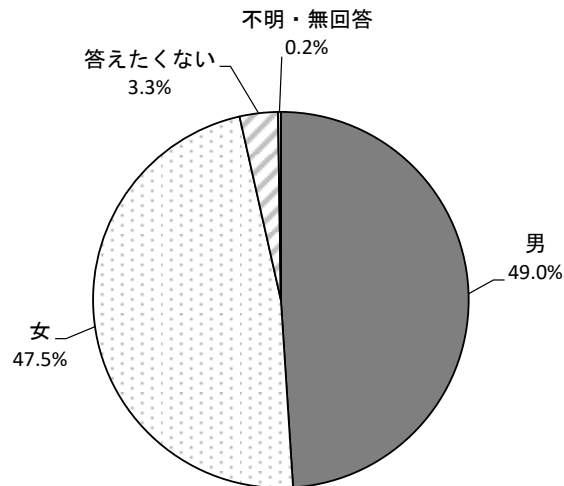
## Ⅱ 中学生・高校生アンケート調査結果

### 1. 回答者ご本人について

問1 あなたの性別は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

性別について、「男」が49.0%と最も高く、次いで「女」が47.5%、「答えたくない」が3.3%となっています。

学年別にみると、高校生で「女」が64.5%と高くなっています。



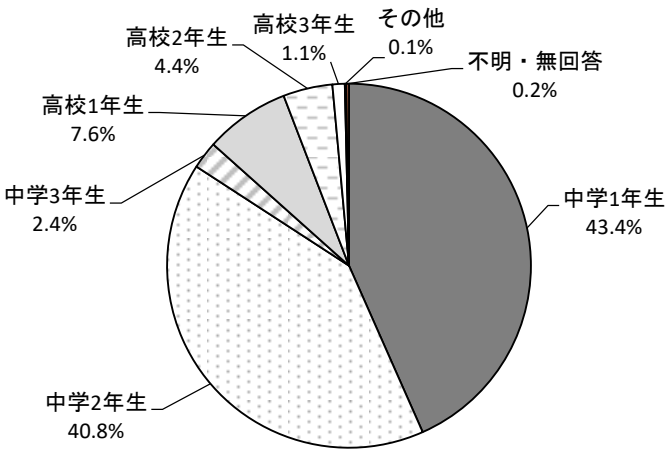
(n=821)

#### 【学年別クロス】

(%)	合計	男	女	答えたくない	不明・無回答
全体	821	49.0	47.5	3.3	0.2
中学生	711	51.6	45.1	3.1	0.1
高校生	107	31.8	64.5	3.7	0.0
その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0

**問2 あなたの学年は、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)**

学年について、「中学1年生」が43.4%と最も高く、次いで「中学2年生」が40.8%、「高校1年生」が7.6%となっています。

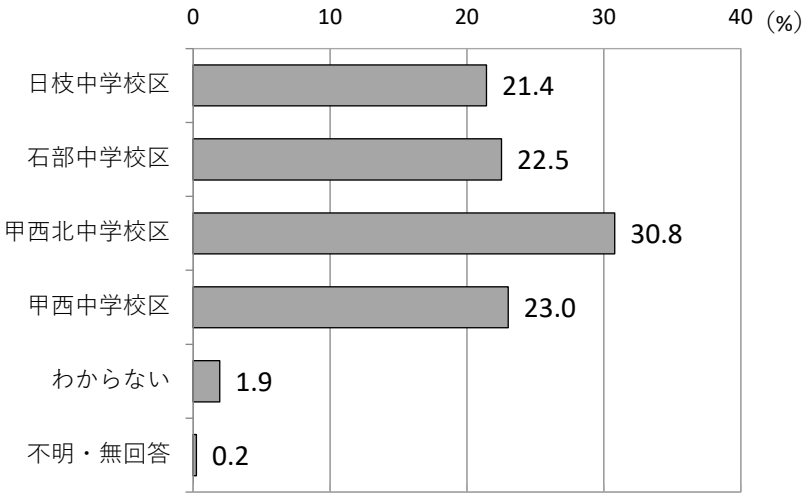


(n=821)

**問3 あなたの住んでいる地域を教えてください。(○は1つ)**

住んでいる地域について、「甲西北中学校区」が30.8%と最も高く、次いで「甲西中学校区」が23.0%、「石部中学校区」が22.5%となっています。

学年別にみると、中学生、高校生ともに「甲西北中学校区」が最も高くなっています。



(n=821)

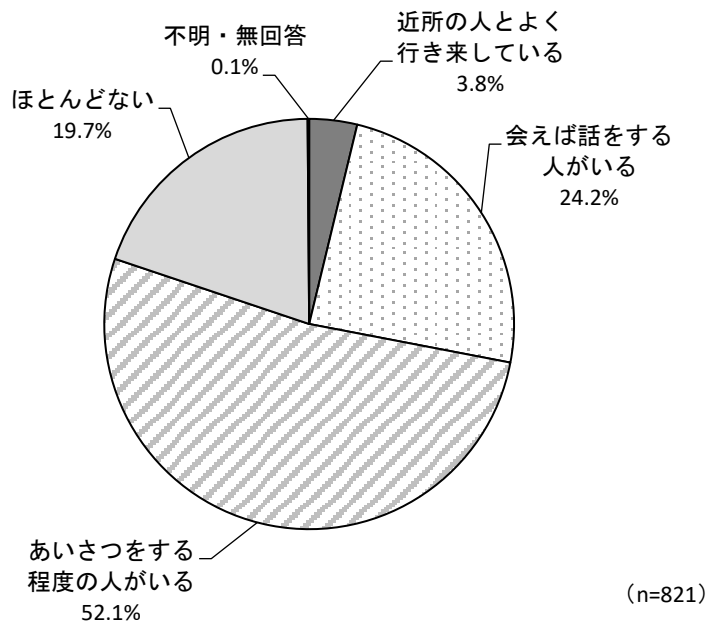
**【学年別クロス】**

(%)	合計	日枝中学校区	石部中学校区	甲西北中学校区	甲西中学校区	わからない	不明・無回答
全体	821	21.4	22.5	30.8	23.0	1.9	0.2
中学生	711	21.0	22.9	30.1	24.1	1.8	0.1
高校生	107	25.2	20.6	35.5	16.8	1.9	0.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

## 2. 地域のことについて

問4 ふだん、近所の大人とどれくらい接していますか。(〇は1つ)

ふだん、近所の大人とどれくらい接しているかについて、「あいさつをする程度の人がいる」が52.1%と最も高く、次いで「会えば話をする人がある」が24.2%、「ほとんどない」が19.7%となっています。学年別にみると、中学生、高校生ともに「あいさつをする程度の人がある」が最も高くなっています。



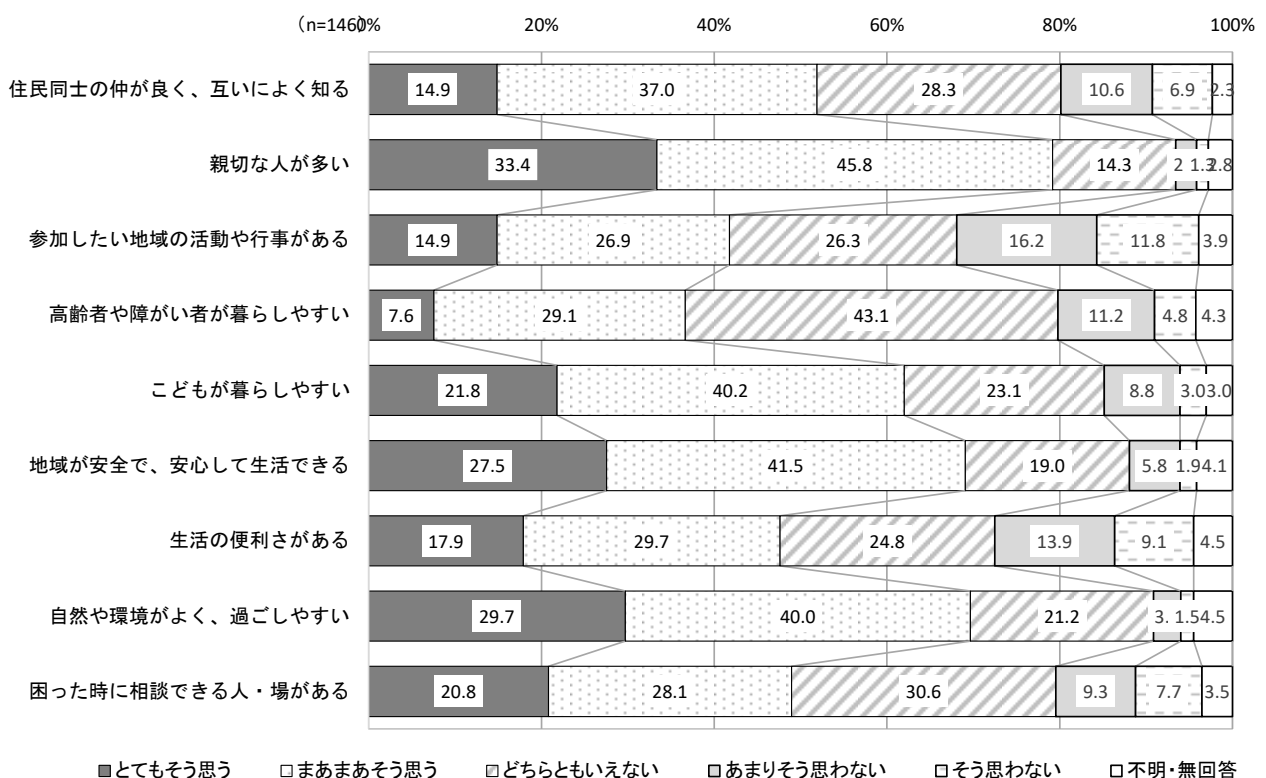
### 【学年別クロス】

(%)	合計	近所の人とよく行き来している	会えば話をする人がある	あいさつをする程度の人がある	ほとんどない	不明・無回答
全体	821	3.8	24.2	52.1	19.7	0.1
中学生	711	4.1	25.2	51.3	19.4	0.0
高校生	107	1.9	18.7	57.0	22.4	0.0
その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問5 住んでいる地域について、あなたの感じていることを教えてください。(それぞれの項目について○は1つ)

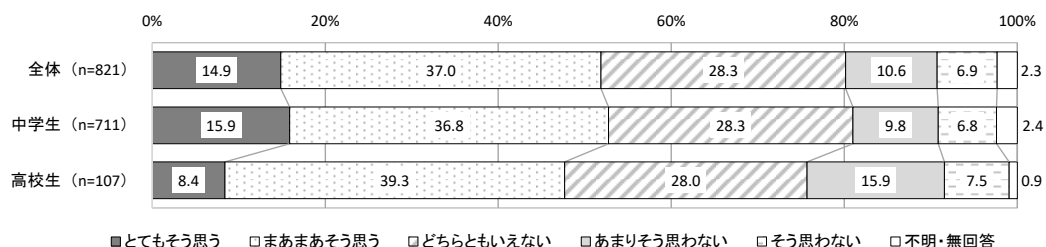
住んでいる地域について、「親切な人が多い」の項目で「とてもそう思う」が33.4%と最も高く、次いで「自然や環境がよく、過ごしやすい」が29.7%、「地域が安全で、安心して生活できる」が27.5%となっています。

学年別にみると、高校生において、「参加したい地域の活動や行事がある」、「こどもが暮らしやすい」、「地域が安全で、安心して生活できる」、「生活の便利さがある」、「自然や環境がよく、過ごしやすい」の項目で、「とてもそう思う」は中学生より10ポイント以上低くなっています。

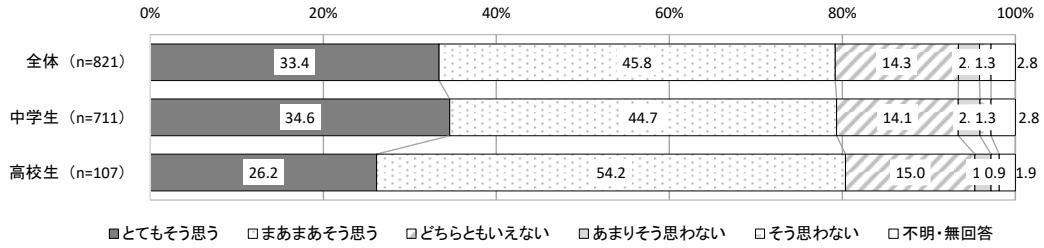


【学年別クロス】

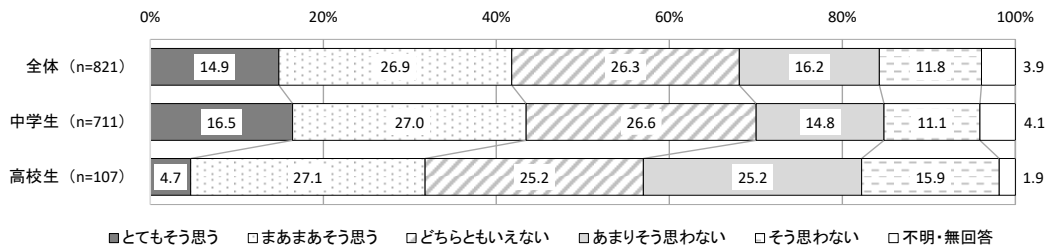
●住民同士の仲が良く、互いによく知る



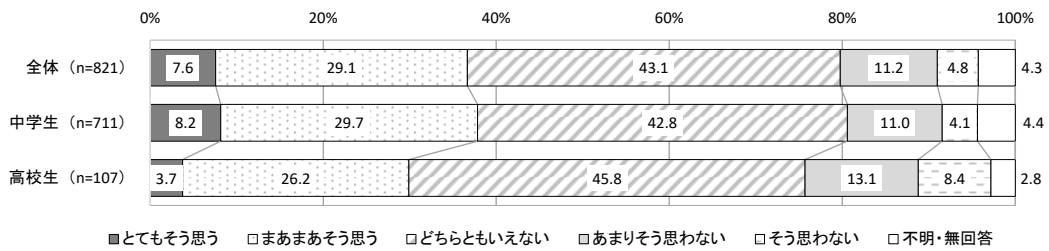
● 親切な人が多い



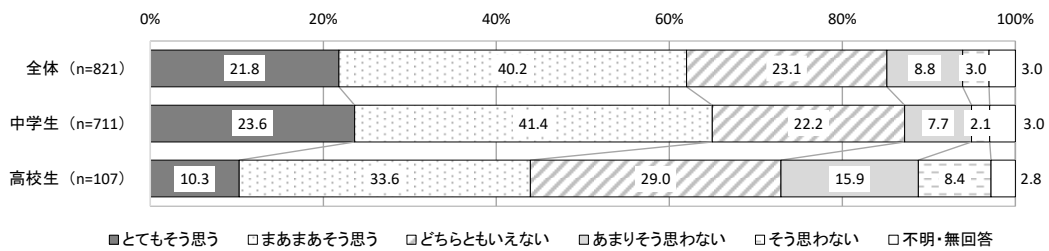
● 参加したい地域の活動や行事がある



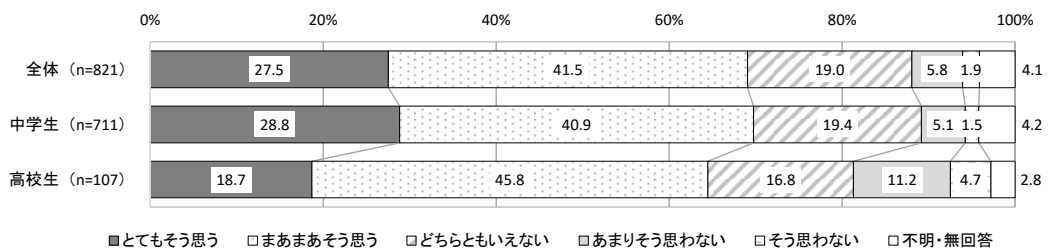
● 高齢者や障がい者が暮らしやすい



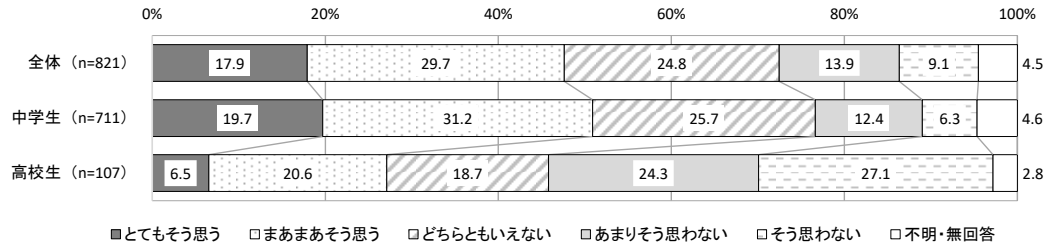
● こどもが暮らしやすい



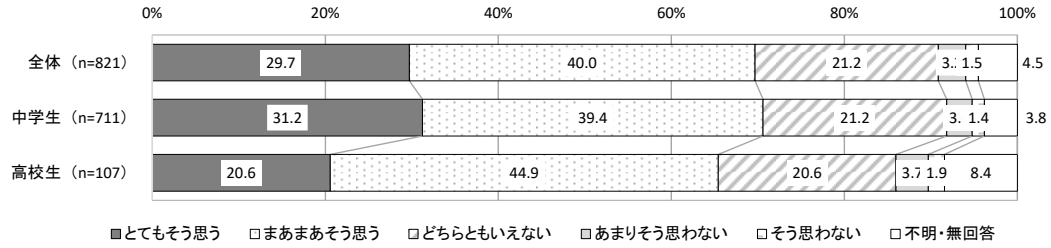
● 地域が安全で、安心して生活できる



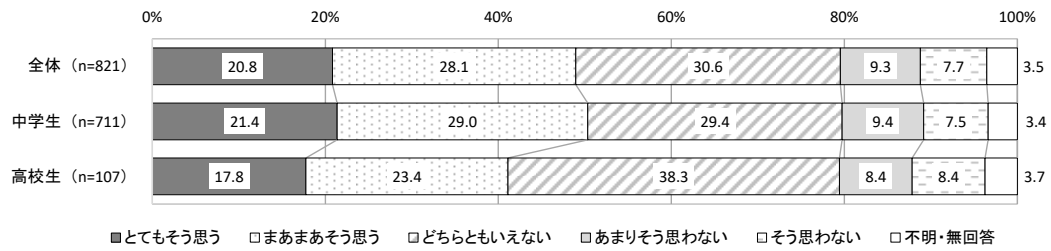
●生活の便利さがある



●自然や環境がよく、過ごしやすい



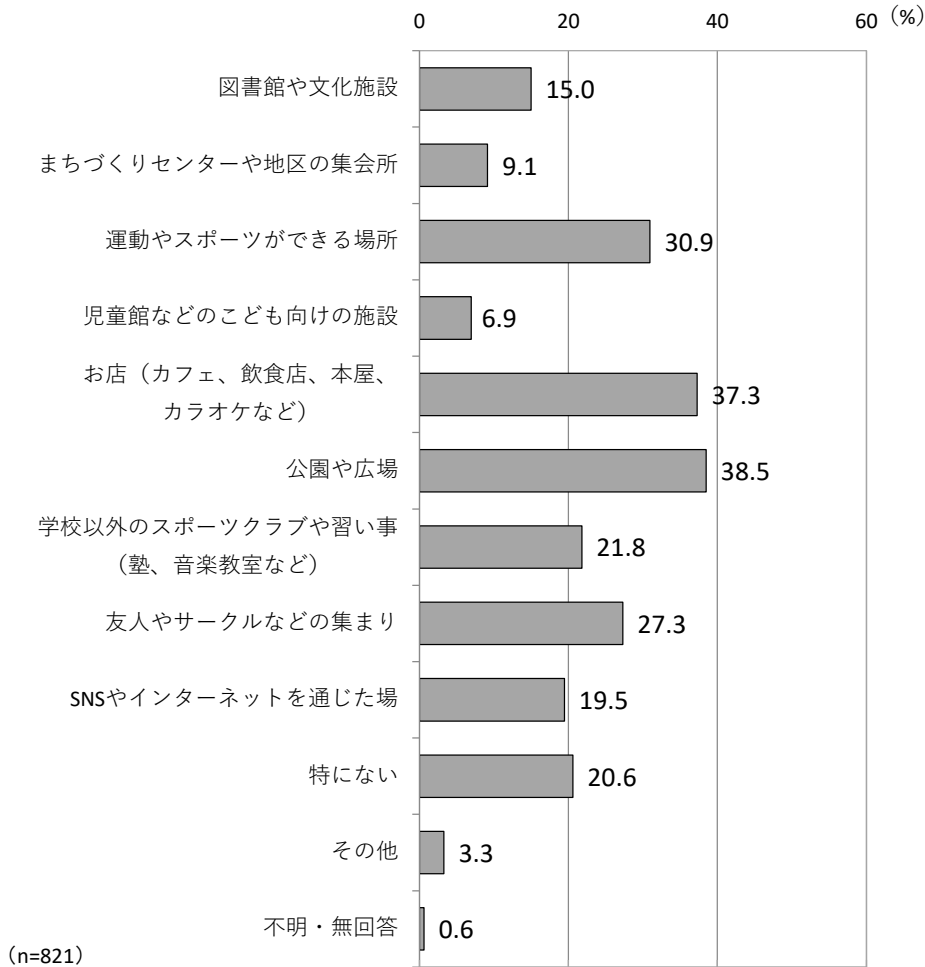
●困った時に相談できる人・場がある



**問6 あなたが、学校や自分の家以外で、気軽に過ごせる居場所がありますか。(〇はいくつでも)**

学校や自分の家以外で、気軽に過ごせる居場所について、「公園や広場」が38.5%と最も高く、次いで「お店(カフェ、飲食店、本屋、カラオケなど)」が37.3%、「運動やスポーツができる場所」が30.9%となっています。

学年別にみると、中学生において「公園や広場」、高校生において「お店(カフェ、飲食店、本屋、カラオケなど)」が最も高くなっています。



**【学年別クロス】**

(%)	合計	図書館や文化施設	まちづくりセンターや地区の集会所	運動やスポーツができる場所	児童館などのこども向けの施設	お店(カフェ、飲食店、本屋、カラオケなど)	公園や広場	学校以外のスポーツクラブや習い事(塾、音楽教室など)	友人やサークルなどの集まり	SNSやインターネットを通じた場	特にない	その他	不明・無回答
全体	821	15.0	9.1	30.9	6.9	37.3	38.5	21.8	27.3	19.5	20.6	3.3	0.6
中学生	711	13.5	9.8	32.9	7.9	38.0	40.6	23.6	26.6	20.0	19.4	3.4	0.6
高校生	107	25.2	4.7	17.8	0.9	33.6	25.2	10.3	32.7	16.8	29.0	1.9	0.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問7 あなたが、地域の中で必要と感じている居場所があれば、それはどのような場所ですか。(自由記述)

※複数の意見が書かれている場合は、それぞれに計上しているため、回答数と各意見の合計数は一致しない。

<必要と感じる居場所>

分野	件数
公園や広場など	61
飲食店（カフェ・ファストフード・スーパー・コンビニ・自動販売機）など	59
スポーツや運動ができる場所	57
買い物や娯楽に関する施設（ショッピングモール・本屋・ゲームセンター・カラオケなど）	49
遊べる場所	34
図書館や勉強・自習ができる場所	32
その他	31
居場所に求める機能についての意見	25
公共の施設（公民館・児童館・駅など）	16
静かでゆっくりできるところ	14
地域の人や多世代の交流ができるところ	9
特になし、わからない等	133

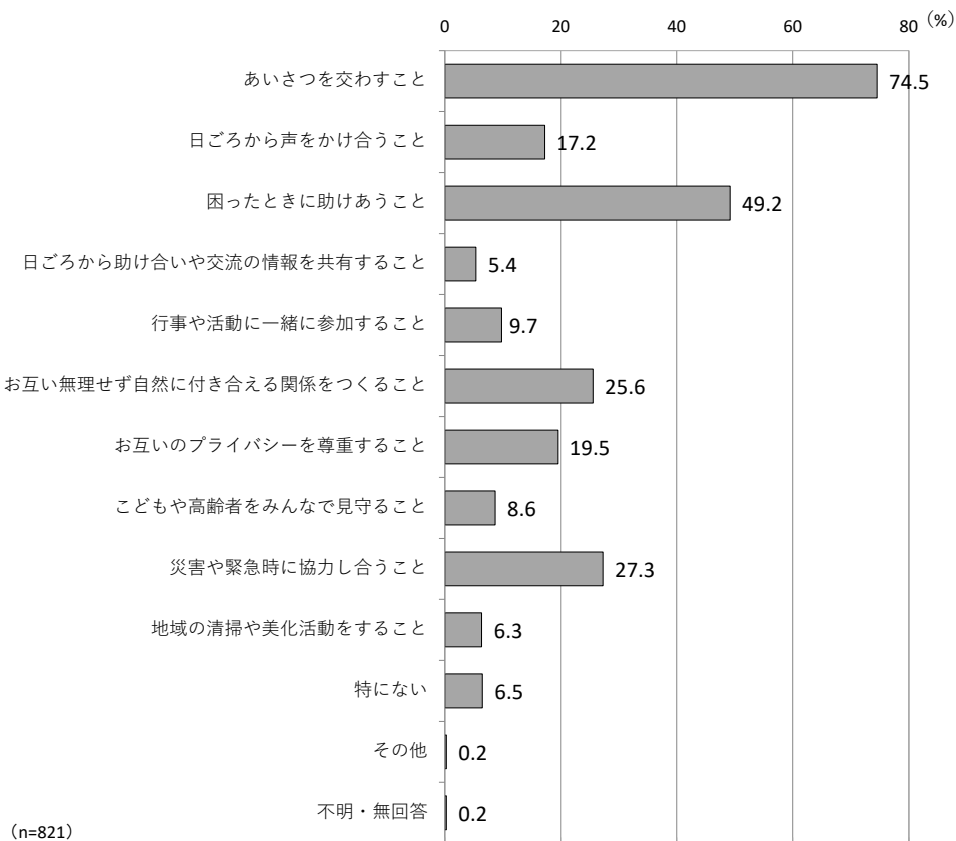
<居場所に求める機能>

- ・環境が整っている（フリーWi-fi、トイレ、空調、机や椅子など）（8）
- ・雰囲気良く、安心して過ごせる（3）
- ・みんなで話せる、交流できる、遊べる（4）
- ・悩み事が相談できる
- ・眺めがいい
- ・いろいろな体験ができる
- ・コミュニケーション能力が付けれる
- ・子供が集まりやすい
- ・警察官の人が常に居る
- ・いつでも行ける
- ・毎日放課後に開いている
- ・どの家からも歩いていける
- ・不登校の人やあまり学校に行けていない人が気軽にいける

問8 ご近所付き合いや関わりで、あなたは今後どのようなことが大切になるとお思いますか。(〇は3つまで)

ご近所付き合いや関わりで、今後どのようなことが大切になると思うかについて、「あいさつを交わすこと」が74.5%と最も高く、次いで「困ったときに助け合うこと」が49.2%、「災害や緊急時に協力し合うこと」が27.3%となっています。

学年別にみると、中学生、高校生ともに「あいさつを交わすこと」が最も高くなっています。



【学年別クロス】

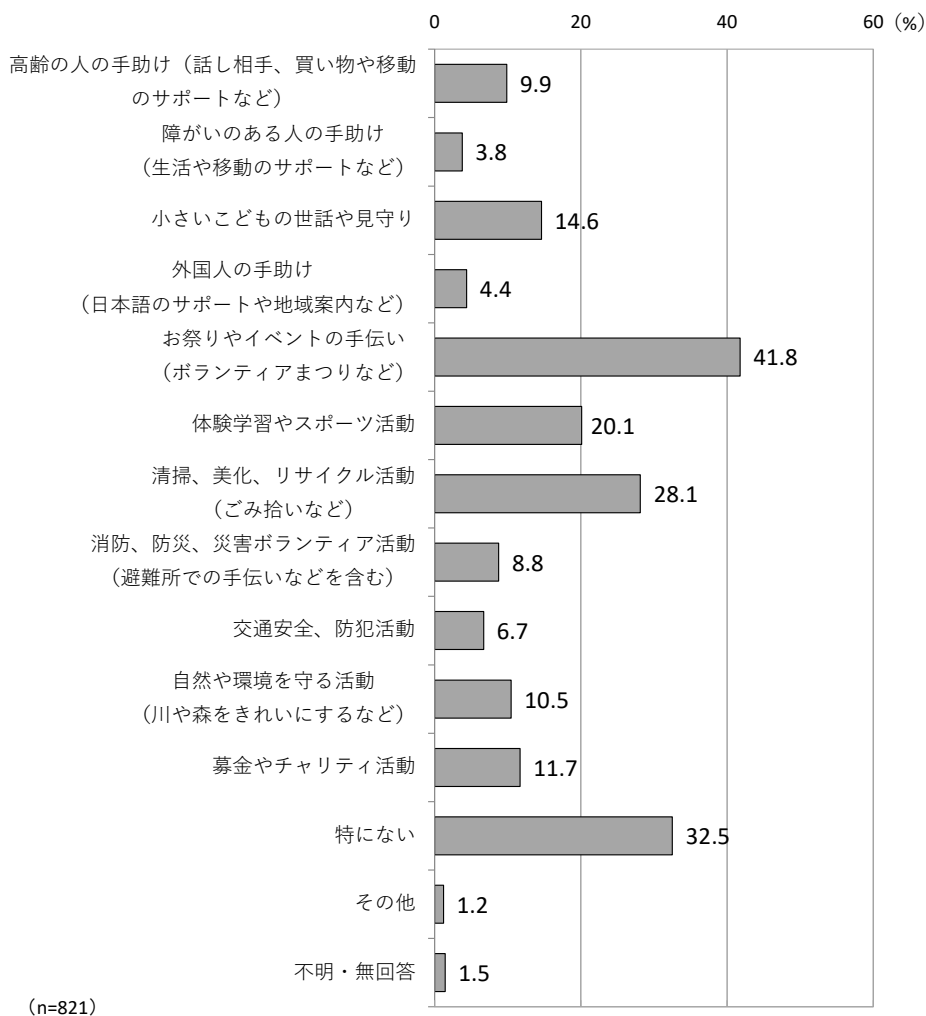
(%)	合計	あいさつを交わすこと	日ごろから声をかけ合うこと	困ったときに助けあうこと	日ごろから助け合いや交流の情報を共有すること	行事や活動と一緒に参加すること	お互い無理せず自然に付き合える関係をつくること	お互いのプライバシーを尊重すること	子どもや高齢者をみんなで見守ること	災害や緊急時に協力し合うこと	地域の清掃や美化活動をする	特にな	その他	不明・無回答
全体	821	74.5	17.2	49.2	5.4	9.7	25.6	19.5	8.6	27.3	6.3	6.5	0.2	0.2
中学生	711	75.0	17.6	51.3	5.5	9.7	24.2	19.4	8.3	27.1	6.2	6.3	0.3	0.1
高校生	107	72.0	15.0	36.4	3.7	10.3	35.5	19.6	11.2	29.0	7.5	7.5	0.0	0.0
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 3. 地域での活動について

問9 あなたは、地域の行事や活動に参加したことがありますか。あなたが参加したことがある活動をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

参加したことがある地域の行事や活動について、「お祭りやイベントの手伝い（ボランティアまつりなど）」が41.8%と最も高く、次いで「特にない」が32.5%、「清掃、美化、リサイクル活動（ごみ拾いなど）」が28.1%となっています。

学年別にみると、中学生、高校生ともに「お祭りやイベントの手伝い（ボランティアまつりなど）」が最も高くなっています。



【学年別クロス】

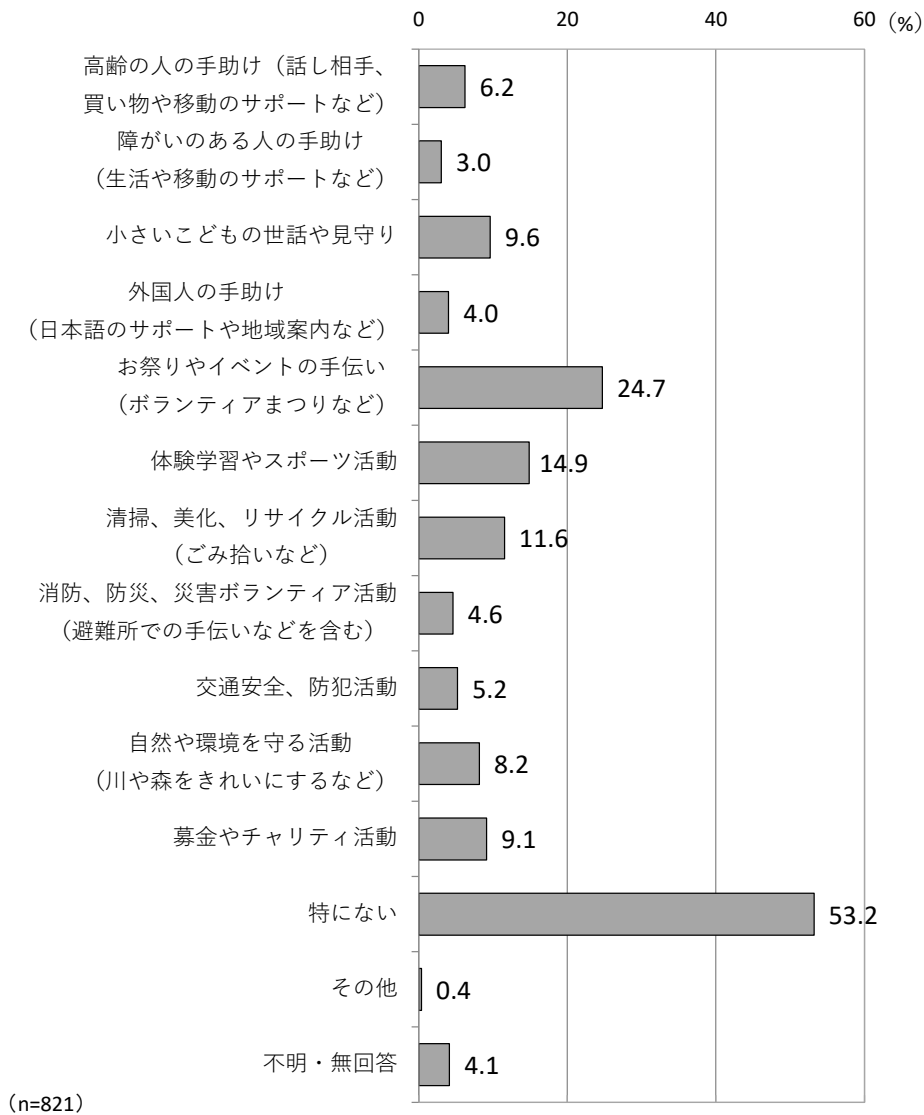
(%)	合計	高齢の人の手助け（話し相手、買い物や移動のサポートなど）	障がいのある人の手助け（生活や移動のサポートなど）	小さいこどもの世話や見守り	外国人の手助け（日本語のサポートや地域案内など）	お祭りやイベントの手伝い（ボランティアまつりなど）	体験学習やスポーツ活動	清掃、美化、リサイクル活動（ごみ拾いなど）	消防、防災、災害ボランティア活動（避難所での手伝いなどを含む）	交通安全、防犯活動	自然や環境を守る活動（川や森をきれいにするなど）
全体	821	9.9	3.8	14.6	4.4	41.8	20.1	28.1	8.8	6.7	10.5
中学生	711	9.8	3.7	15.0	4.6	41.8	19.3	26.4	8.7	7.0	11.0
高校生	107	10.3	4.7	12.1	2.8	42.1	25.2	40.2	9.3	4.7	7.5
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)	合計	募金やチャリティ活動	特にない	その他	不明・無回答
全体	821	11.7	32.5	1.2	1.5
中学生	711	12.4	32.5	1.4	1.5
高校生	107	7.5	31.8	0.0	0.9
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0

問10 あなたは、地域に限らず、湖南省全域やもっと広い範囲でボランティアに参加したことがありますか。あなたが参加したことがある活動をすべて選んでください。(〇はいくつでも)

湖南省全域やもっと広い範囲でボランティアに参加したことがあるかについて、「特にない」が53.2%と最も高く、次いで「お祭りやイベントの手伝い(ボランティアまつりなど)」が24.7%、「体験学習やスポーツ活動」が14.9%となっています。

学年別にみると、中学生、高校生ともに「特にない」が最も高くなっています。



【学年別クロス】

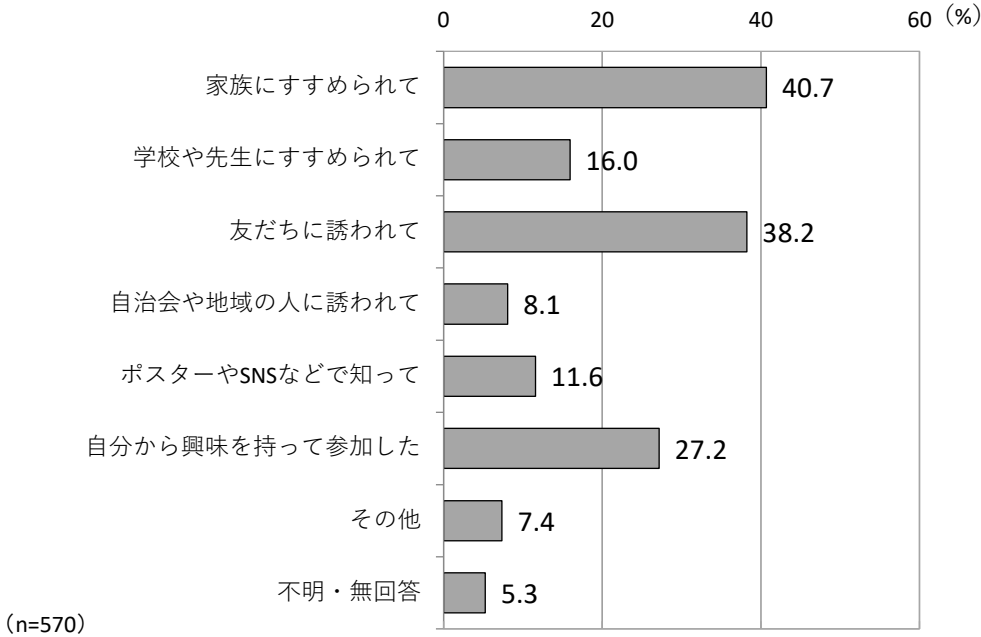
(%)	合計	高齢の人の手助け (話し相手、買い物や 移動のサポートなど)	障がいのある人の手助け (生活や移動のサポート など)	小さいこどもの世話や見 守り	外国人の手助け (日本語のサポートや 地域案内など)	お祭りやイベントの手伝 い(ボランティアまつり など)	体験学習やスポーツ活動	清掃、美化、リサイクル 活動(ごみ拾いなど)	消防、防災、災害ボラン ティア活動(避難所での 手伝いなどを含む)	交通安全、防犯活動	自然や環境を守る活動 (川や森をきれいにす るなど)
全体	821	6.2	3.0	9.6	4.0	24.7	14.9	11.6	4.6	5.2	8.2
中学生	711	6.3	3.0	9.6	4.2	23.6	14.9	10.4	4.6	5.1	7.6
高校生	107	5.6	3.7	10.3	2.8	32.7	14.0	19.6	4.7	6.5	12.1
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)	合計	募金やチャリティ活動	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体	821	9.1	53.2	0.4	4.1
中学生	711	9.3	53.6	0.3	4.4
高校生	107	8.4	50.5	0.9	2.8
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0

問 1 1 問 9、問 1 0 の活動に参加したことのある人にお聞きします。あなたが活動に参加したきっかけは何でしたか。(〇はいくつでも)

活動に参加したきっかけについて、「家族にすすめられて」が 40.7% と最も高く、次いで「友だちに誘われて」が 38.2%、「自分から興味を持って参加した」が 27.2% となっています。

学年別にみると、中学生において「家族にすすめられて」、高校生において「友だちに誘われて」が最も高くなっています。



その他回答	
● 部活動で (6)	● たまたま
● 学校の行事で (5)	● 近所で行われてたから参加した
● クラブチームの活動 (3)	● 暇だからとりあえずいった
● 委員会活動	● 毎年の恒例行事だったから
● 習い事のイベント	● 前にやって楽しかったから
● 親に誘われたのと暇だったから	● 近いから
● 家族や友達が行ったから	● 声をかけられて
● 家族の一人が行くからついでに行った	● 困ってそうだったから
● 家族が無理やり	● やらないといけなくて
● 家族と一緒にやりたかったから	● 強制的
● 子供とその親がする活動だったから (人が少ないため)	● 特になし (15)

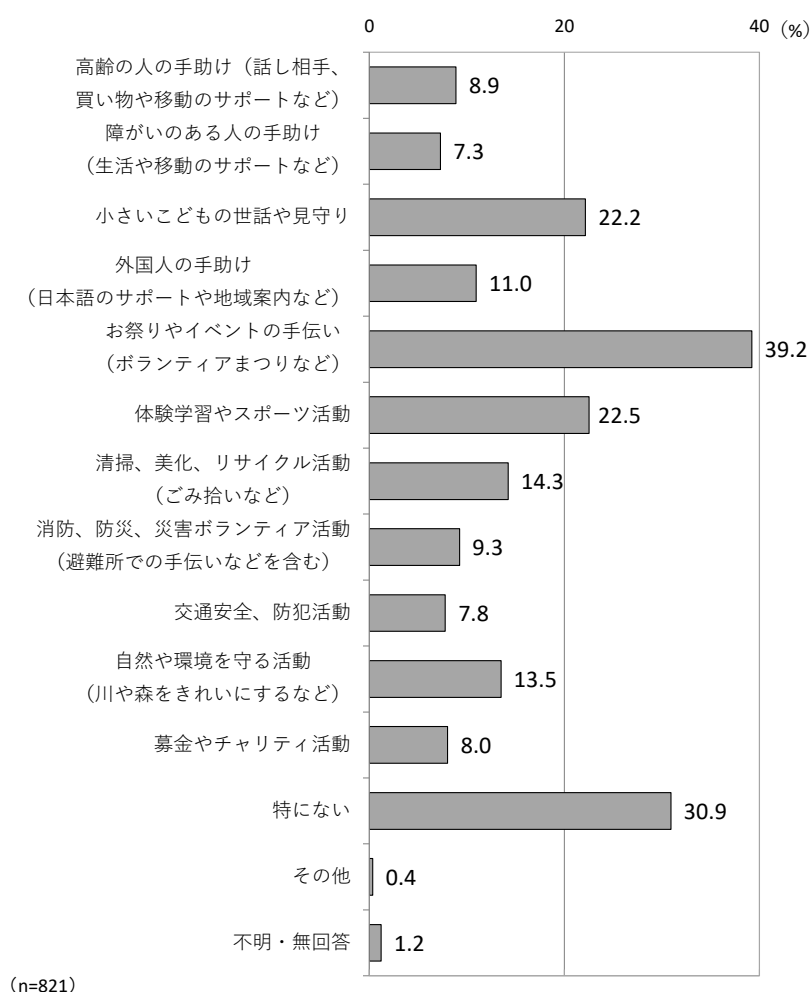
【学年別クロス】

(%)	合計	家族にすすめられて	学校や先生にすすめられて	友だちに誘われて	自治会や地域のの人に誘われて	ポスターやSNSなどで知って	自分から興味を持って参加した	その他	不明・無回答
全体	570	40.7	16.0	38.2	8.1	11.6	27.2	7.4	5.3
中学生	491	42.2	13.0	38.5	8.1	11.2	28.1	7.3	5.5
高校生	78	32.1	34.6	37.2	7.7	14.1	21.8	6.4	3.8
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問12 あなたが今後、参加してみたいと思う地域の行事や活動はどんなものですか。(〇はいくつでも)

今後参加してみたいと思う地域の行事や活動について、「お祭りやイベントの手伝い（ボランティアまつりなど）」が39.2%と最も高く、次いで「特にない」が30.9%、「体験学習やスポーツ活動」が22.5%となっています。

学年別にみると、中学生、高校生ともに「お祭りやイベントの手伝い（ボランティアまつりなど）」が最も高くなっています。



【学年別クロス】

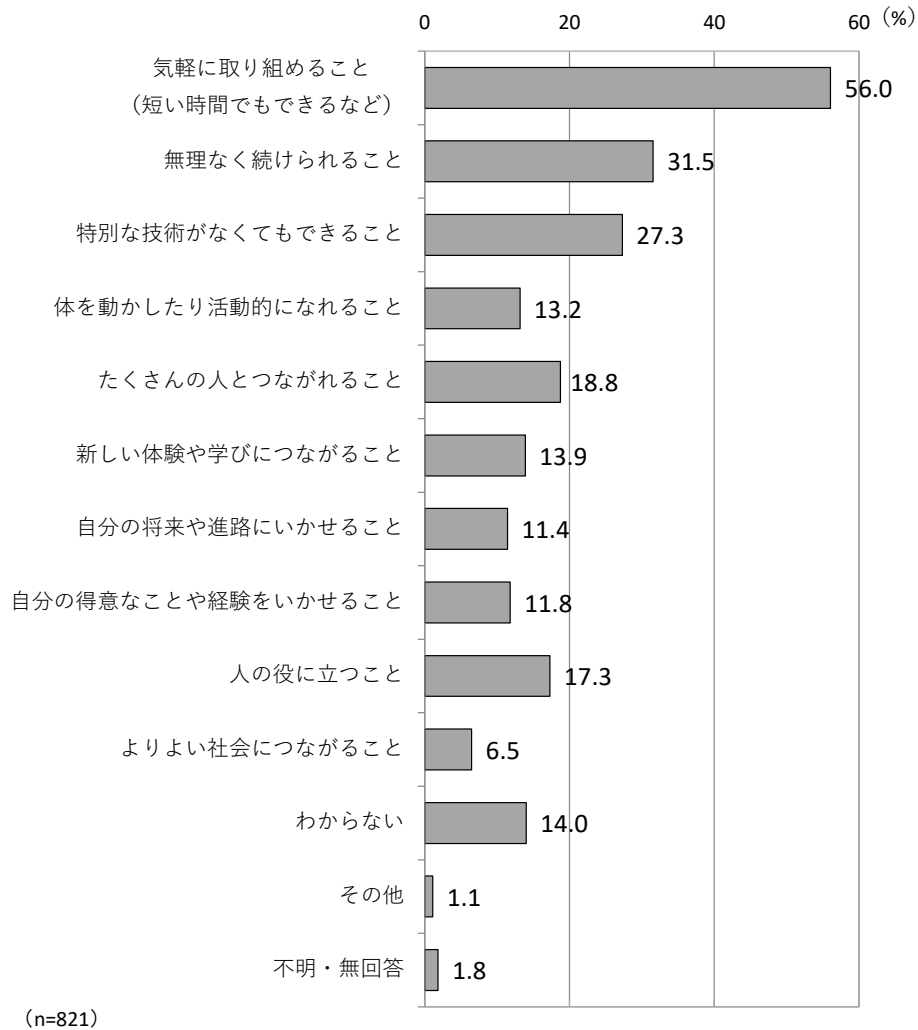
(%)	合計	高齢者の手助け（話し相手、買い物や移動のサポートなど）	障がいのある人の手助け（生活や移動のサポートなど）	小さいこどもの世話や見守り	外国人の手助け（日本語のサポートや地域案内など）	お祭りやイベントの手伝い（ボランティアまつりなど）	体験学習やスポーツ活動	清掃、美化、リサイクル活動（ごみ拾いなど）	消防、防災、災害ボランティア活動（避難所での手伝いなどを含む）	交通安全、防犯活動	自然や環境を守る活動（川や森をきれいにするなど）
全体	821	8.9	7.3	22.2	11.0	39.2	22.5	14.3	9.3	7.8	13.5
中学生	711	8.7	7.3	21.9	10.8	40.4	23.2	14.2	9.0	8.3	12.8
高校生	107	10.3	7.5	24.3	12.1	32.7	18.7	15.0	11.2	4.7	18.7
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)	合計	募金やチャリティ活動	特にない	その他	不明・無回答
全体	821	8.0	30.9	0.4	1.2
中学生	711	8.6	31.2	0.3	1.1
高校生	107	4.7	27.1	0.9	1.9
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0

問13 問12の活動に参加しやすくなるためには、どんなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

活動に参加しやすくなるために必要なことについて、「気軽に取り組めること（短い時間でもできるなど）」が56.0%と最も高く、次いで「無理なく続けられること」が31.5%、「特別な技術がなくてもできること」が27.3%となっています。

学年別にみると、中学生、高校生ともに「気軽に取り組めること（短い時間でもできるなど）」が最も高くなっています。



【学年別クロス】

(%)	合計	気軽に取り組めること(短い時間でもできるなど)	無理なく続けられること	特別な技術がなくてもできること	体を動かしたり活動的になれること	たくさんの人とつながれること	新しい体験や学びにつながる	自分の将来や進路にいかせること	自分の得意なことや経験をいかせること	人の役に立つこと
全体	821	56.0	31.5	27.3	13.2	18.8	13.9	11.4	11.8	17.3
中学生	711	56.4	33.5	28.0	13.8	19.0	13.5	10.5	12.1	17.9
高校生	107	55.1	19.6	23.4	9.3	17.8	16.8	17.8	10.3	14.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

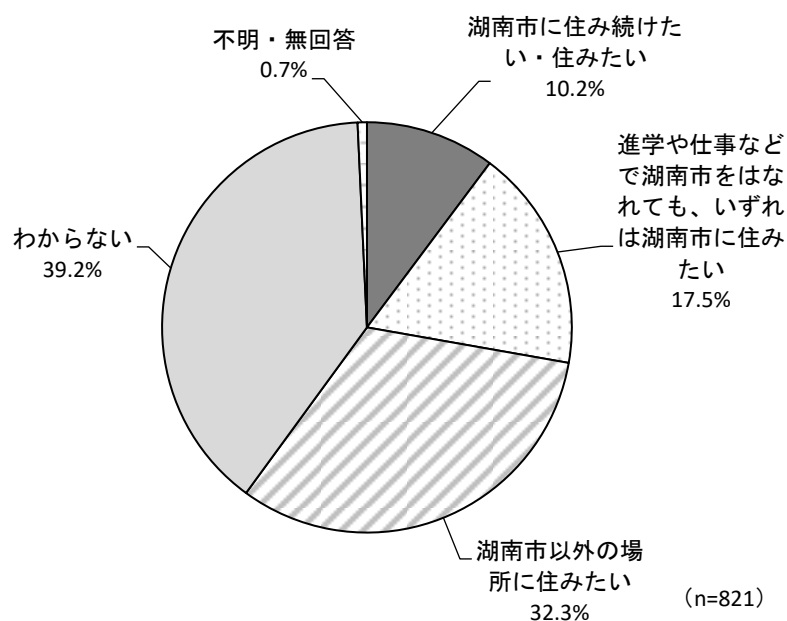
(%)	合計	よりよい社会につながる	わからない	その他	不明・無回答
全体	821	6.5	14.0	1.1	1.8
中学生	711	6.0	14.3	0.7	1.1
高校生	107	9.3	11.2	2.8	5.6
その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0

## 4. まちづくりについて

問14 あなたは、大人になっても湖南省に引き続きたいですか。(〇は1つ)

大人になっても湖南省に引き続きたいかについて、「わからない」が39.2%と最も高く、次いで「湖南省以外の場所に住みたい」が32.3%、「進学や仕事などで湖南省をはなれても、いずれは湖南省に住みたい」が17.5%となっています。

学年別にみると、中学生、高校生ともに「わからない」が最も高くなっています。



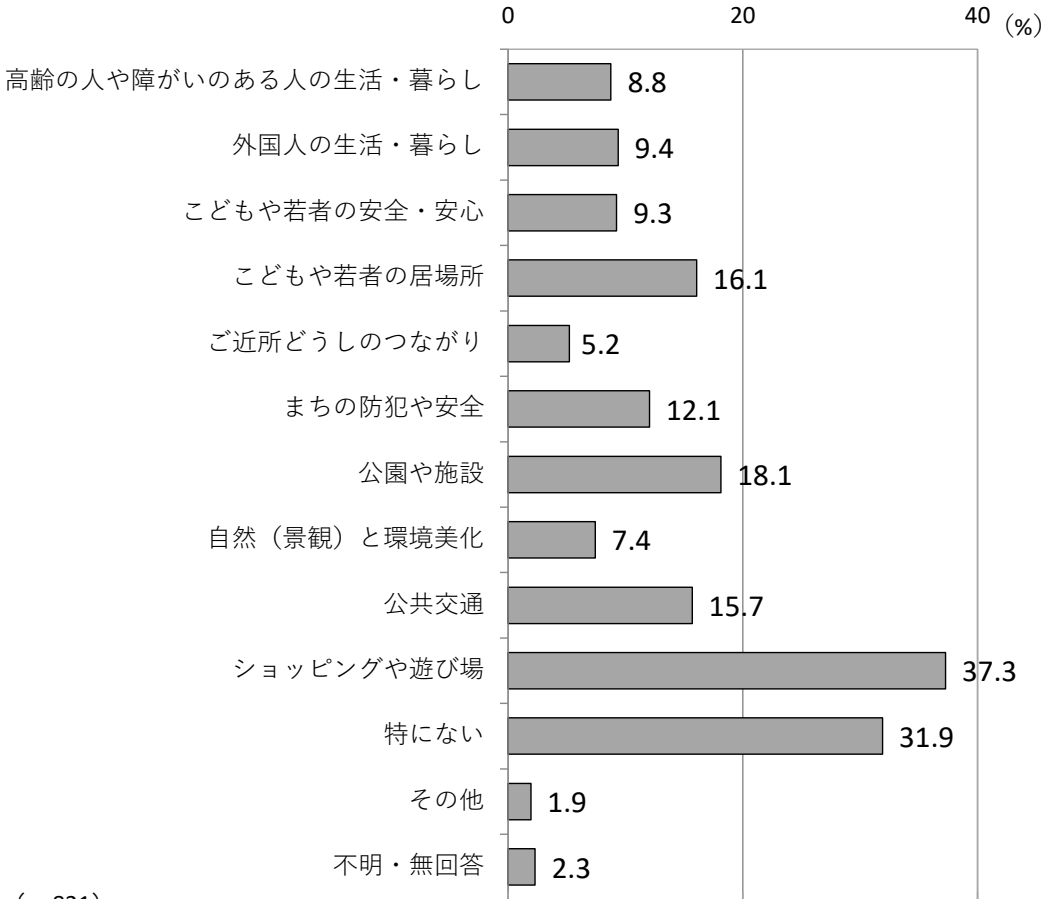
### 【学年別クロス】

(%)	合計	湖南省に引き続きたい・住みたい	進学や仕事などで湖南省をはなれても、いずれは湖南省に住みたい	湖南省以外の場所に住みたい	わからない	不明・無回答
全体	821	10.2	17.5	32.3	39.2	0.7
中学生	711	10.5	18.0	32.8	37.8	0.8
高校生	107	7.5	15.0	29.0	48.6	0.0
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問15 あなたの住んでいる地域で、「課題」や「気になること」はありますか。(〇は3つまで)

住んでいる地域の「課題」や「気になること」について、「ショッピングや遊び場」が37.3%と最も高く、次いで「特にない」が31.9%、「公園や施設」が18.1%となっています。

学年別にみると、中学生、高校生ともに「ショッピングや遊び場」が最も高くなっています。



(n=821)

【学年別クロス】

(%)	合計	高齢の人や障がいのある人の生活・暮らし	外国人の生活・暮らし	子どもや若者の安全・安心	子どもや若者の居場所	ご近所どうしのつながり	まちの防犯や安全	公園や施設	自然（景観）と環境美化	公共交通	ショッピングや遊び場
全体	821	8.8	9.4	9.3	16.1	5.2	12.1	18.1	7.4	15.7	37.3
中学生	711	8.2	9.1	9.6	15.0	5.1	12.4	18.6	7.6	11.8	35.0
高校生	107	13.1	11.2	6.5	22.4	6.5	10.3	15.0	6.5	42.1	52.3
その他	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(%)	合計	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体	821	31.9	1.9	2.3
中学生	711	34.2	1.7	2.5
高校生	107	16.8	3.7	0.9
その他	1	0.0	0.0	0.0

問16 あなたが思う「こういうまちになったらいいな」ということを書いてください。(自由記述)  
 問17 そのようなまちになるために、必要だと思うアイデアや工夫があれば教えてください。(自由記述)

「こういうまちになったらいいな」	必要だと思うアイデアや工夫
● みんなが安心してきて楽しい	● 今の湖南省が一番いい街だと思う
● みんなが平等に住みやすいまち	● 今のままで
● みんなが平和に暮らせる町	● 特になし
● 「これがしたい」と思ったらすぐできるようなまち	● 分かんないです
● こういうまちになったらいいな	
● ふと立ち止まりたくなるような景色があるところ。そんなところがこの街にあれば絵に描きたい。	
● 普通	● なし
● 普通	● わからない
● いい街	● 飲食店
● いい街	● いいアイデアがあればいい
● いい街	● かしこい人
● いい町	● なし
● たのしい	
● 幸せ	● 笑顔
● 笑顔が溢れる	● 特に無い
● 自由	● ない
● みんなが安心して過ごせる街、笑顔があふれる街	● 一人一人がみんなの街ということを意識して過ごす。
● 安心して暮らせるまち	● 地域の一人ひとりが意識する
● みんなが楽しく街	● みんなが人の役に立つような行動をする
● 誰もが暮らしやすい	● 明るい雰囲気
● 誰でも住みやすい	
● みんなが過ごしやすいまち	
● みんなが楽しくられる	
● みんなが楽しめる町	
● もっと活気ある街	
● 活気が溢れる場所	
● もっと活発で賑やかなまちになるといい。	
● 市の特色が活かされた取り組みのある、あかるいまち。	
● みんなが親切に	● みんなが知事さんになる
● みんなで助け合える	● 優しくする
● 誰もが助け合える	
● 助け合える	
● みんなで助け合える街過ごしやすいまち	● 人間性
● みんなで仲良く過ごせる	● わからない

● 豊かに過ごせる	
● 静かな街	● 夜は静かにする
● 自然が豊か。	● 林業などの体験をする。
● 自然を守れて交通マナーを守れて安心して暮らせる街	● 開発（お店を作ったりすること）も大事だけど自然を保護活動（木や植物を植えたりゴミ拾いをする）をして交通事故を防げるように道路を舗装するのも大事だと思う
● 自然豊かな街になり、さまざまな人が互いを尊び、その広大な自然によって心が通じ合えるような街	● 一人一人の環境を愛する気持ちが大切 ● 木々を増やす
● 自然がある街	● ゴミ集めなどの清掃活動
● 自然を大切に	● ゴミ拾い
● 自由	● 自然を増やす
● 自然豊かで遊べる場所がいっぱいある	● みんなの協力
● 自然豊かな街	● 特になし
● 自然を残しつつそれぞれの年代にあった場所	● 聞くんじゃなく考えて下さい
● 自然がいっぱいで、息抜きや遊んだりできる場所	● いろんな人の意見を聞いて取り入れたりする
● 人々が元気に暮らせる町	● 自然環境を良くする
● 住みやすいところにしたかったので川沿いのところの草を処理して欲しいです	● なし
● 自転車で坂道しんどい〜ってならないまち	● トンネル
● 平たいまち	● 道を平らにする
● 自転車が安心して走れるような道路。	● 道路を広げる。
● きれい	● お金
● きれいな街	
● きれいな街	● ゴミ箱
● きれいな町	● みんなが仲良くする
● 綺麗な街	● ゴミ拾い
● 綺麗な町	● ゴミ拾い
● 綺麗な町	● 掃除の習慣
● 綺麗な街	● 積極的にみんなで美化作業をする
● 綺麗なまち	● 建て替える
● 綺麗	● ゴミを捨てない
● 綺麗	● ポイ捨てを市内
● 環境がきれい	● ポイ捨てしない
● 環境と、公共施設と、交通機関が整って住みやすいところになったらと思います。	● 道を綺麗にする
● 安全で安心でみんなが優しい綺麗なまち	● まちの清掃、色々な人との交流
● 地域みんなが仲良く綺麗なまちになって欲しいです	● 地域の人に参加する取り組みを増やしゴミ拾いなどの取り組みをみんなで取り組めるようにする
● 今よりももっときれいな町	● 地域の清掃をする
● みんなが暮らしやすい場所	● 街を綺麗にする
● 人々が自然にゴミ拾いをするような街になったら良いと思う	● 親切にする
● ゴミがない町	● 1人1袋ビニール袋持参

● ゴミが少ない	
● ゴミが落ちていないまち	● ゴミ箱を設置する。
● ゴミが落ちていない町	● みんなで協力して集める時間を作る
● ゴミが落ちていない町	● 一人一人がゴミを捨てない意識
● ゴみが落ちてなくて綺麗なまち	● 地域活動を増やす
● 親切な人が多くてゴミなどがなくきれいなまち	● 挨拶などのコミュニケーションをとる ● ゴミの持ち帰りを促す
● ゴミステの無い街	● ゴミ箱いっぱいおいておく
● ゴミの少ないきれいなまち	● ポイ捨てするひとに厳しくする
● ゴミ捨てをしなくて誰でも使える場所	● ゴミ拾いや休める場所を作る
● ポイ捨てが少ない	● ゴミ箱を設置する
● ポイ捨てなどが無い町	● ポスターを貼る。ゴミ箱を置く。
● もっとポイ捨てがない町になって欲しい。	
● 人々が自然にゴミ拾いをするような街になったら良いと思う	● 親切にする
● みんなが笑顔で助け合いができる町	● 町を綺麗にする活動
● たのしい町	● イベントを手伝う
● みんながより良い生活を送れるまち	● お店を開いたり町おこしをする
● いろいろな人が気軽に引っ越してこれるようなまち	● 他地域からも参加できるようなイベントを開催する
● イベントとかを増やしたり楽しいまちになってほしい	● 地域のイベント増やす
● みんなが安心して暮らせることができる地域で他地区からの人でも来れやすいような町になって欲しい。	● 部を作ったら良いと思います。
● イベントなどの交流の場が多い遊び場が多くて、子供も楽しめる	● 遊ぶ施設を作る
● イベントや行事に地域住民全員が自然と自ら参加している町。	● 地域住民同士の触れ合いの場を何らかの形で設ける。
● いろんなイベントに気軽に参加できるまち	● イベントを考えている人たちの協力
● いろんな人が仲良く安全に暮らせる場所	● 人と関わられるような新しいイベント
● どんな人でも住みやすい町	● 地域のイベントに参加することとみんなで協力すること
● みんながより良い生活ができるようなまち	● ボランティアやイベントに参加する
● 夏祭りなどのお祭りや、地域のゴミ拾いが最近少なくなってきたように感じるので、もっと増やしたいです。	
● みんなが過ごしやすく、イベントがたくさんある	● 協力する
● みんなで協力できる町	● 地域交流を増やす
● 近所の人との繋がりがあがる。	● イベントを増やす。
● 明るい町	● イベントをする
● 楽しい会話がたくさん聞こえる町	● みんなが喜びそうな交流会などを企画する
● みんなが仲よし	● お祭り
● 地域の人同士が仲が良いまち	● 地域の人に参加できて、交流できるイベントをふやす
● 楽しい街	● ビンゴ大会や夏祭りなどを増やしたりする

● 楽しい活気のあるところ	● イベントなど
● 楽しく交流があるら	● もっと地域の祭りとかを開く
● みんなが安全に安心して過ごせるまち	● いろんな人が交流できる場を作る
● みんなが協力しあえる町	● 特に思いつかない
● 一人一人が助けあう町	● 地域のイベントに参加して仲を深める
● みんなが協力して安全で安心できる町	● みんなでできるイベントをたくさんやったら他のお人たちを知り合える
● 近所などの、トラブルがなく環境が良い街が良い	● 地域活動に、参加してゴミ拾いをして自然を守りたい
● 地域の人々で助け合える町	● 地域活動
● もっとたくさんのイベントなどを行う	● ない
● 楽しい町	● イベントを増やす
● 明るい町	● イベントをする
● 年齢関係を気にせず挨拶や会話ができる。 ● 地域のみんなで楽しめる行事がある。	● 地域の人たちと子供も集まってどんどんアイデアを出していく
● 積極的にイベント事に参加する	● イベントの良さを住民に伝える
● 村の行事にたくさん参加できる。	● 村の行事に行く。
● みんなが豊かに過ごせる	● 交流
● みんなで助け合う	● 交流を持つ
● 近所でもっと関わり合う	
● 困ったらたすけあえる	● とくにない
● 困ったことがあれば1人1人が助け合う町	● 自分から率先して助け合う
● 近所同士困ったことがあったら助け合える	● 集まり交流できるイベント
● 協力しあえて楽しい	● 交流活動
● 地域の人たち同士で助け合える街	● 地域の人たちとなるべく関係を築く
● 近所の人同士で協力できる	● 日頃から多く交流する
● 困ってる人が少ない	● 人助けをする
● 近所の人と仲が良く、助け合いできるまち	● 交流の場をつくる
● 話しやすい	● 皆んなが皆んなを思い合う
● 誰も関係なく話し合えるように助け合える町	● 会話のできる場の確保
● 誰もが気楽に生きられて、地域の人たちと協力できるようなまちになったらいいなと思います	● 地域の人たちと積極的に会話したり助け合ったりするのが必要だと思います
● 誰でも安全安心して暮らせる町	● 挨拶をして明るくしたり、積極的にみんなでもボランティアをしてみんなとの絆を固めること
● 楽しいまち	● 交流
● 明るい町	● 交流の機会をつくる
● 明るい町	● 人との繋がり
● 明るい町	● 人との繋がり
● 明るい町	● 交流の機会をつくる
● 明るく楽しい	● みんな仲良くする
● みんな仲良く	● 関わる
● 安心な町	● みんなと関わる
● 互いに信頼できる町	● やっぱりみんなでも話を交わす場を設ける？
● 住民同士がまるで友達のような距離感がめちゃくちゃ近い地域	● 分からん

● より良い社会	● みんなが自立してやることでも時には協力し合うこと
● 過ごしやすい	● お互いを尊敬する
● 過ごしやすく安心できる街	● 一人一人が助け合う
● 誰でも安心して暮らせる	● 日頃から協力する
● 誰もが安心して暮らせるまち	
● 誰もが楽しく難なく過ごせる町	
● 子供が安心して生活できるまち ● 嫌な気持ちにならないまち	● 美化のボランティア
● みんなが住みやすいまち。	● みんなが気軽に来れるような場所。
● 住みやすい町	● 特になし
● みんなが無理せず気軽に住める街	● みんなが安心できる場所をつくる
● 学生が文武両道を集中してできる地域	● 石部図書館の中に飲食スペースを設ける ● 石部図書館の中に自習スペースを設ける
● 行きたいと思う図書館 ● 遊ぶ場所がある町	● 図書館に併設したカフェ
● 便利な交通網 ● 景観の良い、散歩したくなる街並み ● 出かけたくなる街 ● 治安の良い街	● 引きこもりや不登校の人たちなど大人や子ども関係なくみんなで運営 ● 歩道に街路樹を植える（植えてるのか植えてないのか中途半端な歩道が多いし、植えていてもきれいに整備されていない） ● 歩道にゴミ箱を設置（但し、景観を乱さないようなデザインのもの。「ここに捨てて」等のメッセージが日本語、ポルトガル語などで書かれた看板も設置） ● 外国文化に触れられるようなイベント ● 老人ホームや介護施設の利用者さんとの交流会 ● 人手不足で難しいと思うが、バスの本数増加 ● 国宝指定のお寺や他にも神社などがいっぱいあるので、若者に来てもらえるようなイベントをそこで開催する（提灯や灯籠で夜を美しくライトアップ、近くで夜市を開く、など？） ● 親水公園や市役所近くの図書館の隣の公園、じゅらくの里など比較的広い公園では週末にキッチンカーで飲食販売（キッチンカーは貸し出し、個人経営のケーキ屋さんやレストランに依頼する） ● まちづくりセンターで子どもが楽しめるイベント（お菓子作り、ビンゴ、鬼ごっこ、お化け屋敷など） ● 青春祭ではもっと模擬店などを開いたり、より青春感を出す意見発表も、もっと多くの人に聞いてもらえるような工夫をする（発表場所を変える、もっと大々的に楽しげに宣伝する、など。発表者は一生懸命発表するので、折角なら多くのひとの心に残ってほしいため、多くの人に聞いてほしい） ● どうすればよいか具体的なことは分からないが、不登校の人が多いためその人たちの居場所づくり（いけそうな人は土日、誰もいない学校で一緒に勉強するとか？学校が怖い人もいると思うので、まちづくりセンターでやる、或いはオンライン勉強会など？）
● 図書館が多いまち	
● 自転車で行ける距離に図書館がある	

● 私が住んでいるところは坂で、どう家に帰ろうとしても坂を登る必要がある為、高齢の方が大変そうなので、坂の上の地域の人達も楽に施設に行けるようになったら良いと思う。	● 坂の上の地域（ほうらいざかや岡田）などにもコンビニなどの買い物できるものとかが欲しい
● 誰もが気軽に過ごせる街	● ユニバーサルデザインをもっと取り入れる
● 高齢者も安心できる場所	● 介護施設
● 高齢になっても不便なく暮らせる町。	● 交通機関の整備と、商業施設や病院の増設
● 高齢者や外国人に優しい町	● スロープをつける
● 車椅子などが通れるような坂があって欲しい	● わからない
● 年寄りの人も障害がある人も安全に暮らせる町	● 階段に手すりをつける
● 高齢者や子供が生活しやすい街	● 公園などの公共の場をたくさん作る
● 子供や高齢者の方々が便利になるような街	● ショッピングモールなどの便利なる建物があると思う
● 子供も高齢の方も安心して暮らせる	● 道路やみんなで使う場所を使いやすくする
● 若者もお年寄りも楽しめる	● ない
● ご近所で子供も高齢者も仲良く暮らせる街になったらいいなと思います	● 誰でも楽しめる持続可能な遊び
● 子育て世代や高齢者が住みやすい地域	● 公立の保育園や市役所だけが固まって組織を作るんじゃなくて、もっと一緒にやったらいいと思う。
● 子供も高齢の人も楽しく生活できて楽しく過ごせる綺麗な公園がある街になったらいいなと思う	● 今ある公園のゴミを拾うとか、自治会で行われる草引きに積極的に参加する
● 賑やかな町	● 子供も大人も楽しめる場所を作る
● 若者も高齢者も全ての人が過ごしたいと思う町	● 若者のために映画館や遊べる場所などの人が集まる場所を作る ● 高齢者が運動できる場所を近くに作る
● 老若男女問わず気楽に過ごせるまち ● どんな人でも楽しく過ごせるまち	
● 全員がこのまちに住みたいと思うようなまち	● 高齢者も手軽に集まれる場所をつくったり、若い人が楽しめるような遊び場をつくったりする
● 少子高齢化のなかでも、若者が集まる町	
● 全員が笑顔で過ごせる日が1日でも多くなるまち	
● ご近所のみんなが仲良く過ごすまちになったらいいなと思う。	● 地域の自治活動を活発にすることが大切だと思う。
● みんなが過ごしやすい	● ご近所付き合い
● みんな仲がいい	● ご近所づきあいを増やす
● 誰とでも仲のいい町	● そういう機会を行事にする「地域の」
● 明るく楽しい	● みんな仲良くする
● 区別と差別を混同しない	
● 常識のある町 ● 外国人達に ● 障がいのある人ばかりが優先的になってるように思える、平等に考えてほしい	● 今すぐには思いつかないです
● 障がい者や高齢者、子供のみならずいろんな人が安心して暮らせるような街になってほしい	● 特に無し
● 誰も額がないように暮らせる街	● みんな平等に楽しく暮らせるようにする
● 差別をしないまち、思いやりがあるまち	● しっかりとその意識を持って生活する。
● 誰もが平等に、安心にくらせるまち	● まちづくりセンターの開館頻度や時間を増やす

● 外国の人などでも安心して暮らせる街を作って いったらいいと思う	● 店内のポスターや公共施設などに英語表記など を増やした方がいいと思う
● 年齢、国籍関係なく住みやすいまちになってほしい	● 翻訳されはかんばんなど
● いろんなひとを手伝うがいこくじんでも	● みんなで尊敬し合ってみんなを助け合う
● みんなが住みやすい街	● みんなが優しくて住みやすい街
● 協力し合える。 ● 環境がよくて綺麗な町。	● ゴミ拾いや掃除の活動。 ● 普段からしっかり挨拶をして話す。
● お互い分かり合えるまちがいい。	● 挨拶や、イベントをしたらいいと思う。
● 挨拶をする人が多いまち	● あいさつに関するイベントを企画する。
● あいさつしあえる	● あいさつ
● お互いに挨拶したり助け合ったりする優しい町	● 日頃から挨拶を心がける
● コミュニケーションのとれる	● 挨拶
● 住みやすくて楽しい	● 近所の人に積極的にあいさつをする
● みんなが挨拶をし合う	● あったら必ず挨拶をすること
● 挨拶でみんなが笑顔になる	● 出会った人に挨拶を快くする
● 街全体の雰囲気が良い	● すれ違ったらあいさつする
● 笑顔で挨拶できるまちになったらいい	● 自ら挨拶を心がける
● 仲が良い町	● 挨拶などを心がける
● 全員が笑顔なまちになったらいいなと思います。	● 毎日の挨拶を欠かさない。 ● まちをキレイに保つ。
● 住民同士がもっと仲良くなれるまち	
● 気軽に挨拶ができる	
● 挨拶ができる	● 声かけ
● 近所の人がたくさん挨拶が出来る	● ない
● みんなが気軽に仲良く過ごせるまち安心安全に 過ごせるまち	● お互いがお互いを尊重して挨拶を交わしたら仲 良くなると思う
● 挨拶の元気がいい	● 協力しよう
● みんなが気軽に仲良く明日ベル街	● 普段から仲良く接する
● みんなが気軽に話せる	● コミュニケーション
● みんなが暮らしやすくて助け合いができるよう な街	● 関わりやすい雰囲気
● 優しい町	● 交流
● 安全で楽しい町	● 安全に気軽に行ける所
● どんな人でも住みやすいまち	● 誰でもいきやすい施設
● 気軽に相談できる場所	● こんな感じの相談できる場所
● なんでも許してくれる	● 皆が広い心を持つ
● 誰もが安全に暮らせる街	● 誰もがルールを守って思いやりを持ちながら過 ごす
● 安全で安心できる	● みんなが人を大切に思い合うこと
● 気楽に自由に暮らすことができる街になって欲 しい	● 地域付き合いが楽になる
● 1人1人が安心して暮らせる	● 他人のことも考える
● 気軽に、居られること	
● 安全	● みんな助け合う
● 安全に誰もが楽しく過ごせるところ	● みんなが率先してボランティアや助ける系のや

	つをする
● 平和	● 協力する
● 平和	● みんなでどうゆうことをしたらいいか考える
● 平和になったらいいなと思います	● 人が集まるイベント
● 平和な町になったらいい	● みんなと楽しく付き合うこと
● 平和でみんなが仲良く	● 交流できる場やスポーツする場所をつくる
● 平和な街	● 事故とかをなくす
● 平和な街になって欲しい	● お互い助け合ったりしたらいいと思う
● no 犯罪	● 呼びかけ
● 犯罪がゼロの町	● 無い
● 犯罪がないまち	● 犯罪をしない
● 治安が良い	● わかりません
● 不審者や火災などの事が起きない街	● ないです。すみません
● 犯罪や怪しい人がない安全な町	● パトロール
● 不審者がいない	● 街にもうちょっとライトをつける
● 迷惑な人が少ない町	● ポスターで呼びかける
● 迷惑な人が少ない町	● ポスターで呼びかける
● どんな人も安心安全に住むことができる街	● 近くに交番や消防署などを設置する
● ボランティア活動や清掃活動が盛んな市安心して夕方などの暗い時に歩けるような市	● 街灯を増やす。少ない準備でボランティア活動が出来るように工夫する。公園や街灯の近くに小さいビニール袋なんかをゴミ袋としてそこに設置する。
● 安心に暮らせる町	● 街灯を増やす
● 街頭のある道を増やしてほしい	● 街頭をいっぱいつける
● 旧道などに街灯がもうちょっと欲しいです…！	● 特にない
● 公園が綺麗で広くて、ライトが多い。防犯カメラをつけて欲しい	● 頑張る
● 犯罪がなく、もう少し飲食店があるまち。	● 田んぼに街灯を設置する。
● 安全になったらいいな	● 信号がなければボランティアの人たちに立ってもらう
● 誰もが過ごしやすくと感じるまち	● 十字路などの危険な道に信号が欲しい
● みんなが安心して生活できる安全なまち	● パトロールを増やす
● 誰でも安心できる	● 防犯を強くする
● 気軽に住める。	● 防犯がしっかりしているかとかが必要だと思うので防犯カメラをつける。
● 安全	● 車通りが多いので子供達に注意喚起を行ったり、そういうポスターなどを貼り出す
● みんなが安心できて安全なとこにしたい	● 白線を見やすく塗り直したりする
● みんなが安全に暮らせる街	● 交通事故を減らす
● 娯楽施設がある ● 安全 ● 犯罪がない	● 道にガードレールを設置する ● 娯楽施設を建設する ● 教育を見直す
● 道路が割れてなくてタイヤが進みやすい道	● コンクリート
● 歩道のある道が多くなって欲しい	● 道を綺麗にする
● みんなが安全に暮らせる場所	
● 安全でみんなが安心できるようなまちになった	

らしいと思ういます。	
● 誰もが安全に楽しく暮らせるまち	
● 安全	● ない
● 安全に過ごせる	● 特になし
● 楽しい	● 特にありません
● 楽しい	● 特になし
● 楽しい	● なし
● 安全安心で元気に暮らせるまち	
● 過ごしやすく安全なまち	
● 楽しいまち	
● 楽しいまち	
● 楽しい町	
● 楽しい明るくなそる	
● 外国人の香水の匂いがキツく体調が悪くなるので最低限の使用を呼びかけて欲しい アンケートするのはいいけどそれを叶えたとわかりやすく市民にわかるようにして欲しい	● 駅に 16 などの情報を掲示する大きいモニターを設置する
● 安全に暮らせるまち	● 自然環境を整える
● イキリが消える	● 追放
● 嫌いな人がいない町	● 嫌いな人を殺せばいい
● 嫌な奴がいいひんとこ	● 思いやり
● やばい子供がいない町	● 学校がなんとかする
● いじめが無い町にしたい	● いじめになる元を作らないためには、例えば SNS でコメントする前にこれは投稿しても良いかなー？って考えて投稿しましょうって言いかける
● いじめをがない街	● 徹底的に排除する
● 定期的に中学生以下の子供や高齢者で森北公園（別の場所でもあり）に集まり、ポッチャのような誰でもできる遊びをして仲を深める行事があると障害者のコミュ力上げれるし人付き合いの仕方わかる	
● 観光、工場や農業など湖南省はこれ、これは湖南省…県内外に知って貰ってここに住みたいと思ってくれる町になったらいいなと思います 大人になってもふるさとで帰ってこれる場所であつたらいいなと思います	● 学校の授業でもっと自分たちの町に興味をもてる内容や授業の進め方にしたらどうですか ● 興味を持ったものは大きくなって覚えてる、ちょっとしたきっかけで体験したりして知る事が出来れば自分の気づきひとつで変わる事がある ● 色々な年代の意見を聞く事が大事だと思う
● こどもたちが過ごしやすいまち。	● こども同士の交流の場を設ける。
● みんなが過ごしやすい町	● 子供とかが楽しめる遊び場とか
● 夕方に、友達などと家の庭でスポーツをしても、「うるさい」という声が少なくなつたらいいと思う	
● 子供が楽しく暮らせるような街になってほしい。	● 公園や、広い遊び場があるといいと思う。
● こどもの健康が保たれるまち	● 公園を増やす
● 子供が遊びやすいようなもの	● こうえんをつくる
● もっと子供の遊ぶ場所があるところ	● たくさん頑張る
● 子供が遊べる場所がある街	● 遊ぶ場所を作る
● 子供が遊べる場所ができたなら良いなと思う	● アンケートなどをとってみる

● みんなが楽しく仲良くしていける町	● 遊び場所をもっと作ってみる
● 子どもの遊ぶ場所が近くにあり、気軽に行ける。 ● 人(近所の人、違う学校の人)との交流がある。	
● 子供たちだけが集まったり、大人だけが安心できる町	● みんなが協力する
● 子供が安心して楽しく暮らせる町	● 色々な施設を増やす
● 子供も大人も楽しく安心して暮らせる	
● 幅広い年代の人が安心して暮らせる	
● 楽しく安心できる町	● 遊ぶ場所を増やす ● 人と集まれる場所を増やす
● 町の人全員が安心して過ごせる町	● 町の人全員が安心して過ごせる施設を作る ● 例えば、誰とでも話せるカフェ
● 誰もが楽しく過ごせる町	● 公園や遊ぶ施設が欲しい
● 気持ちを分かち合える	● 集まって話し合う
● みんな気軽にすめ、楽しめる場所を作りたい。	● お金が必要。
● みんな気軽に過ごせる	● 募金活動
● みんなが楽しく遊べる場所	● 特にない
● 楽しいまち	● 遊び場
● 運動できる場所をたくさん増やす	● 土地を作る
● スポーツができるグラウンドを増やしたらいいと思う	● 広い公園を作る
● スポーツが気楽にできる	● もっと幅広い人たちにアンケートをする
● 運動をする人がたくさんいる町	● スポーツする施設を増やす
● スポーツやランニングが気軽にできる場所がいい	
● スポーツ場やカードゲーム屋	● 土地
● バスケができるところが欲しい	
● バasketゴールがあるバスケが気軽にできる	● バasketコートを作る
● 気軽に野球ができる施設	
● みんながワクワクできるような新鮮な遊び場が欲しいポケストップやジムを増やして欲しい…	● 芝のサッカーグラウンドを作ってほしい有料でもいいから
● みんなが幸せに楽しく生活できる街	● もうちょっとお店を増やしたりサッカーゴールがある場所を作って欲しい
● 雨風がしのげる遊び場がもっと欲しい	
● 自由に使える体育館	● 土地が必要
● 運動しやすい街	● 暗くても運動しやすいように街灯を付ける
● 歩いている人や自転車に乗っている人が光に反射するものを身に付けると、車に乗っている人が気づけるのでいいです ● 安心して遊べる公園があるといいです。壁が小さくて車や家にあたるから	● できるだけ公園の真ん中でポールで遊ぶ ● 反射剤をつけてくださいって書いている看板を設置する。
● 筋トレジムだらけのまち	● 国民から税金を奪いまくって税金で建てる ● そのかわり誰でも使用できるようにする
● ポケカ人口が多い	● ポケカ初心者(未経験者)の体験会
● お店が地域の近くにあったり若者が安心できる居場所が欲しい子供の安全のために施設とかをもっとちゃんとして欲しい	● ない。そのうち大人が考えるから
● コミュニティも充実していて、地域の人が安全に	● 若者の居場所

スポーツなどで触れ合えるまち	
● みんなが集まって楽しめる場所や若い人向けの施設が欲しい	● 色々な人の意見を聞く意見ボックス的なものが必要だと思う
● カフェやご飯処などお店がたくさんある活気あふれるまち	● 幅広い人が参加できるイベント（祭りなど）を企画する
● 湖南省にカフェや飲食店や本屋などがふえたらいいな	● 湖南省にカフェや飲食店や本屋などをふやしたらいいとおもう
● 飲食店がある ● アクセスが良い ● 駅、空港に近い	● 飲食店を建てる
● 運動がしやすく、買い物などの移動にあまり時間がかからない街	● 運動やできるスポーツの施設、コート、公園を増やす ● お店を増やす
● 過ごしやすい	● 店、公園、運動ができるところ
● 広い公園がある街 ● でかいスーパーがある街	● お金を集める ● みんなで協力する
● イオン映画館	● 特にない
● いっぱいのお店	● ない
● 楽しいまち	● お店などを作る
● 甲西以外にも、もう少し小売業や飲食業の店舗が増えて湖南省全域が賑やかになってほしい	● 販売店や飲食店への湖南省からの支援が必要だと思います
● エースクみたいな場所	● 建てる場所を確保する
● 便利な街	● 近くに飲食店やアウトレット、エースクエアなどが欲しい
● 近くにショッピングモールや、お店があるところ	● なし
● 電車でどこかへ行くしか遊べるような場所がないから近く買い物や遊べる場所ができたらいいな	● 広い空間を作る
● みんなが楽しめたりできる場所を作って欲しいです（イオンモールなど）お願いします！！	
● もう少し子供も遊べる室内のものがあつたらいい	● 他のショッピングモールとかを見る
● もう少し大きい商業施設があれば嬉しいです。	● 特にないです。
● みんなが楽しめるまち	● いろんな人の意見を聞いて楽しめる場所を作る
● でかいショッピングや本屋、ゲーセンが多い町	● 土地
● 子供が遊べる場所 ● ゲームセンター ● 遊園地 ● 都会な街	● 金
● ラウンドワンのような遊ぶ場所があるような場所になってほしい	● 大きい広場とかに、遊べるような建物を建てる。
● 学生も楽しくいろいろすることがあるまち	● もう少しショッピングセンターとかカラオケやゲームセンターなど放課後に楽しめる場所を作って欲しい。いつも思ってる。バスケットコートもないからバスケのできる場所も欲しい。もっと土地を有効活用して
● 遊び場とかショッピングモールがたくさんある	● お金を払う
● 友達と放課後や休みの時などに気軽に遊びに行ける場所がたくさんある	● お店を増やしてほしい！
● もっとショッピングや、ラウンドワンのような遊	

ぶ場所がほしい。	
● もっと遊ぶ場所や買い物できる場所増やして欲しい。	
● もっと遊ぶ場所を多くする	
● 遊ぶところがたくさんあるまち	
● 遊ぶ場所がふえる	
● 遊べる場所を増やす	
● 遊び場を増やして欲しい	
● 友達との交流して遊ぶ場	
● 公園がたくさんある街	
● 広い遊園地	● 国にたくさんお金を払う
● 遊園地のあるまち	● 遊園地
● 遊べる街	● 自由な発想
● 遊ぶところが多いところ	● 楽し雰囲気する
● 遊ぶ場所がちゃんとある場所になったらたらいいなと思う	● 偉い人になる
● 遊び場を作る ● 楽しめるところを作れる ● 猫とかが多いから動物の保護センターを作る	● 空気に支障がでるから少しだけ木を減らす
● もっと子供だけでも気軽に遊びに行けるショッピングモールや遊ぶ場所が増えたら良いと思う	● 今ある店などのルールをしっかりと守り良い地域にしていく。
● もっと過ごしやすくする。楽しめる場所を増やす。	● ショッピングできる場所をつくる。
● 生活に便利	● 生活に必要なものが売っている店を増やす
● 便利になってほしい	
● もっと近くに便利な商業施設がある ● なんでもある商業施設がある	● 特に思いつかない
● 商業施設を増やして欲しい	
● 施設を増やしてほしい	
● もっとお店が増えてほしい	● 税金
● みんなが仲良くて、いろいろなお店があるまち	● 空いている土地を買って、いろいろなお店(ショッピングモールやご飯屋さん)を増やす
● みんなが困らずに安全に生活できる町になったらいいと思う。	● 色々な年齢の人でも助かるショッピングセンターや遊び場があれば良いと思う。
● お店で賑やかになっていると良い	● 土地を増やす
● もっと遊び場があったらいいな	● 土地を広げる
● お店や遊び場があり不便のない町	● 山を削って土地を作ってお店や遊び場を作りたい
● 店を増やして欲しい	● 廃墟などのスペースを活用する
● 買い物できるところを増やしたい	● 分からない
● 買い物がしやすい街	● 商店街を作る
● 公園とか買い物できるところを増やす	● いらぬところを壊す
● 公園を増やす	● ない
● もう少しお店ができて欲しい	● 建物を建てる
● 大きな店がほしい	● ない
● 建物を増やす	● それにできる限りやり尽くす

● みんなが安心安全に楽しく過ごせる町	● 遊ぶ場所を増やしたり、声を掛け合ったりする
● 元気	● 遊び場やマーケットを増やして欲しい
● カラオケをつくってほしい	
● みんながみんなが安心して暮らせる場所	● ゲーセンや食べに行ける場所をもっと作る
● スタバが近くに欲しい ● お祭りを多くしたい ● 駄菓子屋さんが欲しい	● 土地を広くする
● セブンイレブンやアウトレットを多くしてほしい	
● コンビニがある	● コンビニかな？
● 岩根方面にコンビニなどを増やす	
● チェーン店がある	● ない
● みんなが安心する場所便利な街	● カフェなど作れば落ち着けたりする。
● もうちょっと遊べる場所が欲しいです！	
● もっと遊べる場所などを作る	● みんなが協力する
● もっと高校生以下の世代が遊べるような場所が増えたらいいと思う	● 特になし
● パチンコ屋だけではなくもう少し飲食店や本屋などを増やしてほしい	
● 安全で生活する上で不便な点がないまち	● パチンコの数が多いと思っているので、パチンコの店の数を減らす。 ● もっと外国人の受け入れ者数を制限して欲しい。
● 活発なまち	● 子育て支援の拡充 ● 商業施設（パチンコ屋とかじゃなくて、飲食店とか増やしてほしい） ● 交通整備
● 大きい公園	● 技術
● みんながのびのびと暮らせる街	● 広い公園があればいいと思う
● いろんなお店や公園などが増えると更にいいと思う	
● 公園が多くて子供が安心安全に遊べたらいいと思う	
● 工場が多すぎる。もっと子供が外に出て活発になれるような施設は必要だと思う	
● 子供から高齢者まで住みやすく違う地域の人もここに住みたいと思えるような街	● スーパーをつくる ● 工場を減らす ● 道の整備（特に歩行者や自転車が通る場所）
● ショッピングできるところやや駅が近くにある遊びやすく楽しいまち ● 背が高い木が植えてあったり屋根がある机と椅子あるめっちゃくちゃ大きい公園	● 土地を確保する
● 交通が発達してほしい ● 子供が安全に遊べる場所を作る	
● もうちょっと便利になってほしい	
● もっと便利な街	
● 不自由なく暮らせるまち	
● どの家からでもアクセスがいい施設があったらいいと思う	● 空き地を有効活用する
● 湖南市全域でどこにでもいきやすいように公共	● 募金や協力

交通機関を増やす	
● いろいろな建物があったり、駅が近くになるある便利なまち	● 駅を作る
● 新幹線が通る都会	● 偉い人頑張ってる
● アクセスがいい街	● 電車を通る場所を作る
● 交通の便をよくしてほしい	● 電車多くしてほしい
● 駅がある街	● 線路を引くのであれば土地があるので地主の方や企業との相談が必要
● 湖南市以外の市に行きやすい町	● 駅
● 駅を作って欲しい	
● 家から駅が近い	
● もっと鉄道を使えるまち	● 本数を増やすために収入源を作る
● 交通の便が良いこと	● 電車の本数を増やす
● 交通の便がよくなること。	● バスや電車の本数を増やして、例えばバスはイオンにどこのバス停からも行けるなしてほしい。
● 草津までいつでも行けて自然豊か	● 電車の本数や草津まで行ける公共のバスを多くする
● 草津線活発化	
● バスの本数、電車の本数が増えて欲しい	
● バス停が近くにあるバスが多い	
● 交通の弁が良い街	● バスを毎時3、4本にする
● みんなが住みやすいと思えるまちになれば良いなと思います。	● 駅までのバスの本数を増やす(学校の終わる時間や完全下校後のバスがないから)もっとこどもや中高生が遊べたりする場所を増やす
● めぐるくんの朝の本数を増やして欲しい通勤通学の人が多くとても混雑してます	
● 交通に不憫のないまち	
● 交通網が便利になってほしい	
● 針などの方向に行きやすいような交通	● もっと明るく ● 祭りなど
● 公共機関が増えて欲しい	● アンケート
● もっと公共交通機関を増やしてほしい	● わからない
● 最寄り駅に行くのが楽、便利。	● バスなどの公共交通機関を増やす。
● もっと甲西駅へのバスが増えてほしい	● バスを利用する人数を増やすこと。また、バスを利用する高校生(学生)は、親に送り迎えをしてもらえない時が多いので、平日はそれぞれの学校への行き方があるので、平日ではなく土日のバスが平日と同じくらいあると嬉しい。特にテスト期間中は塾に行くためなどで利用するのでテスト期間中の土日の朝だけでも平日と同じ時間のバスがあるととても助かります。
● 都会になったらいいな	● 国から金支給してもらおう
● 都会があったらいいなと思う	● 未来とかで人が住みやすい街にしたい
● 都会な街	● お店とか若い人が好きそうなところを増やして都会にする
● 都会な街	● たすけあい
● 都会な街	● 店を増やす
● 都会	● ショッピングモールを作る

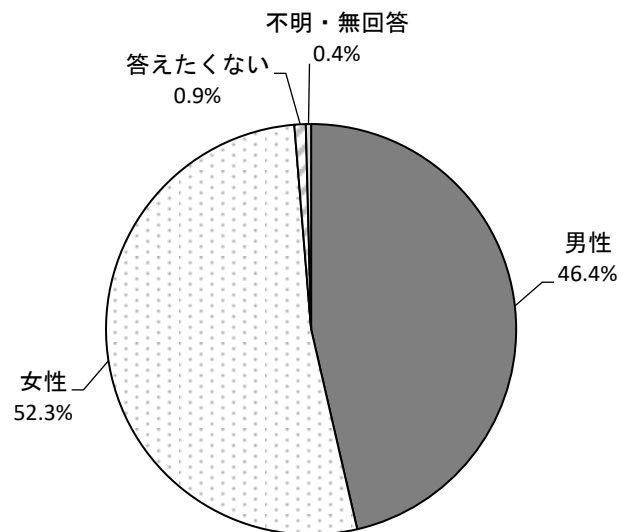
● 都会	● 税金無くす
● 東京のような大都市	● 大企業を誘致し人口を増加させること
● 都会すぎず、田舎すぎない街になったらいいな	● 千円以下で遊べるカラオケがあったら嬉しい
● 田舎じゃなくなる	● お金
● 田舎だけど優しい人がいっぱいいるし遊べるところもあるところがいいと思う	● 募金を少しずつしてお金を渡す。
● 滋賀に観光客が来るようになる	● 滋賀県にテーマパークを誘致する
● 町がきれいで美しく日本各地から人が来るような町の名物を作る ● どこにもないような博物館や図書館などそして岩根に広い田んぼがあるのでそこをなどを活かしたら良いと思います	● 菩提寺、石部、三雲、岩根、下田、水戸などをこうせいのようにしたらいいとおもう
● 猫と押しキャラが有名な町になり、地域の活性につながればいいな	● 石部駅をもっと効率的に活用すればいいかと思う。
● もう少し物価を安くして欲しい	
● みんなが快適に暮らせる	● みんなの意見を聞く
● みんなが同じぐらい楽しめる。	● 幅広い年齢の人にアンケートを取り、無いものを取り入れていく。
● 市民たちの悩みなどをしっかりと聞き、取り入れる湖南市になってほしい。	● いろんな人にどんな悩みがありますか？などのアンケートをとったらいいと思う。
● 大きな商業施設があって色んな人が集まる場所があるようなまち ● 若者から高齢者のニーズに応えたまち	● まちに必要なもののアンケートをとり、地域の人々の力も借りつつ必要なものをつくっていく
● 全ての年代の人が、自由に体を動かせる町	● ポスターや、アンケートなどを市などに提供して、意見を聞く
● もっと楽に生活が送れる	● 住民の意見を聞く
● 何も、求めなくなる事	● 積極的に意見を募集する
● 町内会をなくしてほしい	
● 勉強をしなくていいこと	

### Ⅲ 市民アンケート調査結果

#### 1. 回答者について

問1 あなたの性別は。(○は1つ)

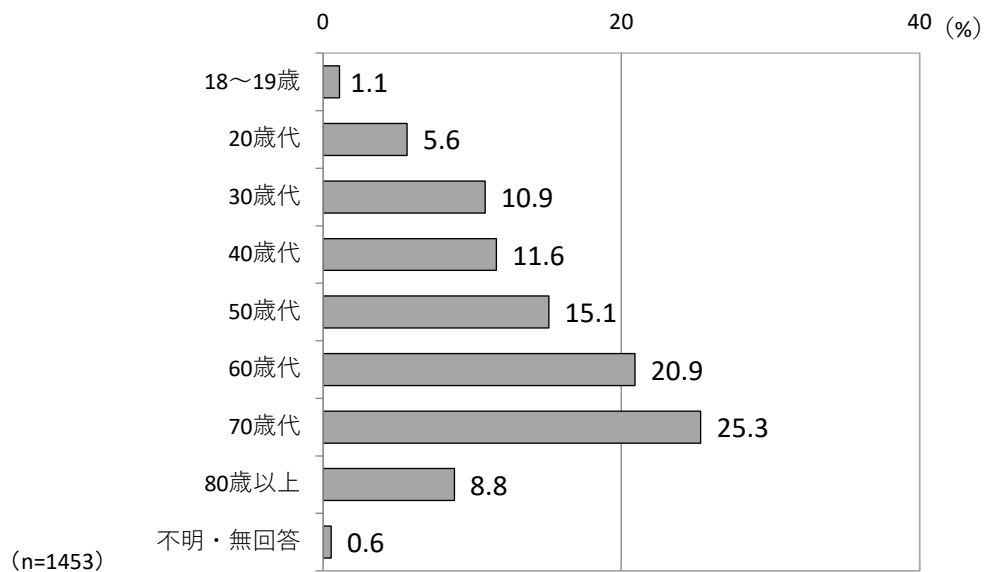
性別について、「女性」が52.3%と最も高く、次いで「男性」が46.4%、「答えたくない」が0.9%、「不明・無回答」が0.4%となっています。



(n=1453)

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

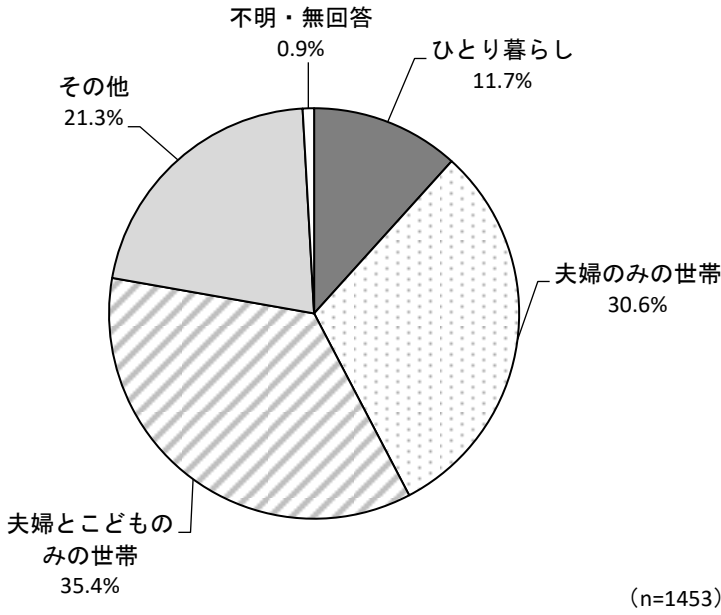
年齢について、「70歳代」が25.3%と最も高く、次いで「60歳代」が20.9%、「50歳代」が15.1%となっています。



(n=1453)

問3 あなたの家族構成は。(○は1つ)

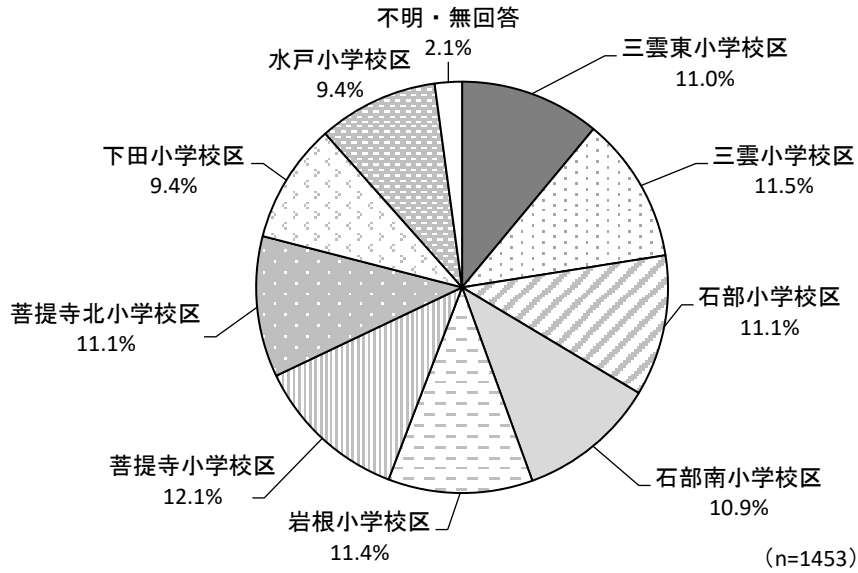
家族構成について、「夫婦とこどものみの世帯」が35.4%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が30.6%、「その他」が21.3%となっています。



その他回答		件数
● 親とこどもの世帯（両親とこども、母子家庭、父子家庭、親子以外の同居者がいる家庭を含む）		92
● 夫婦とこども、その親の世帯（3世代以外の同居者がいる家庭を含む）		70
● 夫婦とその親の世帯		26
● 施設等の入居		5
● その他		31

問4 お住まいの行政区は。(〇は1つ)

行政区について、小学校区別にみると、以下のようになっています。  
 地区別の年齢構成をみると、いずれの小学校区においても、「70歳代」が最も高くなっています。



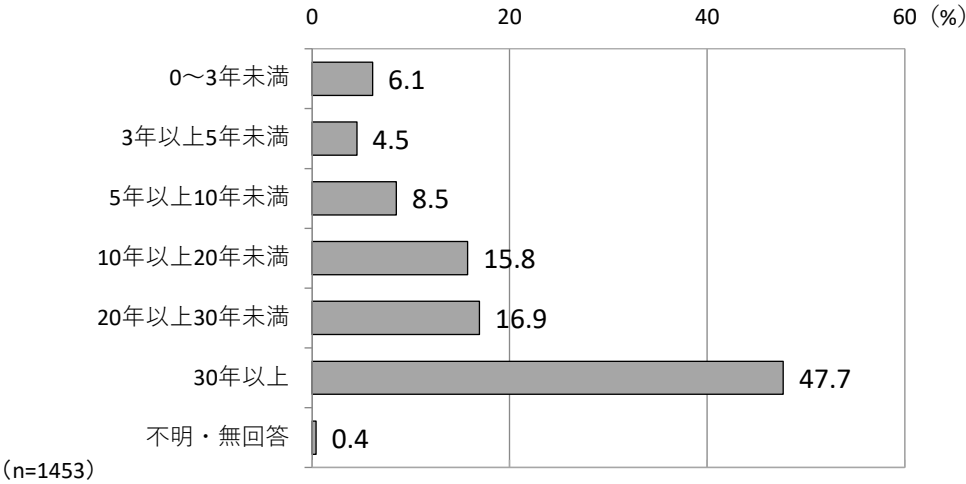
【年齢構成】

(%)	合計	18 ~ 19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	不明・無回答
全体	1453	1.1	5.6	10.9	11.6	15.1	20.9	25.3	8.8	0.6
三雲東小学校区	160	0.6	8.1	8.1	11.9	13.8	21.9	26.3	9.4	0.0
三雲小学校区	167	1.2	6.0	7.8	14.4	15.0	21.6	23.4	10.2	0.6
石部小学校区	161	0.6	6.8	12.4	13.0	12.4	18.0	28.6	8.1	0.0
石部南小学校区	158	0.6	5.7	10.8	13.3	13.3	22.8	23.4	10.1	0.0
岩根小学校区	165	0.0	6.7	10.9	12.7	15.2	21.8	25.5	6.7	0.6
菩提寺小学校区	176	1.7	4.0	14.2	10.8	13.6	21.0	24.4	10.2	0.0
菩提寺北小学校区	161	1.2	3.7	12.4	8.1	18.6	19.9	26.7	9.3	0.0
下田小学校区	137	1.5	7.3	9.5	8.0	15.3	21.2	27.0	10.2	0.0
水戸小学校区	137	2.9	2.9	10.9	11.7	17.5	21.2	26.3	6.6	0.0

問5 現在のお住まいに、何年住んでいますか。(〇は1つ)

現在の住まいに住んでいる年数について、「30年以上」が47.7%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」が16.9%、「10年以上20年未満」が15.8%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、40歳代において「10年以上20年未満」、20歳代において「20年以上30年未満」、30歳代において「5年以上10年未満」、それ以外の年代において「30年以上」が最も高くなっています。



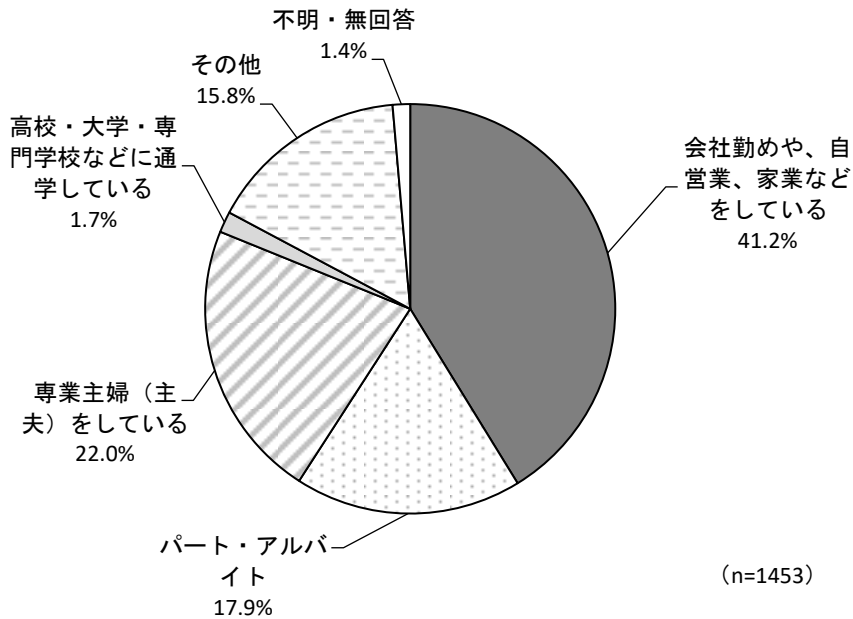
【年齢別クロス】

(%)	合計	0 ～ 3 年 未 満	3 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上 3 0 年 未 満	3 0 年 以 上	不明・ 無回答
全体	1453	6.1	4.5	8.5	15.8	16.9	47.7	0.4
18～19歳	16	0.0	6.3	6.3	81.3	0.0	6.3	0.0
20歳代	82	29.3	8.5	3.7	12.2	43.9	2.4	0.0
30歳代	158	22.8	14.6	28.5	12.7	6.3	15.2	0.0
40歳代	169	5.3	7.7	20.7	41.4	13.6	11.2	0.0
50歳代	220	3.6	2.3	5.0	29.5	35.5	24.1	0.0
60歳代	304	2.3	3.6	4.9	8.2	16.8	63.8	0.3
70歳代	368	1.1	1.1	2.7	5.7	9.2	79.1	1.1
80歳以上	128	0.8	1.6	2.3	2.3	10.2	82.8	0.0

問6 平日の日中の主な過ごし方は。(〇は1つ)

平日の日中の主な過ごし方について、「会社勤めや、自営業、家業などを行っている」が41.2%と最も高く、次いで「専業主婦（主夫）をしている」が22.0%、「パート・アルバイト」が17.9%となっています。

年齢別にみると、18～19歳において「高校・大学・専門学校などに通学している」、70歳代、80歳以上において、「専業主婦（主夫）をしている」、それ以外の年代において「会社勤めや、自営業、家業などを行っている」が最も高くなっています。



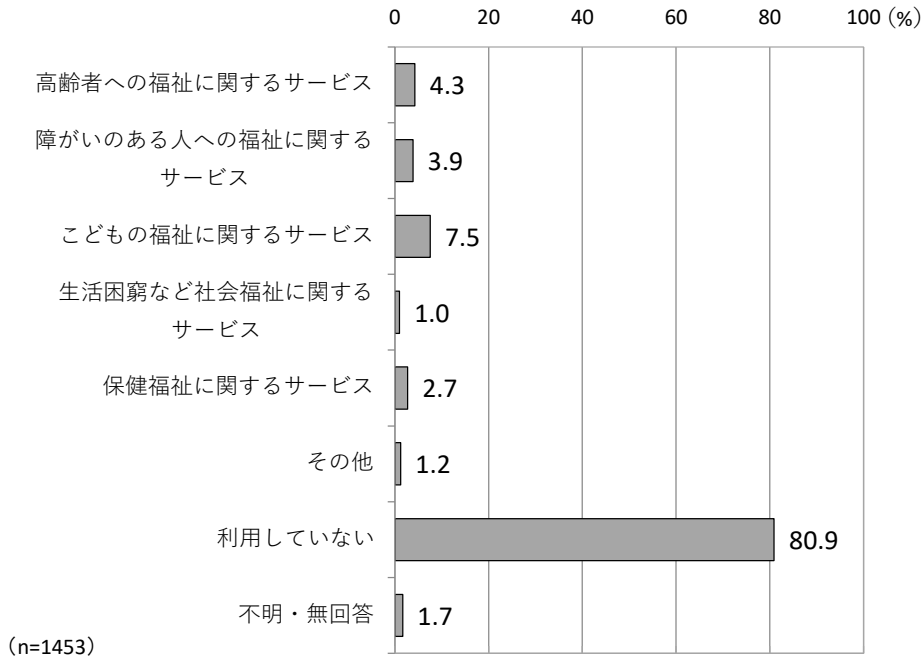
その他回答	件数
● 家事や趣味、ボランティア活動など	54
● 不定期就労、育休、休職、求職中など	32
● 無職	27
● 年金生活	13
● 療養中	10
● 施設に入所	4
● 介護・看護	3
● その他	3

【年齢別クロス】

(%)	合計	会社勤めや、 家業などを している	パート・ アルバイト	専業主婦（主夫） を している	高校・大学・ 専門学校 などに通学 している	その他	不明・ 無回答
全体	1453	41.2	17.9	22.0	1.7	15.8	1.4
18～19歳	16	12.5	12.5	0.0	75.0	0.0	0.0
20歳代	82	68.3	8.5	4.9	13.4	4.9	0.0
30歳代	158	69.6	15.2	8.2	0.6	5.7	0.6
40歳代	169	60.9	27.2	7.1	0.0	3.6	1.2
50歳代	220	68.6	20.9	6.4	0.0	3.2	0.9
60歳代	304	40.1	30.6	20.7	0.0	7.6	1.0
70歳代	368	11.1	10.6	41.0	0.0	35.9	1.4
80歳以上	128	9.4	1.6	47.7	0.0	36.7	4.7

問7 あなたは現在、福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

現在、利用している福祉サービスについて、「利用していない」が80.9%と最も高く、次いで「こどもの福祉に関するサービス」が7.5%、「高齢者への福祉に関するサービス」が4.3%となっています。年齢別にみると、すべての年代で「利用していない」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

(%)	合計	高齢者への福祉に関するサービス	障がいのある人への福祉に関するサービス	こどもの福祉に関するサービス	生活困窮など社会福祉に関するサービス	保健福祉に関するサービス	その他	利用していない	不明・無回答
全体	1453	4.3	3.9	7.5	1.0	2.7	1.2	80.9	1.7
18～19歳	16	6.3	0.0	31.3	0.0	12.5	0.0	68.8	0.0
20歳代	82	1.2	2.4	9.8	0.0	2.4	0.0	85.4	0.0
30歳代	158	2.5	1.9	31.0	0.0	3.8	1.9	61.4	1.3
40歳代	169	0.0	7.7	19.5	0.6	1.8	1.2	72.2	1.2
50歳代	220	4.1	5.5	5.0	1.4	3.2	0.0	82.7	1.4
60歳代	304	3.9	3.6	0.7	1.0	1.3	1.3	88.2	1.3
70歳代	368	4.1	2.2	0.3	1.9	2.2	1.9	88.0	1.9
80歳以上	128	15.6	5.5	0.0	0.0	4.7	1.6	75.0	3.9

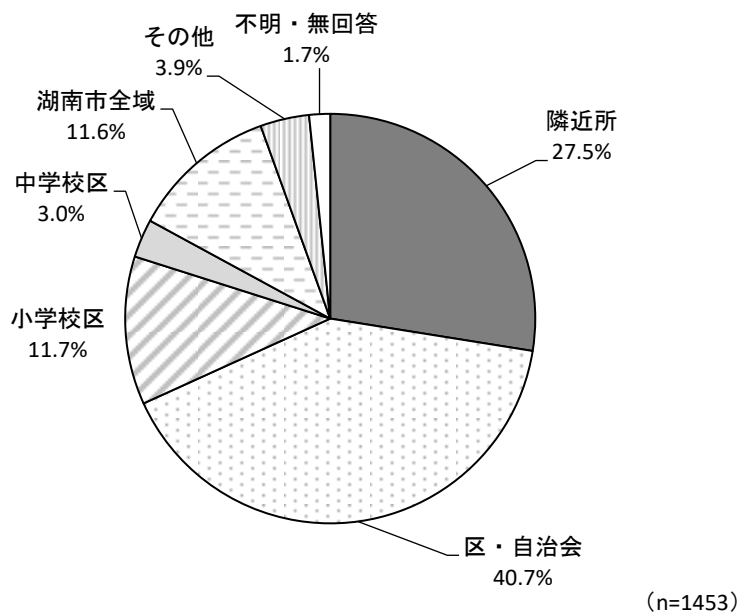
## 2. 地域での暮らしについて

問8 あなたが最も身近に感じる「地域」の範囲を教えてください。(〇は1つ)

最も身近に感じる「地域」の範囲について「区・自治会」が40.7%と最も高く、次いで「隣近所」が27.5%、「小学校区」が11.7%となっています。

年齢別にみると、30歳代において「小学校区」、それ以外の年代で「区・自治会」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、石部小学校区、石部南小学校区で「隣近所」、それ以外の地区で「区・自治会」が最も高くなっています。



### 【年齢別クロス】

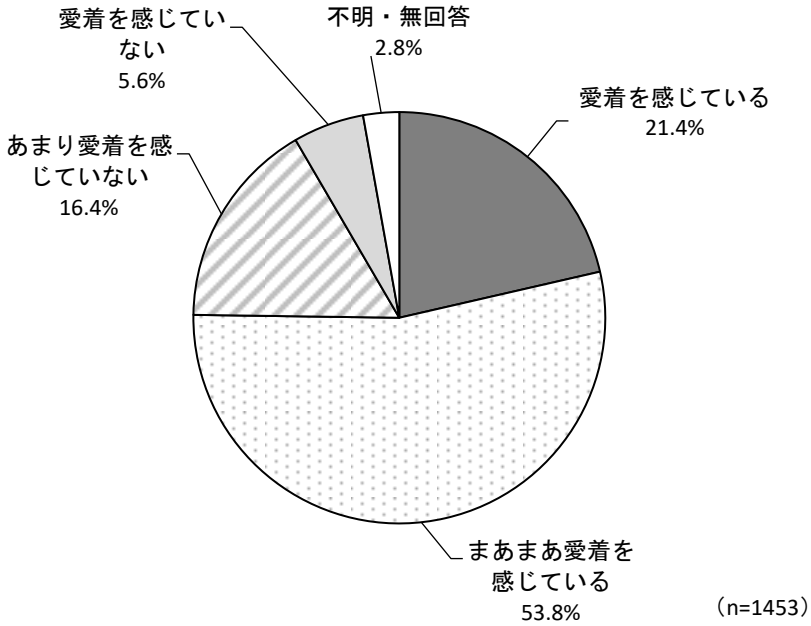
(%)	合計	隣近所	区・自治会	小学校区	中学校区	湖南省全域	その他	不明・無回答
全体	1453	27.5	40.7	11.7	3.0	11.6	3.9	1.7
18～19歳	16	12.5	37.5	12.5	31.3	6.3	0.0	0.0
20歳代	82	28.0	29.3	14.6	9.8	11.0	7.3	0.0
30歳代	158	15.8	28.5	29.7	5.1	13.9	5.7	1.3
40歳代	169	23.1	32.0	26.6	1.2	11.8	3.6	1.8
50歳代	220	25.9	41.8	8.6	4.1	14.5	4.1	0.9
60歳代	304	30.3	44.7	5.6	2.3	12.2	3.6	1.3
70歳代	368	31.0	46.7	6.0	0.8	9.8	2.7	3.0
80歳以上	128	35.9	44.5	4.7	1.6	8.6	3.9	0.8

【小学校区別クロス】

(%)	合計	隣近所	区・自治会	小学校区	中学校区	湖南市全域	その他	不明・無回答
全体	1453	27.5	40.7	11.7	3.0	11.6	3.9	1.7
三雲東小学校区	160	29.4	44.4	5.6	2.5	10.6	6.9	0.6
三雲小学校区	167	31.7	40.7	4.8	4.8	14.4	3.0	0.6
石部小学校区	161	29.8	29.2	17.4	3.1	13.0	5.6	1.9
石部南小学校区	158	29.7	29.1	12.7	5.7	10.1	8.2	4.4
岩根小学校区	165	21.8	44.8	12.1	3.0	17.6	0.6	0.0
菩提寺小学校区	176	23.9	48.3	11.9	1.1	9.7	4.5	0.6
菩提寺北小学校区	161	23.6	47.8	13.0	1.2	11.2	1.2	1.9
下田小学校区	137	31.4	40.9	13.9	1.5	8.0	2.2	2.2
水戸小学校区	137	26.3	45.3	16.1	3.6	8.0	0.7	0.0

問9 問8で回答された「地域」の範囲についてご回答ください。あなたが現在お住まいの地域について、愛着はありますか。(〇は1つ)

現在住んでいる地域について、愛着があるかについて、「まあまあ愛着を感じている」が53.8%と最も高く、次いで「愛着を感じている」が21.4%、「あまり愛着を感じていない」が16.4%となっている。年齢別にみると、すべての年代で「まあまあ愛着を感じている」が最も高くなっています。小学校区別にみると、すべての地区で「まあまあ愛着を感じている」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

(%)	合計	愛着を感じる	まあまあ愛着を感じる	あまり愛着を感じない	愛着を感じていない	不明・無回答
全体	1453	21.4	53.8	16.4	5.6	2.8
18～19歳	16	6.3	62.5	31.3	0.0	0.0
20歳代	82	20.7	43.9	22.0	12.2	1.2
30歳代	158	22.8	51.9	18.4	4.4	2.5
40歳代	169	14.8	52.1	21.3	8.9	3.0
50歳代	220	13.2	57.7	18.6	9.1	1.4
60歳代	304	18.4	55.6	17.4	4.9	3.6
70歳代	368	27.4	53.5	12.2	3.3	3.5
80歳以上	128	34.4	52.3	8.6	1.6	3.1

【小学校区別クロス】

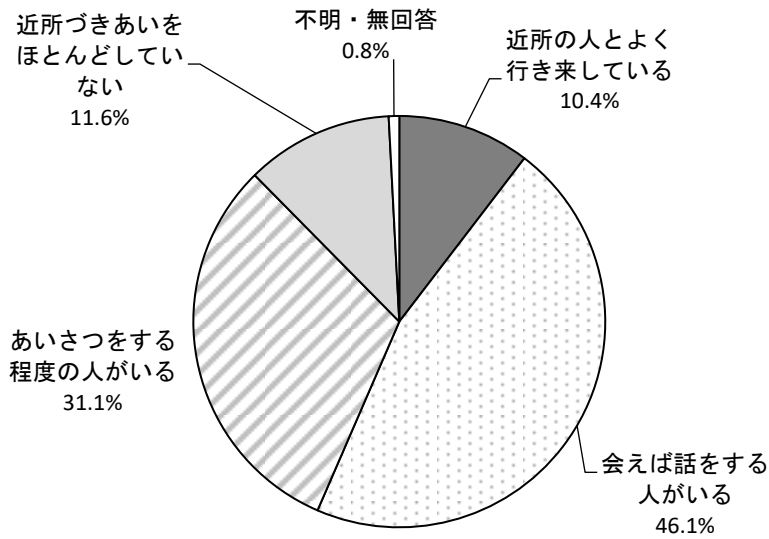
(%)	合計	愛着を感じている	まあまあ愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	愛着を感じていない	不明・無回答
全体	1453	21.4	53.8	16.4	5.6	2.8
三雲東小学校区	160	20.0	50.6	16.9	10.6	1.9
三雲小学校区	167	18.6	54.5	19.8	4.2	3.0
石部小学校区	161	24.8	49.1	16.8	6.8	2.5
石部南小学校区	158	17.7	51.9	16.5	6.3	7.6
岩根小学校区	165	29.7	46.7	17.6	4.8	1.2
菩提寺小学校区	176	21.0	57.4	14.8	4.0	2.8
菩提寺北小学校区	161	18.6	62.7	11.8	4.3	2.5
下田小学校区	137	24.8	51.8	16.8	3.6	2.9
水戸小学校区	137	16.8	59.9	18.2	4.4	0.7

問10 あなたと近所の人との関係は次のどれに近いですか。(○は1つ)

近所の人との関係について、「会えば話をする人がいる」が46.1%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がある」が31.1%、「近所づきあいをほとんどしていない」が11.6%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳において「会えば話をする人がいる」と「あいさつをする程度の人がある」が最も高くなっており、20歳代、30歳代、40歳代において「あいさつをする程度の人がある」が最も高くなっています。また、それ以外の年代において「会えば話をする人がいる」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、石部南小学校区で「あいさつをする程度の人がある」、それ以外の地区で「会えば話をする人がいる」が最も高くなっています。



(n=1453)

【年齢別クロス】

(%)	合計	近所の人とよく行き来している	会えば話をする人がいる	あいさつをする程度の人がある	近所づきあいをほとんどしていない	不明・無回答
全体	1453	10.4	46.1	31.1	11.6	0.8
18～19歳	16	6.3	37.5	37.5	18.8	0.0
20歳代	82	3.7	17.1	41.5	37.8	0.0
30歳代	158	0.6	34.8	43.0	20.9	0.6
40歳代	169	4.1	34.9	42.6	16.0	2.4
50歳代	220	2.3	43.2	40.0	14.1	0.5
60歳代	304	10.9	55.3	25.7	7.9	0.3
70歳代	368	17.9	54.3	22.6	3.8	1.4
80歳以上	128	26.6	52.3	17.2	3.9	0.0

【小学校区別クロス】

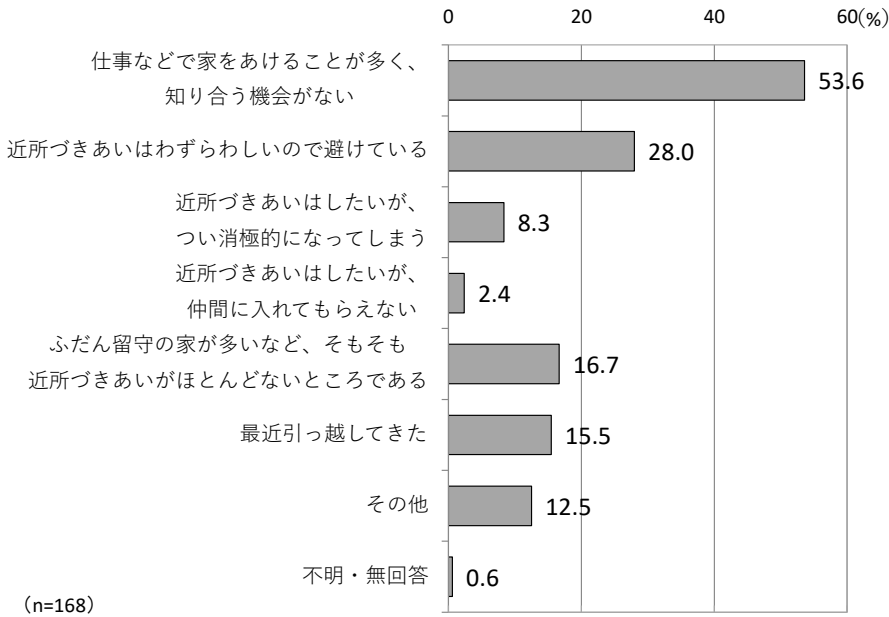
(%)	合計	近 所 の 人 と よ く 行 き 来 し て い る	会 え ば 話 を す る 人 が い る	あ い さ つ を す る 程 度 の 人 が い る	と 近 所 づ き あ い な い ほ ん ど し て い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	1453	10.4	46.1	31.1	11.6	0.8
三雲東小学校区	160	9.4	44.4	30.0	16.3	0.0
三雲小学校区	167	9.6	50.3	29.3	10.2	0.6
石部小学校区	161	12.4	38.5	34.2	14.3	0.6
石部南小学校区	158	10.1	35.4	39.2	11.4	3.8
岩根小学校区	165	11.5	52.7	23.6	12.1	0.0
菩提寺小学校区	176	11.4	45.5	32.4	10.8	0.0
菩提寺北小学校区	161	8.7	49.7	32.3	8.7	0.6
下田小学校区	137	14.6	48.9	26.3	8.8	1.5
水戸小学校区	137	6.6	51.8	32.1	9.5	0.0

問 1 1 問 10 で「4 近所づきあいをほとんどしていない」を選んだ方におうかがいします。あまり近所づきあいをしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

あまり近所づきあいをしていない理由について、「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」が 53.6%と最も高く、次いで「近所づきあいはわずらわしいので避けている」が 28.0%、「ふだん留守の家が多いなど、そもそも近所づきあいがほとんどないところである」が 16.7%となっています。

年齢別にみると、20～50 歳代までにおいては、「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」、また、60 歳代以降において「近所づきあいはわずらわしいので避けている」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、いずれの小学校区においても「仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない」が最も高くなっています。



その他回答	
● 隣人が入墨を入れているから	● 人と関わることができない
● 田舎気質で排他的な連中が多い。	● 人と話すのが苦手
● 距離感が分からない…接し方が分からない	● 歩行困難
● 生活保護故アパート生活交流はなし	● 認知症で外出には車イス使用する
● 会う用事がない。コミティもない	
● 昔、嫌なことを言われた、喧嘩になりそうになった	
● 家にはいるが、知り合う機会がない	
● 地元民ではないし、賃貸住みのため他者と関わることもない	
● 子供も無かったので、親しく付き合うの人は、有りませんでした。	
● 自治会に入らない地域で、子供もいないので知り合う機会もない。	
● 周辺には新しく引っ越して来た方は多いが挨拶する事もないし、あまり関わって欲しくない様な感じの方が多く様な気がする。	
● 毎日丸一日すべき事が有り退屈していない。特に近所づき合いをする必要もない。自治会の清掃で顔合わせた時会話をする程度	
● 道路で子供を遊ばせて車側があぶない目にあっているの、そのような親たち(大人)とは関わりたくない	

い。注意してほしい。

【年齢別クロス】

(%)	合計	仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない	近所づきあいはずらわしいので避けている	近所づきあいはしたいが、つい消極的になってしまう	近所づきあいはしたいが、仲間に入れてもらえない	ほとんどないところである	ふだん留守の家が多いなど、そもそも近所づきあいがほとんどないところである	最近引越してきた	その他	不明・無回答
全体	168	53.6	28.0	8.3	2.4	16.7	15.5	12.5	0.6	
18～19歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
20歳代	31	67.7	16.1	6.5	3.2	16.1	35.5	6.5	0.0	
30歳代	33	72.7	21.2	3.0	3.0	9.1	27.3	12.1	0.0	
40歳代	27	55.6	37.0	18.5	7.4	14.8	7.4	11.1	0.0	
50歳代	31	61.3	32.3	9.7	0.0	16.1	3.2	16.1	0.0	
60歳代	24	29.2	33.3	4.2	0.0	25.0	8.3	4.2	4.2	
70歳代	14	21.4	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	21.4	0.0	
80歳以上	5	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	

【小学校区別クロス】

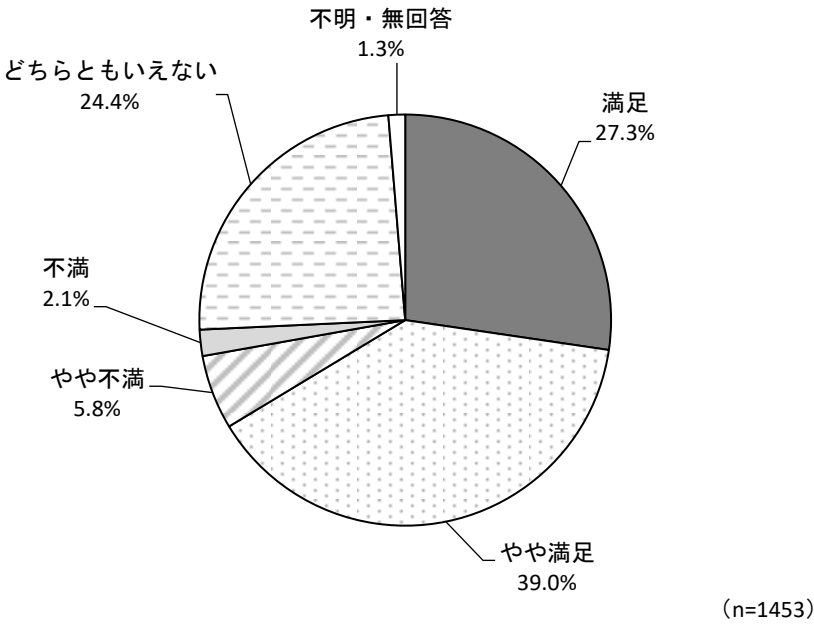
(%)	合計	仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない	近所づきあいはずらわしいので避けている	近所づきあいはしたいが、つい消極的になってしまう	近所づきあいはしたいが、仲間に入れてもらえない	ほとんどないところである	ふだん留守の家が多いなど、そもそも近所づきあいがほとんどないところである	最近引越してきた	その他	不明・無回答
全体	168	53.6	28.0	8.3	2.4	16.7	15.5	12.5	0.6	
三雲東小学校区	26	61.5	23.1	11.5	3.8	11.5	11.5	15.4	0.0	
三雲小学校区	17	52.9	23.5	11.8	5.9	11.8	29.4	17.6	5.9	
石部小学校区	23	60.9	21.7	4.3	4.3	30.4	21.7	0.0	0.0	
石部南小学校区	18	55.6	38.9	16.7	0.0	27.8	5.6	16.7	0.0	
岩根小学校区	20	45.0	35.0	5.0	5.0	15.0	10.0	10.0	0.0	
菩提寺小学校区	19	42.1	15.8	21.1	0.0	15.8	15.8	10.5	0.0	
菩提寺北小学校区	14	42.9	21.4	0.0	0.0	21.4	7.1	28.6	0.0	
下田小学校区	12	66.7	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3	0.0	
水戸小学校区	13	61.5	38.5	0.0	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	

問 1 2 あなたは現在のご近所でのつきあいに満足していますか。(○は1つ)

現在のご近所でのつきあいに満足しているかどうかについて、「やや満足」が 39.0%と最も高く、次いで「満足」が 27.3%、「どちらともいえない」が 24.4%となっています。

年齢別にみると、20 歳代において「やや満足」と「どちらともいえない」が最も高くなっており、それ以外の年代で「やや満足」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、すべての地区で「やや満足」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

(%)	合計	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらともいえない	不明・無回答
全体	1453	27.3	39.0	5.8	2.1	24.4	1.3
18～19歳	16	12.5	62.5	0.0	0.0	25.0	0.0
20歳代	82	26.8	32.9	2.4	4.9	32.9	0.0
30歳代	158	34.2	36.7	5.7	1.9	21.5	0.0
40歳代	169	22.5	36.7	9.5	4.7	24.3	2.4
50歳代	220	27.7	37.3	5.9	0.5	28.2	0.5
60歳代	304	28.0	41.4	5.3	1.6	22.7	1.0
70歳代	368	25.8	41.6	4.3	2.4	23.6	2.2
80歳以上	128	30.5	35.2	10.2	0.0	21.9	2.3

【小学校区別クロス】

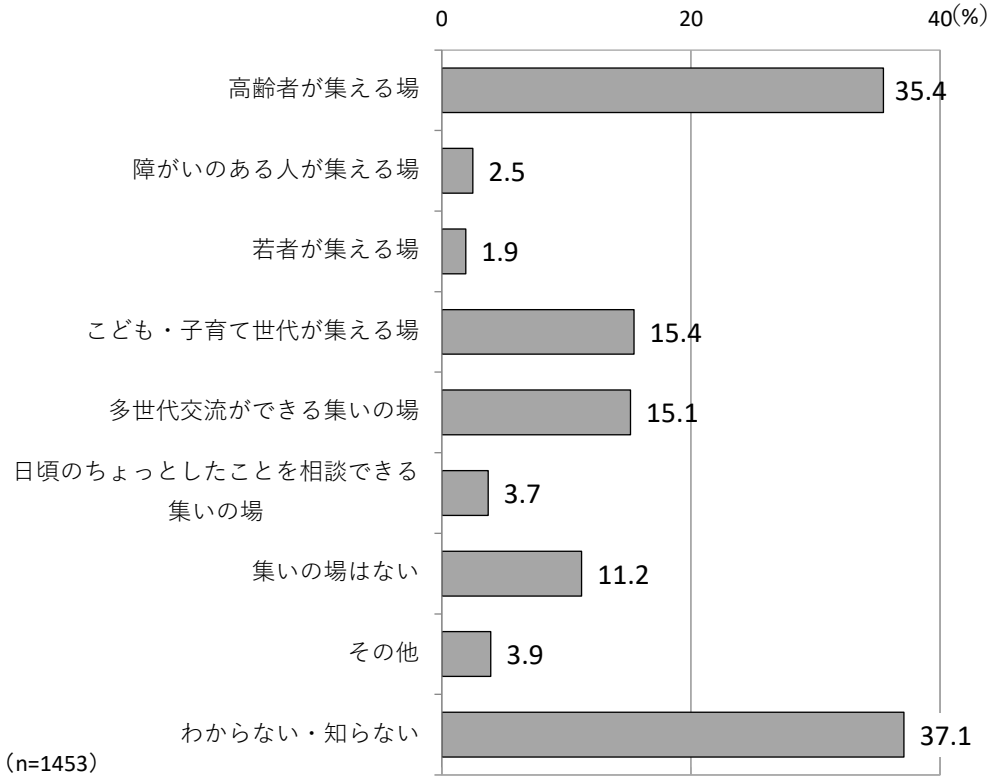
(%)	合計	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いえない	不明・無回答
全体	1453	27.3	39.0	5.8	2.1	24.4	1.3
三雲東小学校区	160	25.6	33.8	7.5	1.9	30.6	0.6
三雲小学校区	167	27.5	34.7	9.6	1.8	24.6	1.8
石部小学校区	161	28.6	31.7	7.5	1.9	29.8	0.6
石部南小学校区	158	20.3	42.4	5.7	1.3	25.3	5.1
岩根小学校区	165	32.7	35.8	4.8	1.8	24.8	0.0
菩提寺小学校区	176	29.5	42.0	5.1	1.1	22.2	0.0
菩提寺北小学校区	161	26.1	46.0	5.0	2.5	19.9	0.6
下田小学校区	137	32.8	39.4	3.6	3.6	18.2	2.2
水戸小学校区	137	23.4	48.9	4.4	1.5	21.2	0.7

問13 あなたがお住まいの地域には、どのような集いの場や居場所、交流の場等がありますか。(〇はいくつでも)

地域にある集いの場や居場所、交流の場等について、「わからない・知らない」が37.1%と最も高く、次いで「高齢者が集える場」が35.4%、「子ども・子育て世代が集える場」が15.4%となっています。

年齢別にみると、60歳代、70歳代、80歳以上において「高齢者が集える場」、それ以外の年代で「わからない・知らない」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、岩根小学校区、菩提寺小学校区、菩提寺北小学校区、水戸小学校区で「高齢者が集える場」、それ以外の地区で「わからない・知らない」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

(%)	合計	高齢者が集える場	障がいのある人が集える場	若者が集える場	こども・子育て世代が集える場	多世代交流ができる集いの場	日頃のちよつとしたことを相談できる集いの場	集いの場はない	その他	わからない・知らない	不明・無回答
全体	1453	35.4	2.5	1.9	15.4	15.1	3.7	11.2	3.9	37.1	1.7
18～19歳	16	31.3	12.5	0.0	18.8	18.8	12.5	12.5	6.3	43.8	0.0
20歳代	82	14.6	0.0	2.4	18.3	13.4	1.2	12.2	0.0	56.1	0.0
30歳代	158	25.3	3.2	1.3	34.2	7.0	2.5	5.7	3.2	43.0	1.3
40歳代	169	33.1	4.1	1.8	23.1	15.4	4.1	7.1	1.2	43.2	2.4
50歳代	220	27.3	2.3	1.4	13.6	14.1	1.8	10.5	0.9	50.5	0.5
60歳代	304	37.2	3.9	1.3	13.5	18.4	3.6	11.8	3.6	36.8	1.0
70歳代	368	46.7	1.1	3.0	10.6	17.4	5.7	13.3	4.6	25.3	2.7
80歳以上	128	41.4	0.8	2.3	1.6	13.3	2.3	16.4	14.8	20.3	3.9

【小学校区別クロス】

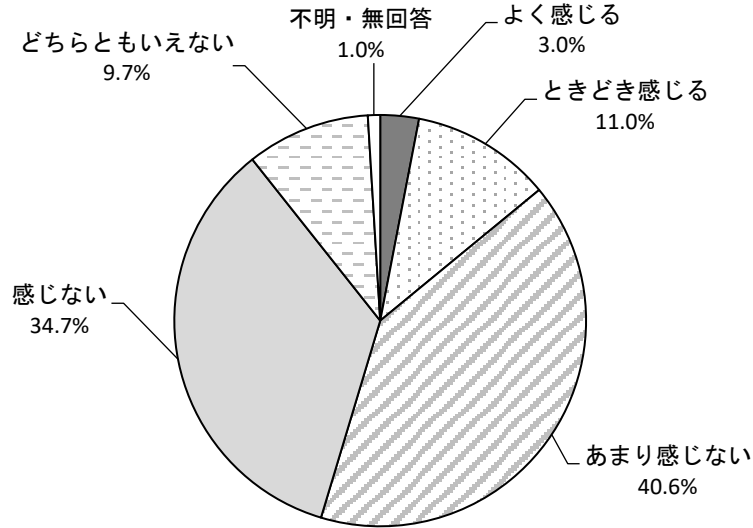
(%)	合計	高齢者が集える場	障がいのある人が集える場	若者が集える場	こども・子育て世代が集える場	多世代交流ができる集いの場	日頃のちよつとしたことを相談できる集いの場	集いの場はない	その他	わからない・知らない	不明・無回答
全体	1453	35.4	2.5	1.9	15.4	15.1	3.7	11.2	3.9	37.1	1.7
三雲東小学校区	160	26.9	1.9	1.3	8.8	12.5	1.9	13.8	8.8	42.5	2.5
三雲小学校区	167	26.9	0.6	1.2	8.4	9.6	2.4	14.4	1.8	47.9	1.2
石部小学校区	161	26.1	1.9	2.5	14.3	18.0	4.3	14.3	6.8	36.0	1.2
石部南小学校区	158	35.4	3.2	1.3	11.4	8.9	3.8	11.4	2.5	40.5	3.2
岩根小学校区	165	47.9	0.0	3.0	17.6	17.0	5.5	10.3	4.2	27.3	0.6
菩提寺小学校区	176	36.9	1.7	2.8	26.1	16.5	3.4	8.0	4.0	35.8	0.6
菩提寺北小学校区	161	41.6	2.5	1.9	21.1	14.3	2.5	9.3	1.2	35.4	1.9
下田小学校区	137	29.2	2.9	1.5	9.5	19.0	2.2	10.9	3.6	38.7	2.9
水戸小学校区	137	51.8	9.5	1.5	23.4	22.6	8.0	8.0	2.9	24.8	1.5

問14 地域で暮らす中で「孤独だ」「孤立している」と感じることはありますか。(〇は1つ)

地域で暮らす中で「孤独だ」「孤立している」と感じることがあるかについて、「あまり感じない」が40.6%と最も高く、次いで「感じない」が34.7%、「ときどき感じる」が11.0%となっています。

年齢別にみると、20歳代、70歳代において「感じない」、それ以外の年代で「あまり感じない」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、水戸小学校区で「感じない」、それ以外の地区で「あまり感じない」が最も高くなっています。



(n=1453)

【年齢別クロス】

(%)	合計	よく感じる	ときどき感じる	あまり感じない	感じない	どちらともいえない	不明・無回答
全体	1453	3.0	11.0	40.6	34.7	9.7	1.0
18～19歳	16	0.0	0.0	56.3	37.5	6.3	0.0
20歳代	82	6.1	6.1	26.8	46.3	14.6	0.0
30歳代	158	4.4	17.7	35.4	34.8	7.0	0.6
40歳代	169	1.8	13.6	40.2	30.2	11.8	2.4
50歳代	220	5.5	12.3	41.4	28.6	11.8	0.5
60歳代	304	2.3	9.5	44.7	31.3	11.8	0.3
70歳代	368	2.2	9.8	39.1	41.0	6.8	1.1
80歳以上	128	1.6	9.4	45.3	33.6	7.8	2.3

【小学校区別クロス】

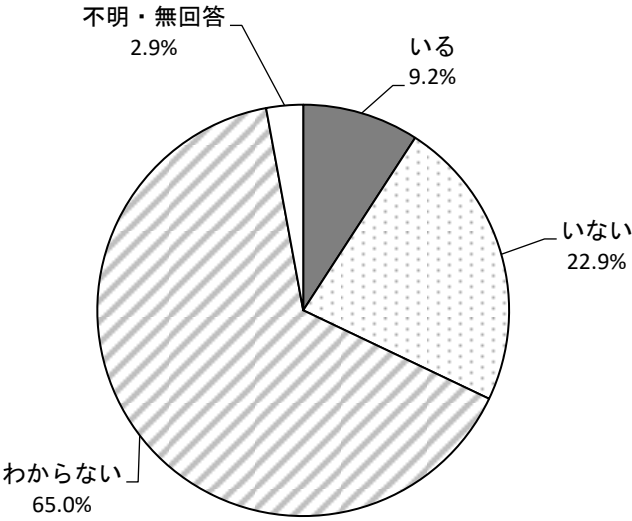
(%)	合計	よく感じる	ときどき感じる	あまり感じない	感じない	どちらとも いえない	不明・無回答
全体	1453	3.0	11.0	40.6	34.7	9.7	1.0
三雲東小学校区	160	4.4	8.1	39.4	36.9	11.3	0.0
三雲小学校区	167	2.4	13.2	37.7	35.9	9.6	1.2
石部小学校区	161	3.1	9.9	42.9	35.4	8.1	0.6
石部南小学校区	158	1.9	10.1	39.9	33.5	11.4	3.2
岩根小学校区	165	3.0	10.3	42.4	35.8	8.5	0.0
菩提寺小学校区	176	1.7	9.7	43.8	35.8	9.1	0.0
菩提寺北小学校区	161	3.1	11.2	44.1	31.1	10.6	0.0
下田小学校区	137	4.4	16.8	35.8	30.7	10.2	2.2
水戸小学校区	137	2.2	10.9	38.0	38.7	9.5	0.7

問15 お住まいの地域に孤立している人や気がかりな人がいますか。(〇は1つ)

地域に孤立している人や気がかりな人がいるかどうかについて、「わからない」が65.0%と最も高く、次いで「いない」が22.9%、「いる」が9.2%となっています。

年齢別にみると、18～19歳において「いない」と「わからない」、それ以外の年代において「わからない」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、すべての地区で「わからない」が最も高くなっています。



(n=1453)

【年齢別クロス】

(%)	合計	いる	いない	わからない	不明・無回答
全体	1453	9.2	22.9	65.0	2.9
18～19歳	16	12.5	43.8	43.8	0.0
20歳代	82	7.3	25.6	65.9	1.2
30歳代	158	7.6	25.3	65.8	1.3
40歳代	169	3.6	21.3	72.8	2.4
50歳代	220	5.0	20.5	73.6	0.9
60歳代	304	11.2	23.4	63.2	2.3
70歳代	368	12.8	21.7	60.9	4.6
80歳以上	128	11.7	24.2	57.0	7.0

【小学校区別クロス】

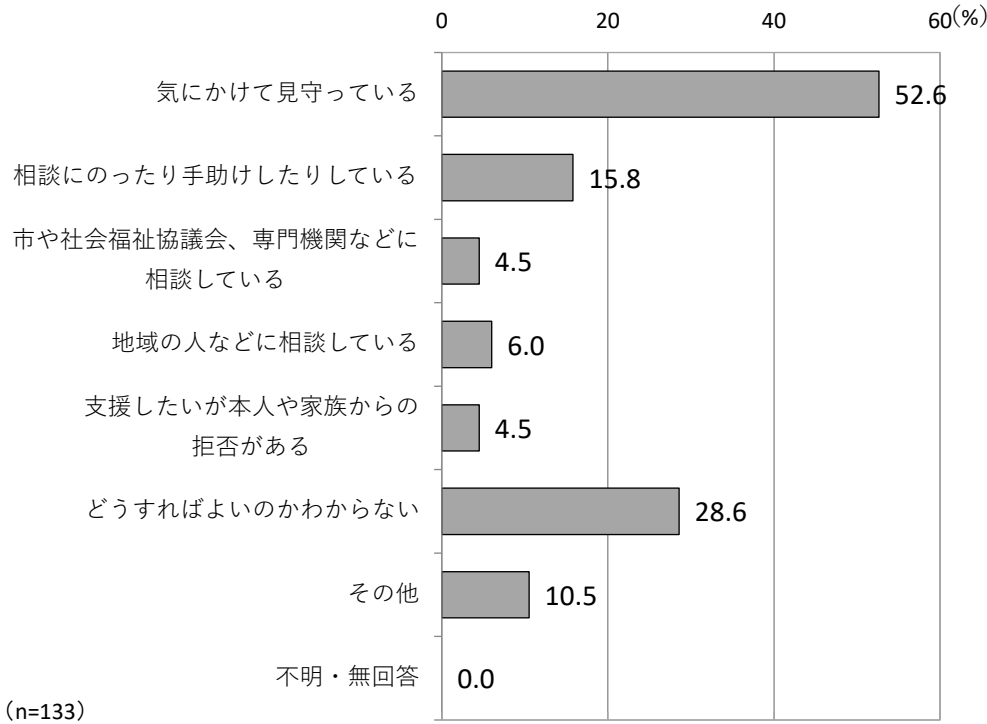
(%)	合計	いる	いない	わからない	不明・無回答
全体	1453	9.2	22.9	65.0	2.9
三雲東小学校区	160	8.1	22.5	66.9	2.5
三雲小学校区	167	7.2	21.0	68.9	3.0
石部小学校区	161	7.5	26.1	64.0	2.5
石部南小学校区	158	11.4	25.9	57.0	5.7
岩根小学校区	165	12.1	22.4	62.4	3.0
菩提寺小学校区	176	9.7	21.0	67.0	2.3
菩提寺北小学校区	161	6.8	24.8	68.3	0.0
下田小学校区	137	8.8	21.2	65.7	4.4
水戸小学校区	137	13.1	20.4	63.5	2.9

問16 問15で「1 いる」を選んだ方におうかがいします。地域で孤立している人や気がかりな人に対して何かしていますか（しましたか）。（〇はいくつでも）

地域で孤立している人や気がかりな人に対してしていることについて、「気にかけて見守っている」が52.6%と最も高く、次いで「どうすればよいかわからない」が28.6%、「相談にのったり手助けしたりしている」が15.8%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、60歳代、70歳代、80歳以上において「気にかけて見守っている」が最も高く、それ以外の年代において「どうすればよいかわからない」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、すべての地区で「気にかけて見守っている」が最も高くなっています。



その他回答	
●	私のこと
●	姿をみたら声をかける
●	会えばあいさつする
●	たまに挨拶してる
●	人を見かけると逃げる方なので話しようがない
●	ケンカごしの家族がいて不快。ナゾに目の敵にされてる。ストレスでしかない
●	近所にいるだけで素性を知らないので、気になるだけ
●	自然にあいさつできない人がある。
●	民生委員の方に伝え見守りをお願いした
●	本日のお姉さんがおられて専門機関などに相談されている
●	日中は仕事でなかなか近所の人と接することがないが、高令者世帯がほとんどで、空家も見られる。自治会でしっかり情報が必要

【年齢別クロス】

(%)	合計	気にかけて見守っている	相談にのったり 手助けしたりしている	市や社会福祉協議会、専門機 関などに相談している	地域の人などに相談している	支援したいが本人や家族から の拒否がある	どうすればよいのかわからない	その他	不明・無回答
全体	133	52.6	15.8	4.5	6.0	4.5	28.6	10.5	0.0
18～19歳	2	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0
30歳代	12	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	50.0	8.3	0.0
40歳代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
50歳代	11	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6	9.1	0.0
60歳代	34	44.1	8.8	5.9	5.9	5.9	32.4	14.7	0.0
70歳代	47	70.2	27.7	6.4	8.5	8.5	12.8	4.3	0.0
80歳以上	15	86.7	13.3	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0

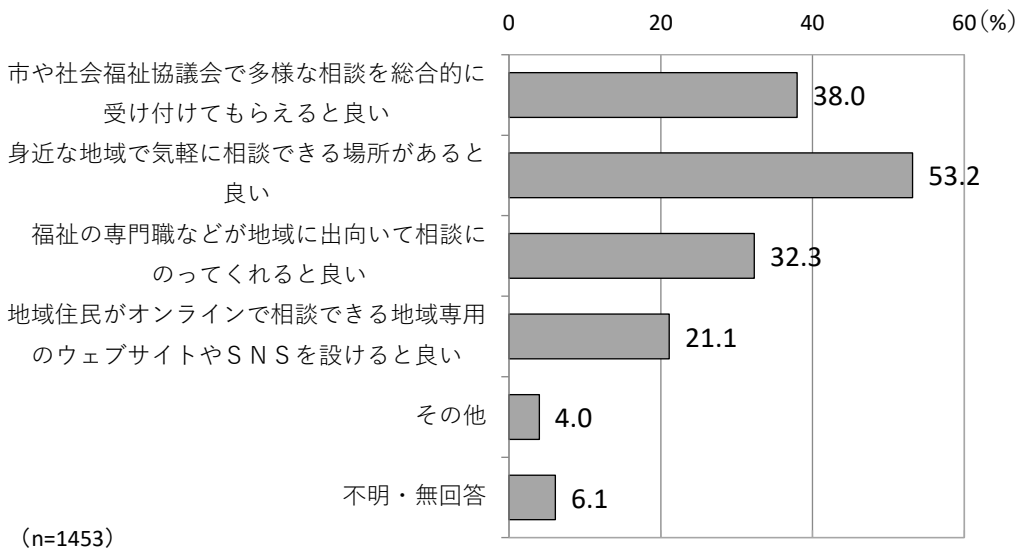
【小学校区別クロス】

(%)	合計	気にかけて見守っている	相談にのったり 手助けしたりしている	市や社会福祉協議会、専門機 関などに相談している	地域の人などに相談している	支援したいが本人や家族から の拒否がある	どうすればよいのかわからない	その他	不明・無回答
全体	133	52.6	15.8	4.5	6.0	4.5	28.6	10.5	0.0
三雲東小学校区	13	61.5	7.7	7.7	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0
三雲小学校区	12	83.3	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
石部小学校区	12	66.7	41.7	0.0	25.0	8.3	8.3	8.3	0.0
石部南小学校区	18	38.9	11.1	5.6	5.6	5.6	27.8	11.1	0.0
岩根小学校区	20	45.0	25.0	0.0	0.0	10.0	30.0	15.0	0.0
菩提寺小学校区	17	47.1	11.8	0.0	5.9	0.0	41.2	11.8	0.0
菩提寺北小学校区	11	63.6	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0
下田小学校区	12	41.7	16.7	8.3	8.3	0.0	33.3	25.0	0.0
水戸小学校区	18	44.4	11.1	16.7	11.1	0.0	38.9	11.1	0.0

問17 日頃の生活で不安や悩みがあるときや地域で孤立している人や気がかりな人に気づいたとき、どのような仕組みがあると解決に向けて行動ができると思いますか。(〇はいくつでも)

日頃の生活で不安や悩みがあるときや地域で孤立している人や気がかりな人に気づいたとき、どのような仕組みがあると解決に向けて行動ができると思うかについて、「身近な地域で気軽に相談できる場所があると良い」が53.2%と最も高く、次いで「市や福祉協議会で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」と38.0%、「福祉の専門職などが地域に出向いて相談ののってくれると良い」が32.3%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳において「市や福祉協議会で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」と「身近な地域で気軽に相談できる場所があると良い」がともに最も高くなっており、それ以外の年代において「身近な地域で気軽に相談できる場所があると良い」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

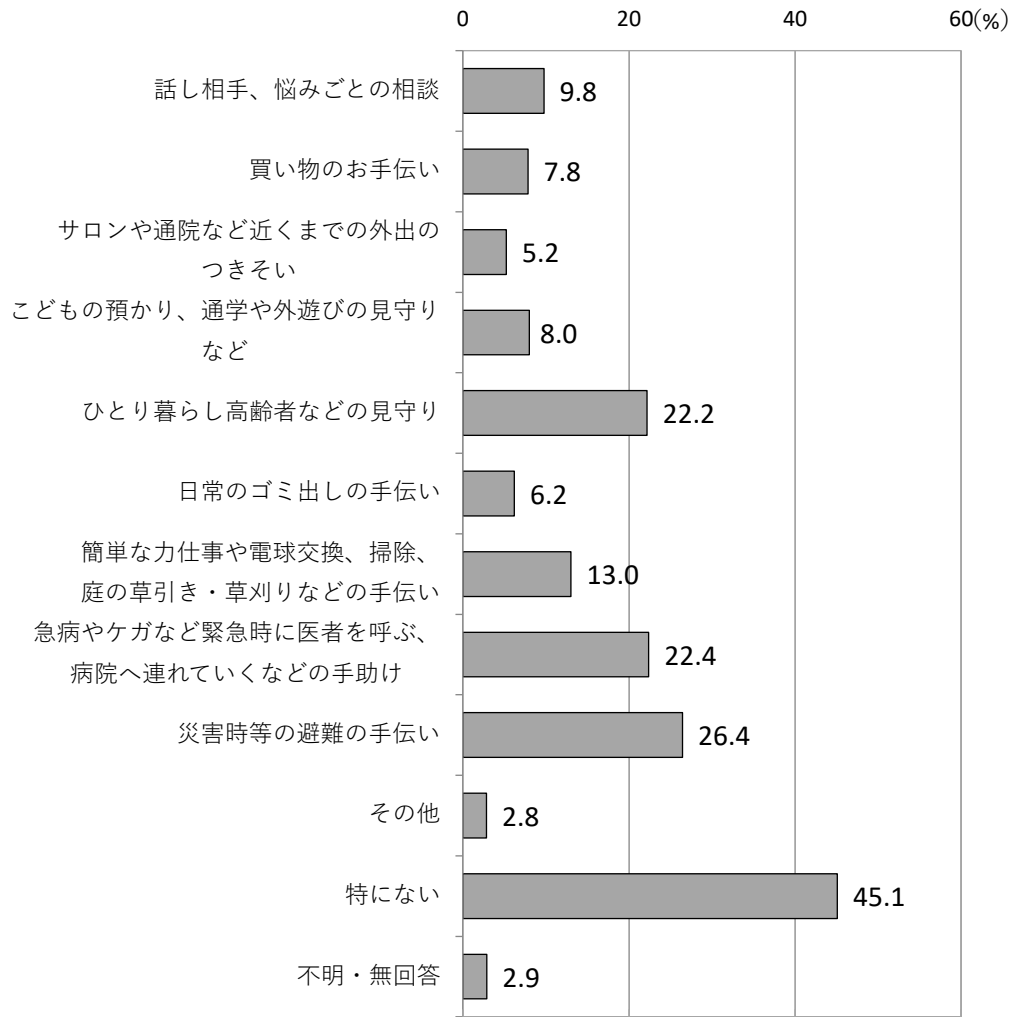
(%)	合計	市や社会福祉協議会を総合的に受け付けてもらえるが良い	身近な地域で気軽に相談できる場所があると良い	福祉の専門職などが地域に出向いて相談ののくれると良い	地域住民がオンラインで相談できる地域専用のウェブサイトやSNSを設けると良い	その他	不明・無回答
全体	1453	38.0	53.2	32.3	21.1	4.0	6.1
18～19歳	16	37.5	37.5	25.0	31.3	6.3	0.0
20歳代	82	25.6	48.8	26.8	42.7	2.4	4.9
30歳代	158	29.7	56.3	30.4	30.4	1.9	3.2
40歳代	169	33.7	52.1	32.5	31.4	2.4	5.3
50歳代	220	31.8	53.6	37.7	28.2	5.0	2.3
60歳代	304	45.4	51.0	31.6	17.8	4.6	5.3
70歳代	368	44.3	57.1	32.9	11.7	3.8	8.2
80歳以上	128	35.2	49.2	29.7	4.7	7.0	14.8

問18 今後、ご近所とおつきあいの中で「手助けしてほしい」と思うことはありますか。(〇はいくつでも)

今後、ご近所とおつきあいの中で「手助けしてほしい」と思うことについて、「特にない」が45.1%と最も高く、次いで「災害時等の避難の手伝い」が26.4%、「急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶ、病院へ連れていくなどの手助け」が22.4%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「特にない」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、すべての地区で「特にない」が最も高くなっています。



(n=1453)

【年齢別クロス】

(%)	合計	話し相手、 悩みことの相談	買い物のお手伝い	サロンや通院など 近くまでの 外出のつきそい	こどもの預かり、 通学や外遊びの 見守りなど	高齢者などの見守り ひとり暮らし	日常のゴミ出しの手伝い	簡単な力仕事や電球交換、掃除、庭の草 引き・草刈りなどの手伝い	急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶ、病 院へ連れていくなどの手助け	災害時等の避難の手伝い	その他	特にない	不明・無回答
全体	1453	9.8	7.8	5.2	8.0	22.2	6.2	13.0	22.4	26.4	2.8	45.1	2.9
18～19歳	16	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	18.8	18.8	0.0	75.0	0.0
20歳代	82	7.3	0.0	1.2	17.1	13.4	4.9	7.3	12.2	24.4	1.2	52.4	1.2
30歳代	158	10.1	3.8	2.5	30.4	9.5	3.8	8.9	15.8	20.3	2.5	43.0	0.0
40歳代	169	10.7	4.1	4.1	18.3	18.3	4.7	11.2	25.4	31.4	3.0	40.2	4.1
50歳代	220	11.8	7.3	6.8	3.6	26.4	8.2	15.0	24.5	30.0	2.7	42.3	0.9
60歳代	304	9.5	10.5	5.9	3.0	25.7	5.9	13.5	20.7	25.7	2.6	49.3	3.6
70歳代	368	8.4	10.3	6.0	1.6	25.5	6.5	13.9	22.8	24.7	3.5	48.1	4.1
80歳以上	128	12.5	11.7	7.0	0.0	25.0	9.4	18.8	31.3	29.7	3.1	32.0	3.9

【小学校区別クロス】

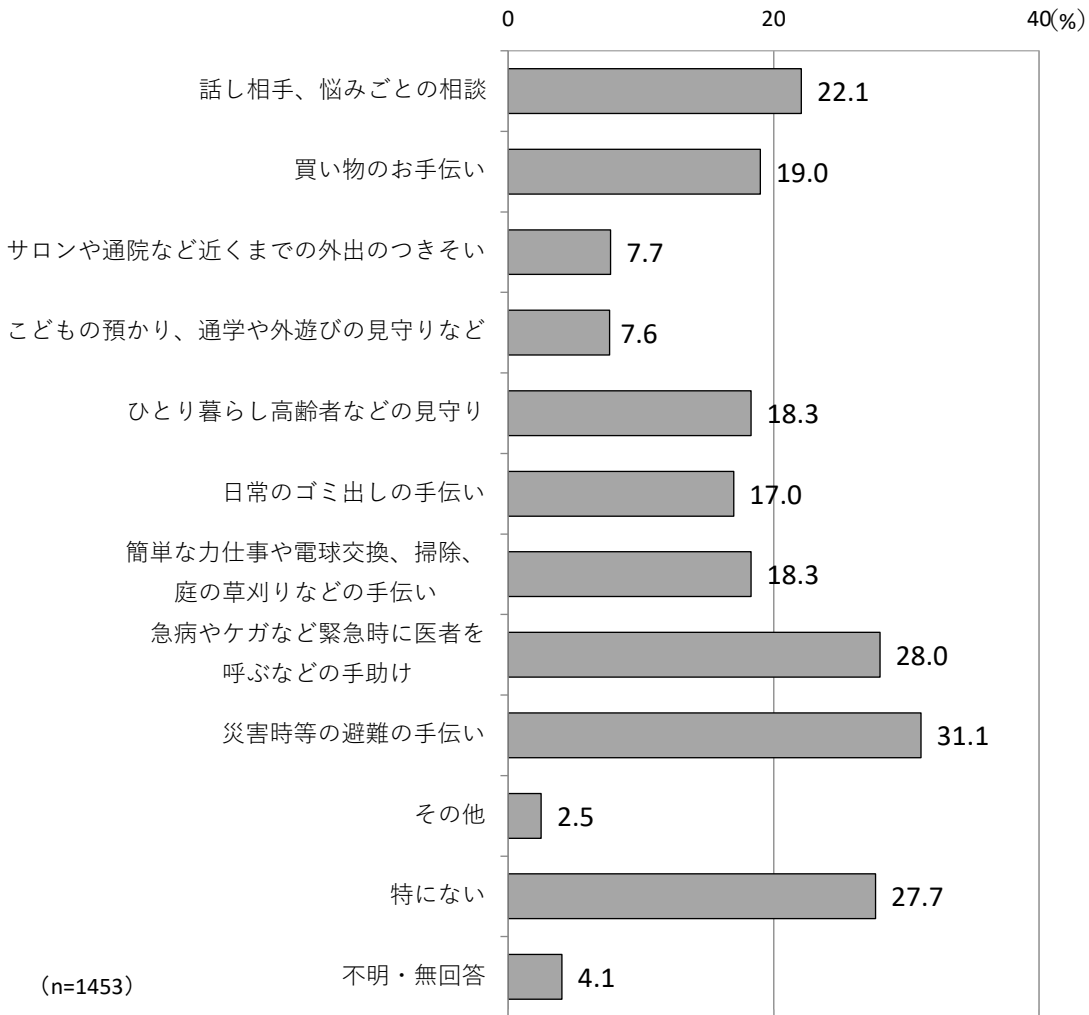
(%)	合計	話し相手、 悩みことの相談	買い物のお手伝い	サロンや通院など 近くまでの 外出のつきそい	こどもの預かり、 通学や外遊びの 見守りなど	高齢者などの見守り ひとり暮らし	日常のゴミ出しの手伝い	簡単な力仕事や電球交換、掃除、庭の草 引き・草刈りなどの手伝い	急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶ、病 院へ連れていくなどの手助け	災害時等の避難の手伝い	その他	特にない	不明・無回答
全体	1453	9.8	7.8	5.2	8.0	22.2	6.2	13.0	22.4	26.4	2.8	45.1	2.9
三雲東小学校区	160	10.6	11.9	6.3	5.0	24.4	3.8	15.0	23.1	30.0	3.8	44.4	1.9
三雲小学校区	167	8.4	9.0	4.8	7.8	24.0	9.6	15.6	25.1	27.5	0.6	47.3	1.2
石部小学校区	161	9.3	8.1	4.3	8.7	21.1	9.3	13.7	21.1	32.9	1.9	43.5	1.2
石部南小学校区	158	9.5	7.0	3.2	8.9	19.0	7.0	11.4	27.2	25.3	1.9	41.8	5.7
岩根小学校区	165	7.3	6.1	2.4	8.5	21.8	1.8	13.3	18.8	28.5	3.6	44.8	2.4
菩提寺小学校区	176	9.7	6.3	4.5	7.4	24.4	7.4	13.6	25.6	23.9	4.0	42.6	2.8
菩提寺北小学校区	161	10.6	9.3	8.7	7.5	25.5	6.2	14.9	21.7	28.0	2.5	51.6	0.6
下田小学校区	137	8.8	8.8	5.1	10.2	22.6	5.8	9.5	20.4	19.0	2.2	45.3	8.0
水戸小学校区	137	14.6	5.8	8.8	8.0	18.2	5.8	11.7	18.2	22.6	3.6	43.8	1.5

問19 今後、ご近所とおつきあいの中で「手助けできそう」と思うことはありますか。(〇はいくつでも)

今後、ご近所とおつきあいの中で「手助けできそう」と思うことについて、「災害時等の避難の手伝い」が31.1%と最も高く、次いで「急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶなどの手助け」が28.0%、「特にない」が27.7%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代、80歳以上において「特にない」が最も高くなっており、70歳代において「急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶなどの手助け」、それ以外の年代において「災害時等の避難の手伝い」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、すべての地区で「特にない」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

(%)	合計	話し相手、 悩みごとの相談	買い物のお手伝い	サロンや通院など 近くまでの 外出のつきそい	こどもの預かり、 通学や外遊びの 見守りなど	ひとり暮らし高齢者などの見守り	日常のゴミ出しの 手伝い	簡単な力仕事や電球交換、掃除、庭の草刈りなどの手伝い	急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶ などの手助け	災害時等の避難の 手伝い	その他	特にない	不明・無回答
全体	1453	22.1	19.0	7.7	7.6	18.3	17.0	18.3	28.0	31.1	2.5	27.7	4.1
18～19歳	16	31.3	12.5	6.3	12.5	25.0	12.5	18.8	12.5	37.5	0.0	43.8	0.0
20歳代	82	19.5	15.9	6.1	23.2	17.1	12.2	18.3	20.7	31.7	0.0	30.5	3.7
30歳代	158	19.6	16.5	3.2	10.8	15.8	15.2	20.9	25.3	29.1	0.6	34.2	1.3
40歳代	169	24.9	20.7	6.5	8.9	11.2	14.2	17.8	23.7	30.8	1.8	25.4	4.7
50歳代	220	18.6	19.5	9.5	5.5	17.7	20.9	20.5	32.7	38.2	3.2	25.0	0.9
60歳代	304	23.7	22.0	9.9	9.2	19.4	19.1	18.8	31.6	35.5	3.0	20.7	4.9
70歳代	368	21.7	19.8	8.4	3.8	23.1	17.1	18.5	30.4	29.9	2.7	28.8	4.3
80歳以上	128	25.8	11.7	5.5	2.3	15.6	15.6	11.7	20.3	14.1	4.7	36.7	9.4

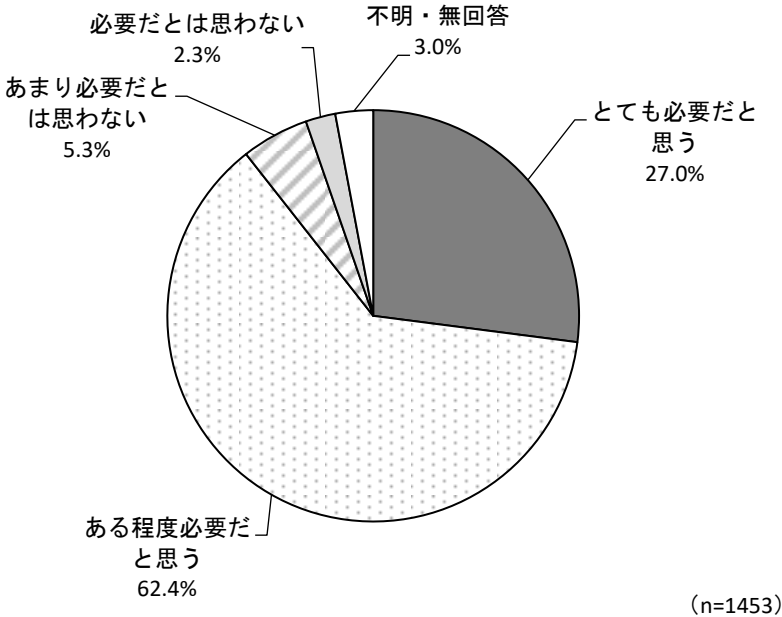
【小学校区別クロス】

(%)	合計	話し相手、 悩みごとの相談	買い物のお手伝い	サロンや通院など近くまでの外出の つきそい	こどもの預かり、通学や外遊びの見 守りなど	ひとり暮らし高齢者などの見守り	日常のゴミ出しの 手伝い	簡単な力仕事や電球交換、掃除、庭 の草刈りなどの手伝い	急病やケガなど緊急時に医者を呼ぶ などの手助け	災害時等の避難の 手伝い	その他	特にない	不明・無回答
全体	1453	22.1	19.0	7.7	7.6	18.3	17.0	18.3	28.0	31.1	2.5	27.7	4.1
三雲東小学校区	160	15.0	10.6	6.3	6.9	17.5	11.3	13.8	25.0	30.0	3.1	35.0	3.1
三雲小学校区	167	23.4	19.8	7.8	6.0	18.6	19.2	21.6	29.9	32.3	3.0	22.2	2.4
石部小学校区	161	23.0	16.1	9.3	8.1	20.5	16.1	16.1	27.3	29.8	1.9	34.2	1.2
石部南小学校区	158	24.1	20.3	4.4	3.8	20.9	17.1	15.2	22.8	30.4	3.2	28.5	8.2
岩根小学校区	165	23.0	17.0	5.5	11.5	18.2	15.8	23.6	27.3	28.5	1.2	29.7	1.8
菩提寺小学校区	176	19.3	19.9	4.5	7.4	11.9	19.9	17.6	33.0	31.3	3.4	25.6	4.5
菩提寺北小学校区	161	24.8	26.7	11.2	9.3	23.0	19.3	16.1	36.0	36.0	1.9	20.5	2.5
下田小学校区	137	18.2	16.1	5.1	5.8	20.4	16.1	19.0	24.1	31.4	3.6	25.5	8.0
水戸小学校区	137	29.9	26.3	14.6	10.2	16.1	21.2	23.4	28.5	32.8	0.0	25.5	3.6

**問20 あなたは高齢者の見守りや、こどもの貧困、ひきこもりなどの地域福祉の課題に対し、住民相互の自主的な支えあい、助けあいの必要性についてどう思いますか。(〇は1つ)**

高齢者の見守りや、こどもの貧困、ひきこもりなどの地域福祉の課題に対し、住民相互の自主的な支えあい、助けあいの必要性について、「ある程度必要だと思う」が62.4%と最も高く、次いで「とても必要だと思う」が27.0%、「あまり必要だと思わない」が5.3%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「ある程度必要だと思う」が最も高くなっています。  
小学校区別にみると、すべての地区で「ある程度必要だと思う」が最も高くなっています。



**【年齢別クロス】**

(%)	合計	とても必要だと思おう	ある程度必要だと思おう	あまり必要だと思わない	必要だとは思わない	不明・無回答
全体	1453	27.0	62.4	5.3	2.3	3.0
18～19歳	16	31.3	56.3	6.3	6.3	0.0
20歳代	82	24.4	65.9	3.7	3.7	2.4
30歳代	158	24.7	62.0	8.9	2.5	1.9
40歳代	169	23.7	59.8	7.1	4.7	4.7
50歳代	220	31.8	57.7	7.3	1.4	1.8
60歳代	304	25.0	67.1	2.6	1.6	3.6
70歳代	368	25.3	65.5	4.3	1.9	3.0
80歳以上	128	38.3	50.8	5.5	2.3	3.1

【小学校区別クロス】

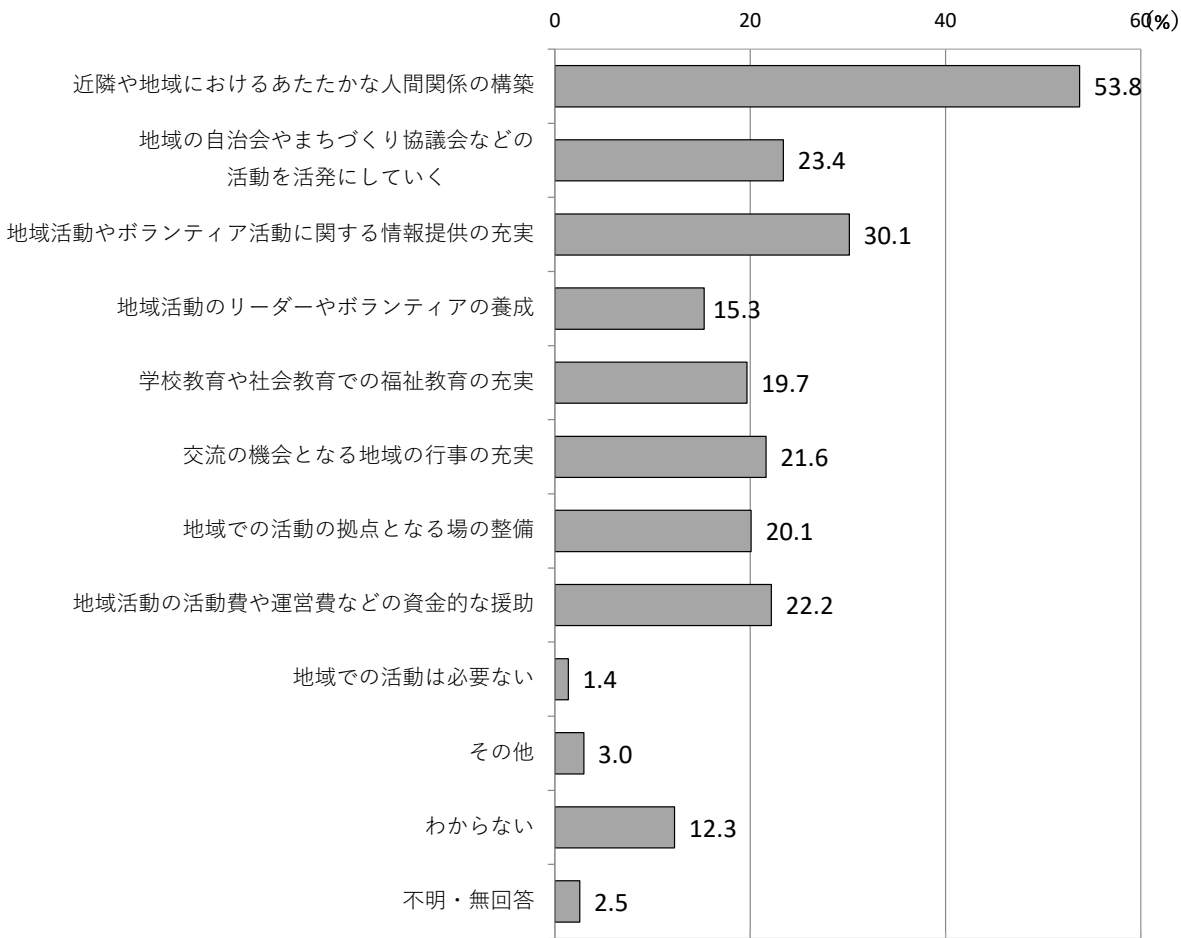
(%)	合計	とても必要 だと思 う	ある 程度 必要 だと思 う	あ ま り 必 要 だ と は 思 わ な い	必 要 だ と は 思 わ な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	1453	27.0	62.4	5.3	2.3	3.0
三雲東小学校区	160	19.4	68.8	5.6	4.4	1.9
三雲小学校区	167	29.9	65.3	2.4	0.6	1.8
石部小学校区	161	30.4	58.4	6.8	3.1	1.2
石部南小学校区	158	25.9	62.7	3.8	1.9	5.7
岩根小学校区	165	29.7	58.8	7.3	2.4	1.8
菩提寺小学校区	176	31.3	60.8	4.0	2.3	1.7
菩提寺北小学校区	161	23.6	65.8	5.6	2.5	2.5
下田小学校区	137	29.2	56.2	5.8	0.7	8.0
水戸小学校区	137	25.5	64.2	7.3	1.5	1.5

問21 地域での助けあいを活発にするために、どのようなことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

地域での助けあいを活発にするために重要だと思うことについて、「近隣や地域におけるあたたかな人間関係の構築」が53.8%と最も高く、次いで「地域活動やボランティア活動に関する情報提供の充実」が30.1%、「地域の自治会やまちづくり協議会などの活動を活発にしていく」が23.4%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「近隣や地域におけるあたたかな人間関係の構築」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、すべての地区で「近隣や地域におけるあたたかな人間関係の構築」が最も高くなっています。



(n=1453)

【年齢別クロス】

(%)	合計	近隣や地域におけるあたたかな人間関係の構築	地域の自治会やまちづくり協議会などの活動を活発にしている	地域活動やボランティア活動に関する情報提供の充実	地域活動のリーダーやボランティアの養成	学校教育や社会教育での福祉教育の充実	交流の機会となる地域の行事の充実	地域での活動の拠点となる場の整備	地域活動の活動費や運営費などの資金的な援助	地域での活動は必要ない	その他	わからない	不明・無回答
全体	1453	53.8	23.4	30.1	15.3	19.7	21.6	20.1	22.2	1.4	3.0	12.3	2.5
18～19歳	16	62.5	31.3	12.5	12.5	12.5	25.0	18.8	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0
20歳代	82	40.2	12.2	19.5	7.3	28.0	36.6	25.6	23.2	2.4	4.9	15.9	2.4
30歳代	158	55.1	20.3	24.1	10.1	24.7	22.2	21.5	22.2	2.5	3.8	10.8	0.0
40歳代	169	47.9	19.5	25.4	11.2	24.3	24.3	18.3	23.7	2.4	4.7	12.4	4.1
50歳代	220	53.2	21.4	35.9	12.3	21.4	14.5	20.9	24.1	2.3	1.8	13.6	0.9
60歳代	304	56.6	22.0	35.5	19.7	21.7	17.1	18.8	23.4	0.7	3.6	9.9	3.0
70歳代	368	57.3	28.5	32.6	19.0	14.9	22.8	21.2	19.8	0.8	1.6	12.5	3.3
80歳以上	128	51.6	31.3	23.4	15.6	7.8	25.8	16.4	18.8	0.0	3.1	14.1	3.9

【小学校区別クロス】

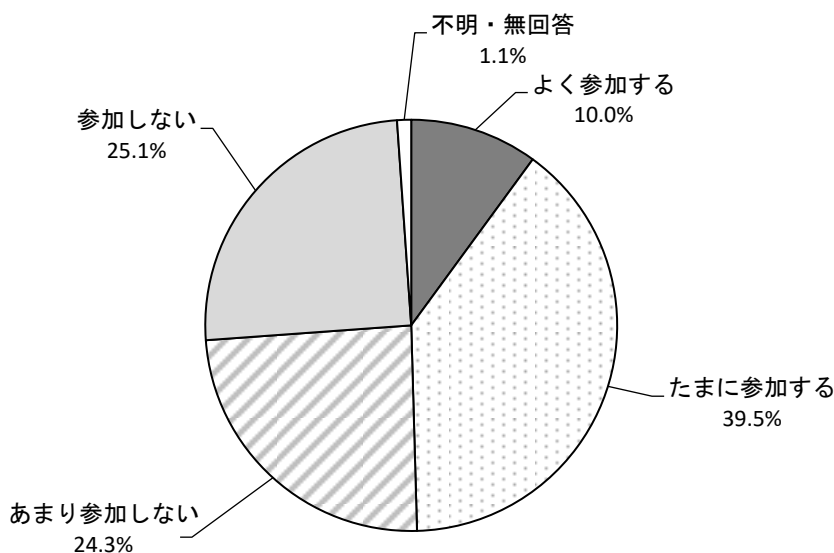
(%)	合計	近隣や地域におけるあたたかな人間関係の構築	地域の自治会やまちづくり協議会などの活動を活発にしている	地域活動やボランティア活動に関する情報提供の充実	地域活動のリーダーやボランティアの養成	学校教育や社会教育での福祉教育の充実	交流の機会となる地域の行事の充実	地域での活動の拠点となる場の整備	地域活動の活動費や運営費などの資金的な援助	地域での活動は必要ない	その他	わからない	不明・無回答
全体	1453	53.8	23.4	30.1	15.3	19.7	21.6	20.1	22.2	1.4	3.0	12.3	2.5
三雲東小学校区	160	48.1	16.9	30.0	15.0	17.5	21.9	25.0	23.8	2.5	4.4	15.6	1.9
三雲小学校区	167	61.7	21.6	35.9	15.0	19.2	25.1	23.4	19.8	0.6	1.2	9.6	1.8
石部小学校区	161	57.1	23.0	25.5	12.4	24.2	21.1	25.5	21.1	1.2	3.7	9.9	1.2
石部南小学校区	158	49.4	23.4	31.0	19.6	19.0	17.7	19.0	22.2	1.9	3.2	11.4	3.8
岩根小学校区	165	47.3	26.1	27.3	15.8	18.8	22.4	13.9	24.8	2.4	4.2	13.9	2.4
菩提寺小学校区	176	53.4	23.9	30.7	15.3	21.0	19.9	19.3	22.7	1.1	2.3	11.9	2.8
菩提寺北小学校区	161	50.9	21.7	29.8	14.3	19.3	20.5	16.1	25.5	0.0	3.7	15.5	1.2
下田小学校区	137	59.9	26.3	25.5	11.7	14.6	24.1	23.4	21.9	0.0	2.2	12.4	5.8
水戸小学校区	137	59.9	31.4	38.7	18.2	24.8	23.4	17.5	21.2	0.0	1.5	7.3	0.7

問22 あなたは地域での交流の場やイベントに参加することがありますか。(〇は1つ)

地域での交流の場やイベントに参加することがあるかどうかについて、「たまに参加する」が39.5%と最も高く、次いで「参加しない」が25.1%、「あまり参加しない」が24.3%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代、50歳代において「参加しない」、それ以外の年代において「たまに参加する」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、石部南小学校区で「参加しない」、それ以外の地区で「たまに参加する」が最も高くなっています。



(n=1453)

【年齢別クロス】

(%)	合計	よく参加する	たまに参加する	あまり参加しない	参加しない	不明・無回答
全体	1453	10.0	39.5	24.3	25.1	1.1
18～19歳	16	12.5	25.0	25.0	37.5	0.0
20歳代	82	2.4	25.6	25.6	45.1	1.2
30歳代	158	8.2	41.8	22.8	27.2	0.0
40歳代	169	4.1	40.8	28.4	24.9	1.8
50歳代	220	4.5	30.9	27.3	36.8	0.5
60歳代	304	10.2	37.5	28.6	21.7	2.0
70歳代	368	15.2	45.4	19.8	18.5	1.1
80歳以上	128	18.8	47.7	18.0	15.6	0.0

【小学校区別クロス】

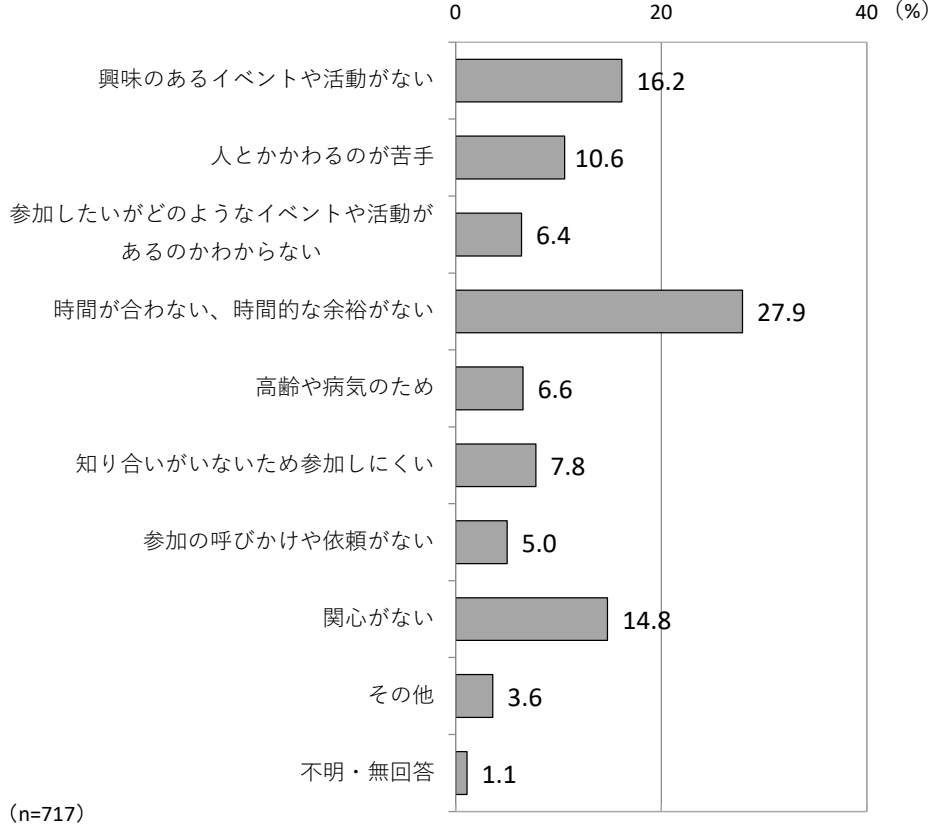
(%)	合計	よく参加する	たまに参加する	あまり参加しない	参加しない	不明・無回答
全体	1453	10.0	39.5	24.3	25.1	1.1
三雲東小学校区	160	6.9	36.9	22.5	33.1	0.6
三雲小学校区	167	12.0	41.9	30.5	15.0	0.6
石部小学校区	161	11.2	35.4	24.8	28.6	0.0
石部南小学校区	158	11.4	31.0	20.9	32.9	3.8
岩根小学校区	165	13.9	44.2	15.8	25.5	0.6
菩提寺小学校区	176	6.3	43.2	25.0	23.9	1.7
菩提寺北小学校区	161	5.0	43.5	27.3	23.6	0.6
下田小学校区	137	12.4	37.2	29.2	20.4	0.7
水戸小学校区	137	13.1	43.1	23.4	20.4	0.0

問23 問22で「3 あまり参加しない」「4 参加しない」を選んだ方におうかがいします。参加していない理由は何ですか。(○は1つ)

地域での交流の場やイベントに参加しない理由について、「時間が合わない、時間的な余裕がない」が27.9%と最も高く、次いで「興味のあるイベントや活動がない」が16.2%、「関心がない」が14.8%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳において「時間が合わない、時間的な余裕がない」と「関心がない」が最も高くなっており、70歳代において「興味のあるイベントや活動がない」、80歳以上において「高齢や病気のため」、それ以外の年代において「時間が合わない、時間的な余裕がない」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、菩提寺北小学校区で「興味のあるイベントや活動がない」、それ以外の地区で「時間が合わない、時間的な余裕がない」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

(%)	合計	興味のあるイベントや活動がない	人とかかわるのが苦手	参加したいがどのようなイベントや活動があるのかわからない	時間が合わない、時間的な余裕がない	高齢や病気のため	知り合いがいなかったため参加しにくい	参加の呼びかけや依頼がない	関心がない	その他	不明・無回答
全体	717	16.2	10.6	6.4	27.9	6.6	7.8	5.0	14.8	3.6	1.1
18～19歳	10	20.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0	0.0
20歳代	58	12.1	17.2	5.2	37.9	1.7	10.3	3.4	12.1	0.0	0.0
30歳代	79	12.7	13.9	10.1	32.9	0.0	5.1	8.9	16.5	0.0	0.0
40歳代	90	11.1	7.8	5.6	44.4	3.3	6.7	1.1	12.2	7.8	0.0
50歳代	141	17.7	12.8	6.4	34.0	0.0	7.1	4.3	13.5	3.5	0.7
60歳代	153	17.0	9.8	5.9	28.8	3.9	7.2	5.9	17.6	3.3	0.7
70歳代	141	21.3	8.5	6.4	11.3	14.9	9.9	7.1	15.6	2.1	2.8
80歳以上	43	11.6	7.0	7.0	2.3	37.2	9.3	2.3	9.3	9.3	4.7

【小学校区別クロス】

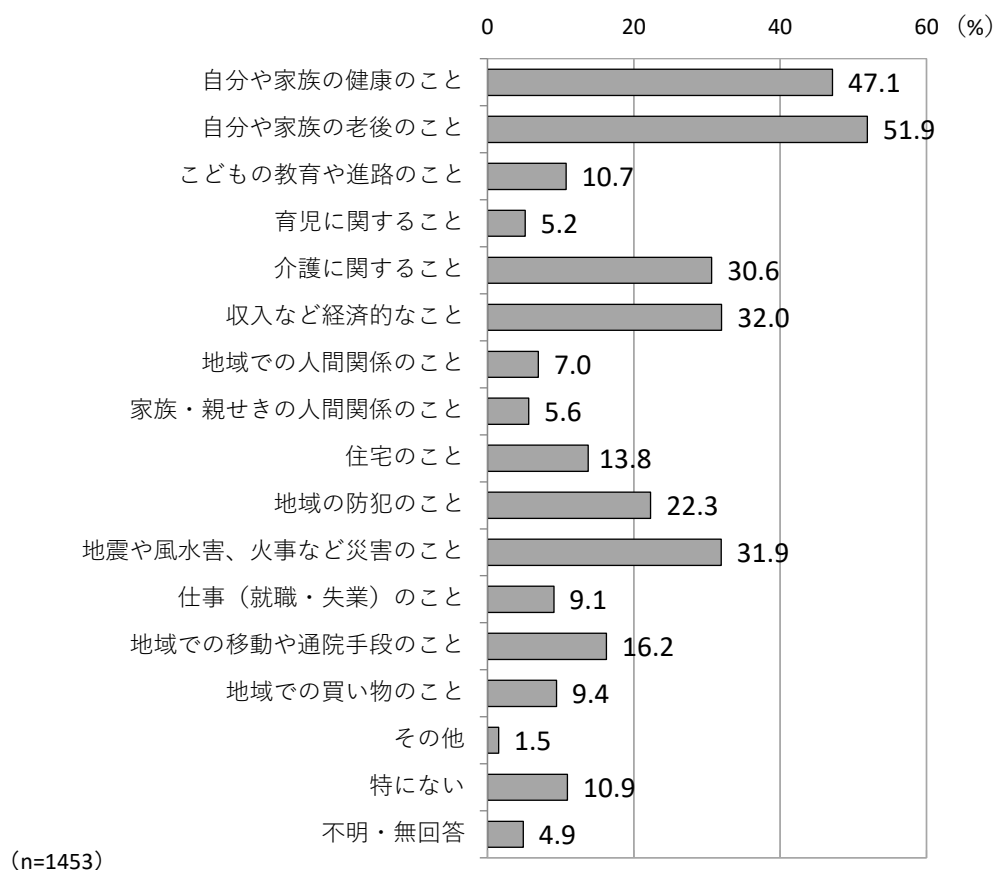
(%)	合計	興味のあるイベントや活動がない	人とかかわるのが苦手	参加したいがどのようなイベントや活動があるのかわからない	時間が合わない、時間的な余裕がない	高齢や病気のため	知り合いがいなかったため参加しにくい	参加の呼びかけや依頼がない	関心がない	その他	不明・無回答
全体	717	16.2	10.6	6.4	27.9	6.6	7.8	5.0	14.8	3.6	1.1
三雲東小学校区	89	14.6	6.7	10.1	23.6	4.5	6.7	9.0	21.3	1.1	2.2
三雲小学校区	76	18.4	13.2	6.6	27.6	5.3	10.5	2.6	10.5	5.3	0.0
石部小学校区	86	17.4	4.7	5.8	29.1	11.6	2.3	10.5	16.3	1.2	1.2
石部南小学校区	85	11.8	16.5	4.7	23.5	5.9	7.1	1.2	22.4	4.7	2.4
岩根小学校区	68	13.2	11.8	5.9	32.4	7.4	8.8	5.9	13.2	1.5	0.0
菩提寺小学校区	86	14.0	14.0	7.0	31.4	7.0	5.8	5.8	8.1	5.8	1.2
菩提寺北小学校区	82	26.8	9.8	3.7	17.1	4.9	13.4	2.4	14.6	6.1	1.2
下田小学校区	68	17.6	11.8	4.4	29.4	8.8	10.3	1.5	11.8	4.4	0.0
水戸小学校区	60	13.3	10.0	8.3	36.7	3.3	6.7	3.3	13.3	3.3	1.7

### 3. 困りごとや相談について

問24 日頃の生活で、あなたがとくに不安を感じていることは何ですか。(〇はいくつでも)

日頃の生活で、とくに不安を感じていることについて、「自分や家族の老後のこと」が51.9%と最も高く、次いで「自分や家族の健康のこと」が47.1%、「収入など経済的なこと」が32.0%となっています。

年齢別にみると、18～19歳において「特になし」、30歳代において「収入など経済的なこと」、70歳代において「自分や家族の健康のこと」、それ以外の年代において「自分や家族の老後のこと」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

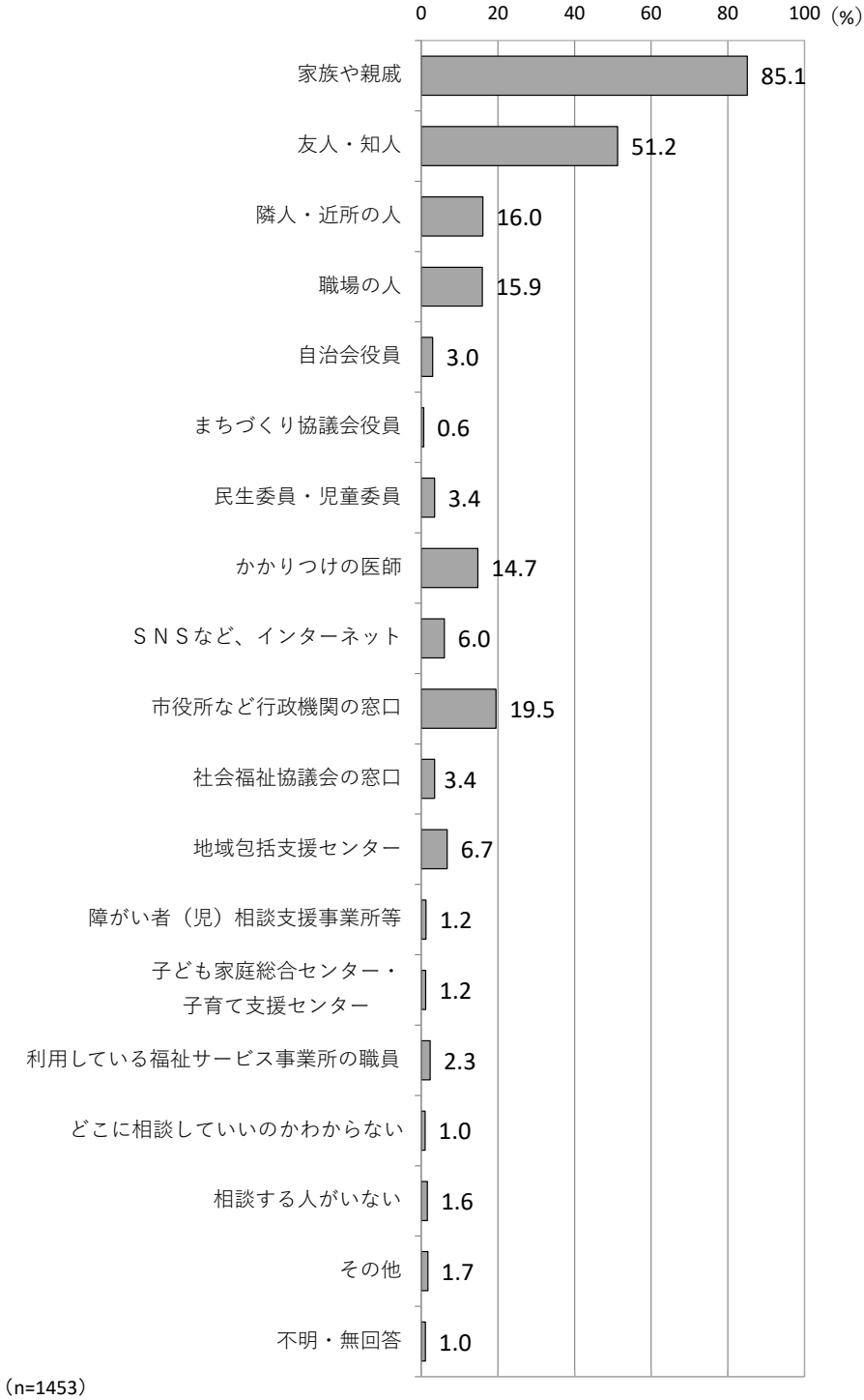
(%)	合計	自分や家族の健康のこと	自分や家族の老後のこと	こどもの教育や進路のこと	育児に関すること	介護に関すること	収入など 経済的なこと	地域での人間関係のこと	家族・親せきの人間関係のこと	住宅のこと	地域の防犯のこと	地震や風水害、火事など災害のこと
全体	1453	47.1	51.9	10.7	5.2	30.6	32.0	7.0	5.6	13.8	22.3	31.9
18～19歳	16	18.8	18.8	6.3	0.0	12.5	25.0	0.0	6.3	12.5	6.3	25.0
20歳代	82	23.2	35.4	11.0	9.8	11.0	29.3	3.7	6.1	12.2	26.8	29.3
30歳代	158	30.4	34.8	31.6	25.9	11.4	39.2	6.3	5.1	14.6	22.2	29.1
40歳代	169	34.3	48.5	36.7	12.4	18.3	38.5	9.5	7.1	14.8	24.3	35.5
50歳代	220	45.5	55.5	10.5	0.5	35.5	40.0	7.3	10.9	19.1	23.6	29.1
60歳代	304	52.3	60.5	1.6	1.0	34.2	33.6	6.3	5.3	15.5	22.4	37.5
70歳代	368	61.4	56.0	1.6	0.3	35.9	26.6	7.3	2.2	10.6	21.5	30.7
80歳以上	128	53.1	53.9	0.0	0.0	53.1	14.8	7.8	6.3	9.4	18.8	28.9

(%)	合計	仕事（就職・失業）のこと	地域での移動や通院手段のこと	地域での買い物のこと	その他	特にない	不明・無回答
全体	1453	9.1	16.2	9.4	1.5	10.9	4.9
18～19歳	16	12.5	6.3	6.3	0.0	50.0	0.0
20歳代	82	17.1	18.3	4.9	2.4	12.2	9.8
30歳代	158	13.9	7.6	5.7	0.6	12.0	5.7
40歳代	169	13.6	10.1	5.3	3.6	8.9	7.7
50歳代	220	14.5	17.7	10.9	1.8	9.5	7.3
60歳代	304	10.9	13.2	8.2	0.7	10.9	5.3
70歳代	368	1.4	20.1	11.7	1.1	10.9	1.9
80歳以上	128	0.8	28.9	17.2	2.3	7.8	1.6

**問25 もしあなた自身が様々な場面で困ったとき、誰（どこ）に相談しますか。（〇は3つまで）**

様々な場面で困ったとき、誰（どこ）に相談するかについて、「家族や親戚」が85.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が51.2%、「市役所など行政機関の窓口」が19.5%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「家族や親戚」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

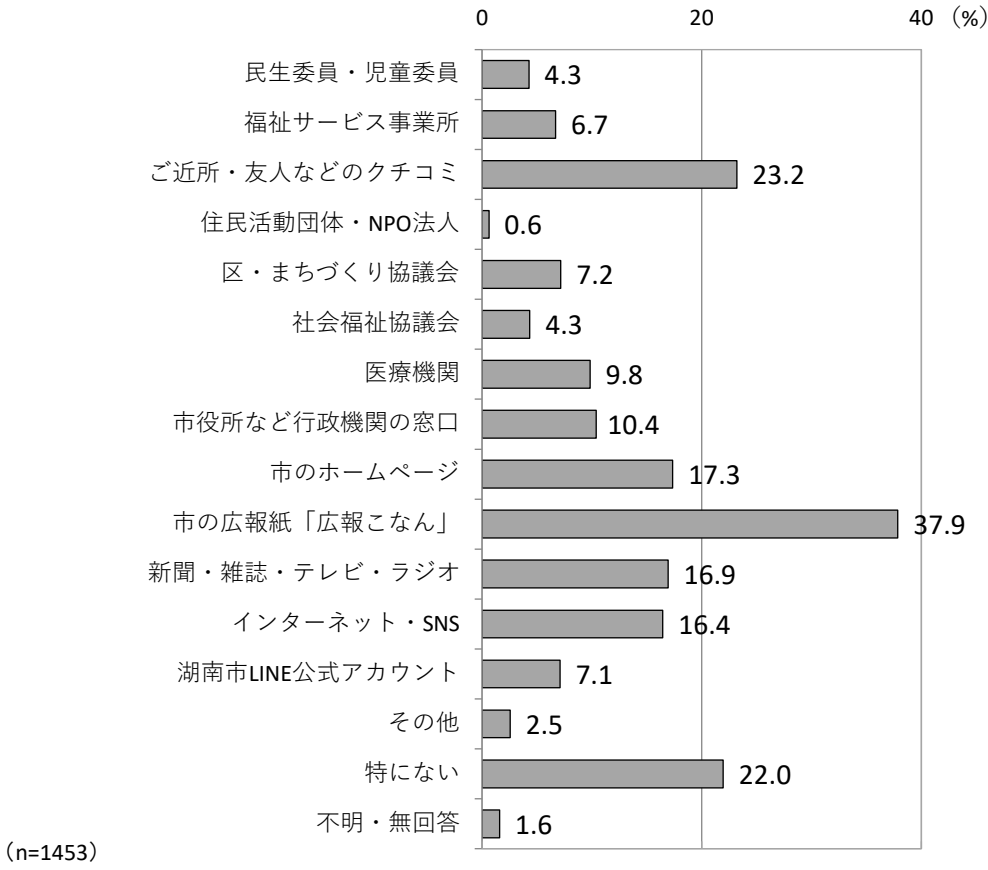
(%)	合計	家族や親戚	友人・知人	隣人・近所の人	職場の人	自治会役員	まちづくり協議会役員	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	SNSなど、インターネット	市役所など行政機関の窓口	社会福祉協議会の窓口
全体	1453	85.1	51.2	16.0	15.9	3.0	0.6	3.4	14.7	6.0	19.5	3.4
18～19歳	16	93.8	81.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	18.8	0.0	0.0
20歳代	82	91.5	58.5	4.9	23.2	0.0	0.0	0.0	12.2	11.0	4.9	1.2
30歳代	158	88.0	60.1	4.4	35.4	0.0	0.0	0.0	6.3	8.9	12.7	0.6
40歳代	169	88.2	63.9	6.5	37.3	0.6	0.0	0.6	5.9	8.9	16.6	0.6
50歳代	220	78.6	50.9	9.1	24.5	0.5	0.5	1.8	6.8	9.5	20.5	4.5
60歳代	304	82.6	52.3	18.1	10.5	3.3	0.3	2.3	17.1	3.3	26.3	3.3
70歳代	368	88.0	44.8	26.9	1.4	6.5	1.4	6.3	23.4	3.8	20.9	6.3
80歳以上	128	81.3	31.3	27.3	0.8	5.5	1.6	11.7	21.1	0.8	21.1	3.1

(%)	合計	地域包括支援センター	障がい者(児)相談支援事業所等	子ども家庭総合センター・子育て支援センター	利用している福祉サービス事業所の職員	どこに相談していいのかわからない	相談する人がいない	その他	不明・無回答
全体	1453	6.7	1.2	1.2	2.3	1.0	1.6	1.7	1.0
18～19歳	16	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0
20歳代	82	1.2	0.0	3.7	0.0	1.2	0.0	2.4	1.2
30歳代	158	1.9	0.6	5.1	1.9	0.0	1.3	1.3	0.0
40歳代	169	1.2	3.6	3.0	1.2	0.6	3.0	1.2	1.8
50歳代	220	5.5	1.8	0.0	1.4	1.8	1.8	1.8	0.9
60歳代	304	7.6	0.7	0.0	2.3	1.6	2.6	1.0	1.3
70歳代	368	9.0	1.1	0.0	3.3	0.5	0.8	1.6	0.3
80歳以上	128	18.8	0.0	0.8	3.9	0.8	0.8	3.1	2.3

問26 あなたは、福祉に関する情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

福祉に関する情報をどこから得ているかについて、「市の広報誌「広報こなん」」が37.9%と最も高く、次いで「ご近所・友人などのクチコミ」が23.2%、「特にない」が22.0%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳において「インターネット・SNS」と「特にない」が最も高くなっており、20歳代、50歳代において「特にない」、30歳代において「インターネット・SNS」、それ以外の年代において「市の広報誌「広報こなん」」が最も高くなっていきます。



【年齢別クロス】

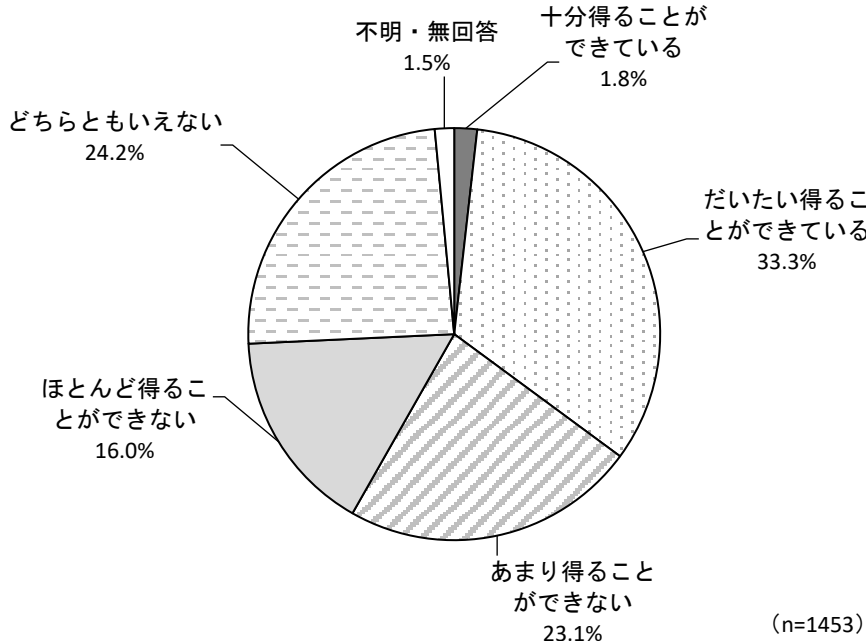
(%)	合計	民生委員・ 児童委員	福祉サービス 事業所	ご近所・友人などの クチコミ	住民活動団体・NPO法人	区・まちづくり 協議会	社会福祉協議会	医療機関	市役所など 行政機関の窓口	市のホームページ	市の広報紙 「広報こなん」	新聞・雑誌・ テレビ・ラジオ
全体	1453	4.3	6.7	23.2	0.6	7.2	4.3	9.8	10.4	17.3	37.9	16.9
18～19歳	16	0.0	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	6.3	0.0	12.5	6.3	6.3
20歳代	82	0.0	1.2	7.3	0.0	0.0	0.0	4.9	4.9	14.6	14.6	3.7
30歳代	158	1.9	8.2	15.8	1.9	3.8	2.5	7.0	8.2	26.6	20.3	7.0
40歳代	169	0.6	4.7	18.3	0.0	3.0	0.6	8.3	7.7	21.3	31.4	4.1
50歳代	220	0.9	6.8	16.8	1.8	4.1	2.3	7.3	9.5	16.4	26.4	8.6
60歳代	304	3.0	5.6	24.0	0.0	7.2	5.6	7.6	11.5	15.1	43.1	16.8
70歳代	368	7.3	8.7	32.3	0.5	12.2	7.9	15.2	13.3	15.5	53.5	29.9
80歳以上	128	15.6	8.6	33.6	0.0	10.9	5.5	14.1	12.5	15.6	47.7	31.3

(%)	合計	インターネット・SNS	湖南市LINE 公式アカウント	その他	特にな い	不明・無回 答
全体	1453	16.4	7.1	2.5	22.0	1.6
18～19歳	16	37.5	6.3	12.5	37.5	0.0
20歳代	82	30.5	6.1	3.7	39.0	1.2
30歳代	158	28.5	9.5	2.5	24.1	1.3
40歳代	169	27.2	9.5	2.4	24.9	1.8
50歳代	220	21.8	5.0	2.7	33.6	1.4
60歳代	304	12.2	9.2	3.3	20.4	2.3
70歳代	368	7.6	5.2	1.6	13.9	0.8
80歳以上	128	0.8	6.3	1.6	10.9	2.3

問27 あなたは福祉に関する情報を十分得ることができていると思いますか。(○は1つ)

福祉に関する情報を十分得ることができていると思うかについて、「だいたい得ることができている」が33.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.2%、「あまり得ることができない」が23.1%となっています。

年齢別にみると、20歳代において「どちらともいえない」、40歳代において「あまり得ることができない」が最も高くなっており、50歳代において「だいたい得ることができている」と「ほとんど得ることができない」が最も高くなっています。また、それ以外の年代において「だいたい得ることができている」が最も高くなっています。



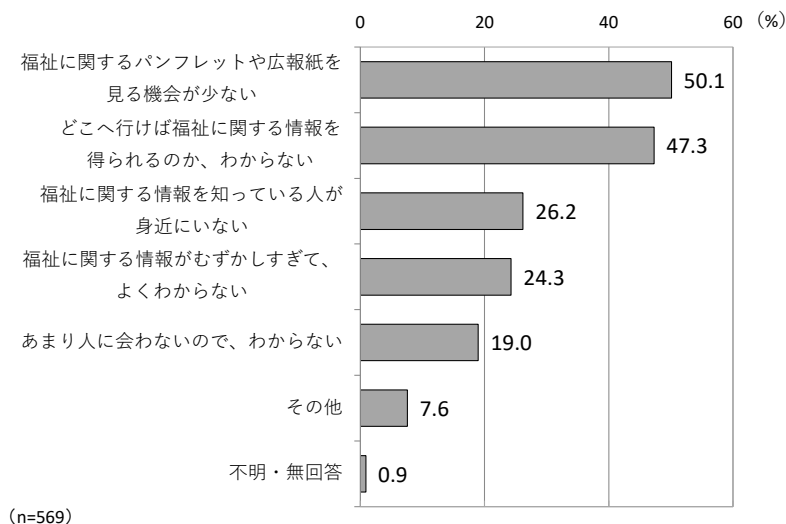
【年齢別クロス】

(%)	合計	十分得ることが	だいたい得ているこ	とがあまり得るこ	とがほとんど得る	どちらともいえない	不明・無回答
全体	1453	1.8	33.3	23.1	16.0	24.2	1.5
18～19歳	16	0.0	37.5	18.8	18.8	25.0	0.0
20歳代	82	2.4	18.3	23.2	23.2	31.7	1.2
30歳代	158	3.8	34.2	24.7	15.2	22.2	0.0
40歳代	169	1.8	24.9	29.6	17.2	24.9	1.8
50歳代	220	0.9	25.5	23.6	25.5	23.2	1.4
60歳代	304	1.0	32.9	19.4	17.8	27.0	2.0
70歳代	368	1.1	43.2	20.4	9.0	24.5	1.9
80歳以上	128	4.7	36.7	28.9	11.7	17.2	0.8

問28 問27で「3 あまり得ることができない」「4 ほとんど得ることができない」を選んだ方におうかがいします。福祉に関する情報を十分得ることができないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

福祉に関する情報を十分得ることができない理由について、「福祉に関するパンフレットや広報紙を見る機会が少ない」が50.1%と最も高く、次いで「どこへ行けば福祉に関する情報を得られるのか、わからない」が47.3%、「福祉に関する情報を知っている人が身近にいない」が26.2%となっています。

年齢別にみると、30歳代、50歳代、80歳以上において「どこへ行けば福祉に関する情報を得られるのか、わからない」が最も高くなっています。



その他回答
● 不十分な情報が多い
● 自分から質問したりなど積極的に動かないと情報をもらえないから。
● 母のケアマネや利用しているデイサービスからは福祉の情報は得られない
● そもそも調べないと発信されていないケースが多い。
● 余計な情報やデマが多すぎる
● SNSでの発信が少ない
● 困ったとき「相談窓口」が多くどこが担当課か分からなかった
● 役場にいても、しっかり説明できる人がいないとらいまわしにされて、どのようなサービスがあるのかわからない
● 聞いても相談しても、変らなかった為
● 不十分な情報が多い
● 自分から質問したりなど積極的に動かないと情報をもらえないから。
● だれがどんな情報を出しているか不明
● どこで発信をされてるのかわからない
● どのようなことがあるのか自体わからないからです。
● 全てを得ているかが、わからないから
● 広報紙は見ているが福祉に関する事かわからない
● 新聞をとってないので広報誌を見る機会がなく、留守にする事が多く、回覧板も見ることがない
● 個人情報に関するものなので強くは追求しない
● 現在情報を必要としていない等 (18)

【年齢別クロス】

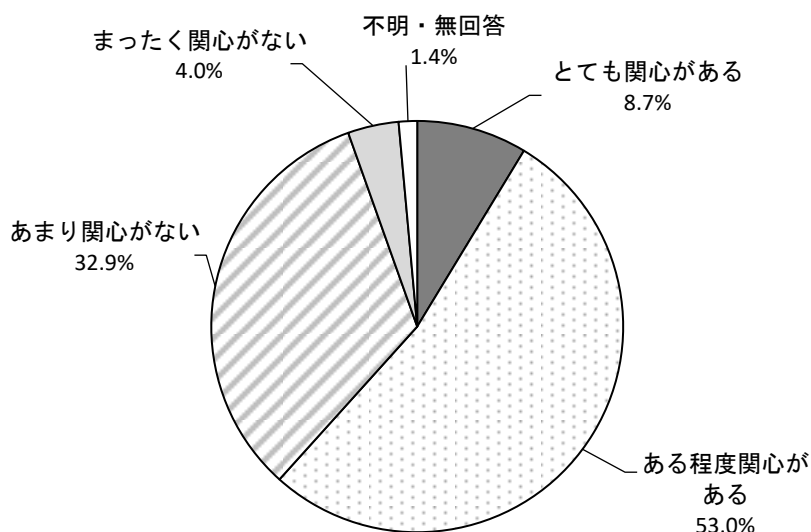
(%)	合計	福祉に関するパンフレットや 広報紙を見る機会が少ない	どこへ行けば福祉に関する情報を 得られるのか、わからない	福祉に関する情報が 知っている人が身近にいない	福祉に関する情報が むずかしすぎて、よくわからない	あまり人に会わないので、 わからない	その他	不明・無回答
全体	569	50.1	47.3	26.2	24.3	19.0	7.6	0.9
18～19歳	6	33.3	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0
20歳代	38	60.5	44.7	23.7	28.9	15.8	2.6	0.0
30歳代	63	55.6	58.7	25.4	25.4	14.3	7.9	0.0
40歳代	79	53.2	48.1	29.1	22.8	13.9	8.9	0.0
50歳代	108	40.7	46.3	26.9	21.3	19.4	9.3	0.0
60歳代	113	51.3	45.1	23.9	29.2	17.7	9.7	0.9
70歳代	108	52.8	46.3	28.7	25.0	22.2	5.6	0.0
80歳以上	52	44.2	50.0	25.0	19.2	28.8	3.8	5.8

## 4. 地域福祉に関する学びや活動について

問29 あなたは福祉に関心をお持ちですか。(〇は1つ)

福祉に関心を持っているかについて、「ある程度関心がある」が53.0%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が32.9%、「とても関心がある」が8.7%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代において「あまり関心がない」、それ以外の年代において「ある程度関心がある」が最も高くなっています。



(n=1453)

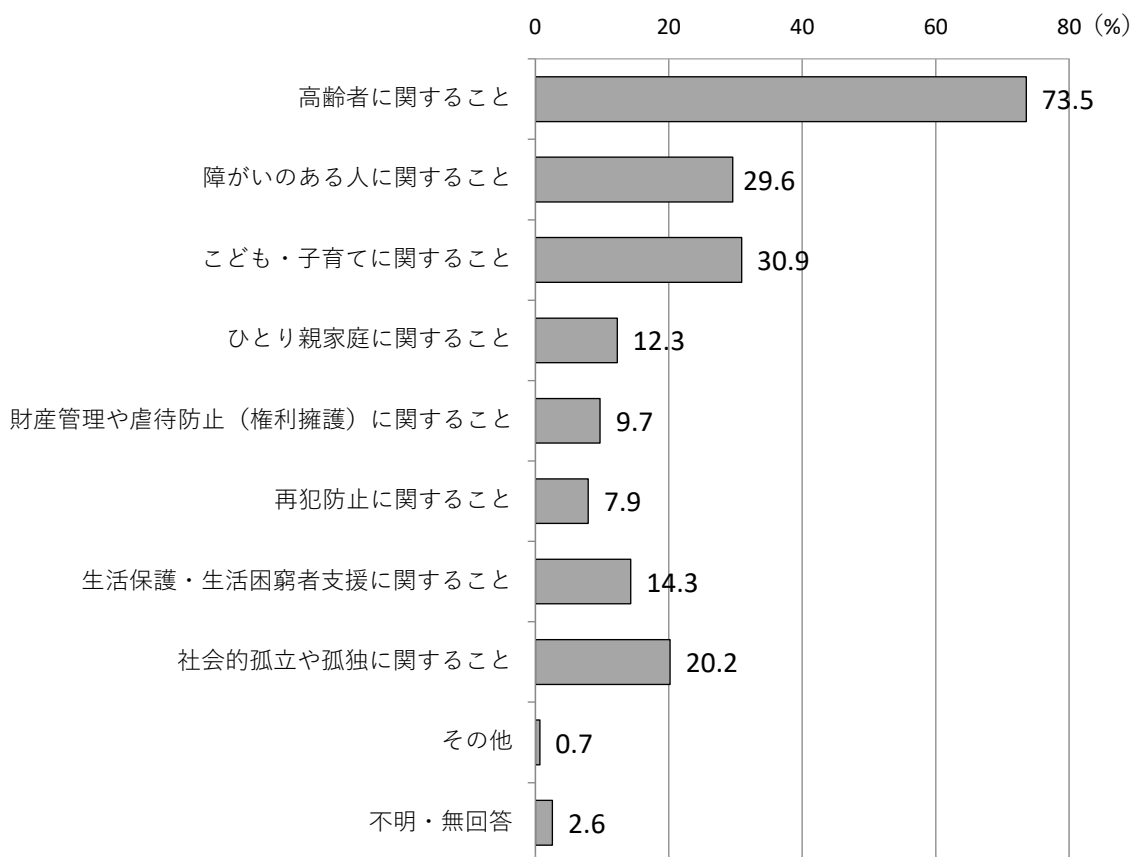
### 【年齢別クロス】

(%)	合計	関心 が と て も あ る	関 心 が あ る 程 度	関 心 が あ ま り な い	関 心 が な い ま っ た く	不 明 ・ 無 回 答
全体	1453	8.7	53.0	32.9	4.0	1.4
18～19歳	16	0.0	31.3	62.5	6.3	0.0
20歳代	82	6.1	35.4	43.9	14.6	0.0
30歳代	158	5.1	53.2	33.5	7.6	0.6
40歳代	169	8.9	47.9	37.3	3.6	2.4
50歳代	220	8.2	50.9	36.4	4.1	0.5
60歳代	304	6.9	56.3	31.9	3.0	2.0
70歳代	368	10.9	57.1	29.3	1.4	1.4
80歳以上	128	14.8	57.0	22.7	3.1	2.3

問30 問29で「1 とても関心がある」「2 ある程度関心がある」を選んだ方におうかがいします。どのような分野に関心がありますか。(〇はいくつでも)

どのような分野に関心があるかについて、「高齢者に関すること」が73.5%と最も高く、次いで「子ども・子育てに関すること」が30.9%、「障がいのある人に関すること」が29.6%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳において「障がいのある人に関すること」、20歳代、30歳代、40歳代において「子ども・子育てに関すること」、それ以外の年代において「高齢者に関すること」が最も高くなっています。



(n=896)

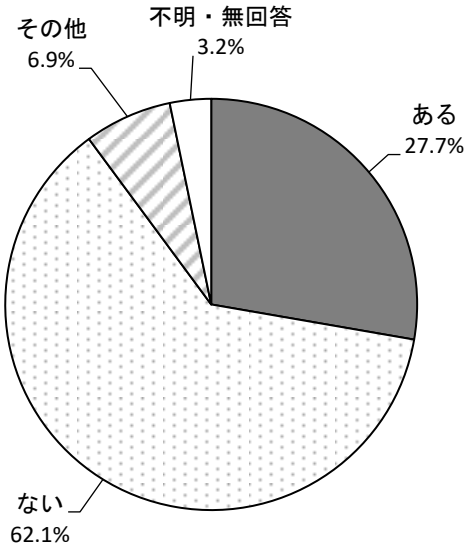
【年齢別クロス】

(%)	合計	高齢者に関すること	障がいのある人に関すること	子ども・子育てに関すること	ひとり親家庭に関すること	財産管理や虐待防止（権利擁護）に関すること	再犯防止に関すること	生活保護・生活困窮者支援に関すること	社会的孤立や孤独に関すること	その他	不明・無回答
全体	896	73.5	29.6	30.9	12.3	9.7	7.9	14.3	20.2	0.7	2.6
18～19歳	5	40.0	80.0	20.0	20.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
20歳代	34	52.9	23.5	70.6	23.5	14.7	5.9	17.6	8.8	0.0	0.0
30歳代	92	29.3	26.1	83.7	18.5	13.0	6.5	9.8	12.0	0.0	1.1
40歳代	96	54.2	39.6	65.6	14.6	7.3	6.3	15.6	11.5	1.0	1.0
50歳代	130	76.2	29.2	29.2	8.5	15.4	7.7	17.7	23.8	0.8	0.0
60歳代	192	81.8	35.4	24.0	14.1	10.4	8.3	15.6	24.5	0.5	2.6
70歳代	250	88.0	25.2	8.0	9.2	6.4	9.2	13.2	25.2	0.8	3.6
80歳以上	92	87.0	21.7	7.6	9.8	7.6	6.5	12.0	13.0	1.1	7.6

問31 あなたは、福祉の仕事への興味はありますか。(〇は1つ)

福祉の仕事への興味があるかについて、「ない」が62.1%と最も高く、次いで「ある」が27.7%、「その他」が6.9%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「ない」が最も高くなっています。



(n=1453)

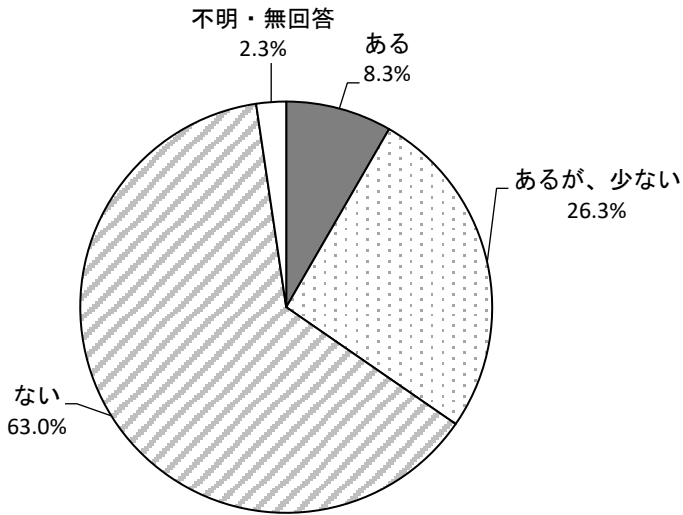
【年齢別クロス】

(%)	合計	ある	ない	その他	不明・無回答
全体	1453	27.7	62.1	6.9	3.2
18～19歳	16	18.8	68.8	12.5	0.0
20歳代	82	26.8	72.0	1.2	0.0
30歳代	158	27.2	66.5	4.4	1.9
40歳代	169	22.5	66.3	9.5	1.8
50歳代	220	26.8	63.2	8.2	1.8
60歳代	304	30.6	59.5	6.3	3.6
70歳代	368	29.9	61.1	6.0	3.0
80歳以上	128	26.6	51.6	10.9	10.9

問32 あなたは、日頃、福祉について学ぶ機会がありますか。(〇は1つ)

日頃、福祉について学ぶ機会があるかについて、「ない」が63.0%と最も高く、次いで「あるが、少ない」が26.3%、「ある」が8.3%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「ない」が最も高くなっています。



(n=1453)

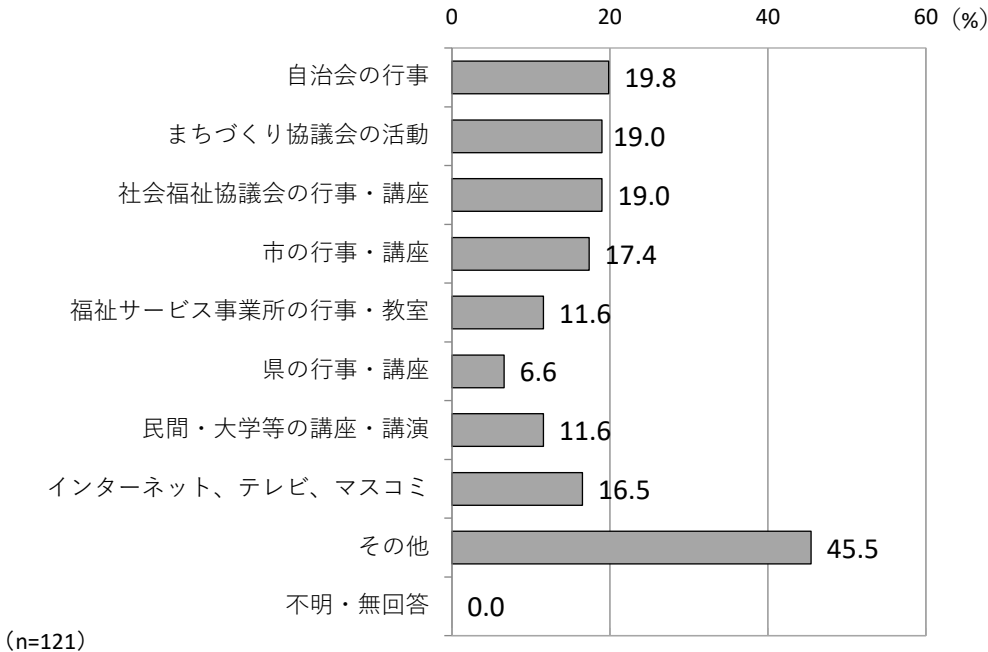
【年齢別クロス】

(%)	合計	ある	あるが、 少ない	ない	不明・ 無回答
全体	1453	8.3	26.3	63.0	2.3
18～19歳	16	18.8	37.5	43.8	0.0
20歳代	82	13.4	25.6	61.0	0.0
30歳代	158	12.0	25.9	61.4	0.6
40歳代	169	7.1	23.1	66.3	3.6
50歳代	220	5.9	22.3	70.5	1.4
60歳代	304	10.5	24.0	62.5	3.0
70歳代	368	6.5	29.3	61.4	2.7
80歳以上	128	5.5	31.3	60.2	3.1

問33 問32で「1 ある」を選んだ方におうかがいします。それはどういう機会ですか。(〇はいくつでも)

どういう機会に福祉を学ぶのかについて、「その他」が45.5%と最も高く、次いで「自治会の行事」が19.8%、「まちづくり協議会の活動」、「社会福祉協議会の行事・講座」がともに19.0%となっています。

年齢別にみると、70歳代において「まちづくり協議会の活動」、80歳以上において「自治会の行事」、それ以外の年代において「その他」が最も高くなっています。



その他回答	
● 職場、職場の研修 (16)	● 父のケアマネージャー、病院の相談担当
● 仕事、福祉関係の仕事をしている (20)	● 妻が福祉関係の仕事をしていたので
● 学校、学校での講演 (3)	● 難聴のため手話サークル等で手話を学んで
● 社会福祉士の資格勉強中	● 成年後見人等としての活動
● 前職で福祉の仕事をしていた	● 病院や職能団体

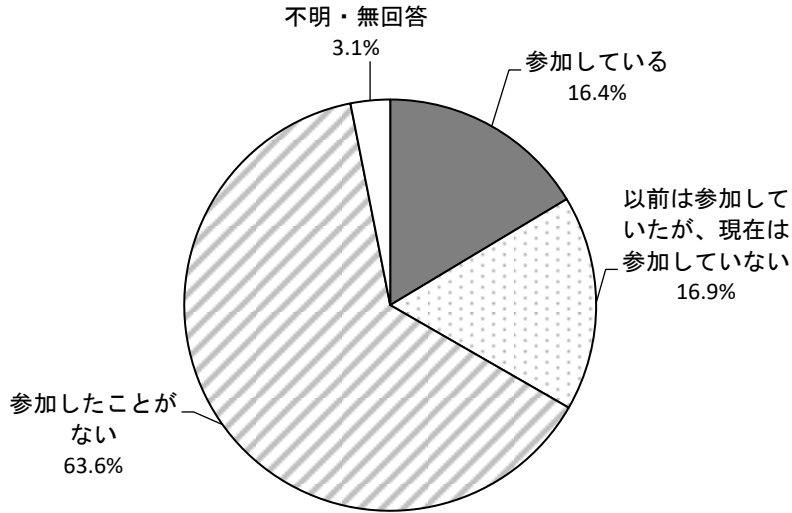
【年齢別クロス】

(%)	合計	自治会の行事	まちづくり協議会の活動	社会福祉協議会の行事・講座	市の行事・講座	福祉サービス事業所の行事・教室	県の行事・講座	民間・大学等の講座・講演	インターネット、テレビ、マスコミ	その他	不明・無回答
全体	121	19.8	19.0	19.0	17.4	11.6	6.6	11.6	16.5	45.5	0.0
18～19歳	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
20歳代	11	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	36.4	9.1	72.7	0.0
30歳代	19	5.3	5.3	5.3	15.8	10.5	10.5	5.3	0.0	73.7	0.0
40歳代	12	8.3	16.7	0.0	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	75.0	0.0
50歳代	13	15.4	23.1	23.1	7.7	7.7	15.4	15.4	30.8	53.8	0.0
60歳代	32	15.6	9.4	12.5	18.8	21.9	3.1	12.5	28.1	34.4	0.0
70歳代	24	41.7	50.0	45.8	29.2	12.5	4.2	8.3	16.7	16.7	0.0
80歳以上	7	57.1	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0

**問34 あなたは現在、何らかの市民活動・ボランティア活動に参加していますか。(〇は1つ)**

現在、何らかの市民活動・ボランティア活動に参加しているかについて、「参加したことがない」が63.6%と最も高く、次いで「以前は参加していたが、現在は参加していない」が16.9%、「参加している」が16.4%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「参加したことがない」が最も高くなっています。



(n=1453)

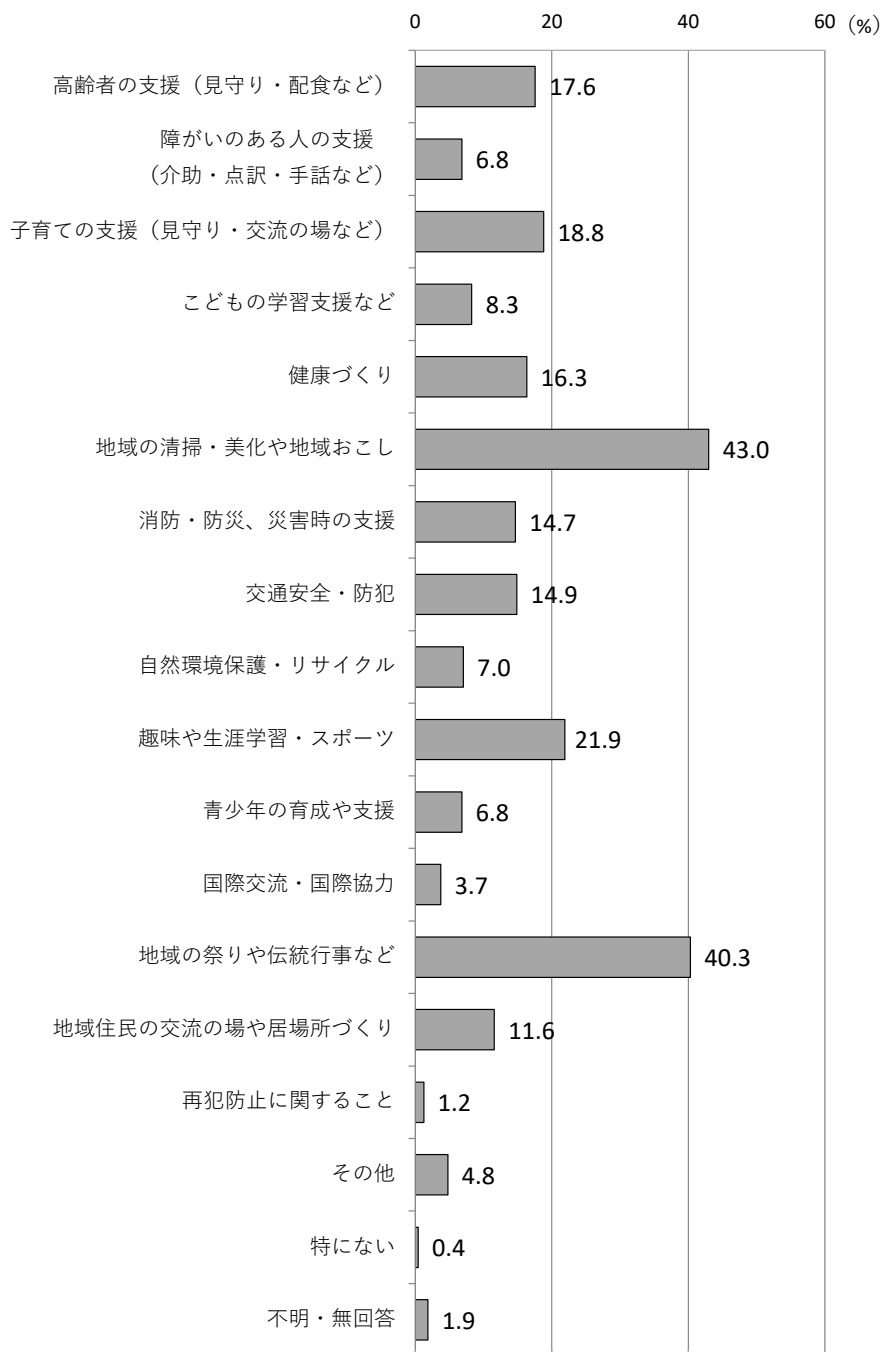
**【年齢別クロス】**

(%)	合計	参加している	以前は参加していたが、現在は参加していない	参加したことがない	不明・無回答
全体	1453	16.4	16.9	63.6	3.1
18～19歳	16	12.5	31.3	56.3	0.0
20歳代	82	7.3	9.8	81.7	1.2
30歳代	158	10.1	8.2	81.0	0.6
40歳代	169	11.8	14.8	69.8	3.6
50歳代	220	11.8	11.8	72.7	3.6
60歳代	304	18.1	16.8	61.8	3.3
70歳代	368	23.9	19.8	53.3	3.0
80歳以上	128	18.0	34.4	42.2	5.5

問35 問34で「1 参加している」「2 以前は参加していたが、現在は参加していない」を選んだ方におうかがいします。具体的にどのような活動に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

具体的にどのような活動に参加したことがあるかについて、「地域の清掃・美化や地域おこし」が43.0%と最も高く、次いで「地域の祭りや伝統行事など」が40.3%、「趣味や生涯学習・スポーツ」が21.9%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代、60歳代において「地域の祭りや伝統行事など」、70歳代において「地域の清掃・美化や地域おこし」と「地域の祭りや伝統行事など」が最も高くなっており、それ以外の年代において「地域の清掃・美化や地域おこし」が最も高くなっています。



(n=484)

【年齢別クロス】

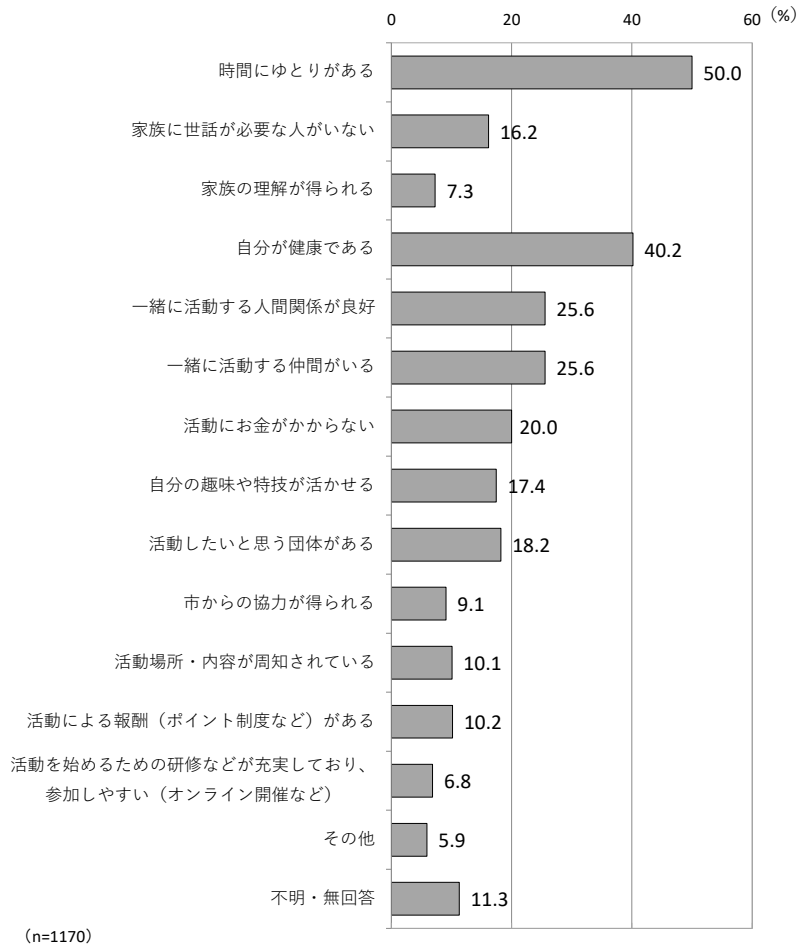
(%)	合計	高齢者の支援 (見守り・配食など)	障がいのある人の支援 (介助・点訳・ 手話など)	(見守り・交流の場など) 子育ての支援など	こどもの学習支援など	健康づくり	美化や地域おこし 地域の清掃・	消防・防災、 災害時の支援	交通安全・防犯	自然環境保護・ リサイクル	趣味や生涯学習・ スポーツ	青少年の育成や支援
全体	484	17.6	6.8	18.8	8.3	16.3	43.0	14.7	14.9	7.0	21.9	6.8
18～19歳	7	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0	42.9	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3
20歳代	14	21.4	7.1	14.3	14.3	7.1	42.9	7.1	0.0	28.6	21.4	14.3
30歳代	29	6.9	6.9	17.2	3.4	0.0	44.8	10.3	6.9	0.0	6.9	6.9
40歳代	45	6.7	8.9	28.9	8.9	6.7	33.3	13.3	6.7	2.2	11.1	6.7
50歳代	52	11.5	9.6	17.3	11.5	3.8	40.4	15.4	19.2	3.8	25.0	3.8
60歳代	106	19.8	5.7	17.9	5.7	13.2	36.8	15.1	10.4	4.7	14.2	9.4
70歳代	161	19.3	6.2	19.3	9.3	22.4	50.3	19.9	19.9	8.7	26.7	5.0
80歳以上	67	26.9	6.0	16.4	4.5	32.8	44.8	6.0	17.9	10.4	34.3	7.5

(%)	合計	国際交流・国際協力	地域の祭りや伝統行事など	地域住民の交流の場や 居場所づくり	再犯防止に関すること	その他	特にない	不明・無回答
全体	484	3.7	40.3	11.6	1.2	4.8	0.4	1.9
18～19歳	7	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	14	0.0	57.1	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0
30歳代	29	3.4	41.4	6.9	0.0	6.9	0.0	0.0
40歳代	45	2.2	22.2	4.4	2.2	4.4	0.0	0.0
50歳代	52	3.8	28.8	11.5	0.0	3.8	1.9	1.9
60歳代	106	4.7	39.6	15.1	1.9	2.8	0.0	3.8
70歳代	161	3.7	50.3	13.7	1.9	5.0	0.6	1.9
80歳以上	67	3.0	32.8	7.5	0.0	6.0	0.0	1.5

問36 問34で「2 以前は参加していたが、現在は参加していない」「3 参加したことがない」を選んだ方におうかがいします。どのような条件があれば、市民活動・ボランティア活動に参加できますか（しやすいですか）。（〇はいくつでも）

どのような条件があれば、市民活動・ボランティア活動に参加できるかについて、「時間にゆとりがある」が50.0%と最も高く、次いで「自分が健康である」が40.2%、「一緒に活動する人間関係が良好」、「一緒に活動する仲間がいる」がともに25.6%となっています。

年齢別にみると、70歳代、80歳以上において「自分が健康である」、それ以外の年代において「時間にゆとりがある」が最も高くなっています。



その他回答
● 仕事などせずあそんで生活できる大金があれば
● 自分に経済的余裕があれば
● 地域で嫌な思いをしたのでそれが解消したら
● 妻の看護をしてくれたら
● 子供が楽しめたり、学べたり、良い魅力のあるボランティア
● どんな活動してるのか？きえしらないので、そういった情報をえる機会があれば時間が合う時は参加するかも
● 年が75才迄
● 当番で参加
● 子を預けられる or 一緒に参加できる

● 信頼のおける実績のある団体であること	
● まちのコイン	
● 高齢や障がいのため、参加が難しい等 (19)	
● 聞いていても話が、むずかしすぎて分からない	
● 現在自分の時間はあまりありません。やりたいことは他にたくさんあります	
● 毎日朝から夜までやるべきことがあり、退屈していないし孤独を感じることもない。子ども二人とは SNS で繋がっているし親戚も近くに居る。従い特段諸活動に参加したいと思わない	
● 誘われればすると思うが誘われることがない	
● 関わりたくない	● 一時離れてそのまま
● 人に会うのがいやだから	● 意味がない
● 時間のゆとりがない。	● 参加しない (3)
● 職場の理解を得られない	● 特にない (2)
● 子供の反抗期だったので。	● わからない (2)

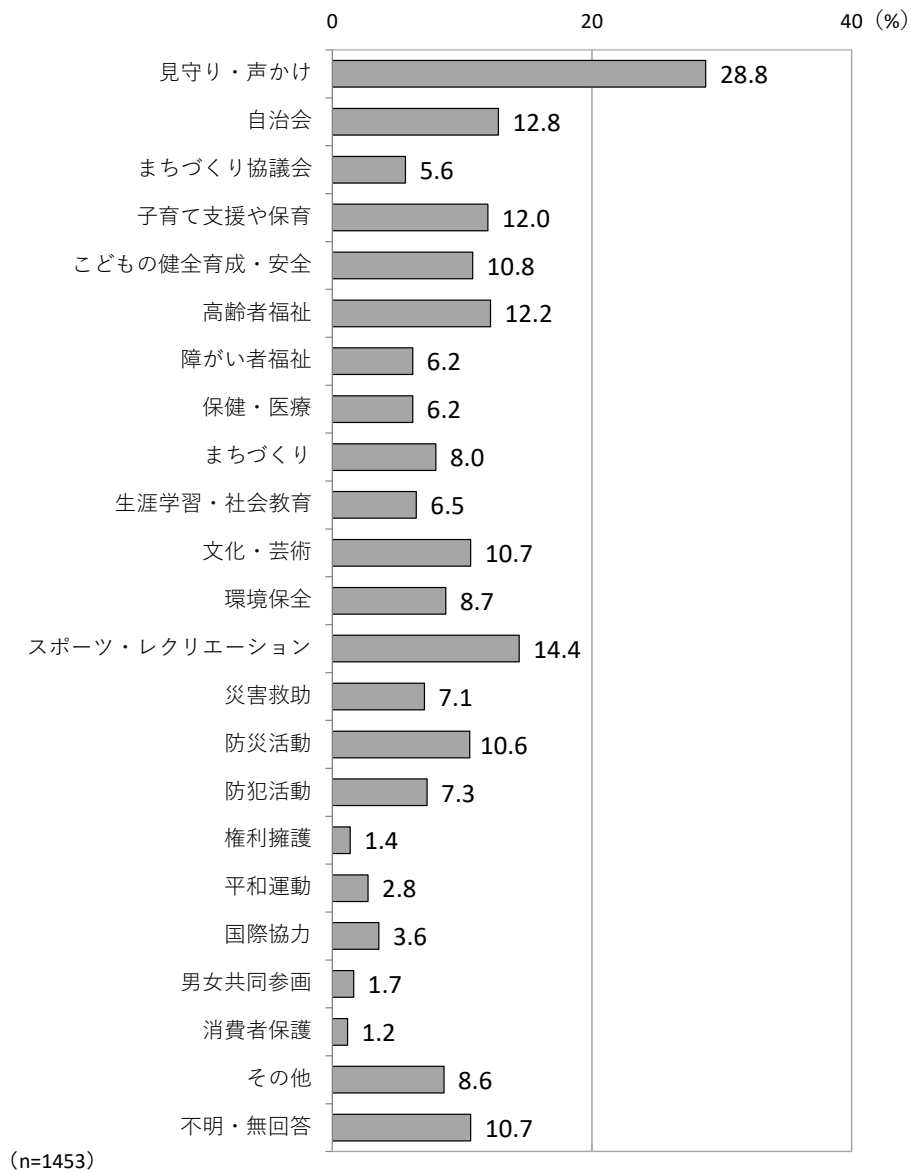
【年齢別クロス】

(%)	合計	時間にゆとりがある	家族に世話が必要な人がいない	家族の理解が得られる	自分が健康である	人間関係が良好	一緒に活動する仲間がいる	活動にお金がかからない	自分の趣味や特技が活かせる	活動したいと思う団体がある	市からの協力が得られる	活動場所・内容が周知されている	活動による報酬(ポイント制度など)がある	活動を始めるための研修などが充実しており、参加しやすい(オンライン開催など)	その他	不明・無回答
全体	1170	50.0	16.2	7.3	40.2	25.6	25.6	20.0	17.4	18.2	9.1	10.1	10.2	6.8	5.9	11.3
18~19歳	14	57.1	0.0	0.0	7.1	28.6	21.4	14.3	28.6	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0
20歳代	75	62.7	8.0	0.0	17.3	24.0	30.7	21.3	24.0	26.7	13.3	12.0	26.7	8.0	4.0	4.0
30歳代	141	58.2	18.4	7.8	26.2	27.0	24.8	28.4	17.7	25.5	12.8	19.1	14.2	10.6	4.3	8.5
40歳代	143	69.2	20.3	11.2	31.5	31.5	29.4	30.1	17.5	29.4	14.7	14.7	16.1	9.8	4.2	7.0
50歳代	186	64.5	20.4	5.9	37.6	28.5	29.0	21.0	17.7	18.8	9.1	8.6	12.4	8.1	4.8	5.4
60歳代	239	57.7	19.2	10.5	52.3	30.1	27.6	21.8	20.5	18.4	8.4	10.5	7.1	5.4	4.6	6.7
70歳代	269	28.6	11.9	7.1	52.4	20.4	21.9	13.8	14.9	12.3	6.7	7.1	4.8	5.9	7.4	16.4
80歳以上	98	11.2	9.2	2.0	33.7	11.2	14.3	4.1	9.2	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	13.3	37.8

問37 あなたが今後、市民活動・ボランティア活動を行うとしたら、どの分野の活動に参加したいですか。(〇はいくつでも)

どの分野の活動に参加したいかについて、「見守り・声かけ」が28.8%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション」が14.4%、「自治会」が12.8%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳において「スポーツ・レクリエーション」、20歳代、30歳代において「子育て支援や保育」、それ以外の年代において「見守り・声かけ」が最も高くなっています。



その他回答	
● 隣組活動	
● 一人暮らしの方に不動産関係アドバイス	
● お祭りのお手伝いなど。	
● 看護師の仕事をしていたので何か役に立てるといいと思う。	
● 12 にあてはまると思うがゴミひろい	
● 初認者研修の役に立つところ	
● 動物愛護、動物保護活動 (3)	
● 地域の清掃	
● 子供が参加できるイベント等	
● デジタル分野	
● 子供学習支援等	
● 市民活動よりむしろ反共愛國活動	
● 未経験なのでとりあえずやってみて、自分に合う活動があるのならそれをつづきたいと思います	
● できることをできる範囲で無理なく。	
● 今後、自分に必要。したいと思った分野	
● 現在で充分	
● 現在参加しているものは続けていくが年令的に新しいものは無理。	
● 高齢や障がいのため、参加が難しい等 (9)	
● 仕事都合でムリです	● 今は考えられない
● 経済的余裕がない	● わからない (11)
● 出来ない	● 特になし (29)
● 自分の生活	● 参加しない (3)

【年齢別クロス】

(%)	合計	見守り・ 声かけ	自治会	まちづくり協議会	子育て支援や保育	こどもの健全育成・ 安全	高齢者福祉	障がい者福祉	保健・医療	まちづくり	生涯学習・ 社会教育	文化・芸術	環境保全
全体	1453	28.8	12.8	5.6	12.0	10.8	12.2	6.2	6.2	8.0	6.5	10.7	8.7
18～19歳	16	18.8	18.8	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3	18.8	6.3
20歳代	82	19.5	2.4	2.4	28.0	20.7	4.9	4.9	12.2	12.2	8.5	12.2	7.3
30歳代	158	24.1	8.9	3.2	37.3	29.1	8.2	8.9	7.6	10.8	4.4	10.8	6.3
40歳代	169	31.4	10.1	5.9	20.1	13.6	10.1	7.7	5.9	8.9	6.5	8.9	7.1
50歳代	220	29.1	8.2	4.1	8.6	9.5	12.3	8.2	8.2	8.6	7.3	11.8	8.6
60歳代	304	29.9	14.5	4.9	9.9	7.6	11.5	5.9	7.2	6.3	6.9	11.5	9.5
70歳代	368	32.9	19.0	8.7	1.9	5.4	16.0	5.4	3.5	8.4	5.4	12.0	10.9
80歳以上	128	24.2	12.5	6.3	0.8	3.9	17.2	1.6	3.1	3.1	7.0	3.9	7.0

(%)	合計	レクリエーション・ スポーツ	災害救助	防災活動	防犯活動	権利擁護	平和運動	国際協力	男女共同参画	消費者保護	その他	不明・無回答
全体	1453	14.4	7.1	10.6	7.3	1.4	2.8	3.6	1.7	1.2	8.6	10.7
18～19歳	16	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
20歳代	82	18.3	9.8	6.1	7.3	6.1	2.4	2.4	4.9	1.2	4.9	3.7
30歳代	158	11.4	12.7	13.3	5.7	2.5	3.2	3.8	3.2	1.3	3.8	5.1
40歳代	169	19.5	8.3	11.2	7.7	0.0	3.0	4.7	0.6	0.0	8.9	5.3
50歳代	220	16.4	8.6	13.6	8.2	2.7	2.7	6.8	0.9	1.4	10.5	6.8
60歳代	304	16.4	7.6	10.5	6.6	0.7	1.6	3.0	2.0	1.3	10.5	8.6
70歳代	368	10.3	4.1	11.4	9.2	0.8	3.5	2.2	1.4	1.6	7.3	13.9
80歳以上	128	11.7	0.8	2.3	4.7	0.0	3.1	2.3	0.8	0.8	11.7	32.0

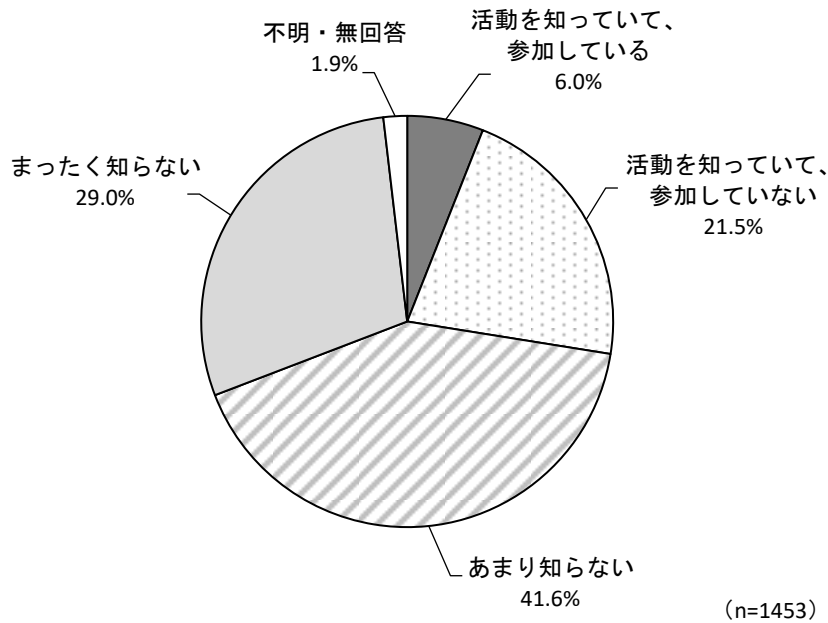
## 5. 地域福祉について

問38 あなたは、「地域まちづくり協議会※1」の活動について知っていますか。(○は1つ)

※1 地域まちづくり協議会：小・中学校区などを基盤に、住民や団体が集まり、地域の課題解決や交流を進めるための組織で、現在市内で7つのまちづくり協議会が独自の取り組みを進めています。自治会に加入していない人も参加できます。

「地域まちづくり協議会」の活動について知っているかについて、「あまり知らない」が41.6%と最も高く、次いで「まったく知らない」が29.0%、「活動を知っていて、参加していない」が21.5%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代、30歳代において「まったく知らない」、それ以外の年代において「あまり知らない」が最も高くなっています。



### 【年齢別クロス】

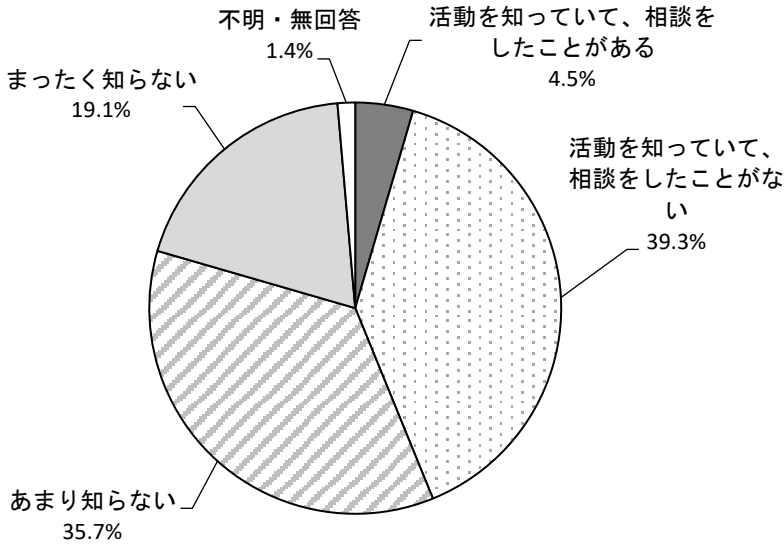
(%)	合計	活動を知っていて、参加している	活動を知っていて、参加していない	あまり知らない	まったく知らない	不明・無回答
全体	1453	6.0	21.5	41.6	29.0	1.9
18～19歳	16	6.3	0.0	43.8	50.0	0.0
20歳代	82	3.7	9.8	31.7	54.9	0.0
30歳代	158	3.2	17.7	38.0	40.5	0.6
40歳代	169	4.1	17.8	41.4	34.9	1.8
50歳代	220	2.3	18.2	41.4	36.8	1.4
60歳代	304	3.9	18.4	47.7	28.3	1.6
70歳代	368	12.8	29.6	39.9	14.9	2.7
80歳以上	128	5.5	32.0	42.2	17.2	3.1

問39 あなたは、「民生委員・児童委員※2」の活動について知っていますか。(〇は1つ)

※2 民生委員・児童委員：地域福祉の向上のために一般住民の中から厚生労働大臣が委嘱し、地域住民の福祉ニーズを把握し、手助けが必要な人に対して相談・助言、関係機関につなぐなどの活動を行っています。

「民生委員・児童委員」の活動について知っているかについて、「活動を知っていて、相談をしたことがない」が39.3%と最も高く、次いで「あまり知らない」が35.7%、「まったく知らない」が19.1%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代、30歳代において「まったく知らない」、40歳代、50歳代、60歳代において「あまり知らない」、それ以外の年代において「活動を知っていて、相談をしたことがない」が最も高くなっています。



(n=1453)

【年齢別クロス】

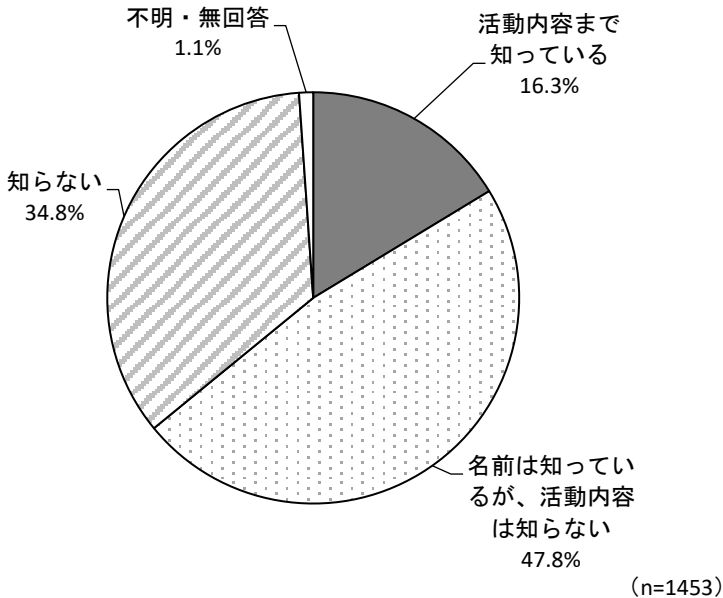
(%)	合計	活動を知っていて、相談をしたことがある	活動を知っていて、相談をしたことがない	あまり知らない	まったく知らない	不明・無回答
全体	1453	4.5	39.3	35.7	19.1	1.4
18～19歳	16	6.3	6.3	37.5	50.0	0.0
20歳代	82	0.0	15.9	32.9	51.2	0.0
30歳代	158	0.6	26.6	33.5	39.2	0.0
40歳代	169	3.0	34.9	36.1	24.3	1.8
50歳代	220	5.0	35.0	38.2	20.5	1.4
60歳代	304	2.3	36.2	46.1	14.5	1.0
70歳代	368	7.9	54.9	28.8	7.1	1.4
80歳以上	128	9.4	49.2	30.5	7.0	3.9

問40 あなたは、「保護司※3」の活動について知っていますか。(〇は1つ)

※3 保護司：法務大臣から委嘱を受け、地域で犯罪や非行をした人の立ち直りを支援したり、再び社会で生活できるよう手助けをする民間協力者です。

「保護司」の活動について知っているかについて、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が47.8%と最も高く、次いで「知らない」が34.8%、「活動内容まで知っている」が16.3%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代、30歳代において「知らない」、それ以外の年代において「名前は知っているが、活動内容は知らない」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

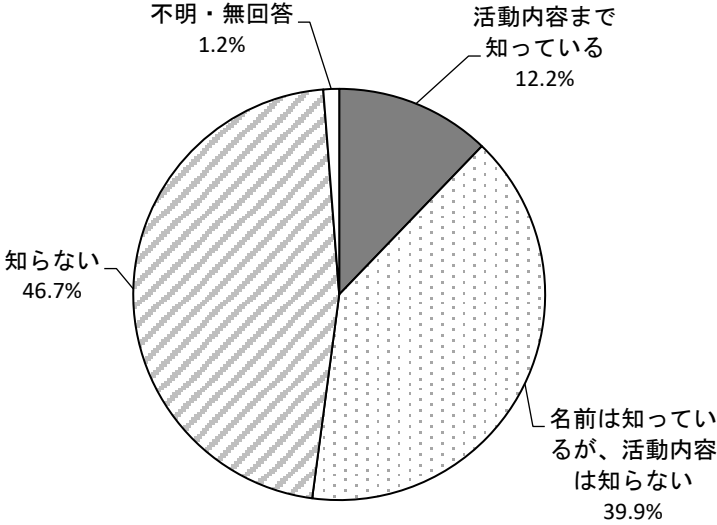
(%)	合計	活動内容まで知っている	名前は知っているが、活動内容は知らない	知らない	不明・無回答
全体	1453	16.3	47.8	34.8	1.1
18～19歳	16	12.5	6.3	81.3	0.0
20歳代	82	8.5	26.8	64.6	0.0
30歳代	158	13.3	27.2	59.5	0.0
40歳代	169	10.7	46.7	40.8	1.8
50歳代	220	16.4	45.5	37.3	0.9
60歳代	304	16.1	54.3	28.6	1.0
70歳代	368	22.0	56.8	19.6	1.6
80歳以上	128	16.4	54.7	28.1	0.8

問 41 あなたは、「健康推進員※4」の活動について知っていますか。(○は1つ)

※4 健康推進員：市が実施する養成講座を修了し、栄養・運動・健診など、地域での健康づくりの普及や啓発活動を行うボランティアです。

「健康推進員」の活動について知っているかについて、「知らない」が46.7%と最も高く、次いで「名前は知っているが、活動内容は知らない」が39.9%、「活動内容まで知っている」が12.2%となっています。

年齢別にみると、60歳代、70歳代、80歳以上において「名前は知っているが、活動内容は知らない」、それ以外の年代において「知らない」が最も高くなっています。



(n=1453)

【年齢別クロス】

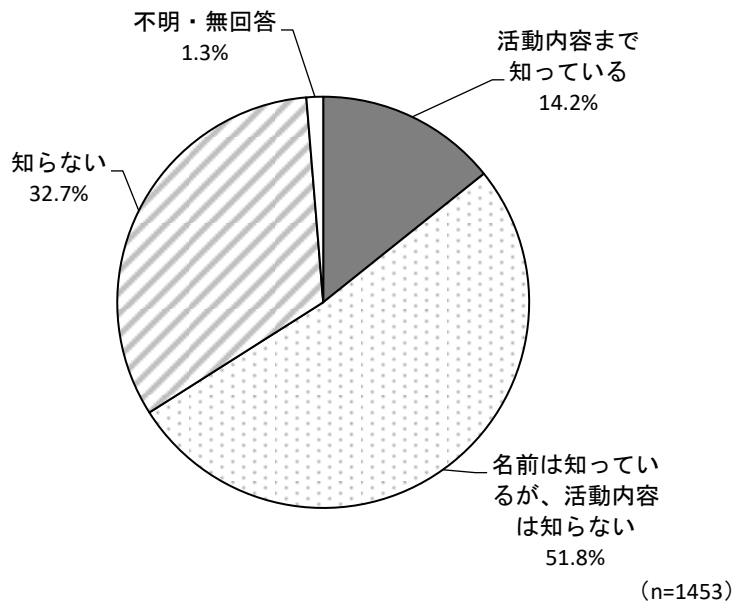
(%)	合計	活動内容まで知っている	名前は知っているが、活動内容は知らない	知らない	不明・無回答
全体	1453	12.2	39.9	46.7	1.2
18～19歳	16	12.5	18.8	68.8	0.0
20歳代	82	6.1	20.7	73.2	0.0
30歳代	158	3.8	25.9	70.3	0.0
40歳代	169	8.3	37.3	52.7	1.8
50歳代	220	8.6	36.4	54.1	0.9
60歳代	304	11.8	46.1	41.1	1.0
70歳代	368	18.8	47.8	31.5	1.9
80歳以上	128	20.3	43.8	34.4	1.6

問42 あなたは、「社会福祉協議会※5」の活動について知っていますか。(〇は1つ)

※5 社会福祉協議会：地域社会において福祉サービスの調整や推進を行う組織で、地方自治体と協力しながら、高齢者、障がい者、児童などの福祉向上を目的とし、地域社会の福祉を総合的にサポートしています。

「社会福祉協議会」の活動について知っているかについて、「名前は知っているが、活動内容は知らない」が51.8%と最も高く、次いで「知らない」が32.7%、「活動内容まで知っている」が14.2%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代、30歳代において「知らない」、それ以外の年代において「名前は知っているが、活動内容は知らない」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

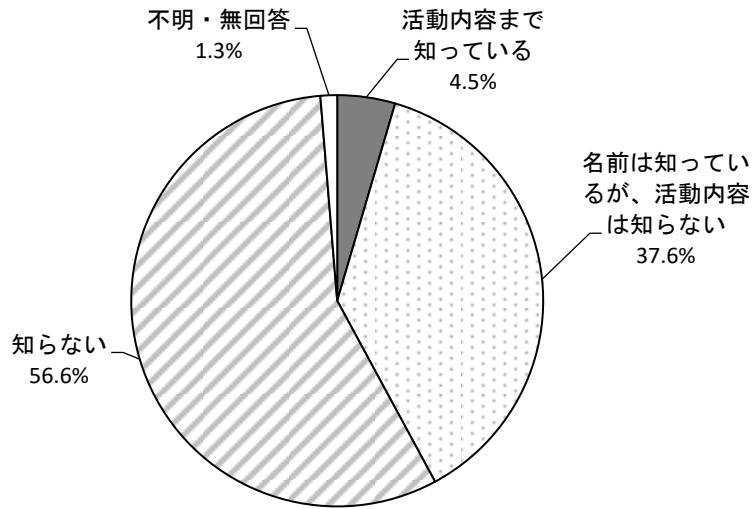
(%)	合計	活動内容まで知っている	名前は知っているが、活動内容は知らない	知らない	不明・無回答
全体	1453	14.2	51.8	32.7	1.3
18～19歳	16	12.5	25.0	62.5	0.0
20歳代	82	11.0	39.0	50.0	0.0
30歳代	158	11.4	34.2	53.2	1.3
40歳代	169	11.8	49.7	36.7	1.8
50歳代	220	14.5	47.7	36.8	0.9
60歳代	304	12.2	59.2	27.3	1.3
70歳代	368	17.9	58.2	22.3	1.6
80歳以上	128	18.0	56.3	25.0	0.8

問43 あなたは、「災害ボランティアセンター※6」の活動について知っていますか。(○は1つ)

※6 災害ボランティアセンター：大規模災害時に市民からのボランティア活動の申込みと、被災者のニーズをつなぐ拠点です。湖南市では、市社会福祉協議会が市と連携して設置・運営します。

「災害ボランティアセンター」の活動について知っているかについて、「知らない」が56.6%と最も高く、次いで「名前は知っているが、活動内容は知らない」が37.6%、「活動内容まで知っている」が4.5%となっています。

年齢別にみると、70歳代において「名前は知っているが、活動内容は知らない」、それ以外の年代において「知らない」が最も高くなっています。



(n=1453)

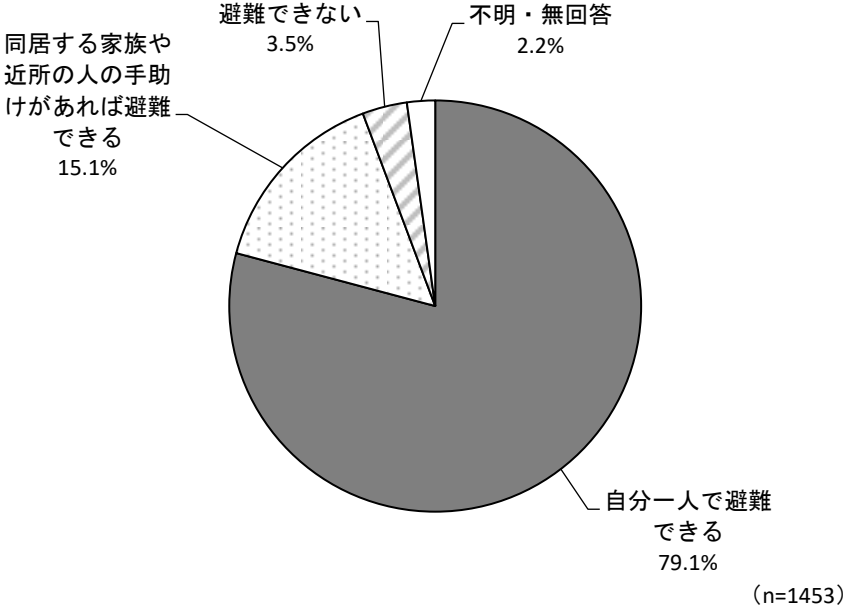
【年齢別クロス】

(%)	合計	活動内容まで知っている	名前は知っているが、活動内容は知らない	知らない	不明・無回答
全体	1453	4.5	37.6	56.6	1.3
18～19歳	16	6.3	31.3	62.5	0.0
20歳代	82	4.9	24.4	70.7	0.0
30歳代	158	3.2	19.6	77.2	0.0
40歳代	169	2.4	31.4	63.9	2.4
50歳代	220	3.6	34.1	60.9	1.4
60歳代	304	4.3	39.1	55.6	1.0
70歳代	368	5.7	49.7	42.7	1.9
80歳以上	128	7.8	44.5	46.9	0.8

問4 4 地震などの災害が発生したとき、あなたは一人で避難できますか。(〇は1つ)

地震などの災害が発生したとき、一人で避難できるかについて、「自分一人で避難できる」が79.1%と最も高く、次いで「同居する家族や近所の人の手助けがあれば避難できる」が15.1%、「避難できない」が3.5%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「自分一人で避難できる」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

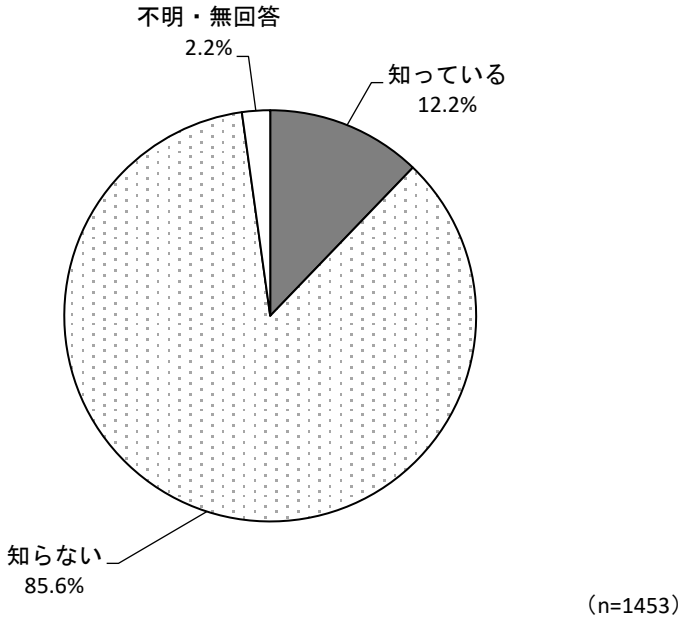
(%)	合計	自分一人で避難できる	同居する家族や近所の人の手助けがあれば避難できる	避難できない	不明・無回答
全体	1453	79.1	15.1	3.5	2.2
18～19歳	16	81.3	18.8	0.0	0.0
20歳代	82	79.3	17.1	3.7	0.0
30歳代	158	77.8	17.7	3.8	0.6
40歳代	169	84.0	13.0	1.2	1.8
50歳代	220	88.6	9.1	1.8	0.5
60歳代	304	82.2	12.5	3.6	1.6
70歳代	368	78.5	14.4	3.3	3.8
80歳以上	128	52.3	32.0	10.2	5.5

問45 あなたは、「避難行動要支援者制度※7」について知っていますか。(○は1つ)

※7 避難行動要支援者制度：災害時に避難に支援が必要な方（高齢者や障がいのある方など要支援者）に同意を得て情報を名簿にまとめ、この名簿をもとに、一人ひとりに合わせた「個別避難計画」を作成し、地域の方の手助けや関係機関との連携により安全な避難につなげていきます。

「避難行動要支援者制度」について知っているかについて、「知らない」が85.6%と最も高く、次いで「知っている」が12.2%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「知らない」が最も高くなっています。



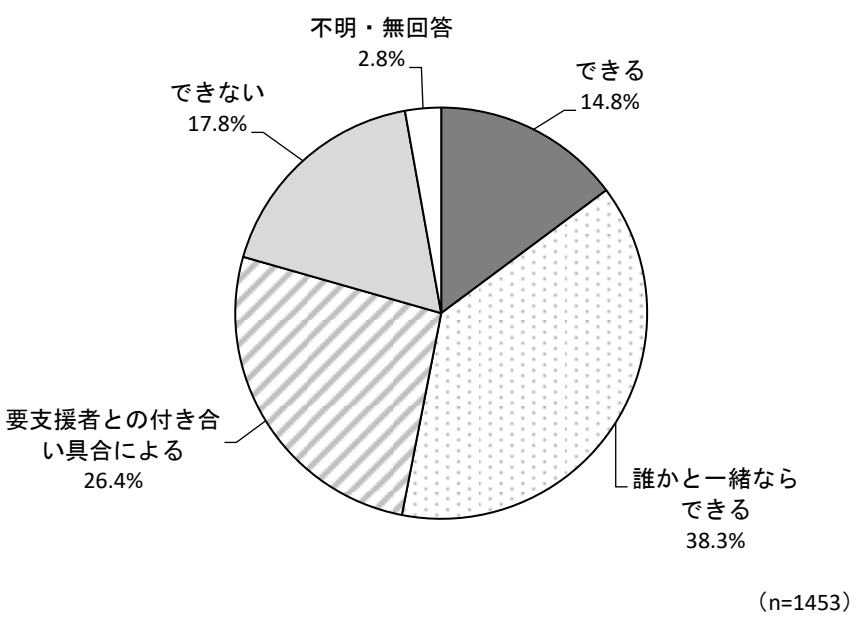
【年齢別クロス】

(%)	合計	知っている	知らない	不明・無回答
全体	1453	12.2	85.6	2.2
18～19歳	16	6.3	93.8	0.0
20歳代	82	6.1	93.9	0.0
30歳代	158	5.1	94.9	0.0
40歳代	169	8.9	88.8	2.4
50歳代	220	7.7	91.4	0.9
60歳代	304	14.1	84.2	1.6
70歳代	368	17.9	78.5	3.5
80歳以上	128	17.2	77.3	5.5

問46 あなたは、災害時に要支援者を手助けする地域協力者となることができますか。(〇は1つ)

災害時に要支援者を手助けする地域協力者となることができるかについて、「誰かと一緒ならできる」が38.3%と最も高く、次いで「要支援者との付き合い具合による」が26.4%、「できない」が17.8%となっています。

年齢別にみると、80歳以上において「できない」、それ以外の年代において「誰かと一緒ならできる」が最も高くなっています。



できない理由	件数
● 健康上の問題があったり、体力的に難しいため	51
● 家族に子どもや介護を必要とする人がいるため	46
● 自身が高齢のため	31
● 自身が介護を必要としていたり、障がいがあるため	16
● 自分のことで精一杯のため	13
● 日中は仕事があったり、職務があるため（福祉職など）	12
● 家族を優先したいため	9
● わからない	8
● 近所づきあいがいい、人と関わるのが苦手なため	3
● 協力したくないため	6
● その他（余裕や能力がない、給与保証があればできるなど）	6

【年齢別クロス】

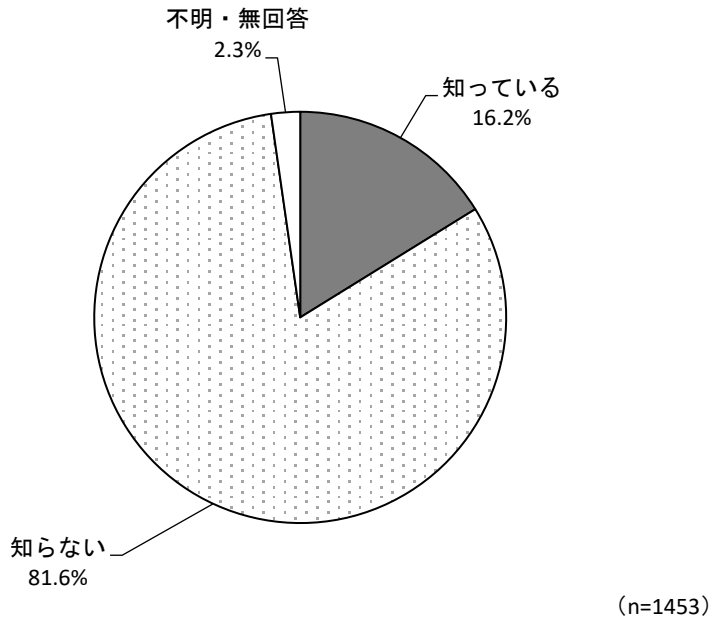
(%)	合計	できる	誰かと一緒ならで きる	要 支 援 者 と の 付 き 合 い 具 合 に よ る	できない	不明・無回答
全体	1453	14.8	38.3	26.4	17.8	2.8
18～19歳	16	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0
20歳代	82	17.1	40.2	30.5	11.0	1.2
30歳代	158	20.3	29.7	27.8	22.2	0.0
40歳代	169	17.2	35.5	28.4	16.6	2.4
50歳代	220	17.3	37.7	34.5	9.5	0.9
60歳代	304	14.1	43.1	28.9	11.5	2.3
70歳代	368	12.2	39.9	22.6	20.9	4.3
80歳以上	128	7.0	32.0	13.3	39.8	7.8

問47 あなたは、「権利擁護※8」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

※8 権利擁護：物事を判断する能力が不十分で生活に困っている認知症の方や、知的障害や精神障害がある方を手伝ったり、権利が侵害されている状況に対応し、その人らしい生活が送れるよう、権利を守ることです。

「権利擁護」という言葉を知っているかについて、「知らない」が81.6%と最も高く、次いで「知っている」が16.2%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「知らない」が最も高くなっています。



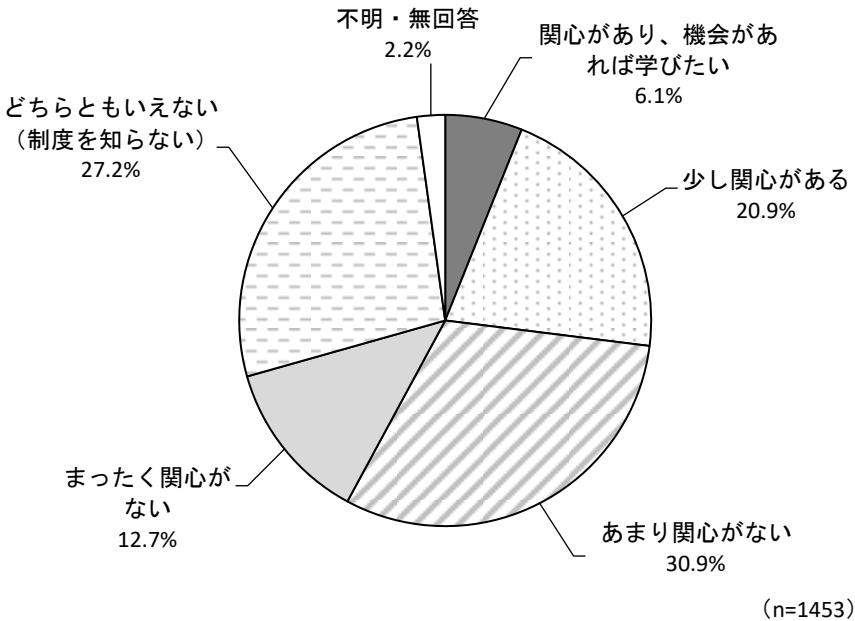
【年齢別クロス】

(%)	合計	知っている	知らない	不明・無回答
全体	1453	16.2	81.6	2.3
18～19歳	16	12.5	87.5	0.0
20歳代	82	15.9	82.9	1.2
30歳代	158	18.4	81.6	0.0
40歳代	169	15.4	82.2	2.4
50歳代	220	12.3	87.3	0.5
60歳代	304	18.4	79.9	1.6
70歳代	368	17.7	78.8	3.5
80歳以上	128	13.3	80.5	6.3

問 4 8 あなたは、「成年後見制度※9」について関心がありますか。(○は1つ)

※9 成年後見制度：家庭裁判所で選任された成年後見人等が、権利擁護が必要な本人の代わりに財産管理や契約などを行うことで、本人を保護・支援する制度です。

「成年後見制度」について関心があるかについて、「あまり関心がない」が 30.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない(制度を知らない)」が 27.2%、「少し関心がある」が 20.9%となっています。  
 年齢別にみると、50歳代において「あまり関心がない」と「どちらともいえない(制度を知らない)」が最も高くなっており、60歳代、70歳代、80歳以上において「あまり関心がない」が最も高くなっています。また、それ以外の年代において「どちらともいえない(制度を知らない)」が最も高くなっています。



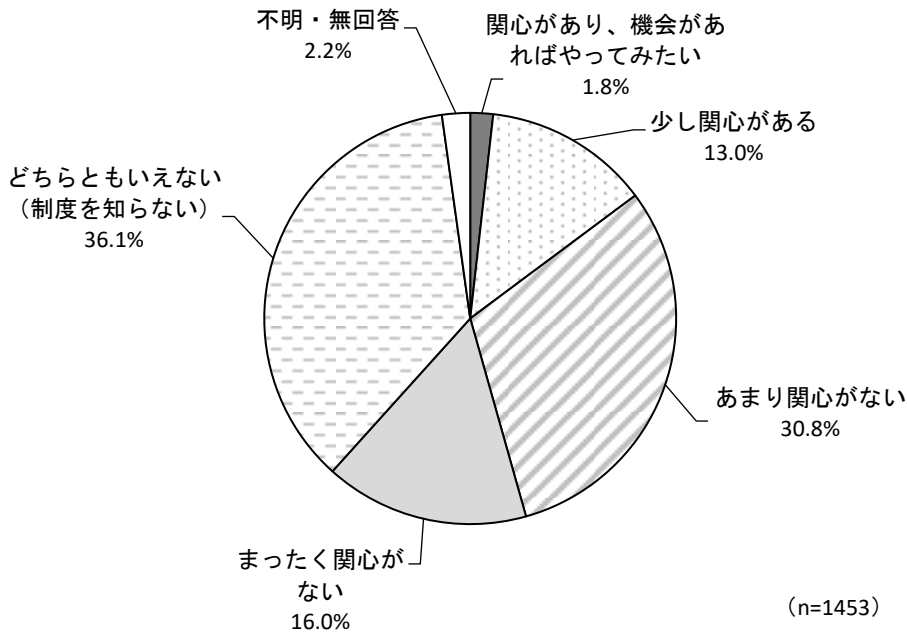
【年齢別クロス】

(%)	合計	関心があり、機会があれば学びたい	少し関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	どちらともいえない(制度を知らない)	不明・無回答
全体	1453	6.1	20.9	30.9	12.7	27.2	2.2
18~19歳	16	6.3	12.5	6.3	25.0	50.0	0.0
20歳代	82	3.7	11.0	29.3	17.1	39.0	0.0
30歳代	158	5.7	18.4	27.2	16.5	32.3	0.0
40歳代	169	7.1	19.5	26.0	13.6	31.4	2.4
50歳代	220	7.7	12.7	31.4	15.9	31.4	0.9
60歳代	304	5.3	28.6	29.9	11.2	23.7	1.3
70歳代	368	5.4	22.6	38.3	7.9	22.0	3.8
80歳以上	128	7.8	23.4	26.6	15.6	21.1	5.5

問49 あなたは、「市民後見人※10」について関心がありますか。(○は1つ)

※10 市民後見人：弁護士等の資格がなくても一定の研修を受けることで、家庭裁判所に選任された一般市民が認知症高齢者等の後見を行う制度です。

「市民後見人」について関心があるかについて、「どちらともいえない（制度を知らない）」が36.1%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が30.8%、「まったく関心がない」が16.0%となっています。  
 年齢別にみると、70歳代において「あまり関心がない」、それ以外の年代において「どちらともいえない（制度を知らない）」が最も高くなっています。



【年齢別クロス】

(%)	合計	関心があり、機会があれば学びたい	少し関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	どちらともいえない (制度を知らない)	不明・無回答
全体	1453	1.8	13.0	30.8	16.0	36.1	2.2
18～19歳	16	0.0	6.3	6.3	25.0	62.5	0.0
20歳代	82	1.2	6.1	25.6	15.9	51.2	0.0
30歳代	158	1.3	7.6	22.2	24.1	44.9	0.0
40歳代	169	1.8	10.7	29.0	17.2	38.5	3.0
50歳代	220	3.2	11.4	29.5	20.0	35.0	0.9
60歳代	304	1.6	18.1	29.9	14.5	34.2	1.6
70歳代	368	1.9	14.1	38.6	12.2	29.9	3.3
80歳以上	128	0.8	16.4	32.0	12.5	32.8	5.5

問50 再犯防止<sup>※11</sup>に関する民間協力者や組織で、あなたが知っているものはありますか。(〇はいくつでも)

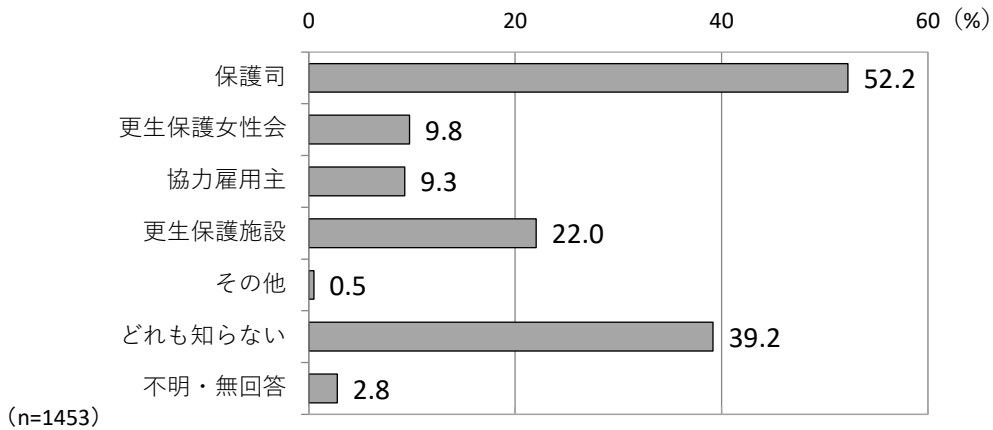
※11 再犯防止：犯罪をした人が再び犯罪をしないように、社会の中で安心して生活できるよう支援する取組のことです。出所後や保護観察中の人に対して、就労や住まいの確保、相談などの支援を行い、地域での再出発を応援します。

※12 協力雇用主：犯罪をした人などを雇用し、また雇用しようとする民間の事業主です。

※13 更生保護施設：矯正施設の出所者や保護観察中の人に宿泊場所や食事を提供するなどの民間支援施設です。

再犯防止に関する民間協力者や組織で、知っているものについて、「保護司」が52.2%と最も高く、次いで「どれも知らない」が39.2%、「更生保護施設」が22.0%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳、20歳代、30歳代、50歳代において「どれも知らない」、それ以外の年代において「保護司」が最も高くなっています。



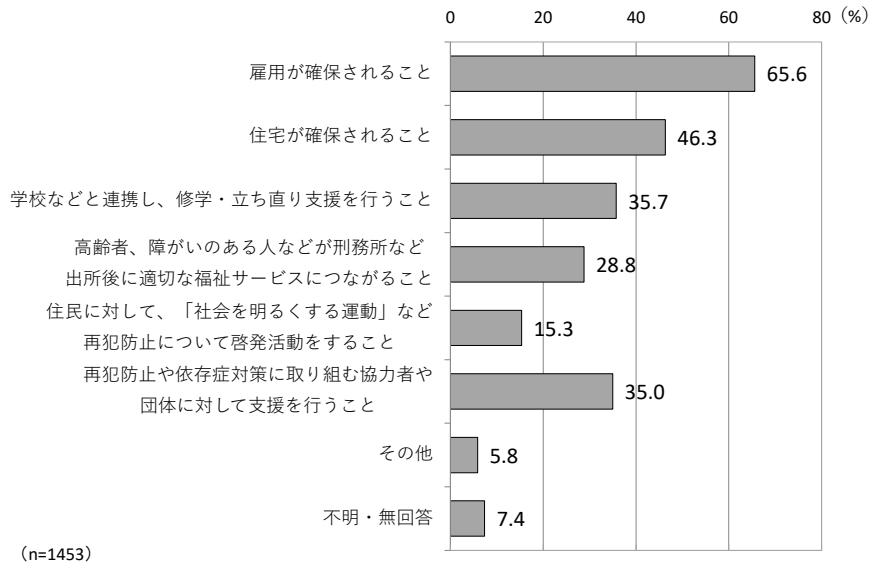
【年齢別クロス】

(%)	合計	保護司	更生保護女性会	協力雇用主	更生保護施設	その他	どれも知らない	不明・無回答
全体	1453	52.2	9.8	9.3	22.0	0.5	39.2	2.8
18～19歳	16	18.8	6.3	6.3	12.5	0.0	75.0	0.0
20歳代	82	28.0	2.4	3.7	24.4	0.0	59.8	0.0
30歳代	158	34.2	4.4	6.3	24.1	0.6	55.7	0.6
40歳代	169	46.7	5.9	5.3	30.2	0.0	41.4	2.4
50歳代	220	46.4	4.5	8.6	23.2	0.5	46.8	0.9
60歳代	304	63.5	10.2	11.5	23.0	0.3	30.3	1.6
70歳代	368	62.2	16.6	13.0	19.0	0.5	29.9	4.3
80歳以上	128	54.7	15.6	7.8	12.5	1.6	34.4	8.6

問5 1 再犯防止のために、どのようなことをすべきと思いますか。(〇はいくつでも)

再犯防止のためにすべきことについて、「雇用が確保されること」が65.6%と最も高く、次いで「住宅が確保されること」が46.3%、「学校などと連携し、修学・立ち直り支援を行うこと」が35.7%となっています。

年齢別にみると、すべての年代で「雇用が確保されること」が最も高くなっています。



その他回答 (※具体的な取組提案に関する意見を抜粋)

- 偏見の目で見ない事
- 知りを合いをふやす場所をふやす
- 信頼できる仲間を作る、当人の存在が認められるコミュニティ
- 人との新しいつながりがうまくいくとお互い助けあえそう
- とても信頼出来る人がそばにいる事。難しいけど。
- 該当者に対し地域住民の目が届くこと
- 隣組で活動できないか
- 専門家の知見を学ぶ必要性を感じます。性犯罪、薬物犯罪は再犯率高いとの指摘をきくため。
- 犯歴・犯歴者の性格及び境遇に合わせた保護司の育成・選定。保護司の委託条件に疑問有り
- 再犯者目線の方がよい。何が足りてないのか？
- 罪の種類により対策は大きく異なると思う
- どの対策もきれいな事では対応できない。資金面も必要であり、税金が使われる場面もあると思うが周囲への理解、協力する方々への対価や安全を確保する必要有
- 再犯と言う事は何がしらの犯罪をしている訳で、まず義務教育を受けている段階で善悪の判断は出来ていて当たり前である事を前提にしての考え方を話すなら、反省や刑務所での服役をやった事でその罪は帳消しにはならない、日本の法律上は刑期が明ければ良しとしているが、被害者の事は蚊帳の外で済みませんがこれで許して下さいます的な事ではない。再犯防止の前に教育でしっかりと犯罪について学ばせる方が重要だと思う。
- 監視
- 司法行政が入所中に正しく指導すべき。
- 犯罪者への再犯防止教育
- 再犯に対する刑の加重
- 再犯率の高い犯罪は出所後も定期的なケアを義務づける
- 厳罰化 (3)

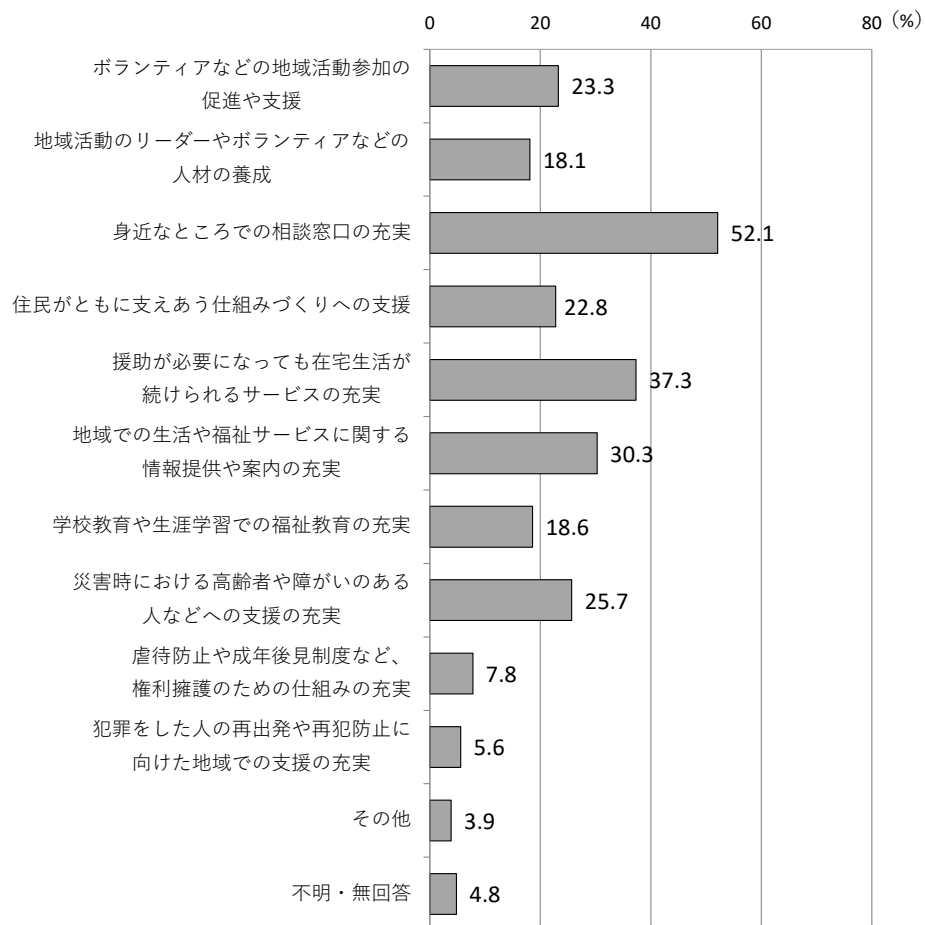
【年齢別クロス】

(%)	合計	雇用が確保されること	住宅が確保されること	修学・立ち直り支援を行うこと 学校などと連携し、	高齢者、障がいのある人などが刑務所など 出所後に適切な福祉サービスにつながることを	住民に対して、「社会を明るくする運動」など 再犯防止について啓発活動を行うこと	再犯防止や依存症対策に取り組む協力者や 団体に対して支援を行うこと	その他	不明・無回答
全体	1453	65.6	46.3	35.7	28.8	15.3	35.0	5.8	7.4
18～19歳	16	62.5	25.0	37.5	0.0	0.0	25.0	6.3	0.0
20歳代	82	48.8	34.1	35.4	18.3	7.3	30.5	8.5	4.9
30歳代	158	53.2	41.8	40.5	24.1	8.9	32.3	8.9	7.0
40歳代	169	63.3	44.4	42.6	26.0	11.8	34.9	7.1	3.6
50歳代	220	64.5	42.3	31.4	27.7	14.1	38.6	5.9	4.1
60歳代	304	72.7	54.3	39.1	31.9	12.2	39.5	4.6	4.3
70歳代	368	72.6	51.9	32.9	33.4	24.2	33.7	4.1	10.6
80歳以上	128	59.4	36.7	30.5	30.5	19.5	28.9	7.0	18.8

問5 2 今後、湖南省が取り組むべき地域福祉分野の施策として、必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

今後、湖南省が取り組むべき地域福祉分野の施策として、必要だと思うことについて、「身近なところでの相談窓口の充実」が52.1%と最も高く、次いで「援助が必要になっても在宅生活が続けられるサービスの充実」が37.3%、「地域での生活や福祉サービスに関する情報提供や案内の充実」が30.3%となっています。

年齢別にみると、18歳～19歳において「学校教育や生涯学習での福祉教育の充実」、それ以外の年代において「身近なところでの相談窓口の充実」が最も高くなっています。



(n=1453)

分野	その他回答
サービスについて	● 移動販売車をつくる
	● 誰もが安心して生活できる住宅の確保、食事付き、風呂掃除付き、洗濯、掃除付き、介護付き、高齢者住宅の補助金の充実か無償
	● 然るべき施設への入居を促進
	● 特養等公共施設への補助金や要介護者への負担割合に応じた支援を減らし、その分を、必要としている人々に直接資金エン助した方が、おしつけではなく、本当に必要な手助けになるし、福祉施設の自由競争による活性化が促進すると思います。
	● 生活が安定できる生活費の確保
	● 生活に苦しんで、何も買えない人の日用品のえんじょをしてほしい。ぜったいお米もえんじょしてほしい
	● ”引っ越してきた人へのサポート
	● 補助金などの制度を使って引越しをしてくる人へのサポートは存在すると思いますが、それ以外の理由で引越ししてきた人は地域と全く接点がありません。”
	● 役場のひとの能力 UP。どの人にきいてもある程度の答えが返ってくるようにしてほしい。たんとうしかないのでわかりませんでは困ります。
交通について	● 車以外の交通整備
	● 交通のしゅだん
	● 子供の通学経路の安全確保
支え合いについて	● 隣がお互いに助け合える日頃からの活動、つきあい
	● 仲間・人がつながるきっかけづくりなる場を作って欲しい。→ex、スポーツ活動とか趣味とか
	● ボランティア活動の広報 取組等を周りの人たちに知ってもらう
	● 障害を持っている方などの知識を少しでもつける
	● 保護司や民生委員は大事だと思う
	● どんな事をやってるのか？さえ知らないなのでそのアピール
	● 情報発信
その他	● 外国人をうけいれないたいせいが大切です。
	● テロリズムを悪とする法政大学のようなところをただすべき
	● 1～10すべて必要なので選択不可。
	● わからない、特になし (11)

【年齢別クロス】

(%)	合計	ボランティアなどの地域活動参加の 促進や支援	地域活動のリーダーやボランティアなどの 人材の養成	身近なところでの相談窓口の充実	住民がともに支えあう仕組みづくりへの支援	援助が必要になっても在宅生活が続けられる サービスの充実	地域での生活や福祉サービスに関する 情報提供や案内の充実	学校教育や生涯学習での福祉教育の充実	災害時における高齢者や障がいのある人など への支援の充実	虐待防止や成年後見制度など、権利擁護の ための仕組みの充実	犯罪をした人の再発や再犯防止に向けた 地域での支援の充実	その他	不明・無回答
全体	1453	23.3	18.1	52.1	22.8	37.3	30.3	18.6	25.7	7.8	5.6	3.9	4.8
18～19歳	16	18.8	18.8	31.3	25.0	12.5	37.5	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
20歳代	82	20.7	8.5	43.9	18.3	31.7	25.6	40.2	17.1	14.6	9.8	4.9	0.0
30歳代	158	20.3	13.9	38.6	22.2	22.2	27.8	33.5	14.6	16.5	9.5	4.4	6.3
40歳代	169	21.9	13.6	49.7	18.9	24.3	34.3	26.6	18.3	9.5	6.5	7.1	4.7
50歳代	220	22.3	15.0	58.2	24.1	38.2	29.5	15.9	22.7	10.0	5.0	4.1	3.6
60歳代	304	22.4	20.1	56.6	23.4	42.4	33.2	15.5	31.6	6.9	3.6	3.3	2.0
70歳代	368	27.4	20.7	52.7	25.5	46.5	32.3	10.6	32.3	2.7	4.1	2.2	5.2
80歳以上	128	22.7	27.3	55.5	21.1	39.8	18.0	6.3	28.9	3.1	5.5	4.7	14.1

問53 その他、地域福祉の推進について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

※複数の意見が書かれている場合は分野別に分けて記載しているため、回答数と各意見の合計数は一致しない。

分野	自由回答
自治会活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会を抜きたい！！人がいないのでいやでも当たるイヤだ。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会他の役員を経験してきましたが、行政の資金的な支援が少ないし、福祉については、地域任せになっている感じがした</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化した住宅地ではそれにあつた自治会の活動運営の見直し 地域での福祉のとりこぼしのない様、自治会と市がタッグを組み、これから運営にあたってほしい</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化が進み、自治会等の役員をするのがだんだんと不可能になって来ています。こうした地域の今後の対策を考えて欲しいと思います</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マンションやアパートに入居すると自治会に加入している事も多いが、情報が入りにくい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係機関等と連携をとりながらまち協、自治会の活動を充実させていく</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会活動が年々おっくうになってきました組の役員が回って来たらどうか1年間頑張りましたが、高齢になってきても役員の順番が回ってくると思うと、とてもふわんになります高齢化している自治会のありかたが、心配です</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近所にいながら町をぬける人がふえている。前に住んでいた所から場所を移転して住んでいる人が多い。町内のあり方、住所を変更したり、町内の区かく、新たに作り直す必要があるのでは？</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会脱会に疑問します。(ゴミステーション捨てるべきではないと思います) お金の徴収してもいいのでは？</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民が支え合う事は大切だと思いますが、行政がボランティアに頼りすぎるのはどうかと思います。自治会の充て職で断りにくい状態でボランティアに活躍してもらおうと言われても違和感があります。また、自治会に入っている人、そうでない人で不公平です。自治会が年々行政の下請けのような事をさせられており、これ以上負担が増えると自治会の退会や他市町への引越しを検討せざるをえません(実際検討した)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ”各自治会の会員の件ですが入会が原則ですが会費の関係その他で入らない人もおれば途中でやめる人もおるので湖南市の住所である以上は必ず町内の自治会には入らなければならないようにした方が良くと思う、そうでないと町内のまとまりもなくなるし仲も悪くなる、みんな共同です、しかしどうしても入れない人(手足が悪い寝たきり、知てきに遅れてる、その他会員にはどうしても入れない理由がある人)現状では、どこから見てもそれにあてはまってない人が中央の自治会の中でもかなりおります。市の方でいい案を出して自治会の会社の集まりにでも話し合ったら町内仲良くなってうまくいくと思います協力の精心が生まれてくると思う。”</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近所に「放棄住宅」があります。持ち主は、帰郷したらしい。雑草が道路にもはみ出しています。個人のプライバシーとのかね合い等もあり、放棄されたままになっていると思われまます。この様に、コミュニケーションがとれない状態になったときの対応は難しいものですね。元々は組にも属してらしたが、交替勤務されてたかして、組費徴収にも難儀をきたし、組脱退を促した人がいらしたかして、が事の発端でした。(当時の組長で今は転出して居ない) この様に苦い経験を経てコミュニケーションの大切さを思い知ったところです。日頃、市役所の方には、非常にお世話になっているのを痛切に感じており、感謝のことばもありませんが、組長、区長の指示のもとで、行事参加等の役割はしっかり果たし、できる範囲で参加したいと思います。(看護師、介護士といったプロの方の様にフルで動くといったことはできかねますが。)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 常ケンカごしの家族がいる。ナゾに目の敵にされている。自治会がストレスでしかない。上に立ってる人間も感じ悪い。</li> <li>● 心の底から自治会廃止希望!!!! 班長になったせいで人間不信。人がキライになった</li> </ul>

分野	自由回答
地域の支え合いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 困った時助けてって、SOS を出しやすい近所づきあい出来る様に頑張っています。SOS を受けるのはなかなか気付かない時の方が多いです。「人の悪口を言わない」と市長さんがおっしゃってましたが、その言葉を胸に一步ずつ歩いて行きます。本当に素敵な言葉です。”地域福祉”「人の悪口を言わない」だけで前進です</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近隣の方々との、付き合いの気薄さを感じるを感じる。“福祉,,ということだけでなく、“誰かと支え合って生きていく、生活していく,,という意識が感じられないと感じることも多々ある。お互いに何か出来ればいだろうが、子育て世代としては、その余裕もない時がある。でも、スーパーや散歩中のほんのわずかなあいさつに心救われることもあるなど思う。義務的でなく、あいさつを交す、少しずつ知り合っていくような心を皆が持てるとういなど思う。世代別での交流機会だけではなく、「知り合える」ような交流機会、(街のことを)教えて頂けるような、交流機会を、もっともてるような市になって欲しいと願います。ほかの街から来て、この湖南省の方々のよいところは、人に優しく、気軽に関わってくださるところだと感じています。</li> </ul>
交流・居場所づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昔と違い、今は隣近所であっても名前すら知らないという事もめずらしくないと思う。現在地域で活動している方は長く住んでいて、誰がどこに住んでいるかも地域内の事は把握できていることがほとんどであるが、途中から引っ越してきたものはすでに出来上がっている関係性についていけず孤立してしまい行事も参加しづらく、年数がたつて、「今さら」になってしまうのではないかとかと思う。すべての人が、社交的ではない。そんな人でも文を書くのが得意であったり、一対一なら話せるなど自分なりの関わり方を持っていたりする。だから、SNSなどで気軽に連絡が取れるようになると良いのかなど思った。コミュニティーツールで「パソコンが分からない」「この野菜いらない？」など。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人それぞれの性格が違い付き合い方が難しい</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 男性の集えやすい場がない</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在、地域活動というのがこの市には少ないと感じられる。あっても高齢者の方々だけの集まりであるため、様々な世代の関わりが少ないと思う</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひとりぐらしになった時は孤独死もあるので自治会で毎朝ラジオ体操をするなど安否確認を含めた横のつながりををもつようなしくみを作ったほうが良い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老後の心配があります。誰かと1日1回はなしができて、死んでもすぐに回収できる連絡の形があると少し安心です。最低賃金を下回っても、仲間と働くのはいいことだと思う。保証人の撤廃、65才以上の働きかた見直し、それにみあう賃金(つらくない、楽なしごと)など</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症 2020年1月末～約3年間の苦しい生活から世の中の間人間関係、人付き合い等が変わりはて何とも言えない今日此の頃です。地域全体が励ましあって明るい湖南省が生まれる様、協力したいと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今私は主人が要看護でお世話に成っています。でも自分は元気だから見れます。が？小さいボランティアグループで皆に集り楽しいときをすごしています。意見をもらったり・・・励ましをいただきながら暮らしています。このような場は必要です。おしゃべりお茶を・・・それだけでまたがんばれます。若い方様にインターネット・・・我々の年になるとむりですね</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近年地域住民の結びつきが疎遠になっているように感じます。1人暮らしの方や老老夫婦も多くなり災害時の不安もある中において日頃から地域住民があふれる機会(イベントやスポーツ大会等)を増やして欲しいと思います。若者は地域の結びつきを煩わしいと思っているとわれがちですが地域のイベントに参加する若い夫婦や子供づれが多く参加されています。若者と高齢、子ども達が集えるものを多く企画して頂き地域住民の結びつきを増やして欲しいです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 趣味のサークル活動(音楽、スポーツ、絵画写真、料理など何でもよい)の奨励・PR・募集を行い、活動の場(施設)を提供する。また、サークル活動のリーダー(技術の優れた方のみではなく、人集めの上手な方)の育成も行う。趣味が合えば参加し易くなり人との交流ができ、体を動かすことにより健康が維持・増進され、さらに個人に入る情報も多くなり、福祉サービス提供の負担が軽減されるのではないかと考えられる。</li> </ul>	

分野	自由回答
交流・居場所づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人がふれ合う場が市、とくに石部には全くないから人と触れあいなさい、と言われるがまず不可能に。ふれあう場とは、大きな公園(遊具があって体を動かしたりできる所)や、レストランやいろいろなお店のことを指します。パチンコ、会社倉庫はやめてください!!人がますます外に出なくなります。外地から石部はしょうもないと言われるし住んで愛着もわきません。それでは福祉への道は遠くなるばかり。悲壮感ひしひし。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症 2020年1月末～約3年間の苦しい生活から世の中の人間関係、人付き合い等が変わりはて何とも言えない今日此の頃です。地域全体が励ましあって明るい湖南省が生まれる様、協力したいと思います。</li> <li>● 若い頃、他の地域で休の時フラーと歩いて散歩していたらコミュニティーセンターで碁や将棋をしていたのを見てたら入ってきてやりますかと気楽にさそってくれた事があった。やっぱり机を囲んで話をするより遊んで仲良しみたいなフランクにつきあいが出来る場があればいいと思います。湖南省にもいくつかセンターがあるけどまとめ役がいなくてフランクに使えずらいし、行きずらさもある。もっと気楽に余暇を楽しめる場があれば人のつながりも出来ると思います。</li> </ul>
活動場所について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくりセンターの使用料をもっと安く使用できる様にしてほしい</li> <li>● 施設利用(貸館)での減免措置があって有難いが無料にして欲しい。現在、月最大4回(週1回)の無料教室を開催しているが貸館料は受講生が負担している。受講生の負担が無くなれば週2回程度の無料教室だって開催可能で地域貢献できると思っている。現役引退後の無料教室は、余生の生き甲斐となっている。</li> </ul>
ボランティア活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 彼氏と2人ならいろいろと協力できることならしていきたいと思</li> <li>● 福祉に関わりたいが、年齢的に自分が受ける側に近づいてるので、今さら何ができるのか分からない。</li> <li>● 申し訳ないが、育児が落ち着くまで協力できることはなさそう。</li> <li>● 後期高齢者になると福祉を受ける側になり、積極的活動は難しい。他の人に迷惑をかけないでおことう自分軸で通す方向にある。老人クラブの入会者もなくクラブがなくなる方向にあり、他人軸の考え方でかゝわりが難しくなっているのが現状で、淋しい気もするがしかたないかもしれない。</li> <li>● 70才以上の健康な人達を能力別に活用し、市や地域の福祉の向上に役立つボランティア活動を支援し家に閉じこもりがちの人達の活動の場を作り社会の一員である自覚と生き甲斐を取り戻させる。今の自治会の活動では、出来ない。</li> <li>● 犯罪防止の件で犯罪した人を更生させるために住まいの確保などそのようなボランティアが必要なのかとすごく思う。地域で再出発を応援すると書かれていますが、犯罪している人をそこまで手助けする時間、お金は違う所に充てて欲しい。高齢者も増えていく中で、子育て世代、介護している世代、生きるために自分達のために頑張っています。その中で、今の時代にあったボランティアの地域福祉について考えていただきたいです。犯罪していた人の方が手厚い福祉のサービスを受けれるのはあまりいい気がしないです。</li> </ul>
担い手について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティアの人材の育成</li> <li>● 地域福祉にかかえある人材の育成を広めてほしい</li> <li>● 民生委員や自治会の成り手がなく、市からも情報提供をし地域と協力をお願いします</li> </ul>
行政との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政と地域の企業が協力して地域福祉に力を注いでもらいたい</li> <li>● 地域がわくわく楽しめる元気になれる楽しいイベントを沢山増やして下さい。</li> <li>● 行政として、外部団体等へ丸投げするのではなく、常に一緒に寄り添って対応推進される事を期待する。</li> <li>● 福祉サービスや制度を充実させるだけでなく、市と地域団体、住民がもっと協力できるようになるといいと思います。</li> </ul>

分野	自由回答
行政との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢社会における地域福祉の推進は必要である。ボランティアやまち協にたよらず、社会教育と社会福祉に専門職の職員を配置して湖南省の課題を明らかにしてほしい。そのためには、十分な予算化を保証してほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織は作るものでない 自然発生的に生まれるものである ルールもなければルールは自然と生まれる 行政はこの活動に力を注入すべき 組織も自治会活動までで十分（コミュニティ不安）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 共助を促したいのはわかるが、ボランティアの活動だけでは成り立たない。気持ちだけでは人と助け合うことはできないし、ルールを守れない人も多い。まずは市が積極的に活動し、ボランティアは最小限で共助し合える仕組み作りが必要。</li> </ul>
情報発信について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 孤独にならない様な、情報のお届け</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● shiei jutaku nosabisu ni tsuite shiritaidesu</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インフォーマルな社会資源の紹介や一覧表が欲しいです</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 色々な役員さんが、おられるのはわかりましたが、どこに行けば良いかとかわかるかと思えます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉の制度もよくわからないし、隣、近所もあまり知らない。まず知るところから始めたいが、きっかけもないのでそのままになっている。知れば興味も沸くかなとも思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私の様に、長年湖南省（甲西町）に居住しながら行政（社協舎）の担当事務内容を知らない者もあります。ご面倒かも知れませんが改めて広報誌（紙）により具体的業務内容を周知して頂ければ幸いです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報が少なすぎて無知な状態です。現状必要としていないし必要とされていない。地域福祉たるものの本質を知らない。関わるに関してタイミングを逸すると知らないで過ぎていく。行政からの細やかな発信とピンポイントの依頼は必要。現状の社会で自ら手を挙げる人は少ない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭に広報誌がまったく届かない状況で情報が届かない。高齢者の自宅に届くよう回覧をまわしてほしい。ここの自治会は、そういう配慮がないため困っている方が多いと思えます。ホームページをご覧になれない方もいますのでよろしくお願いいたします。</li> </ul>
相談支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域福祉にすごく関心がありますが、日常生活しているだけでは、情報が入ってきません。わざわざ、こちらが、探しに行かないと、何もわかりません。もっと、日常で目にふれる所に冊子など置いてほしい</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本理念は、はじめて文言にて接しました。広報などでもおっしゃっていたんですが、はっきり言って知りませんでした、とても良いメッセージだと思います。その実現に向けて、皆で力をあわせてやっていけたらと思います。まち協がありますが、その活動内容が回覧で目にするだけです。年に1回位は、各戸へ活動内容、参加されてるサークルの紹介など、行ってみたいと思う様、情報提供がほしいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域福祉関連に関わった人達だけの組織体制になっていませんか？知る人ぞ知る的な行政活動が多いように感じます。「広報に記載しています。」「ホームページにのっています。」が関係者の方々の回答です。もっと工夫して情報提供を望みます。くれぐれも関係者の自己満足にならずに会議のための会議は止めて中身のある検討を期待します。外国籍の多い湖南省だから出来る事があると思えます。個性豊かな地域社会の創生を願います。他の地域の真似は止めましょう。</li> </ul>
相談支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 困ったときに気軽に相談できて、住民同士が顔の見える関係を築ける環境をつくることで、地域福祉が継続的に広がっていくと思えます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 又、ずっと昔のように行政の窓口サービスが併設されると遠くの本庁へ行かなくてもすむのでありがたいです。図書室も併設されたら本当に嬉しいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 色々なコミュニティー、相談場が増えたらいいなと思えます。子供の事も、相談できたらいいなと思いました。</li> </ul>

分野	自由回答
相談支援 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湖南省の高齢化は今後深刻です。</li> <li>● 地域包括支援センターを充実させて頂き、高齢者の総合相談窓口の充実が必要と思われます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者になると現在のパソコン、スマートフォン等の通信機器に不慣れな為に行政機関に向かう事が必要となるが、行政機関が遠く身近にない為に不便を感じる事が多くなる 車は免許返納するとなお更である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 50 才以上から将来自分の事を考え出す時期になります。身体、心、介護、年金、不安要素が多く感じられる事も有ります。行政が中心になり、窓口を広げて誰れでも相談できる事の発信が必要</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 石部市役所ではできないことが多く、甲西の方まで行くが、いつも人が多く、手続きをするのに時間がかかる。福祉サービスを利用したいが、手続きがすすんでいない。教育施設や福祉施設の負担が多く、市と連携というよりも市から一方的に任せられているため、たらい回しになることも多い。</li> </ul>
移動支援 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 山の中の住宅地に住んでおりますが後期高齢者になり交通手段の不便さに困っております</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通の便が悪い。電車の本数が少ない。バスも少ない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通インフラをもう少し考えてもらわないと老後不安、子供たちもどんどん都会に出ていってしまう</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティバスがもっとご自宅近くまで来れる会社</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通の不便をとにかく何とかして欲しいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者や移動支援の必要な人が、楽に 移動のできる手段の 確保を今以上に 充実させる取り組みを お願いしたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中規模多機能自治にも反対です。せめて徒歩圏内で！！交通の便が悪すぎます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日の生活に困らない程度の便利さがあればこの先も安心して暮らしていけると思う。特に買い物（食品、日用品等）、歩いて行ける範囲にあると良い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動したくても足がない。免許返納する方も今後増えて行くと思います。小さな町の単位で、色々な事ができるよう整えてほしいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 田舎なので高齢者になり車を運転できなくなると、買物、病院に行けなくなるのが不安。高齢者に低金額でタクシーが利用できるように、市で高齢者専用のタクシーがあれば良いと思います</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 免許を返納したため、買い物や通院に不便を感じております。バス運行の廃止で限られたところにしか行けない為、高齢者で免許を返納しても住みやすい地域になりことを望んでいます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湖南省は交通が不便。車に乗れなくなったらたちまちどこにも行けなくなる。夜間はタクシーも走らなくなる。老後を見据えて、社会福祉協議会などで死後のことを任せられる制度を作してほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①公共交通(バス)のルート、時刻の見直しをしてほしい。例をあげると、石部に居住していて保健センターへバスで往復するのは、かなり困難!</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢になりますと病院、食物買物できなくなります。足が弱くなり外出できなくなり心配です(宝来坂は坂が多く外出しにくい)。お金もかかりますがタクシーの数を増やしていつでも安く使用できる事を願います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢になると車の運転が出来なくなり、病院、買物など大変不便になります。東庁舎へもバス 1 本で行けません。バスの本数を増やしてもらうか、他の方法を考えていただきたく思います。足が不自由になるとなおさら、足の補充が不可欠です。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車の運転が高齢できなくなった時に通院する方法を提案してほしい。病院までのバス等があれば良い</li> <li>● 買物も車に乗らなくなると不便になるので巡回スーパーなどがあれば助かると思う。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今は自分の事はやっておりますが車の運転が出来なくなった時、買物や病院へ 1 人で行く事ができなくなり、今と同じ生活ができませんので、今からとても心配していますこれからもっと便利な地域なり生活しやすくなる事を願っております。</li> </ul>	

分野	自由回答
移動支援 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今は特に問題がないですが、この先の移動について考えてほしいです。バス、民間ボランティアタクシー等の事を考えて下さい。私の田舎ではバスが赤字となり、電話で予約出来るバスやタクシーを安く提供しています。色々なサービスの方法を検討して下さい。今は元気なのでボランティア参加も出来ます。(66才ですが)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害者の方も大変ですが、普通にすごしている高齢者の足が少なくないですか？前に住んでいた場所でもそうですが、外へ出ていくのに車は必需品です。でもね、高齢者だけでなく車の運転は危険が伴います。交通手段、バスもそうですが、気軽に使える交通手段をもっと真剣に考えていただきたく思います。タクシーの運転手さんも減っているようで、どこへ出ていくのも不安です。言いすぎていたらすみません。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在は一人で動けるが、もう少し年を経て動きにくくなる。そのとき、買い物や病院などなどどうすればいいのだろう、と近所の人とよく話している。周りは核家族が多いし、どの家でも同じような心配をしている。車のない生活は考えられないが、乗れなくなる日が来るので、どうするべきか。両親の介護を少ししているので、身にしみている。我が子にはそうさせたくない、と強く思っている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域福祉という観点からはずれているかもしれないが巡回バスの本数を元通りに戻してほしい。地域の高齢化が進み免許返納を考えようにもこれだけ不便ではなかなか返納に踏み切れない。今までバスで病院や買い物に行ったり駅まで乗って電車で出掛けていた高齢者も諦めざるを得ないが増えたと思う。運転手の雇用創出、高齢者が少しでも自分のことは自分で出来るようになり、ひきこもりを防ぐ為にも増便化することを切に希望します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 精神的な支えを支援するしくみ作りも大切だと思いますが私の居住する地域では交通面で大変不便なので(自分はまだ車に乗っていて不便ではないのですが)近所の高齢者から話をきくと、病院や買い物で石部や中央へ行くと帰りの便まで時間が空きすぎて、待つにしても適当な場所がなくて夏や冬は困るという声をよくききます。心の居場所もですが物理的な居場所も必要ではないですか？ コミュニティバスの便数を増やすとか、スーパーと提携してお店の中にちょっとしたスペースをもうけるとか、何か方法はないのかなと思っています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢になり免許返納した時に買物の手段が不安である 湖南市はお店も少なく、電車もだんだん少なくなり不便になってきている。 もう少し高齢者にやさしい地域になって欲しいです。 宜しくお願い致します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今、湖南市は若い人も子供も増えているが、お年寄りも増えているのが現状です。ですが、色々な制度がある事は、教えてもらうことがない限り皆が知らないままであるのも事実です。バスの利用も年々本数も減っていき、困っているお年寄りの方が多くいるのをよく見かけます。そして不満を多く聞くのも。人が少ないのが、バス本数に関係しているのも皆さんも分かっていますが、その分以前にあった乗り合いタクシー等をもう一度始めて頂きたいです。体が悪い人、お年寄りの方が重い荷物を持ち、大変な中バスを乗り降りする事、もっと周りの声に耳をかたむけて欲しいです。少しでもお年寄りの方の笑顔が溢れる湖南市になってほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心安全のため、免許(運転)を返納した。「買物事、通院違反」となり。役場に行くのに数千円かかる、図書にも行けず、返納は大きな失敗でした。出来るだけ、地域社会にボランティア活動をして来たが、いざ必要となれば、何も役立たない。行政を信じる事が出来ない。甲賀病院に通院するのに。他町(市)の福祉バスを利用するのは？甲賀市の福祉行政を見習っては。大都市と同じ様にと言わないが、本当に真剣に考えてるのか。コミバスでも多くあれば良いが、バス会社を守るのではなく、利用者のニーズに合った運行を、行政のすべき仕事を。バス会の温存にしないでほしい。運転のマナーが大変悪い、気分良く利用したい。社会福祉をもっと利用し易いようにしてほしい。外出も出来ない事は非常に残念です。 (参考) 図書館役場に行くのに 泉ヶ丘～三雲(JR)～EONモール～保健Seta～市役所まで、50分＝¥250 泉ヶ丘～三雲で25分 三雲(JR)→JR甲西(7分)＝製道＝430 駅前近くのか？？？？へ病院、医院 帰りJR甲西～JR三雲～泉ヶ丘 JRの連絡がなく、タクシーを利用する¥1200+(JR) ¥500 時間？？が多く、土日は利用出来ず。甲賀病院(往復) ¥2000 泉ヶ丘？？？(¥250)～JR三雲755(コミタク)～甲賀病院250分(¥500＝甲賀市一日切符)～JR三雲～泉ヶ丘タクシー 甲賀病院は湖南市も出資してるのではありませんか？</li> </ul>	

分野	自由回答
高齢者支援について	● 年を重ねても気軽に参加出来るスポーツ（運動）がしたい。（卓球・バトミントン・ハイキング等。又、将棋）
	● 終身サポート事業をすすめてほしい。
	● 高令者にやさしいまちづくりをお願いします。
	● 葬儀について、生前の相談など全般
	● 亡くなった時（1人ぐらし）に最後まで安心して任せられたらと思います。葬式、埋葬までを希望どおりできればと思います。
	● ②独居老人の見守り方法を検討してもらえるとありがたい。 万一異変が生じた場合、速やかに察知できれば安心
	● 宝来坂は地名の通り坂の多い地域です。お年寄の方が特にひとり暮らしの人が、ゴミ捨てに困っておられます。行きはくんだりが良いが、帰りは上がりで車を押すのが、大変な様です。昔は家の近くまで車がゴミを集めて来ていたとの事でした。お年寄りが多くなる中これに対する対策はありませんか
	● 高齢者の高齢者による高齢者の為の通いの場にフレイル予防補助金支給を要望します。同好会とか受益者負担等々の理由で支援しないのは、一理あると思いますが、フレイル予防による地域福祉の推進や医療費節約効果の一部を還元することも大切だと思います。
	● 高令者のみの世帯への訪問は必要かと思われます。近所でも、となりの方が亡くなっている事さえ、後日に分ったりと情報が少ない。市としても一定の年令を満たした方が、どのような状況にいるのかを把握するのも必要かと考えます。近所やその自治会の協力も必要となりますので、市と地域で連携して頂けたらと思います。
	● 孤立している認知症患者（高齢者）の施設など優先的に入れる様にする。入居日数が限られており、無条件で退居させられる。自宅介護も出来ない独居老人を、なぜ退居させるのかわからない。また入居費用も高額でどうしようもない。健常者ばかりの世帯のときは気にならなかったが、自分が高齢者になってはじめてわかった。思う事は山ほどありますが、身勝手な考えになってしまう。働いて働いて働いて働いても、楽にならない。フッ!!
● 長い間湖南省市に住んでいて、高齢の母のケアマネを自分でさがす事がすごく大変でした(引越してきて、何もわからず)。今までは市町村がさがしてくれていたのに、自分であちらこちらに問い合わせするのは、本当に大変です。市町村でさがしてくれれば助かると思います。今後のためにも考えて頂ければありがたいと思います。	
● 3年半前から特別養護老人ホームにて介護の仕事をしています。今年1月に介護福祉士の国家試験を合格して日々勉強しております。これから年をとってどの様に生活出来るか？不安もあります。	
介護について	● 市内 4 カ所地域包括支援センターの拡充、小学校校区に包括支援センターの出先機関設置の具体化を計る。
	● 最後は家庭でがんばってください、なんとかしてくださいとならないよう家族支援もしっかり行ってください。
	● 高齢者の介護 ● 介護施設の設立（近所に）
	● ◎必要なサービスがなくならないように継続する為の支援や応援、協力を市や社協は、しっかりすること。 ● サマーホリデーや障害の展宅サービスがなくなったことに対する、具体的な責任や対策を明確にすることが大事だと思います。
	● 以前、主人が悪く、看病の為、子供（障害者）のバトミントンの送迎ができない為、市役所にヘルパーの要請をお願いしに行ったが 湖南省市は私が介護者になったら使えるけれど、現在は、使えないと断られた。 守山市は、されているのに。 市での不平等さを なくしてほしい。障害者の為のグループホームも増やしてほしい。

分野	自由回答
介護について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主人がコロナに感染し、家で倒れて救急車で運ばれましたが、入院もできず、歩きもできず、家に連れ帰りましたが、障害を持った私が、下の世話の介護は大変でした。おむつです。老々介護で要支援1を貰いましたが、高い介護保険を払っていても、助けて欲しい時には、●にもないんだと残念でなりませんでした。福祉の充実等、●にもなっていません。家の中だけで頑張るしかありませんでした。市も行政も頼れないんだと改めて分かりました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族を介護しながら福祉サービスが病状により変化していく中で、どんなサービスが受けられるのか分かりずらく手続きが遅くなります。(実体験上)市の窓口へ相談することも高齢者が介護者の場合、難しいと感じます。(実母の場合)色んな申請をする時も、窓口が別で大変でした。介護度が上がるにつれ医療、介護費もどんどん増え、生活自体疲れてしまいます！サポートする人・アドバイザー時々な人が家に出向いて下さる事ができたり市や行政の手続きを代行して下さる人がいるだけで、家族としては助かると思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手術、リハビリ後、介護なしで生活するのに困らないうえに、ただ家のトイレが和式なのでそれだけでは困っていると相談したら隣の市の保健センターで受け付けてくれるのではと教えてもらいリフォーム工事の補助が受けられるか申請をした。リハビリ中に病院で今の状態では介護申請しても無理だろうと言われていたので補助金は無理と思い工事の発注をしましたが、仲間の人に早く話をしていたらと後悔しています。(自分の出来事です)ちよいスポ卓球クラブの人に相談しました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一年半前に母は亡くなりましたが、地域包括支援センターに相談に行き始めた時はしくみがわからず、まわりに介護にたずさわられてる方も少なく、何もかも分かりませんでした。今となっては色々な方に助けて頂きました。ケアマネ、デイサービスの方も良い方ばかりで利用してよかったです。</li> </ul>
障がい者支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もうし灯台の設置と、目の不自由な方のためのアクセシビリティの充実をお願いいたします。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ◎障害者団体、当事者への支援をお願いしたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どこに買い物に行っても、障がい者用の駐車場に何の印(県認定のマーク、車イスマーク)も付けていない車が平然と駐車している。元々駐車台数が少ないのに、使いたい人達が使えない状況を何度も見ている。法律での規定はないものの、もう少し考えて欲しい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 買い物でレジの順番を待っている白杖を持った人間の前に横入りが多い！！店員も見て見ぬふり！！これは、いかんだろう！！(とくに老人・老婆が多い)地域福祉の推進、以前の問題だろう！！カートをぶちあてて来る老人・老婆も多い！あやまりもせず立ち去る！！あまりにも情けない湖南市民！！できるだけ関わりたくない！！以上</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軽い知的障がいのある人からいやがらせを受けている。ツバをはきかけるしぐさや「いつまで生きているのや」等。ある時は追いかけられる。知らんぷりしていると回数はへったが最近小学生の孫が下校時ににらみつけられると言うようになった。私に関してのいやがらせは地区の民生委員さんに相談したが孫のことは最近の事なので様子をみている。意見、要望ではないが困っている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校を卒業した後の障がい児の将来がとても心配です。学校がある時は毎日通う生活リズムがあり、先生とも相談できたりデイサービスの利用もでき居場所があります。卒業後はそれがなく、毎日通う場所、親なき後の生活の場所、金銭の管理など準備できることはしていますが、場所も人も圧倒的に足りない状態です。発達障害等、生きづらさを抱える人が増えている今、安心して生活できる町を強く希望します。</li> <li>● 福祉に対するニーズが高まっているのは理解していますが、障がい児に対する療育教室「ぞうさん教室」を廃止したことや、生活介護事業所、就労支援A・B事業所が、近隣市町では増えているのに比べ、湖南市は増えていかないことを考えると、障がい者福祉に消極的な姿勢が感じられます。緊急に必要な人たちに対して手薄な施策で、失望を禁じえません。1人1人が大切な命です。どうせ社会の役に立たないから、、、といった考えでないがしろにするだけは絶対にあってはならないと思っています。どうか全ての人に優しい社会の実現のために、引っ張って行ってください。よろしく願いいたします。</li> </ul>

分野	自由回答
障がい者支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私は突発性難聴になり、左の聴力はほとんどありません。高齢で右の聴力も落ち、仕事や趣味もやめ、一時家に引きこもり状態でした。そんな時役場広報で手話講座があることを知り、参加しました。聞き取りにくい私が「目で見える言葉」で伝えられることに感動しました。講座終了後も手話サークルに参加し学んでいます。学ぶことは大きな喜びです。二人以上の会話は音がすれど意味がわからず大変困る。ろう者さん苦勞を今になって理解したところです。図書館やすべての窓口では聞き取りにくく何度も尋ねます。手話の出来る人がもっともっと広がって当たり前のようにコミュニケーションが取れるといいなあーと日々思っています。高齢者になって難聴の人々も多いと思いますが、どんな人にとっても優しい町であってほしいと思います。</li> </ul>
子ども・子育てについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもが雨の日に屋内でも遊べる場所の充実</li> <li>● 持病のある子供の学校に短時間でも看護師派遣をしてほしい</li> <li>● 育児をしていて、とにかく大変。</li> <li>● 子育て支援にもっと予算を組んで欲しい</li> <li>● 湖南市は福祉にはとても力を入れている地域だと思います。子育て支援も手厚くお願いします。</li> <li>● 最近の子ども達はあいさつが少なく感じる。スポーツの最初はあいさつから友人や身近な方にまずあいさつが1番なのに学校家庭、スポ少の方の指導をのぞみます。</li> <li>● 子どものおむつや、子どもに対する支援をもう少し増やしてほしいです。市民の笑顔が大切というのであればもう少し市民全体が市の情報を知れることが大切だと思います。</li> <li>● より良い福祉政策を望みます。地域の交流に馴染めない若い人は多いと思いますが何かしら子育てに協力できる環境を作り子供を産んで育てることがやりやすい市、子育て支援を優先していただき、湖南市は子育てしやすいから、移り住もうとなるような環境になったらいいなと思っています。高齢者より、生まれてくる子供、育てる若い人を助けてあげてほしいです。</li> <li>● 地域福祉を行う人は、現役世代になると思うが、高齢化が進んでるなかで負担に偏りが出るのはないかと思っています。地域にもよるが、老害と呼ばれる行為が増えているなか、安心して子供を遊ばせる事ができなくなっている。特に共有広場のゲートボールでの占拠等、高齢者が特別と言う意識があり、譲り合う気持ちが全くないのがいい例です。</li> <li>● 子どもの一時預かりできる場所が少ない（ので定員がいっぱいになる）子どもの病児保育できる場所が少ない（ので定員がいっぱいになる）産後ケアのシステムにとても救われた。産後ケアのような仕組みが0歳児以後もあると助かる家庭は多いと思う。病む人も減るはず。</li> <li>● 障がい者も一時預かりできる場所が少ない。というよりもなくなってしまった。申請が大変。緊急時預かってもらえる場所が必要。</li> <li>● 困っている人の意見を聞いてほしい。高齢者ばかり優遇されている。</li> <li>● まちづくり協議会の皆様が、子供の楽しめるおまつりやライトアップして下さり感謝しております。イベントを楽しむことが出来ており、地域の人々との交流にもつながっております。</li> <li>● 一方で、市政に関してお願いしたいことは、子どもの居場所、預かりの充実です。学童は他県、他市に比べ、料金が高く（他県では夕方まで学校で無料で預かりあり）、難しさを抱えております。学校の質の向上も切に願っておりますので、ご尽力下さいますようお願い致します。</li> </ul>
外国人市民との共生について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最近、近所に外国人の移住が多くなりました。差別するつもりはないのですがやはり少し不安な所があります。</li> <li>● 外国人が多い。日本語のわからない人（児童）が学校になじめない。犯罪が増える。車も改造車が多い。竜王町はほとんどいない。なのに町として成り立っている。わるいことばかり良い事がない未来では結婚問題もでてくる。</li> <li>● 湖南市は外国人が多いので地域の行事とかでコミュニケーションが取れる様になれば、、、防災になった時に連絡出来る人を作るとか、日本のルールに協力してもらおう様に出来たらいいと思います。</li> </ul>

分野	自由回答
外国人市民との共生について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ”最近、ミャンマーやベトナムの方が増えています。</li> <li>● 地域で、その国の言語や文化を学べる。無料のコースの様なものがあると良い様に思います(食文化など)。何かあった時に、助け合う事も出来る様になると思います。</li> </ul>
防災について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 比較的災害などが少いので危機感は少い。被災地のボランティア活動を多くの方が経験することで、実際に災害にあったときのケアのノウハウを学べるのではないかとボランティアバスを出す。</li> <li>● 安心安全な町づくり 今私が心配してる事は住宅が山手に有りますので地震や台風などの災害で山や石垣が崩れないか山は以前は市のものでなく3年前位に市のものになったと聞いてこれから市が管理したら安心だなあと話してましたが区から市の方に石垣の補修の要望書を出しても余り良い回答がかえって来ていません 予算が足りないから出来ないで終わってしまっています。一度に全部するのは難しいのはわかります。だから大切な所から予防策をする大きな災害が起こった場合はいろんな所で崩れます それこそお金が足りなくなります。だから少しづつでも確実に補修する場所はどこか見に来て話を聞く(又は専門家に依頼する)などして始めていただきたい。私も老人ですので今はなんとか市道に落下する落葉などを掃除していますが、今後できなくなったら誰がするのか考えただけでもストレスが溜まります。この様な事に市は余り関心がない様に思います。災害と健康は福祉と繋がっています こちらにも目を向けてください 市の財産です 大切にしてください お願いします</li> </ul>
防犯・交通安全について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 街灯が全体的に少ないため防犯の面から考えると増やすべきだと思います。(特に車通りが少ない所)。</li> <li>● 参考住宅が増える中、空き家が増えているのが気になる。防犯面でも不安。</li> <li>● 地域の防犯対策や青少年の非行防止対策を重点的に進めていく事により安心に住みやすい街づくりにつながると思います。</li> <li>● 2026年4月1日から導入される自転車制度で石部中央消防署前道路113号線南から北に向かうのに車道は大型車多く危険すぎます。他狭路多くせめて自転車通路帯をペイントするなど(車道の半分を通行帯にする)考えていただけませんか？</li> <li>● ”高齢者でも外出しやすい環境、交通の便を良くする！遊歩道の整備！(散歩等安全で歩ける所を作る)！防犯カメラを多数付ける。</li> <li>● 災害時や犯罪防止の為に、湖南省(とくに石部)の街灯をもっともっと増やしてほしい。以前に「行き止まりのどんつきほど街灯がない」と声をあげたことがあるが『人が通らないから(設置しない)』との返答だった。端の家ほど犯罪に巻き込まれる。実際に我が家は過去に空き巣に入られたことがある。灯りで街を人を守ってほしい。</li> <li>● 災害時や犯罪防止の為に、湖南省(とくに石部)の街灯をもっともっと増やしてほしい。以前に「行き止まりのどんつきほど街灯がない」と声をあげたことがあるが『人が通らないから(設置しない)』との返答だった。端の家ほど犯罪に巻き込まれる。実際に我が家は過去に空き巣に入られたことがある。灯りで街を人を守ってほしい。</li> <li>● 地域福祉かは分かりませんが、街灯が夕紛れている所が多いと思います。夜歩いたり走ったりするときに暗くて足元が見にくかったりしてあぶないな一と感じることが多いです。定期的に夜間見回りして頂きたいです。</li> <li>● 住みよい街湖南省の継続をお願いします。</li> <li>● 福祉ではないですが、こちらに引っ越して来てから、この辺の人の運転(車の)の仕方にビックリしています。当たり前の交通ルールを守れない方が多くてこの辺に長く住んでる方に聞いてみても、昔からこの辺はひどいよって言うておられたので、ずっとこんな感じのところなんだなと思いました。畑や田んぼの横の違法駐車もとても多く、前から来る車が見えず何度も危ない目に合っています。道路で子供を遊ばせてるぐらいですから、それが親から子へ引き継がれて今現在も交通ルールの守れない方であふれているんですね。みなさん意識を変えていただけたら事故や嫌な思いをする人が減るのかなあとと思います。良い市になることを願います。</li> </ul>

分野	自由回答
防犯・交通安全について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歩道の整備</li> <li>● 駅から三雲東小に行く際のひょうたん池の道の歩道、街灯の整備、駅から学生さん、会社員の方、たまに散歩の方など朝・夕と歩いている方が多くトラック等も通るため（朝・夕車通り多い）いつも事故がおこらないかカーブも多く死角ありヒヤヒヤします。</li> <li>● 11月くらいから今時期は暗くなるのが早く心配になります</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉ではないですが、こちらに引っ越して来てから、この辺の人の運転(車の)の仕方にビックリしています。当たり前交通规则を守れない方が多くてこの辺に長く住んでる方に聞いてみても、昔からこの辺はひどいよって言っておられたので、ずっとこんな感じのところなんだなと思いました。畑や田んぼの横の違法駐車もとても多く、前から来る車が見えず何度も危ない目に合っています。道路で子供を遊ばせてるぐらいですから、それが親から子へ引き継がれて今現在も交通规则の守れない方であふれているんですね。みなさん意識を変えていただけたら事故や嫌な思いをする人が減るのかなあとと思います。良い市になることを願います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧東海道が三雲小学校の通学ルートに含まれていますが、明らかに朝の通勤時の抜け道として利用されており、子供達の登校時の通行に不安を感じる場面が多々ありました。小学校側としても、保護者による監視(立ち当番)を実施してくれていますが、安全が担保されてとは思えない状況です。光陽産業の交差点の改善(全面一旦停止)は非常に効果ありと感じています。ありがとうございます。しかし、通学時間帯でもルールを無視される方が多いので、通学時間帯の通行止め範囲の拡大もしくは、警察による交通规则の徹底を強化を検討頂けると嬉しいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防犯は大事だと思いますが必要以上の防犯は問題があるのではないのでしょうか。私自身、数年前の一度の失敗で自宅の傍に突然看板を立てられたり外に出ると尾行監視されて本当に苦しい思いをしました。</li> <li>● いろいろな所で相談にもものってもらいました。</li> <li>● 今では外に出るのも苦痛です。</li> <li>● 引っ越しも考えています。</li> <li>● 警察でもないのに本人に黙ってどんどん追い込んでいくようなことをしてかまわないのですか。</li> </ul>
健康づくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1人住まいの人の為の体力的支援などのシステムがあれば役立つと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康増進の為、老若男女が使用できる市民プール、フィットネスジムの設置、それに伴う温浴施設の設置を検討して頂きたいです。また市民が低価格で利用できるように考えて頂きたいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者が健康促進の為に雨の日でも散歩(筋トレ)が出来る場所が欲しい。晴れの日には親水公園に行くのですが、冬は風が強くて気軽に歩く場所が無いので、家に入ったままになってしまうので不健康になってしまう。筋トレなどのトレーナーなどが居てもらうと安心してきてとてもいいと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日体操の推進、足腰が少しでも衰えない様な簡単な体操(ダンス)を、湖南省で考えて市のホームページなどで流してこれから益々高齢になって行く人の頭と健康を考えるべきだと思います。その為にも無駄な一部の人のための行事等は排除して、市民全員に行き届く社会福祉を考えて行くべきではと思います。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康のため、ランニングを続けていますが、安心して走れる公園があれば、運動する人数が増えるのでは…と自分の経験から思うことがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉と直接関係することではないかもしれませんが、生涯学習など活動する場を検討することがあれば、こちらも同様にお願いします。</li> <li>● スポーツ協会の活動が次年度は難しいという話を指導の方から聞いた。体育館の利用料の負担をすることになるので活動費が足りなくてできないとの事でした。私は市民の健康(若年から高齢)は市が活発でいいと思う。大切だと思う。何でも削減節約などしていないで、将来・長寿・健康を目指して活動費も充実させてほしい。削減するのは議員の定数です。獲得数の少ないにもかかわらず上位何名ではなく市民数の何%票を獲得した人が議員になればいい。今回の投票数1位の人と票は少ないけど議員になった差が大きすぎる。</li> </ul>

分野	自由回答
生活環境について	● 寮建設時予定時点での説明不足、寮生のマナーの悪さ、連絡手段が無い、路駐迷惑など
	● 湖市工業団地に住んでいます。目の前に茶がま川があります。4月にはとってもキレイに桜が咲くのに少し目線を下げれば草木がポーポーに生いしげって残念ざんねんに思います。茶がま川の周辺をキレイにして毎年桜の時期にはキレイな桜並木とキレイな茶がま川が見える様にしたいです。
	● 野良猫に餌をやりカラスに餌をやり増加し敷地内にはトイレをしカラスが頭の上にくる毎日掃除をしいられる。どこに相談しても餌やりを禁止する事もできず野良猫を引き取ってもらうこともできず対策にお金もかかる。野良猫の対策してほしい。このままでは、普通の生活ができない。
	● こういう遠回しのアンケートより実際にこまっている事について助けて欲しいです。近所の空き地がほったらかしで野良猫が住み着き今年はアライグマがすみつき子供を産みました。春にはハクビシン、タヌキまですんでいました。夜には公園に出てきてこまっています。湖南市役所に相談に行きました。市長へ手紙も書きました。何もしてくれません。ボランティア？福祉？名前ばかりで。ホントにこまっている事について考えて下さい。
経済的負担について	● 現在は、まだ仕事は、出来ているのですがこの先、お仕事をヤメて…と思うと不安と漠然とした恐れを感じます。
	● 65歳以上の定年後の再就職として、もしくは40代50代～就職氷河期の仕事として仕事(収入)にもなり、時間も使ってもらえる。
	● 市民税が湖南市は高すぎます。(若い人達にも余裕がもて、福祉にも関心もてますように)
	● 高齢者や低所得者への物価高支援などを充実してほしい。
	● 自分の生活で精一杯。福祉や助け合いが大切なのはわかってる。普通に精一杯頑張ってる人に対してはどんな補助を市としては行うのか？みんな大変やで！何でも高いし、普通の毎日を送る為に働いてる。決して贅沢する為ではない状況。
● 今、社会福祉協議会に家ぞくの分を通帳といんかんをあずかってもらっていて、「生活費がなくなるから」とりんじのお金が出してもらえなくて「日用品の分もお米の分も、1週間5000円の中から、買って下さい」クーラーがこわれたのに修理代すらだしてもらえなくて、かつかつの生活で苦労しています。(娘の話ですけど)よゆうのお金が全々なくて、いつたおれてもおかしくないじょうたいなんです。なので、日用品やお米も今げんぎいすごく高くてなかなか買えないので、トイレトーパー、箱入りティッシュ、生理用品、アルコールウェットティッシュ、トイレクリーナー、フローリングシート、ペットシート(そうじに使う)、台所用せんぎい、いるいせんぎい、せっけん、シャンプー、リンス、カーペット用コロコロ、ポリエチレン袋(M・L・LL・60号)、その他の日用品やお米が、家にストックがありすぎておく場所がないから、こままっている人にえんじょきふしますというせいでがほしいです。お願いいたします。必ず。今生きているのもしんどいのです。	
教育について	● 石部南小をなくさないでほしいです。
	● 湖南市は滋賀県でも市の発展も小さく教育も介護も充実していないイメージ強い。目先の補助も必要だがこれから長い未来を考えた政策が必要！教育の質を高めることをしてほしい。湖南市は教育に力を入れている。という事が有名になるようにしてほしい。
	● 普段は担当の利用者さん越しの地域との関わりになっています。地域福祉かと言われると悩みますが、三雲養護学校の方と、地元の小中学校の方では、地域との繋がり、情報量に差があるように思うので、その辺り保護者への情報提供など偏りが無くなればいいのかと感じつつ仕事をしています。
アンケートについて	● アンケート調査、投函期日が少しゆとりがあれば考えられ、また次回まで考えておきます
	● 何と答えて欲しいですか、福祉とは、と考えるきっかけになりました。
	● 知らない事ばかりだったので湖南市はこのような活動をしてるとしれました。
	● この様なアンケート等にお金をかけすぎ!!
	● 設問が広範で抽象的すぎてよく理解できない。
	● 老人ではアンケートの解答は大変です
	● 適当な答えで申し訳ありません。もっと若い人にアンケートまわしてあげて下さい。

分野	自由回答
アンケートについて	● 独身なので、質問に答えるのが難しかったです。年代にあった質問があるといいと思う
	● すぐには、特に思いつかない。
	● アンケートの内容では思う事が伝わらない。
	● このようなアンケートで市民の意見を聞くより、各地の自治総会で福祉関係の方が出席してナマの意見を聞く方が確実にいいと思います。
	● このアンケートについて障害者宛に送られても本人は介護を受けている者なのに「なぜ」この様な物を送ってくるのか？
	● 他人のお世話をするとするより、逆の立場なので回答に困ります。
	● アンケートはよくありますが、結果、特に何が今後強化する事になった等、全く知る事ができない状況、「小規模多機能」についても、その後の経過が全く伝わっていない、このような政策が型だけで進んでいる。タウンミーティングにしても行政と、熱心な市民との会話がかみ合っていない肝心の行政側に真剣にそれを聞き入れる姿勢がみられない市議会でも現実的質疑があまりなく、市を追求することが目的化しているようだ質問者も重ねて重ねての質問があってもよいと思うのだが、市長が変わって少し改善策がみえるが……。
その他	● ◎福祉センター（社協）の建てかえ、機能充実
	● 高齢化人口が増大して行くに伴い、市の地域福祉の対応力（経済面、人材面、制度面）が安心できるものとなっているのかが不安。
	● 若者が楽しめるショッピング施設が少ない。
	● なにせ手続して、申請等、こうじよ、保じよの決定がおそすぎる。
	● すべて絵空事ですませる時代ではないので、しっかり協議して頂き、住み暮らし易い湖南市にして下さい。
	● 以前、役所に相談しても自治体に相談しろと言われた。自治体は何もしなかった。その様な機関は解体して良いと思う。
	● 多岐にわたり問題があるのでむずかしい。
	● 湖南市は老人ばかりになってくる バスが少ない 福祉なんてないのと一緒に 店はない つぶれていく 湖南市はおわった こんなんで金を使うな むだ！！
	● 現在ケアハウスにて生活しておりますので、福祉については余り知らず、関心が薄いです。
	● 地域福祉の定義がわからない。もっとわかりやすい言葉にしてほしい。
	● 自分の出来る範囲で誠実にやっていく。
	● 町をより良くしようとしてくれてありがとうございます。お仕事頑張ってください。
	● 地域福祉の分野は様々あり、必要とする人も様々なので、皆んなが満足できるよう検討することが大事かと思いました。
	● これからの湖南市が、より良い生活方向に向かう事を願います。
	● 湖南市に住んで良かったと思える町づくりであって下さい。具体的な要望はありません。関係者の皆さん、ご尽力よろしくお願い致します
	● いつもありがとうございます。
	● みんなが幸せに暮らせますように
	● 地域で共存出来る福祉である事。 ● もっと身近に感る事が出来、利用しやすい事。
	● おかげ様で後期高齢者の 2 人ですが、人様の助けをもらわず生活できています。自分なりに体に気をつかいながら頑張っていますが、いざ助けを頼む時があればよろしく願いします。

分野	自由回答
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政の福祉は「無料の奉仕」ではなくコストがかかるものと覚悟がいます。行政サービスの中でも、社会的弱者とされる福祉の該当者は収入、状況、思想等様々で一つのルールでの線引きは難しいと思いますが、健康で社会的な生活を送れるようサポートして貰えるという安心は大切だと感じます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉活動には様々な活動がある事が少しだけ理解出来ました。ただ意見や要望を考えるまでにはまだ至らずで、でも高齢になったら利用することも出てくるのだろうが、どのような手続きをしたら利用できるのか？等は地域に密着していないと分からないことだらけだな……と感じています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湖南省全体でも地域によって課題や状況が異なるため、地域福祉も格差が出ることは致し方ないができるだけ市全体の格差を縮める努力が市として必要。市内で進んでいる地域を例に全体の底上げができるようにすべきであると思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の意思で犯罪をした人に対してやさしくする必要はないと思う。そんな人につきっきりしていると本当に助けを必要としている人達が埋もれてしまうと思う。助けを求めている人は心で叫んでいることが多いと思うから。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これから、高齢化が進んでいくと思います。新しく子育て世代を入れても、数十年後は又、同じ問題が起こってくると思う。空家を活用してバランスのいい社会構成にして、地域福祉を充実したほうがいいです。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉などにも財源必要だと思うが、ふるさと納税も全く欲しいものがなく、もっと力を入れてほしい。ポケモンカードや、DAISOの虫神器バトルカードが流行ってるので湖南省のこにゃんカードのようなオリジナルカードを作って大会したり、ふるさと納税でレアカード作るなどすれば面白いと思う！ぜひ観光課にお伝えください^_^</li> </ul>

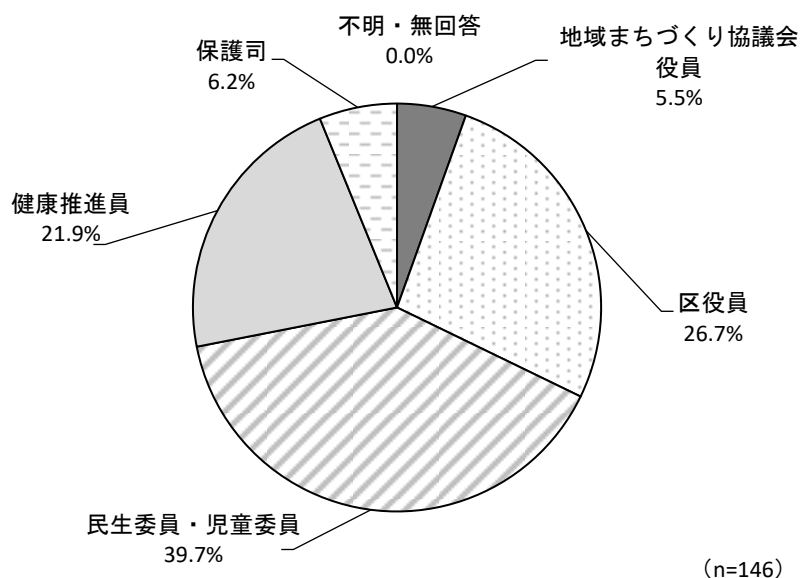
## IV 民生委員・児童委員等アンケート調査結果

### 1. 回答者ご本人について

問1 あなたが担っている地域の役割は何ですか。(〇は1つ)

担っている地域の役割について、「民生委員・児童委員」が39.7%と最も高く、次いで「区役員」が26.7%、「健康推進員」が21.9%となっています。

地区別にみると、石部南小学校区で「健康推進員」、岩根小学校区、下田小学校区で「区役員」、菩提寺北小学校区で「区役員」と「民生委員・児童委員」がともに最も高くなっています。また、それ以外の地区で「民生委員・児童委員」が最も高くなっています。

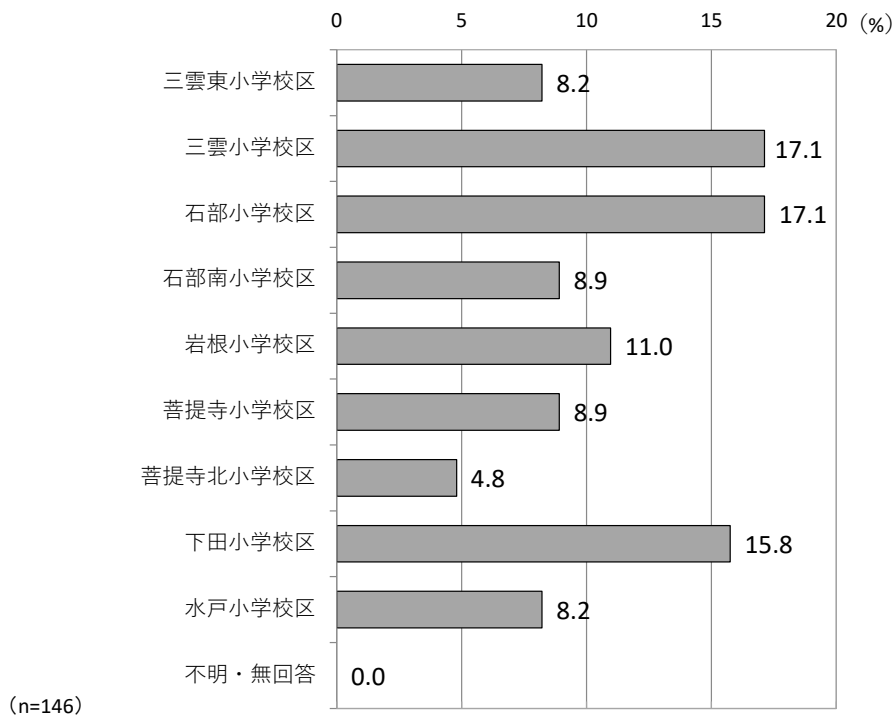


#### 【地区別クロス】

(%)	合計	地域まちづくり協議会役員	区役員	民生委員・児童委員	健康推進員	保護司	不明・無回答
全体	146	5.5	26.7	39.7	21.9	6.2	0.0
三雲東小学校区	12	8.3	8.3	75.0	0.0	8.3	0.0
三雲小学校区	25	4.0	28.0	32.0	28.0	8.0	0.0
石部小学校区	25	8.0	12.0	52.0	24.0	4.0	0.0
石部南小学校区	13	7.7	30.8	0.0	53.8	7.7	0.0
岩根小学校区	16	6.3	37.5	31.3	18.8	6.3	0.0
菩提寺小学校区	13	0.0	30.8	38.5	23.1	7.7	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
下田小学校区	23	4.3	39.1	34.8	17.4	4.3	0.0
水戸小学校区	12	8.3	16.7	58.3	8.3	8.3	0.0

問2 あなたのお住まいは、どの地区（小学校区）にありますか。（○は1つ）

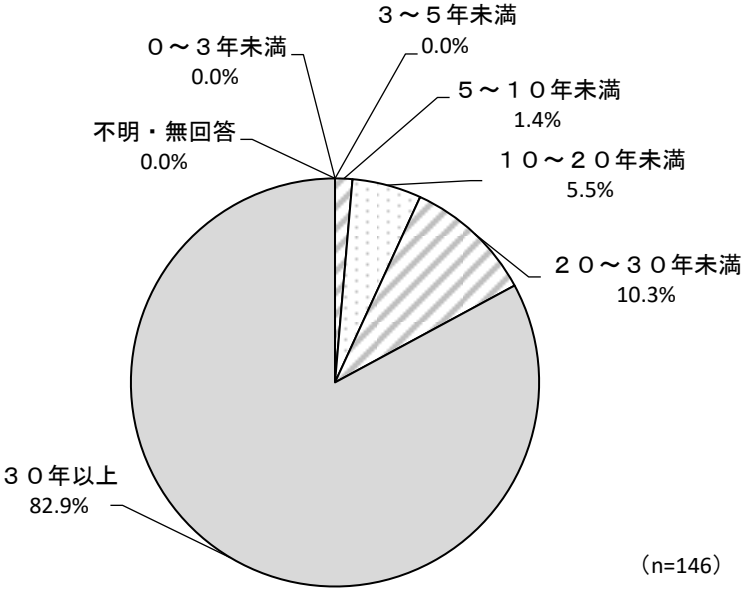
お住まいの地区（小学校区）について、「三雲小学校区」、「石部小学校区」がともに 17.1%と最も高く、次いで「下田小学校区」が 15.8%、「岩根小学校区」が 11.0%となっています。



問3 お住まいの地区の居住年数を教えてください。(〇は1つ)

お住まいの地区の居住年数について、「30年以上」が82.9%と最も高く、次いで「20～30年未満」が10.3%、「10～20年未満」が5.5%となっています。

地区別にみると、すべての地区で「30年以上」が最も高くなっています。



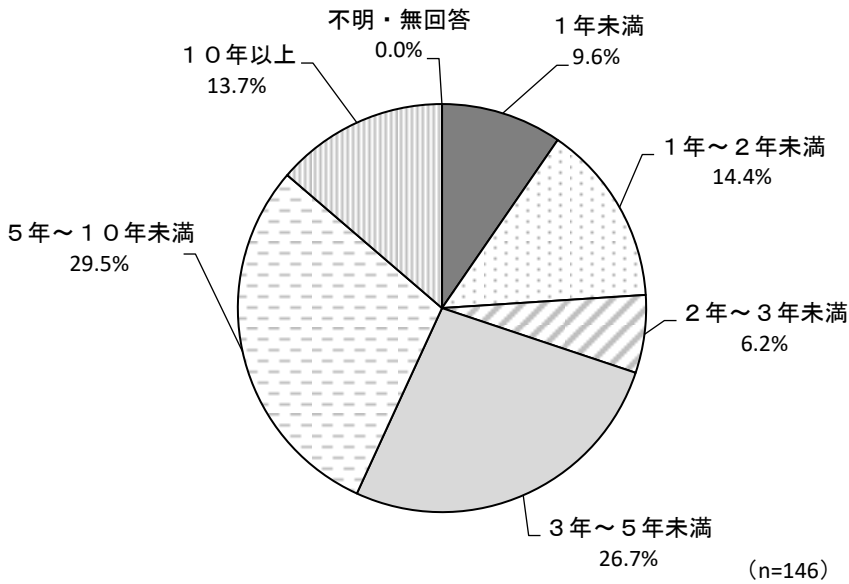
【地区別クロス】

(%)	合計	0～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30年以上	不明・無回答
全体	146	0.0	0.0	1.4	5.5	10.3	82.9	0.0
三雲東小学校区	12	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	91.7	0.0
三雲小学校区	25	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	92.0	0.0
石部小学校区	25	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0	88.0	0.0
石部南小学校区	13	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7	76.9	0.0
岩根小学校区	16	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	87.5	0.0
菩提寺小学校区	13	0.0	0.0	0.0	7.7	23.1	69.2	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	71.4	0.0
下田小学校区	23	0.0	0.0	0.0	8.7	17.4	73.9	0.0
水戸小学校区	12	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0

問4 現在の活動（役職）の経験年数を教えてください。（○は1つ）

現在の活動（役職）の経験年数について、「5年～10年未満」が29.5%と最も高く、次いで「3年～5年未満」が26.7%、「1年～2年未満」が14.4%となっています。

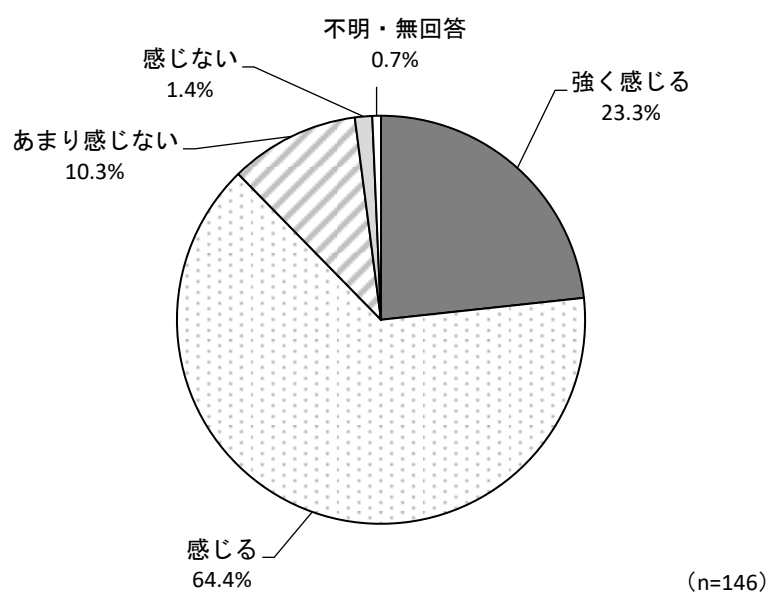
地区別にみると、三雲東小学校区、水戸小学校区で「3年～5年未満」、石部南小学校区で「10年以上」、菩提寺北小学校区で「1年未満」、下田小学校区で「1年～2年未満」、それ以外の地区で「5年～10年未満」が最も高くなっています。



【地区別クロス】

(%)	合計	1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	不明・無回答
全体	146	9.6	14.4	6.2	26.7	29.5	13.7	0.0
三雲東小学校区	12	0.0	8.3	0.0	58.3	25.0	8.3	0.0
三雲小学校区	25	8.0	4.0	12.0	24.0	32.0	20.0	0.0
石部小学校区	25	8.0	12.0	4.0	24.0	40.0	12.0	0.0
石部南小学校区	13	15.4	0.0	15.4	15.4	23.1	30.8	0.0
岩根小学校区	16	6.3	18.8	6.3	18.8	37.5	12.5	0.0
菩提寺小学校区	13	15.4	7.7	7.7	0.0	53.8	15.4	0.0
菩提寺北小学校区	7	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
下田小学校区	23	4.3	43.5	0.0	39.1	8.7	4.3	0.0
水戸小学校区	12	8.3	8.3	0.0	41.7	25.0	16.7	0.0

問5 現在の活動についてどのように感じていますか。(それぞれ〇は1つ)



【地区別クロス】

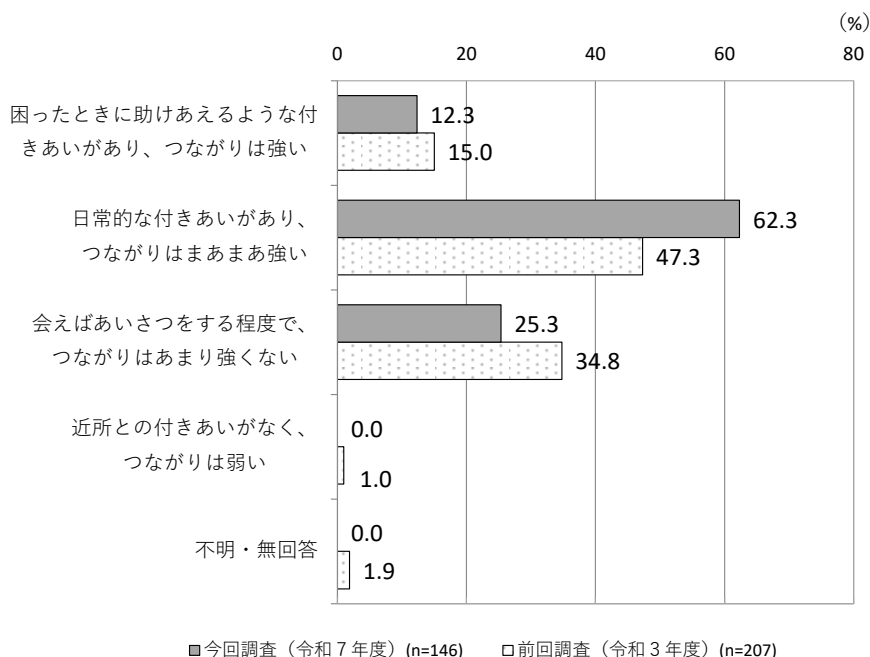
(%)	合計	強く感じる	感じる	あまり感じない	感じない	不明・無回答
全体	146	23.3	64.4	10.3	1.4	0.7
三雲東小学校区	12	33.3	58.3	8.3	0.0	0.0
三雲小学校区	25	16.0	80.0	0.0	4.0	0.0
石部小学校区	25	28.0	64.0	8.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	7.7	61.5	23.1	0.0	7.7
岩根小学校区	16	6.3	81.3	6.3	6.3	0.0
菩提寺小学校区	13	23.1	69.2	7.7	0.0	0.0
菩提寺北小学校区	7	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0
下田小学校区	23	39.1	52.2	8.7	0.0	0.0
水戸小学校区	12	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0

## 2. 地域について

問6 あなたがお住まいの地域では、地域のつながりが強いですか。(〇は1つ)

地域のつながりの状況について、「日常的な付き合いがあり、つながりはまあまあ強い」が62.3%と最も高く、次いで「会えばあいさつをする程度で、つながりはあまり強くない」が25.3%、「困ったときに助け合えるような付き合いがあり、つながりは強い」が12.3%となっています。

地区別にみると、菩提寺北小学校区で「会えばあいさつをする程度で、つながりはあまり強くない」、それ以外の地区で「日常的な付き合いがあり、つながりはまあまあ強い」が最も高くなっています。



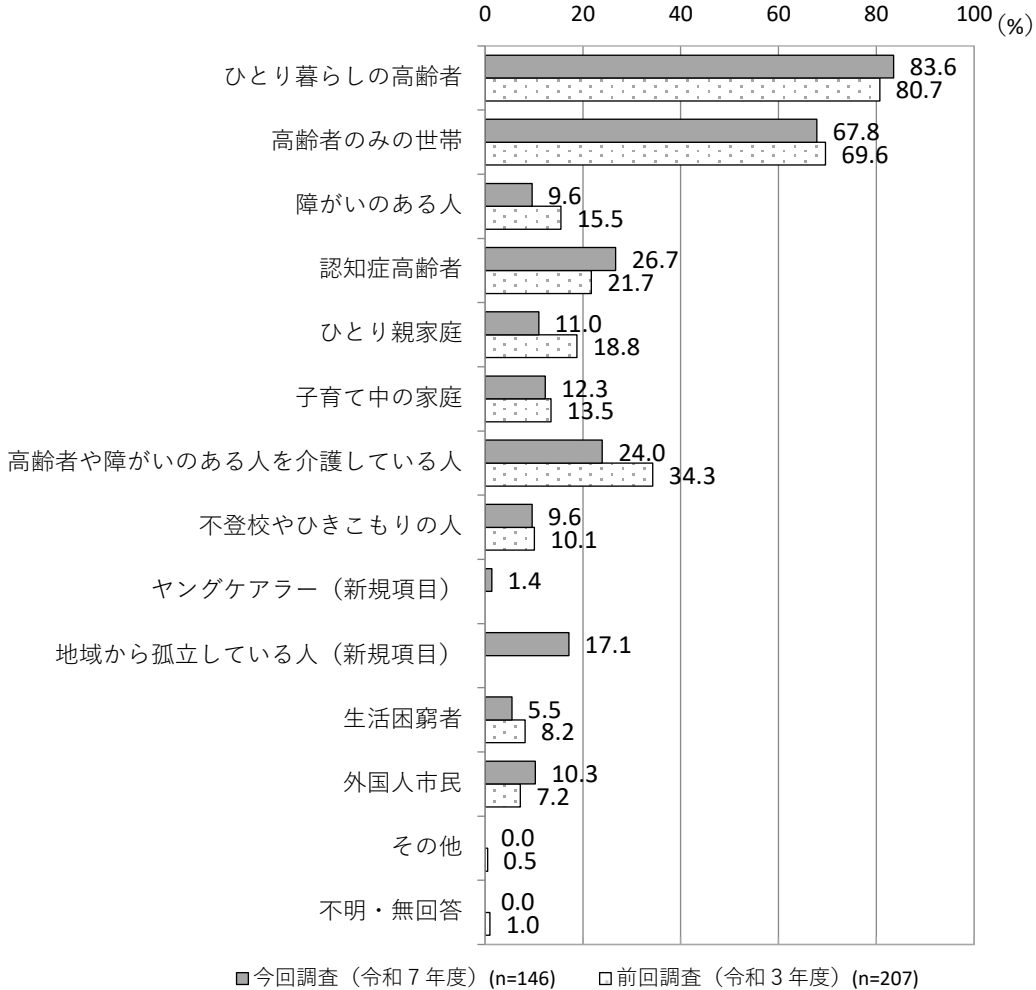
### 【地区別クロス】

(%)	合計	困ったときに助け合えるような付き合いがあり、つながりは強い	日常的な付き合いがあり、つながりはまあまあ強い	会えばあいさつをする程度で、つながりはあまり強くない	近所との付き合いがなく、つながりは弱い	不明・無回答
全体	146	12.3	62.3	25.3	0.0	0.0
三雲東小学校区	12	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0
三雲小学校区	25	20.0	52.0	28.0	0.0	0.0
石部小学校区	25	4.0	72.0	24.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0
岩根小学校区	16	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0
菩提寺小学校区	13	15.4	61.5	23.1	0.0	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0
下田小学校区	23	4.3	60.9	34.8	0.0	0.0
水戸小学校区	12	8.3	66.7	25.0	0.0	0.0

問7 あなたがお住まいの地域において、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。  
(〇は3つまで)

地域においてこれから特に支援が必要だと思う対象について、「ひとり暮らしの高齢者」が83.6%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が67.8%、「認知症高齢者」が26.7%となっています。

地区別にみると、岩根小学校区、菩提寺北小学校区で「ひとり暮らしの高齢者」と「高齢者のみの世帯」がともに他と比べて高くなっています。また、それ以外の地区で「ひとり暮らしの高齢者」が他と比べて高くなっています。



【地区別クロス】

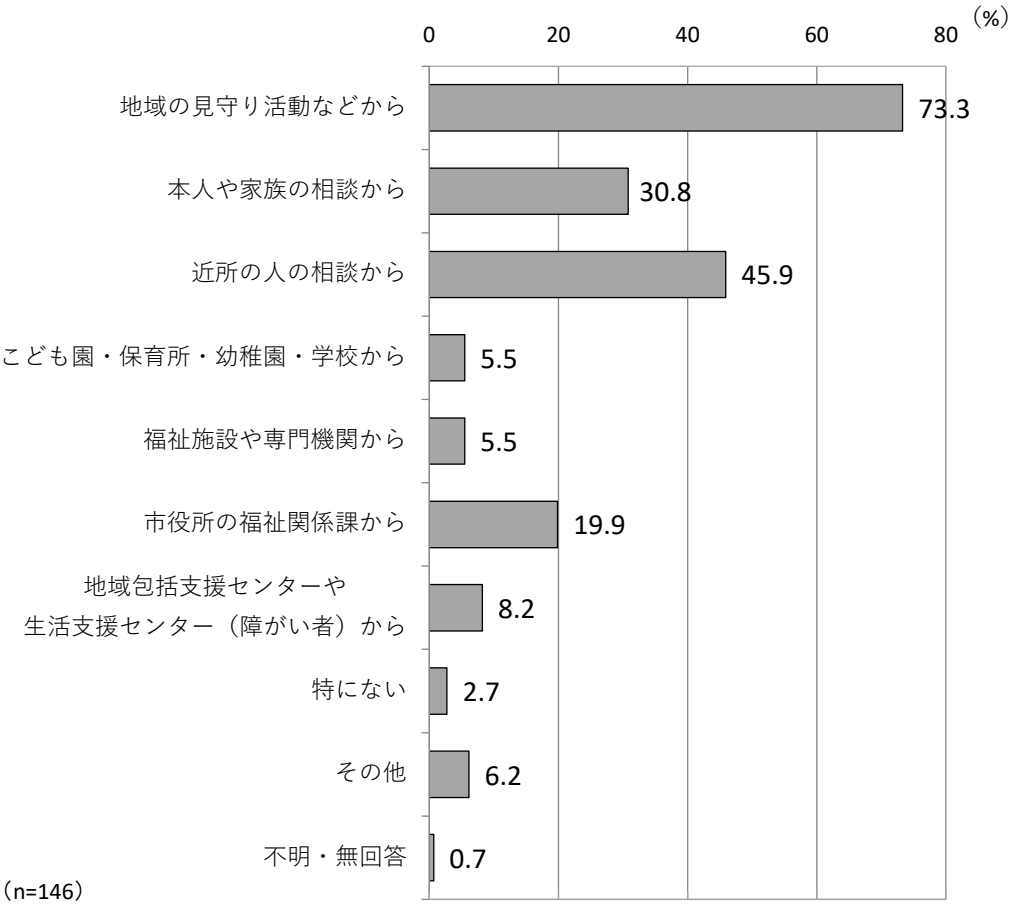
(%)	合計	ひとり暮らしの高齢者	高齢者のみの世帯	障がいのある人	認知症高齢者	ひとり親家庭	子育て中の家庭	高齢者や障がいのある人を介護している人	不登校やひきこもりの人	ヤングケアラー
全体	146	83.6	67.8	9.6	26.7	11.0	12.3	24.0	9.6	1.4
三雲東小学校区	12	83.3	41.7	0.0	25.0	8.3	16.7	58.3	16.7	0.0
三雲小学校区	25	92.0	84.0	0.0	16.0	8.0	16.0	28.0	8.0	0.0
石部小学校区	25	84.0	72.0	8.0	24.0	28.0	8.0	20.0	0.0	4.0
石部南小学校区	13	92.3	61.5	15.4	46.2	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0
岩根小学校区	16	81.3	81.3	18.8	12.5	0.0	18.8	25.0	6.3	0.0
菩提寺小学校区	13	61.5	53.8	15.4	30.8	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7
菩提寺北小学校区	7	71.4	71.4	0.0	57.1	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0
下田小学校区	23	82.6	60.9	13.0	21.7	8.7	13.0	13.0	21.7	0.0
水戸小学校区	12	91.7	66.7	16.7	41.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0

(%)	合計	地域から孤立している人	生活困窮者	外国人市民	その他	不明・無回答
全体	146	17.1	5.5	10.3	0.0	0.0
三雲東小学校区	12	33.3	8.3	8.3	0.0	0.0
三雲小学校区	25	8.0	0.0	12.0	0.0	0.0
石部小学校区	25	12.0	16.0	4.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0
岩根小学校区	16	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0
菩提寺小学校区	13	30.8	0.0	7.7	0.0	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
下田小学校区	23	17.4	4.3	21.7	0.0	0.0
水戸小学校区	12	8.3	8.3	33.3	0.0	0.0

**問8 問7のような支援が必要な人をどのような機会に気づくことが多いですか。(〇はいくつでも)**

支援が必要な人をどのような機会に気づくことが多いかについて、「地域の見守り活動などから」が73.3%と最も高く、次いで「近所の人の相談から」が45.9%、「本人や家族の相談から」が30.8%となっています。

地区別にみると、石部南小学校区、岩根小学校区で「近所の人の相談から」、菩提寺小学校区で「地域の見守り活動などから」と「近所の人の相談から」がともに最も高くなっています。また、それ以外の地区で「地域の見守り活動などから」が最も高くなっています。



その他回答	
●	仕事をしていて気付くことがあった。
●	実際に見て
●	独居老人の配布の時に感じる
●	日々の生活・町内会の寄り合い（常会）
●	テレビなど
●	何かのきっかけで偶然気付くが気付かないことの方が多い
●	分からない事が多い

【地区別クロス】

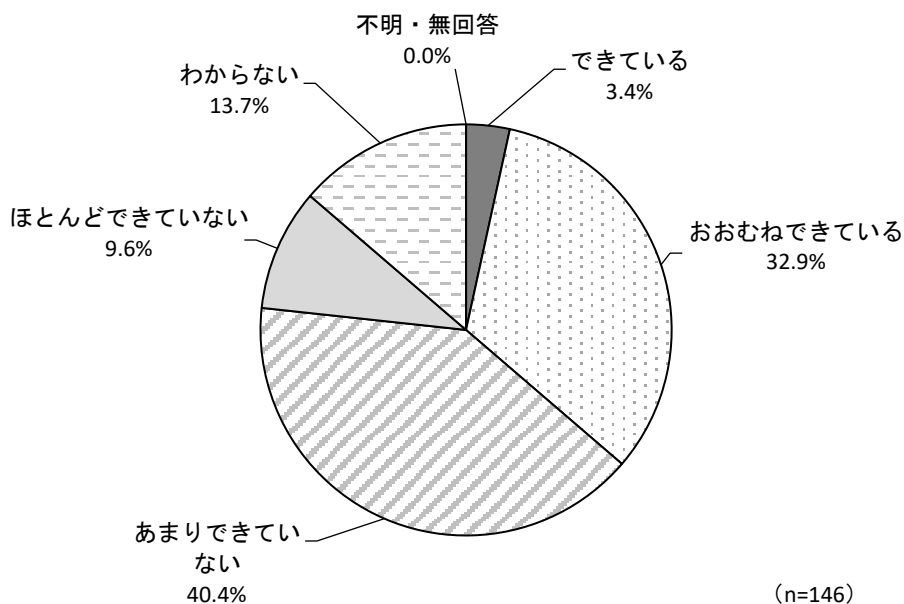
(%)	合計	地域の見守り活動などから	本人や家族の相談から	近所の人の相談から	こども園・保育所・幼稚園・学校から	福祉施設や専門機関から	市役所の福祉関係課から	地域包括支援センターや生活支援センター（障がい者）から	特にない	その他
全体	146	73.3	30.8	45.9	5.5	5.5	19.9	8.2	2.7	6.2
三雲東小学校区	12	91.7	25.0	33.3	8.3	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0
三雲小学校区	25	68.0	32.0	44.0	8.0	8.0	20.0	4.0	0.0	4.0
石部小学校区	25	80.0	40.0	28.0	0.0	4.0	44.0	12.0	8.0	4.0
石部南小学校区	13	53.8	15.4	61.5	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4
岩根小学校区	16	62.5	31.3	68.8	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3
菩提寺小学校区	13	53.8	38.5	53.8	7.7	0.0	23.1	15.4	7.7	15.4
菩提寺北小学校区	7	85.7	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3
下田小学校区	23	78.3	30.4	47.8	0.0	0.0	17.4	0.0	4.3	4.3
水戸小学校区	12	91.7	25.0	50.0	16.7	8.3	16.7	25.0	0.0	0.0

(%)	合計	不明・無回答
全体	146	0.7
三雲東小学校区	12	0.0
三雲小学校区	25	0.0
石部小学校区	25	0.0
石部南小学校区	13	7.7
岩根小学校区	16	0.0
菩提寺小学校区	13	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0
下田小学校区	23	0.0
水戸小学校区	12	0.0

問9 湖南省の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報は住民に周知できていると思いますか。(〇は1つ)

湖南省の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報の周知について、「あまりできていない」が40.4%と最も高く、次いで「おおむねできている」が32.9%、「わからない」が13.7%となっています。

地区別にみると、岩根小学校区、下田小学校区で「おおむねできている」、それ以外の地区で「あまりできていない」が最も高くなっています。



【地区別クロス】

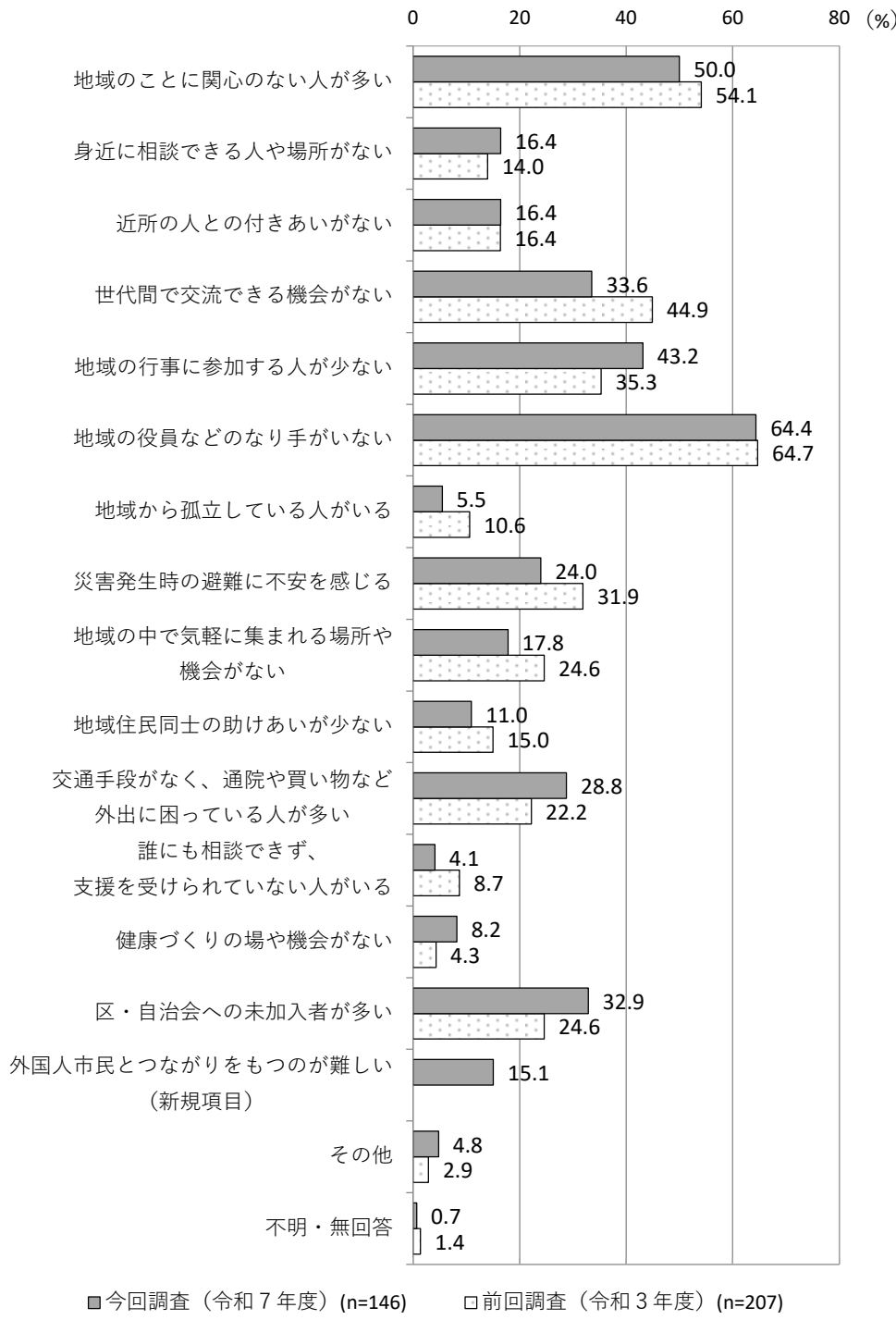
(%)	合計	できている	できている おおむね	できていない あまり	できていない ほとんど	わからない	不明・無回答
全体	146	3.4	32.9	40.4	9.6	13.7	0.0
三雲東小学校区	12	8.3	25.0	41.7	8.3	16.7	0.0
三雲小学校区	25	0.0	28.0	40.0	12.0	20.0	0.0
石部小学校区	25	0.0	36.0	44.0	8.0	12.0	0.0
石部南小学校区	13	0.0	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0
岩根小学校区	16	0.0	62.5	25.0	6.3	6.3	0.0
菩提寺小学校区	13	7.7	15.4	46.2	0.0	30.8	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0
下田小学校区	23	4.3	43.5	34.8	8.7	8.7	0.0
水戸小学校区	12	16.7	16.7	33.3	8.3	25.0	0.0



問10 あなたがお住まいの地域には、どのような課題や問題があると感じていますか。(〇は5つまで)

地域の課題や問題について、「地域の役員などのなり手がいない」が64.4%と最も高く、次いで「地域のことに関心のない人が多い」が50.0%、「地域の行事に参加する人が少ない」が43.2%となっています。

地区別にみると、三雲小学校区、石部小学校区で「地域のことに関心のない人が多い」、下田小学校区で「地域の行事に参加する人が少ない」、三雲東小学校区で「地域の役員などのなり手がいない」と「区・自治会への未加入者が多い」、水戸小学校区で「地域の役員などのなり手がいない」と「外国人市民とつながりをもつのが難しい」それ以外の地区で「地域の役員などのなり手がいない」が最も高くなっています。





【地区別クロス】

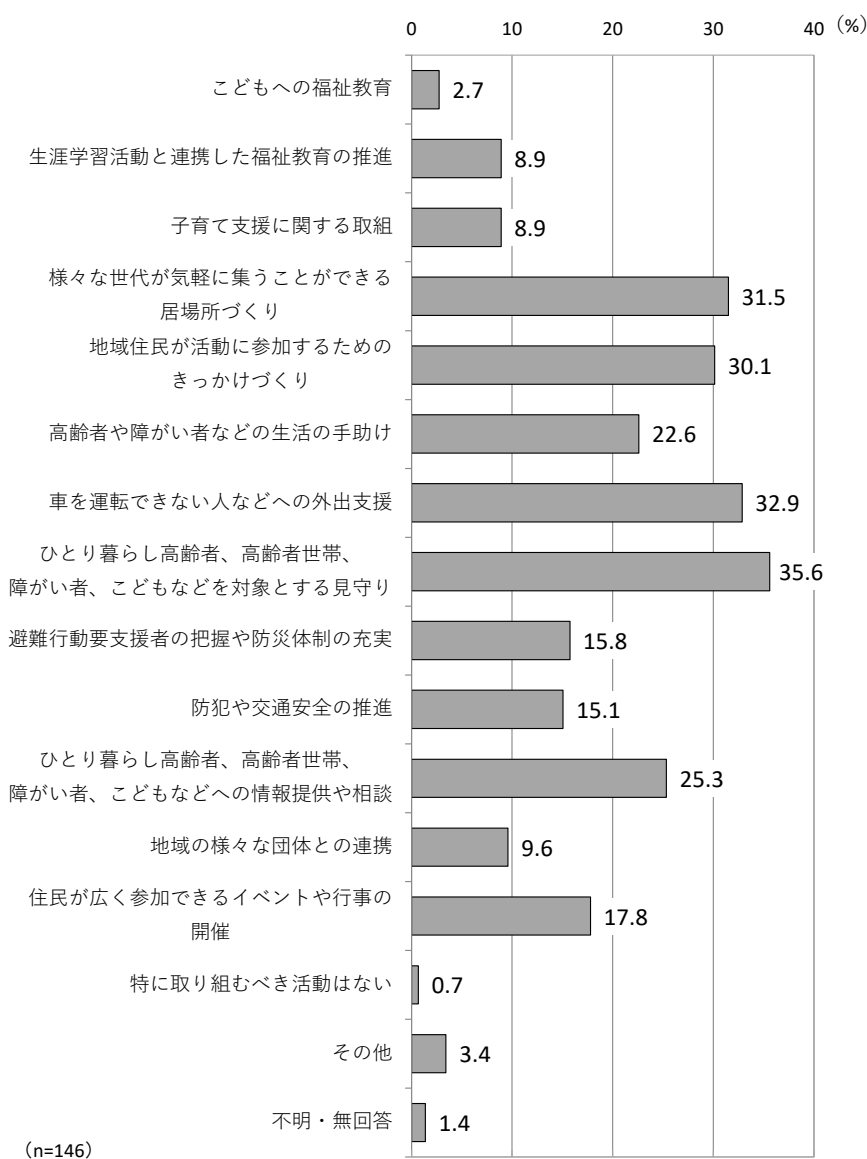
(%)	合計	地域のことに 関心のない人が多い	身近に相談できる人や場 所がない	近所の人との 付き合いがない	世代間で交流できる 機会がない	地域の行事に 参加する人が少ない	地域の役員などの なり手がいない	地域から孤立している人 がいる	災害発生時の避難に 不安を感じる	地域の中で気軽に集まれ る場所や機会がない
全体	146	50.0	16.4	16.4	33.6	43.2	64.4	5.5	24.0	17.8
三雲東小学校区	12	50.0	0.0	16.7	16.7	50.0	75.0	16.7	16.7	25.0
三雲小学校区	25	64.0	12.0	16.0	44.0	44.0	60.0	0.0	32.0	16.0
石部小学校区	25	68.0	28.0	28.0	32.0	60.0	60.0	8.0	28.0	28.0
石部南小学校区	13	46.2	15.4	7.7	38.5	46.2	61.5	15.4	30.8	0.0
岩根小学校区	16	18.8	18.8	0.0	31.3	18.8	68.8	6.3	31.3	12.5
菩提寺小学校区	13	30.8	15.4	30.8	38.5	7.7	53.8	0.0	23.1	7.7
菩提寺北小学校区	7	71.4	28.6	0.0	28.6	42.9	100.0	0.0	14.3	42.9
下田小学校区	23	47.8	21.7	17.4	34.8	69.6	56.5	4.3	13.0	21.7
水戸小学校区	12	41.7	0.0	16.7	25.0	16.7	75.0	0.0	16.7	8.3

(%)	合計	地域住民同士の 助けあいが少ない	外出に困っている人が多い 交通手段がなく、 通院や買い物など	誰にも相談できず、支援を 受けられていない人がいる	健康づくりの場や機会がない	区・自治会への 未加入者が多い	つながりを外国人市民と をもつのが難しい	その他	不明・無回答
全体	146	11.0	28.8	4.1	8.2	32.9	15.1	4.8	0.7
三雲東小学校区	12	16.7	66.7	8.3	0.0	75.0	8.3	8.3	0.0
三雲小学校区	25	16.0	20.0	4.0	12.0	20.0	8.0	12.0	0.0
石部小学校区	25	12.0	16.0	0.0	8.0	56.0	4.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	15.4	15.4	0.0	15.4	46.2	7.7	0.0	0.0
岩根小学校区	16	6.3	18.8	6.3	6.3	31.3	12.5	6.3	0.0
菩提寺小学校区	13	7.7	30.8	0.0	15.4	23.1	7.7	0.0	0.0
菩提寺北小学校区	7	28.6	14.3	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0
下田小学校区	23	4.3	47.8	8.7	4.3	8.7	17.4	4.3	0.0
水戸小学校区	12	0.0	33.3	8.3	0.0	8.3	75.0	8.3	8.3

問 1 1 あなたがお住まいの地域で、優先度が高いと考える地域の支えあいの活動や取組は何ですか。(〇は3つまで)

優先度が高いと考える地域の支えあいの活動や取組について、「ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者、子どもなどを対象とする見守り」が35.6%と最も高く、次いで「車を運転できない人などへの外出支援」が32.9%、「様々な世代が気軽に集うことができる居場所づくり」が31.5%となっています。

地区別にみると、三雲東小学校区、菩提寺北小学校区、水戸小学校区で「車を運転できない人などへの外出支援」、石部小学校区で「様々な世代が気軽に集うことができる居場所づくり」、三雲小学校区で「様々な世代が気軽に集うことができる居場所づくり」と「車を運転できない人などへの外出支援」、それ以外の地区で「ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者、子どもなどを対象とする見守り」が最も高くなっています。



【地区別クロス】

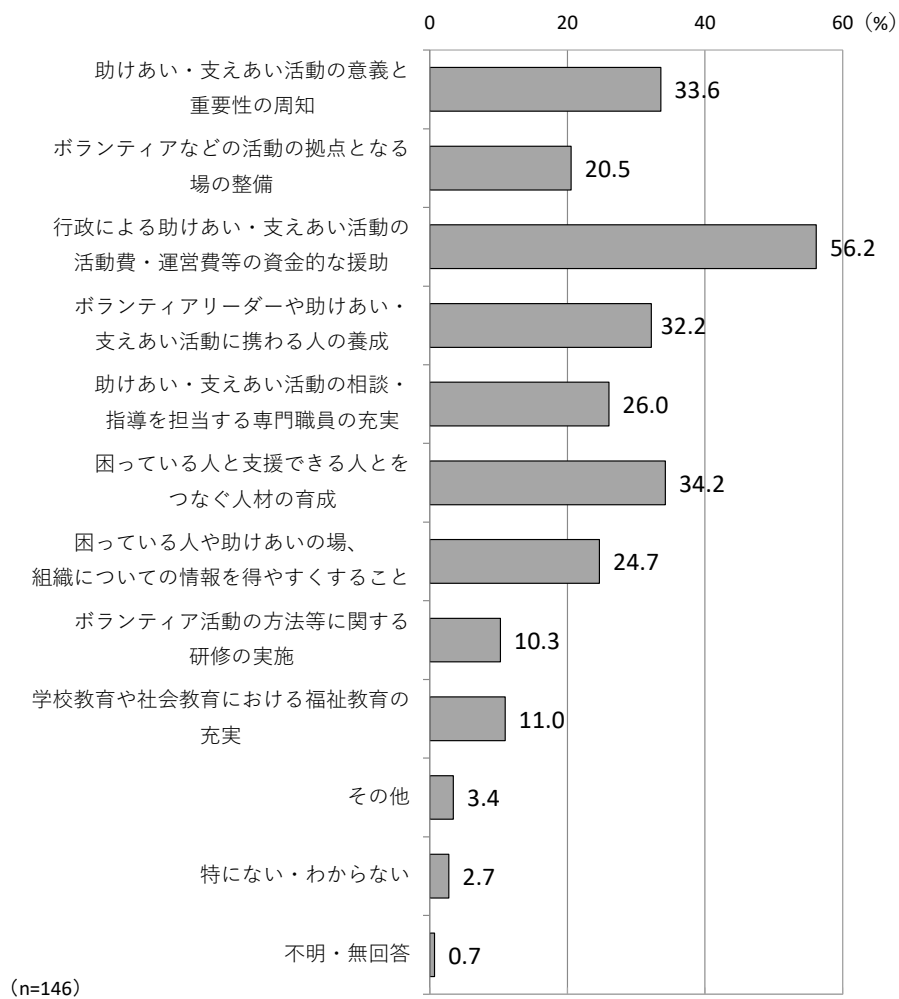
(%)	合計	こどもへの福祉教育	生涯学習活動と連携した福祉教育の推進	子育て支援に関する取組	様々な世代が気軽に集うことができる居場所づくり	地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり	高齢者や障がい者などの生活の手助け	車を運転できない人などへの外出支援	ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者、こどもなどを対象とする見守り
全体	146	2.7	8.9	8.9	31.5	30.1	22.6	32.9	35.6
三雲東小学校区	12	0.0	8.3	8.3	25.0	41.7	33.3	50.0	25.0
三雲小学校区	25	0.0	8.0	4.0	40.0	20.0	16.0	40.0	32.0
石部小学校区	25	8.0	4.0	20.0	44.0	40.0	20.0	20.0	32.0
石部南小学校区	13	0.0	0.0	0.0	23.1	15.4	23.1	23.1	30.8
岩根小学校区	16	6.3	18.8	6.3	18.8	37.5	31.3	18.8	50.0
菩提寺小学校区	13	0.0	7.7	15.4	23.1	30.8	7.7	15.4	38.5
菩提寺北小学校区	7	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	71.4	42.9
下田小学校区	23	4.3	8.7	8.7	34.8	30.4	26.1	30.4	39.1
水戸小学校区	12	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	33.3	58.3	33.3

(%)	合計	避難行動要支援者の把握や防災体制の充実	防犯や交通安全の推進	ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者、こどもなどへの情報提供や相談	地域の様々な団体との連携	住民が広く参加できるイベントや行事の開催	特に取り組むべき活動はない	その他	不明・無回答
全体	146	15.8	15.1	25.3	9.6	17.8	0.7	3.4	1.4
三雲東小学校区	12	16.7	33.3	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
三雲小学校区	25	28.0	8.0	28.0	4.0	20.0	4.0	4.0	0.0
石部小学校区	25	20.0	8.0	28.0	8.0	20.0	0.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	15.4	7.7	23.1	7.7	23.1	0.0	7.7	15.4
岩根小学校区	16	0.0	25.0	12.5	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0
菩提寺小学校区	13	23.1	30.8	30.8	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
下田小学校区	23	13.0	8.7	21.7	4.3	26.1	0.0	0.0	0.0
水戸小学校区	12	8.3	16.7	25.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0

問12 地域における助けあい・支えあい活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

地域における助けあい・支えあい活動を活発にするために重要なことについて、「行政による助けあい・支えあい活動の活動費・運営費等の資金的な援助」が56.2%と最も高く、次いで「困っている人と支援できる人をつなぐ人材の育成」が34.2%、「助けあい・支えあい活動の意義と重要性の周知」が33.6%となっています。

地区別にみると、いずれの小学校区でも「行政による助けあい・支えあい活動の活動費・運営費等の資金的な援助」が最も高くなっています。三雲小学校区では「助けあい・支えあい活動の意義と重要性の周知」、下田小学校区については「困っている人と支援できる人をつなぐ人材の育成」も最も高くなっています。



【地区別クロス】

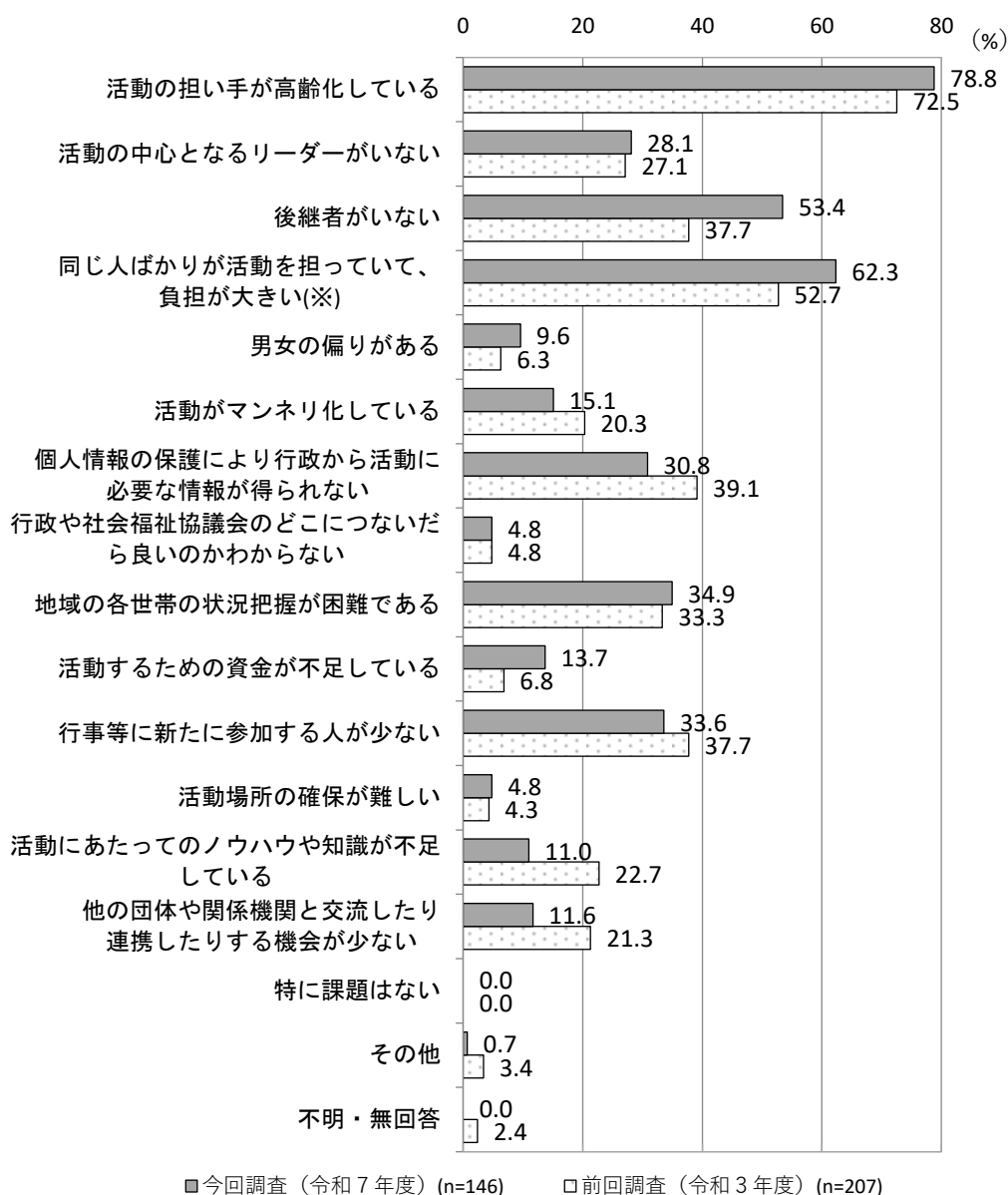
(%)	合計	助けあい・支えあい活動の意義と重要性の周知	ボランティアなどの活動の拠点となる場の整備	行政による助けあい・支えあい活動の活動費・運営費等の資金的な援助	ボランティアリーダーや助けあい・支えあい活動に携わる人の養成	助けあい・支えあい活動の相談・指導を担当する専門職員の充実	困っている人と支援できる人とをつなぐ人材の育成	困っている人や助けあいの場、組織に属している情報を得やすくすること	ボランティア活動の方法等に関する研修の実施	学校教育や社会教育における福祉教育の充実	その他	特にない・わからない	不明・無回答
全体	146	33.6	20.5	56.2	32.2	26.0	34.2	24.7	10.3	11.0	3.4	2.7	0.7
三雲東小学校区	12	41.7	50.0	66.7	25.0	16.7	25.0	25.0	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0
三雲小学校区	25	44.0	32.0	44.0	40.0	20.0	16.0	24.0	12.0	8.0	0.0	4.0	0.0
石部小学校区	25	40.0	12.0	60.0	20.0	44.0	40.0	36.0	8.0	12.0	0.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	15.4	7.7	53.8	46.2	30.8	38.5	7.7	23.1	7.7	0.0	7.7	0.0
岩根小学校区	16	43.8	6.3	56.3	25.0	18.8	43.8	18.8	18.8	0.0	0.0	6.3	0.0
菩提寺小学校区	13	15.4	30.8	46.2	38.5	38.5	7.7	38.5	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7
菩提寺北小学校区	7	28.6	14.3	71.4	57.1	28.6	57.1	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0
下田小学校区	23	21.7	21.7	52.2	39.1	21.7	52.2	21.7	4.3	13.0	8.7	0.0	0.0
水戸小学校区	12	41.7	8.3	75.0	8.3	8.3	33.3	25.0	8.3	25.0	16.7	8.3	0.0

### 3. 活動について

問13 あなたご自身が地域の支えあい活動を進めるうえで抱えている課題は何ですか。(〇は5つまで)

地域の支えあい活動を進めるうえで抱えている課題について、「活動の担い手が高齢化している」が78.8%と最も高く、次いで「同じ人ばかりが活動を担っていて、負担が大きい」が62.3%、「後継者がいない」が53.4%となっています。

地区別にみると、石部南小学校区で「後継者がいない」、岩根小学校区で「同じ人ばかりが活動を担っていて、負担が大きい」が最も高くなっています。それ以外の地区で「活動の担い手が高齢化している」が最も高くなっています。



【地区別クロス】

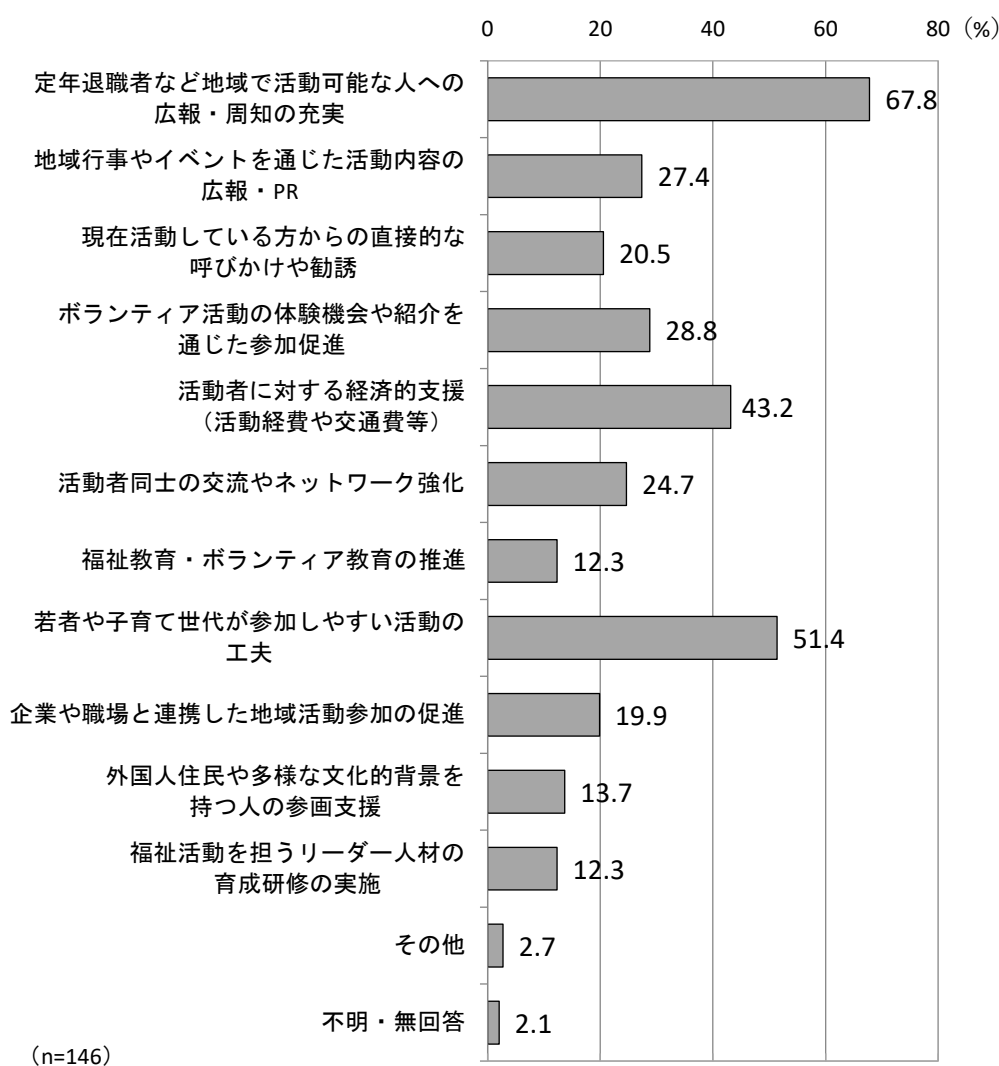
(%)	合計	活動の担い手が高齢化している	活動の中心となるリーダーがいない	後継者がいない	同じ人ばかりが活動を担っていて、負担が大きい	男女の偏りがある	活動がマンネリ化している	個人情報が必要な情報が得られない	行政や社会福祉協議会のどこにつないだら良いのかわからない	地域の各世帯の状況把握が困難である	活動するための資金が不足している	行事等に新たに参加する人が少ない
全体	146	78.8	28.1	53.4	62.3	9.6	15.1	30.8	4.8	34.9	13.7	33.6
三雲東小学校区	12	83.3	25.0	25.0	66.7	16.7	16.7	75.0	0.0	75.0	8.3	25.0
三雲小学校区	25	84.0	20.0	60.0	60.0	4.0	12.0	20.0	4.0	32.0	8.0	36.0
石部小学校区	25	80.0	32.0	56.0	60.0	12.0	8.0	44.0	4.0	48.0	16.0	40.0
石部南小学校区	13	53.8	38.5	76.9	69.2	23.1	15.4	7.7	0.0	7.7	23.1	38.5
岩根小学校区	16	75.0	25.0	62.5	81.3	6.3	25.0	25.0	12.5	31.3	18.8	25.0
菩提寺小学校区	13	76.9	15.4	38.5	30.8	7.7	23.1	38.5	7.7	38.5	15.4	15.4
菩提寺北小学校区	7	71.4	42.9	28.6	42.9	0.0	14.3	28.6	0.0	57.1	14.3	28.6
下田小学校区	23	82.6	43.5	39.1	69.6	0.0	21.7	17.4	0.0	21.7	8.7	52.2
水戸小学校区	12	91.7	8.3	83.3	66.7	25.0	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7

(%)	合計	活動場所の確保が難しい	活動にあつてのノウハウや知識が不足している	他の団体や関係機関と交流したり連携したりする機会が少ない	特に課題はない	その他	不明・無回答
全体	146	4.8	11.0	11.6	0.0	0.7	0.0
三雲東小学校区	12	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
三雲小学校区	25	4.0	16.0	0.0	0.0	4.0	0.0
石部小学校区	25	12.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0
岩根小学校区	16	0.0	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0
菩提寺小学校区	13	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
下田小学校区	23	8.7	13.0	17.4	0.0	0.0	0.0
水戸小学校区	12	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0

問14 地域において新たな担い手を発掘し、育成していくためには、どのようなアプローチや取り組みを行っていく必要があると思いますか。(〇は4つまで)

地域において新たな担い手を発掘し、育成していくために必要なアプローチや取り組みについて、「定年退職者など地域で活動可能な人への広報・周知の充実」が67.8%と最も高く、次いで「若者や子育て世代が参加しやすい活動の工夫」が51.4%、「活動者に対する経済的支援（活動経費や交通費等）」が43.2%となっています。

地区別にみると、石部南小学校区で「ボランティア活動の体験機会や紹介を通じた参加促進」、下田小学校区で「若者や子育て世代が参加しやすい活動の工夫」、それ以外の地区で「定年退職者など地域で活動可能な人への広報・周知の充実」が最も高くなっています。



【地区別クロス】

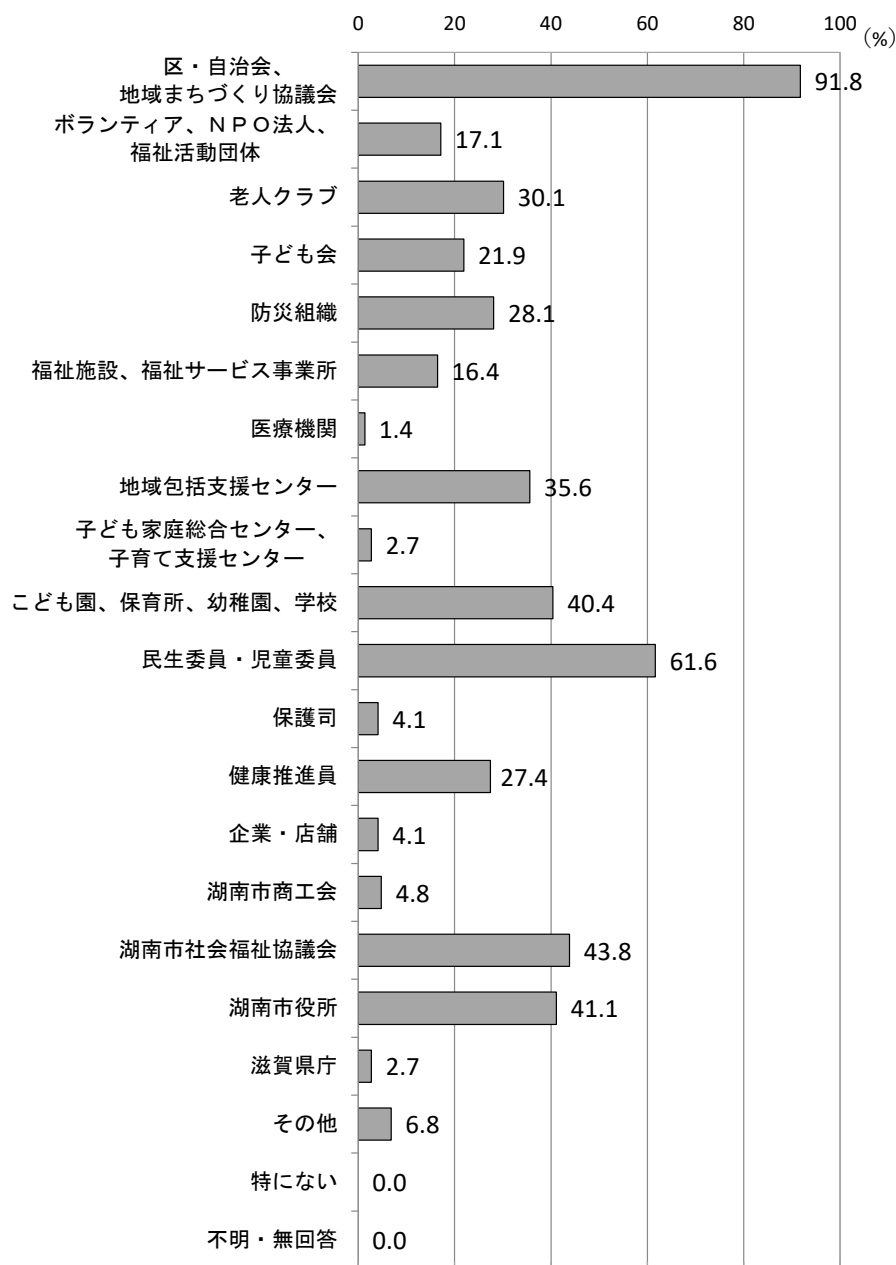
(%)	合計	定年退職者など地域で活動可能な人への広報・周知の充実	地域行事やイベントを通じた活動内容の広報・PR	現在活動している方からの直接的な呼びかけや勧誘	ボランティア活動の体験機会や紹介を通じた参加促進	活動者に対する経済的支援（活動経費や交通費等）	活動者同士の交流やネットワーク強化	福祉教育・ボランティア教育の推進	若者や子育て世代が参加しやすい活動の工夫	企業や職場と連携した地域活動参加の促進
全体	146	67.8	27.4	20.5	28.8	43.2	24.7	12.3	51.4	19.9
三雲東小学校区	12	75.0	8.3	25.0	8.3	41.7	33.3	16.7	66.7	16.7
三雲小学校区	25	72.0	28.0	8.0	40.0	44.0	20.0	8.0	56.0	16.0
石部小学校区	25	68.0	36.0	40.0	12.0	52.0	36.0	8.0	48.0	28.0
石部南小学校区	13	53.8	23.1	30.8	61.5	46.2	15.4	7.7	46.2	7.7
岩根小学校区	16	68.8	25.0	18.8	25.0	43.8	37.5	12.5	43.8	6.3
菩提寺小学校区	13	69.2	38.5	15.4	23.1	30.8	30.8	15.4	46.2	15.4
菩提寺北小学校区	7	85.7	14.3	14.3	14.3	42.9	42.9	14.3	57.1	42.9
下田小学校区	23	52.2	30.4	13.0	47.8	34.8	8.7	17.4	73.9	17.4
水戸小学校区	12	83.3	25.0	16.7	8.3	50.0	8.3	16.7	8.3	41.7

(%)	合計	文化的背景を持つ外国人住民や多様な参画支援	福祉活動を担うリーダー人材の育成研修の実施	その他	不明・無回答
全体	146	13.7	12.3	2.7	2.1
三雲東小学校区	12	25.0	8.3	8.3	0.0
三雲小学校区	25	8.0	16.0	4.0	4.0
石部小学校区	25	8.0	0.0	4.0	0.0
石部南小学校区	13	0.0	15.4	7.7	0.0
岩根小学校区	16	12.5	6.3	0.0	0.0
菩提寺小学校区	13	7.7	0.0	0.0	7.7
菩提寺北小学校区	7	0.0	14.3	0.0	0.0
下田小学校区	23	13.0	13.0	0.0	4.3
水戸小学校区	12	58.3	50.0	0.0	0.0

問15 あなたは、地域での活動の際に、どのような組織・団体などと連携して活動されていますか  
(〇はいくつでも)

地域での活動の際に連携している組織・団体について、「区・自治会、地域まちづくり協議会」が91.8%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」が61.6%、「湖南省社会福祉協議会」が43.8%となっています。

地区別にみると、すべての地区で「区・自治会、地域まちづくり協議会」が最も高くなっています。



(n=146)

その他回答

- 月一回高齢者の集い
- 消防団
- 日本赤十字
- 甲賀警察（こども安全リーダー）
- 少年補導委員会
- 少年補導センターあすくる
- 県保護観察中
- 大津市保護観察所
- 更生保護女性会
- 更生保護女性会（2）

【地区別クロス】

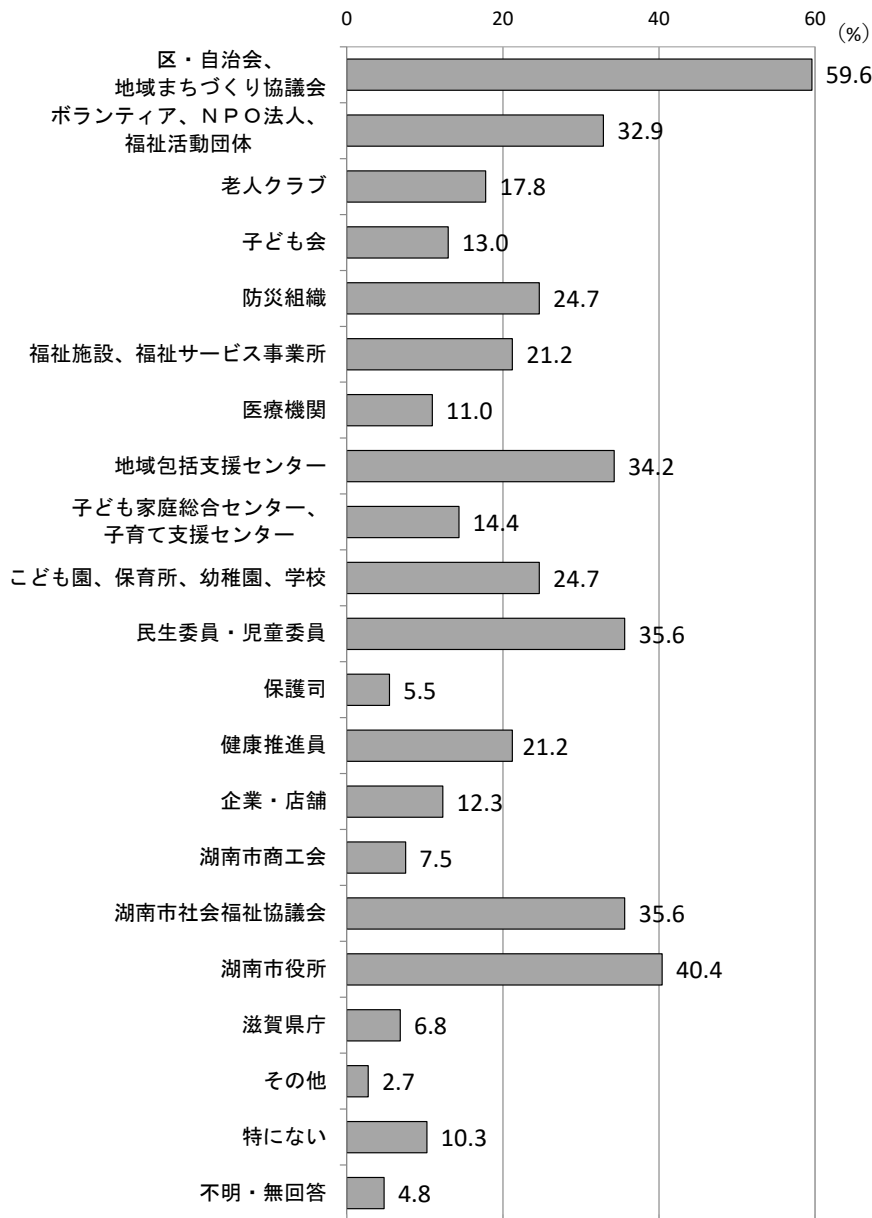
(%)	合計	地域まちづくり協議会 区・自治会、	ボランティア、 NPO法人、 福祉活動団体	老人クラブ	子ども会	防災組織	福祉施設、 福祉サービス事業所	医療機関	地域包括支援センター	子ども家庭総合センター、 子育て支援センター	こども園、 保育所、幼稚園、 学校	民生委員・ 児童委員
全体	146	91.8	17.1	30.1	21.9	28.1	16.4	1.4	35.6	2.7	40.4	61.6
三雲東小学校区	12	100.0	33.3	41.7	25.0	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	33.3	75.0
三雲小学校区	25	84.0	20.0	28.0	28.0	28.0	16.0	0.0	28.0	4.0	32.0	60.0
石部小学校区	25	96.0	8.0	16.0	16.0	16.0	32.0	0.0	48.0	4.0	40.0	64.0
石部南小学校区	13	92.3	7.7	23.1	30.8	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0	23.1	38.5
岩根小学校区	16	93.8	12.5	37.5	18.8	31.3	12.5	0.0	25.0	6.3	37.5	50.0
菩提寺小学校区	13	76.9	30.8	30.8	23.1	23.1	23.1	0.0	38.5	7.7	53.8	69.2
菩提寺北小学校区	7	85.7	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	0.0	42.9	0.0	42.9	57.1
下田小学校区	23	95.7	13.0	52.2	17.4	39.1	4.3	4.3	39.1	0.0	52.2	60.9
水戸小学校区	12	100.0	25.0	16.7	25.0	33.3	8.3	0.0	50.0	0.0	50.0	83.3

(%)	合計	保護司	健康推進員	企業・店舗	湖南市商工会	湖南市社会福祉協議会	湖南市役所	滋賀県庁	その他	特にない	不明・無回答
全体	146	4.1	27.4	4.1	4.8	43.8	41.1	2.7	6.8	0.0	0.0
三雲東小学校区	12	0.0	8.3	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0
三雲小学校区	25	8.0	44.0	4.0	4.0	48.0	44.0	4.0	8.0	0.0	0.0
石部小学校区	25	4.0	24.0	8.0	4.0	52.0	32.0	0.0	0.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	7.7	38.5	0.0	0.0	30.8	38.5	7.7	15.4	0.0	0.0
岩根小学校区	16	0.0	37.5	6.3	0.0	43.8	43.8	0.0	6.3	0.0	0.0
菩提寺小学校区	13	7.7	15.4	15.4	7.7	53.8	38.5	7.7	7.7	0.0	0.0
菩提寺北小学校区	7	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
下田小学校区	23	0.0	21.7	0.0	13.0	39.1	52.2	4.3	0.0	0.0	0.0
水戸小学校区	12	8.3	25.0	0.0	8.3	33.3	41.7	0.0	25.0	0.0	0.0

問16 今後、活動を行う際に、連携したい組織・団体などがありますか。(〇はいくつでも)

今後活動を行う際に連携したい組織・団体について、「区・自治会、地域まちづくり協議会」が59.6%と最も高く、次いで「湖南省役所」が40.4%、「民生委員・児童委員」、「湖南省社会福祉協議会」がともに35.6%となっています。

地区別にみると、菩提寺北小学校区で「湖南省役所」、それ以外の地区で「区・自治会、地域まちづくり協議会」が最も高くなっています。



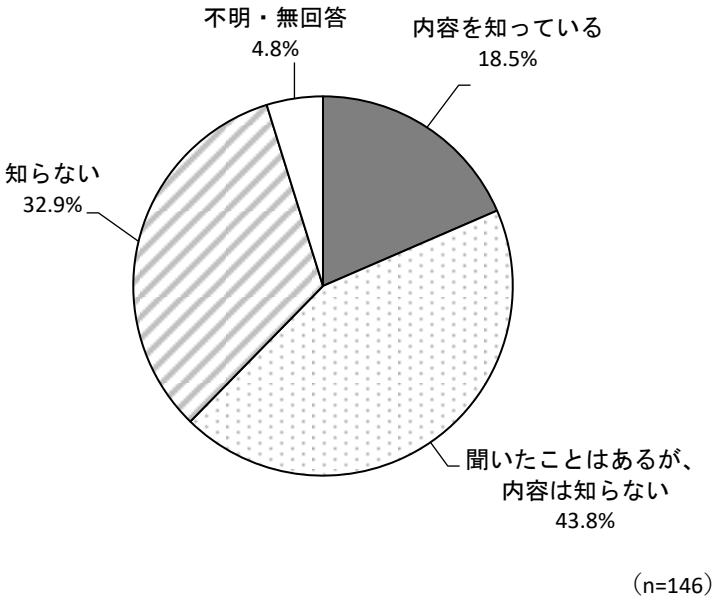
【地区別クロス】

(%)	合計	地域まちづくり協議会 区・自治会、	ボランティア、 NPO法人、 福祉活動団体	老人クラブ	子ども会	防災組織	福祉施設、 福祉サービス事業所	医療機関	地域包括支援センター	子ども家庭総合センター、 子育て支援センター	こども園、保育所、幼稚園、 学校	民生委員・児童委員
全体	146	59.6	32.9	17.8	13.0	24.7	21.2	11.0	34.2	14.4	24.7	35.6
三雲東小学校区	12	75.0	41.7	25.0	16.7	33.3	50.0	33.3	66.7	33.3	41.7	41.7
三雲小学校区	25	48.0	36.0	20.0	8.0	12.0	20.0	16.0	36.0	8.0	12.0	32.0
石部小学校区	25	72.0	28.0	16.0	16.0	48.0	24.0	4.0	52.0	20.0	36.0	56.0
石部南小学校区	13	61.5	30.8	0.0	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	0.0	15.4	23.1
岩根小学校区	16	56.3	25.0	25.0	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3	12.5	25.0	25.0
菩提寺小学校区	13	38.5	30.8	7.7	7.7	15.4	15.4	7.7	30.8	7.7	23.1	30.8
菩提寺北小学校区	7	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
下田小学校区	23	65.2	39.1	34.8	21.7	26.1	17.4	4.3	34.8	21.7	30.4	43.5
水戸小学校区	12	66.7	25.0	8.3	8.3	16.7	25.0	16.7	41.7	8.3	16.7	25.0

(%)	合計	保護司	健康推進員	企業・店舗	湖南省商工会	湖南省社会福祉協議会	湖南省役所	滋賀県庁	その他	特になし	不明・無回答
全体	146	5.5	21.2	12.3	7.5	35.6	40.4	6.8	2.7	10.3	4.8
三雲東小学校区	12	8.3	16.7	8.3	16.7	50.0	66.7	16.7	8.3	0.0	0.0
三雲小学校区	25	4.0	24.0	16.0	8.0	32.0	36.0	0.0	4.0	8.0	4.0
石部小学校区	25	4.0	20.0	8.0	4.0	56.0	52.0	0.0	0.0	4.0	12.0
石部南小学校区	13	7.7	30.8	15.4	0.0	38.5	15.4	15.4	7.7	15.4	0.0
岩根小学校区	16	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	31.3	0.0	0.0	18.8	6.3
菩提寺小学校区	13	0.0	15.4	15.4	7.7	30.8	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7
菩提寺北小学校区	7	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	14.3	0.0	14.3	0.0
下田小学校区	23	8.7	26.1	13.0	13.0	26.1	43.5	8.7	0.0	8.7	4.3
水戸小学校区	12	16.7	33.3	16.7	8.3	41.7	41.7	16.7	8.3	25.0	0.0

**問 17 湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画について知っていますか。(〇は1つ)**

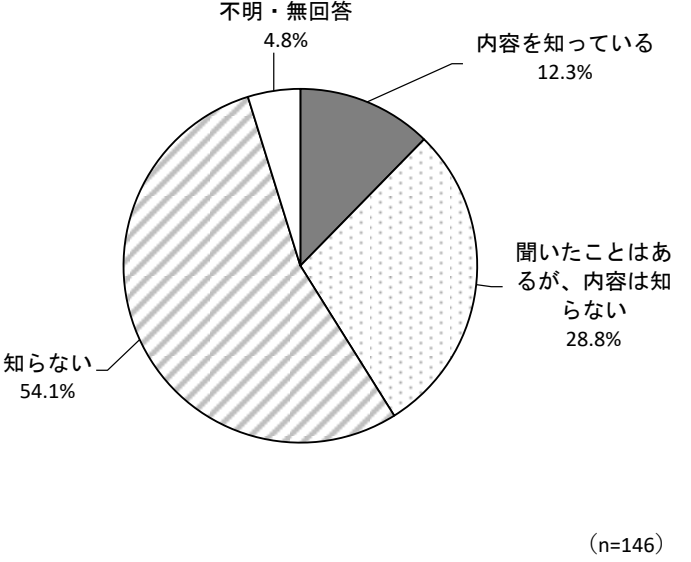
湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画について、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が43.8%と最も高く、次いで「知らない」が32.9%、「内容を知っている」が18.5%となっています。  
地区別にみると、・・・



**問 18 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援※体制整備事業について知っていますか。(〇は1つでも)**

※重層的支援：年齢や属性にかかわらず、生活上の困難を抱えるすべての人に対し、分野横断的かつ包括的に支援を行う考え方。各分野の支援をつなぎ、地域全体で誰もが安心して暮らし続けられる体制の構築をめざすものです。

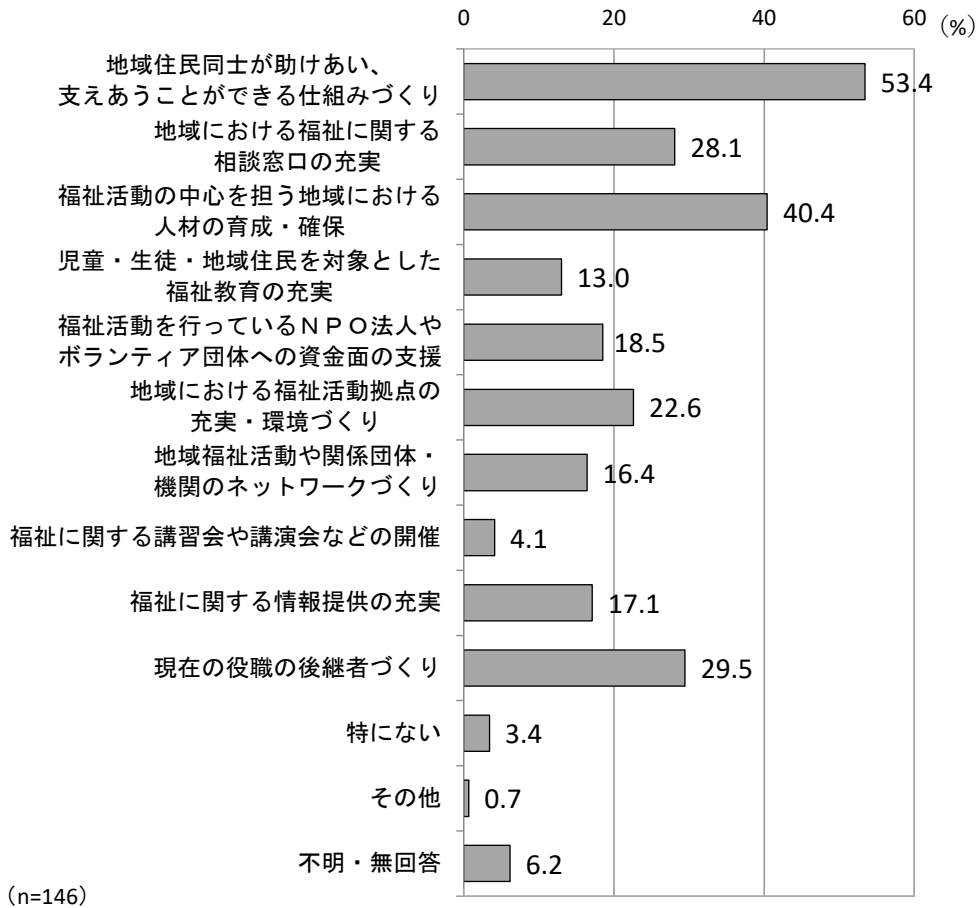
地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援体制整備事業について、「知らない」が54.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が28.8%、「内容を知っている」が12.3%となっています。



問19 地域福祉を進める上で、市や社会福祉協議会に期待することは何ですか。(〇は3つまで)

地域福祉を進める上で市や社会福祉協議会に期待することについて、「地域住民同士が助け合い、支えあうことができる仕組みづくり」が53.4%と最も高く、次いで「福祉活動の中心を担う地域における人材の育成・確保」が40.4%、「現在の役職の後継者づくり」が29.5%となっています。

地区別にみると、岩根小学校で「現在の役職の後継者づくり」、三雲東小学校区で「地域における福祉活動拠点の充実・環境づくり」、石部南小学校区、菩提寺小学校区、水戸小学校区で「地域住民が助けあい、支えあうことができる仕組みづくり」と「福祉活動の中心を担う地域における人材の育成・確保」がともに最も高くなっています。また、菩提寺北小学校区で「地域住民が助けあい、支えあうことができる仕組みづくり」と「福祉活動の中心を担う地域における人材の育成・確保」と「児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の充実」がともに最も高くなっています。また、それ以外の地区で「地域住民同士が助け合い、支えあうことができる仕組みづくり」が最も高くなっています。



【地区別クロス】

(%)	合計	支えあう地域住民同士が助けあい、 地域活動ができる仕組みづくり	地域における福祉に 関する相談窓口の充実	福祉活動の中心を担う地域における 人材の育成・確保	児童・生徒・地域住民を対象とした 福祉教育の充実	福祉活動を行っているNPO法人や ボランティア団体への資金面の支援	地域における福祉活動拠点の充実・ 環境づくり	地域福祉活動や関係団体・機関の ネットワークづくり	福祉に関する講習会や講演会などの 開催	福祉に関する情報提供の充実
全体	146	53.4	28.1	40.4	13.0	18.5	22.6	16.4	4.1	17.1
三雲東小学校区	12	41.7	41.7	16.7	16.7	16.7	66.7	25.0	0.0	8.3
三雲小学校区	25	56.0	36.0	40.0	16.0	16.0	36.0	12.0	12.0	8.0
石部小学校区	25	68.0	16.0	36.0	12.0	12.0	28.0	24.0	0.0	36.0
石部南小学校区	13	46.2	30.8	46.2	0.0	38.5	7.7	23.1	7.7	0.0
岩根小学校区	16	31.3	31.3	37.5	6.3	12.5	18.8	12.5	6.3	25.0
菩提寺小学校区	13	46.2	23.1	46.2	7.7	23.1	7.7	15.4	0.0	7.7
菩提寺北小学校区	7	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
下田小学校区	23	69.6	21.7	47.8	8.7	17.4	8.7	17.4	0.0	17.4
水戸小学校区	12	58.3	41.7	58.3	33.3	25.0	8.3	0.0	0.0	25.0

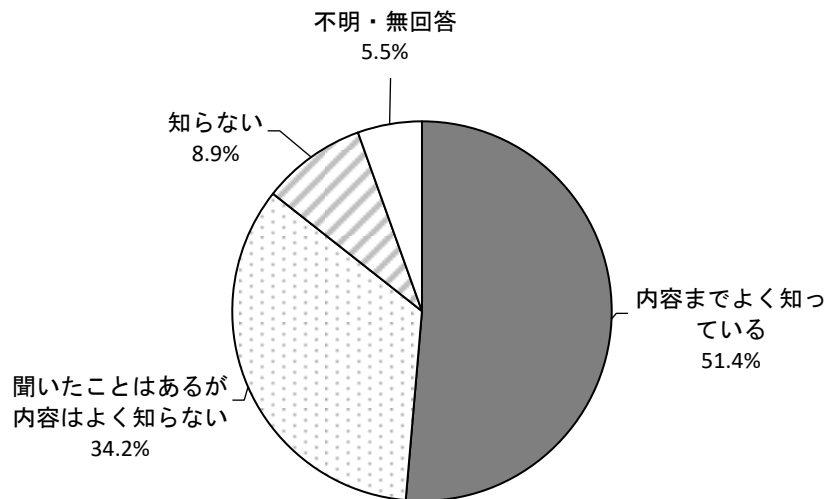
(%)	合計	現在の役職の後継者づくり	特にない	その他	不明・無回答
全体	146	29.5	3.4	0.7	6.2
三雲東小学校区	12	50.0	0.0	0.0	0.0
三雲小学校区	25	24.0	0.0	0.0	4.0
石部小学校区	25	16.0	0.0	0.0	12.0
石部南小学校区	13	30.8	7.7	7.7	0.0
岩根小学校区	16	43.8	6.3	0.0	6.3
菩提寺小学校区	13	23.1	7.7	0.0	7.7
菩提寺北小学校区	7	14.3	14.3	0.0	14.3
下田小学校区	23	34.8	4.3	0.0	8.7
水戸小学校区	12	33.3	0.0	0.0	0.0

## 4. 避難行動要支援者の情報について

問20 あなたは避難行動要支援制度※について知っていますか。(〇は1つ)

避難行動要支援制度について、「内容までよく知っている」が51.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が34.2%、「知らない」が8.9%となっています。

地区別にみると、石部南小学校区で「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が最も高く、下田小学校区で「内容までよく知っている」と「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が最も高くなっています。また、それ以外の地区で「内容までよく知っている」が最も高くなっています。



(n=146)

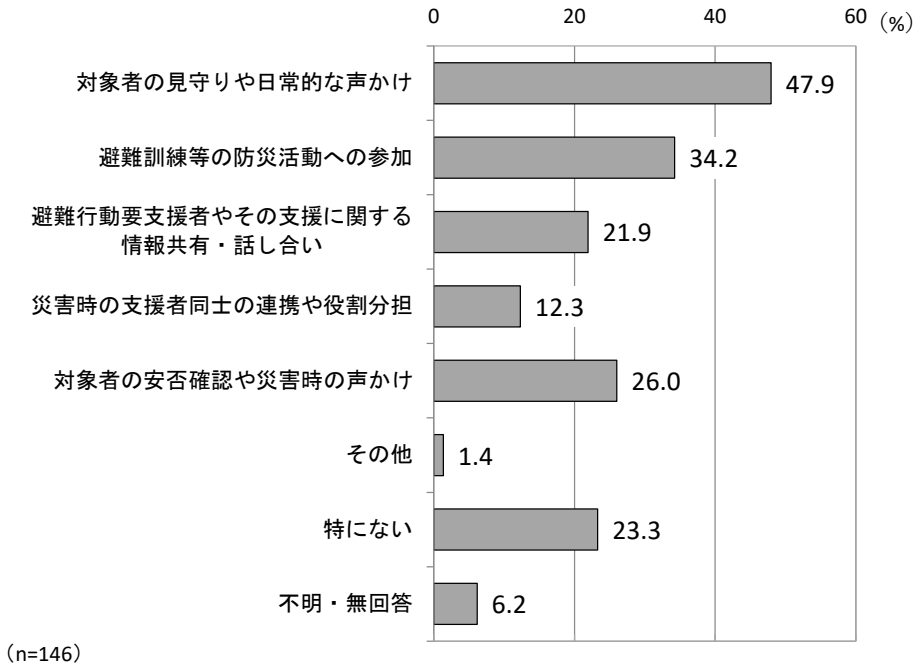
### 【地区別クロス】

(%)	合計	よく知っている 内容まで	聞いたことはあるが 内容はよく知らないが	知らない	不明・無回答
全体	146	51.4	34.2	8.9	5.5
三雲東小学校区	12	58.3	41.7	0.0	0.0
三雲小学校区	25	52.0	24.0	20.0	4.0
石部小学校区	25	56.0	28.0	8.0	8.0
石部南小学校区	13	23.1	61.5	15.4	0.0
岩根小学校区	16	43.8	37.5	12.5	6.3
菩提寺小学校区	13	61.5	23.1	7.7	7.7
菩提寺北小学校区	7	71.4	14.3	0.0	14.3
下田小学校区	23	43.5	43.5	4.3	8.7
水戸小学校区	12	66.7	33.3	0.0	0.0

問2 1 地域の避難行動要支援者への支援や関わりとして、行っていることはありますか。(〇はいくつでも)

地域の避難行動要支援者への支援や関わりとして、行っていることについて、「対象者の見守りや日常的な声かけ」が47.9%と最も高く、次いで「避難訓練等の防災活動への参加」が34.2%、「対象者の安否確認や災害時の声かけ」が26.0%となっています。

地区別にみると、三雲小学校区で「対象者の見守りや日常的な声かけ」と「避難訓練等の防災活動への参加」が最も高くなっており、石部南小学校区で「特にない」、岩根小学校区、菩提寺小学校区で「避難訓練等の防災活動への参加」が最も高くなっています。また、それ以外の地区で「対象者の見守りや日常的な声かけ」が最も高くなっています。



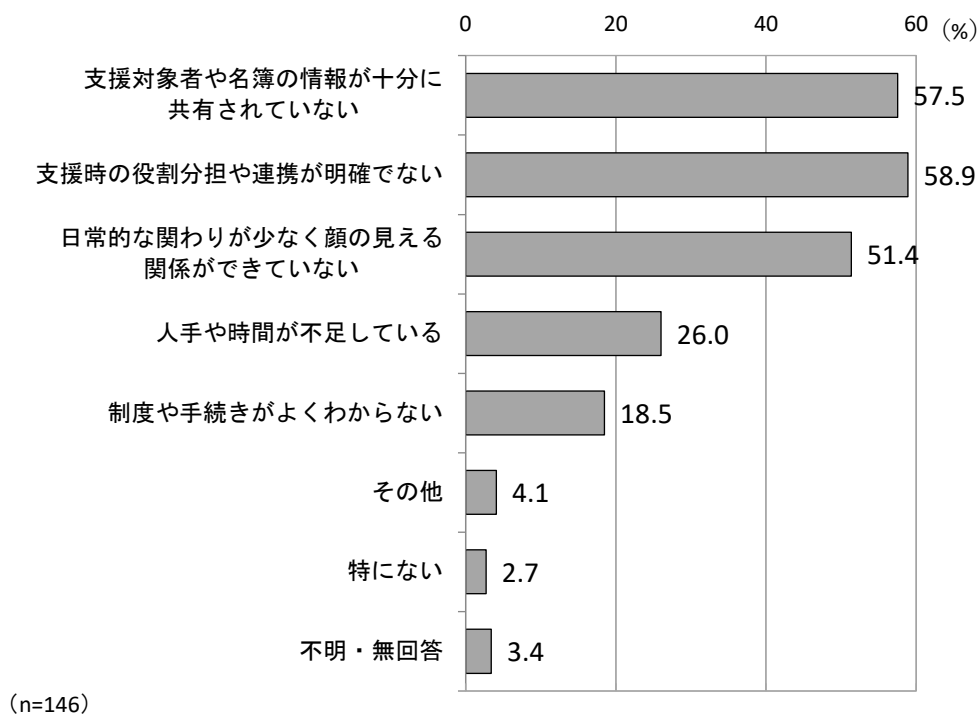
【地区別クロス】

(%)	合計	対象者の見守りや 日常的な声かけ	避難訓練等の防災活動への参加	避難行動要支援者やその支援 に関する情報共有・話し合い	災害時の支援者同士の連携や 役割分担	対象者の安否確認や 災害時の声かけ	その他	特にない	不明・無回答
全体	146	47.9	34.2	21.9	12.3	26.0	1.4	23.3	6.2
三雲東小学校区	12	75.0	25.0	16.7	16.7	41.7	8.3	16.7	0.0
三雲小学校区	25	36.0	36.0	16.0	20.0	24.0	0.0	24.0	4.0
石部小学校区	25	40.0	32.0	24.0	4.0	28.0	0.0	32.0	8.0
石部南小学校区	13	30.8	30.8	0.0	7.7	15.4	0.0	38.5	7.7
岩根小学校区	16	31.3	37.5	18.8	12.5	6.3	0.0	31.3	6.3
菩提寺小学校区	13	53.8	76.9	15.4	7.7	61.5	0.0	7.7	7.7
菩提寺北小学校区	7	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	14.3
下田小学校区	23	52.2	17.4	34.8	8.7	13.0	0.0	21.7	8.7
水戸小学校区	12	75.0	41.7	50.0	25.0	41.7	8.3	8.3	0.0

問22 地域で避難行動要支援者を支援するうえで、どういったことが課題だと思いますか。(〇はいくつでも)

地域で避難行動要支援者を支援するうえでの課題について、「支援時の役割分担や連携や明確でない」が58.9%と最も高く、次いで「支援対象者や名簿の情報が十分に共有されていない」が57.5%、「日常的な関わりが少なく顔の見える関係ができていない」が51.4%となっています。

地区別にみると三雲小学校区で「支援対象者の名簿の情報が十分に共有されていない」と「日常的な関わりが少なく顔の見える関係ができていない」が最も高くなっており、石部南小学校区で「支援対象者や名簿の情報が十分に共有されていない」が最も高くなっています。また、菩提寺小学校区で「支援対象者や名簿の情報が十分に共有されていない」と「支援時の役割分担や連携が明確でない」、菩提寺北小学校区で「支援対象者や名簿の情報が十分に共有されていない」と「支援時の役割分担や連携が明確でない」と「人手や時間が不足している」が最も高くなっています。また、下田小学校区、水戸小学校区で「日常的な関わりが少なく顔の見える関係ができていない」、それ以外の地区で「支援時の役割分担や連携が明確でない」が最も高くなっています。

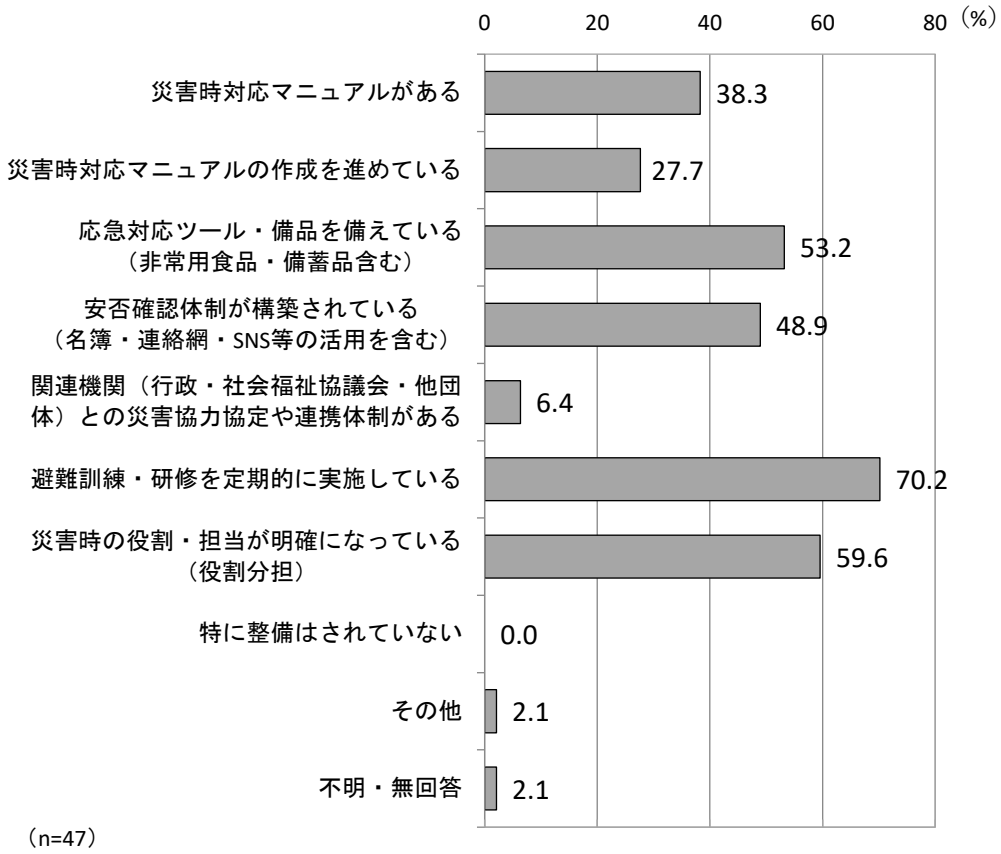


【地区別クロス】

(%)	合計	支援対象者や名簿の情報が十分に共有されていない	支援時の役割分担や連携が明確でない	顔の見える関係ができていない 日常的な関わりが少なく	人手や時間が不足している	制度や手続きがよくわからない	その他	特になし	不明・無回答
全体	146	57.5	58.9	51.4	26.0	18.5	4.1	2.7	3.4
三雲東小学校区	12	75.0	66.7	75.0	25.0	33.3	8.3	0.0	0.0
三雲小学校区	25	52.0	64.0	40.0	20.0	8.0	0.0	0.0	8.0
石部小学校区	25	68.0	84.0	64.0	12.0	28.0	4.0	0.0	0.0
石部南小学校区	13	61.5	53.8	53.8	46.2	23.1	0.0	0.0	0.0
岩根小学校区	16	56.3	62.5	37.5	25.0	12.5	6.3	6.3	0.0
菩提寺小学校区	13	53.8	53.8	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7	0.0
菩提寺北小学校区	7	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	14.3	14.3
下田小学校区	23	47.8	47.8	60.9	26.1	21.7	4.3	4.3	4.3
水戸小学校区	12	66.7	33.3	75.0	50.0	16.7	8.3	0.0	8.3

問23 地域まちづくり協議会・区役員の方のみお答えください。災害発生時、あなたの組織における体制はどの程度整備されていますか。(〇はいくつでも)

災害発生時、組織における体制がどの程度整備されているかについて、「避難訓練・研修を定期的実施している」が70.2%と最も高く、次いで「災害時の役割・担当が明確になっている(役割分担)」が59.6%、「応急対応ツール・備品を備えている(非常用食品・備蓄品含む)」が53.2%となっています。地区別にみると、・・・



## 5. 自由記述

その他、地域福祉の推進について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

### <地域まちづくり協議会役員>

分野	自由回答
活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民生児童委員はどのような活動をしているか周知されていない。その活動のたいへんさを住民は解っていない関心がない。</li> <li>● 福祉だけでなく区の役員にしても、ほとんどボランティアで活動しているが、人選に苦慮している状況です。ボランティアの方にもある程度の報酬が必要だと思います。今年の国税調査の人員は報酬が出るのでスムーズに決定した経緯があります。担い手不足の解消には報酬が必要だと思います。</li> </ul>

### <区役員>

分野	自由回答
連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会と民生委員の連携がうまく出来ていない。民生委員の方々に過度の負荷がかかっている様に思える。区長として推薦したが、2期目はやりたくないと言う人が多い。民生委員の業務内容、分担を見直さないと、なり手がいなくなる。民生委員のソシキが硬直化している様に思う。</li> </ul>
活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域福祉においては、各学区、地域により内容や利益を受けられる事が、担当される方の心配なのか、手腕なのか不平等に思ってしまう。自分が感じた事、見た事を同じ様にできない理由があるのか？なぜそんなに違うのだろうと不思議に思う。湖南市の中での事ならばここが出来てこちらができないという事がおかしいと感じていることがあります。</li> </ul>
防災について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平時はともかく、有時（災害発生時）へのそなえ！（水、電気、トイレ）を早急にレベル up して下さい。（給水車の設置の告知、トイレ化一の台数確保、訓練の施行）電線車 etc</li> </ul>

### <民生委員・児童委員>

分野	自由回答
つながり・支え合いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会話AIロボットの活用</li> <li>● 見守りカメラの活用</li> <li>● 地域住民が気軽に集える場所作りが必要と思いますが、近年自治会活動もコロナ禍以降弱体化し、以前の体制に戻す事は大変である。現在石部のまち協支えあい部会の活動で第三、金、土に「ふれあいサロン」をやっているが、徐々に参加人数も増加し、その中で参加された人が活動にボランティアとして協力したいと思う人が現われ、一緒に活動して下さる方が何人か出て来ている。このような活動をする場を増やして新たなリーダーを育てる方法も自然なリーダーの育成に継がるのでは…</li> <li>● 全国の一部地域では盆踊りが続いたり復活したりしているとテレビ番組で見ましたが、簡単な踊りを老いも若きも楽しむ中で踊りを知らない人へ知っている人がその場で教え、外国人も言葉が通じなくても見よう見まねで踊れる一体感もあり、充実した時間を皆で過せるとありました。盆踊り良いなあと思いました。</li> <li>● （要）支援者名簿にういて現在の所有名無実のシステムのように感じます。一度制度御意義を確認し区、自治会を通じて名簿の再製作と見直しをして頂けないでしょうか？せめて高齢者世帯独居の方にアンケートを取り申請意志の有無の確認など目に見える制度にして欲しいと思います。</li> </ul>
移動支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の公共交通を充実してほしい。高齢化したちいきで車に乗らなくなると買い物医者通いに交通手段が無く困っています。また観光に来て頂いても公共のバスが無く特に善水寺には遠くのバス停で降りて歩いていかなければならず、観光に来ていただいた人に気の毒です。</li> </ul>

分野	自由回答
担い手について	● 健康推進員を自治会から選ばれ(頼まれて) ひき受けしてましたが、今年から自治会から出さなくても良いことになったと言われ私の立場的にどうしたら良いか悩んでいます
	● 推進者の見極め：やりたくないのにやらされる様に思われる方がけっこういる。地域包括支援センターは自分自身もよく利用しており、学区員にもすすめている。社協はよく協力していただけて、有難い。今後は人材確保をいかにするのが最も大事と思います。
	● 全てにおいて現役の若手の人材、人員が居ない。興味はあるが、時間が無い、時間は有るが興味がない。まずは周知徹底をやっていかないといけないと思う。市、HPで見てくださいとかでは無く、自治体がもうすこし周知する事を意識してほしい。役員をしてから知った事が多すぎる。
活動について	● 住民の情報開示をお願いします。地域出入世帯の情報が特に必要です。区非加入世帯の情報も必要です。
	● 個人情報保護のため情報が入りづらい
地域福祉の推進について	● 行政は関係機関への協力要請だけでなく先導役としての活動をするべき!!
	● 地域福祉の常任推進者を地区に選任し、業務として推進する者が必要で福祉推進を進めるべきである。業務(仕事)として。

<健康推進員・保護司>

分野	自由回答
支えあいについて	● 1人暮らしの高齢者又高齢者のみの暮らしが増え続けている。更に外国籍の転入が最近増えている。定期的に気軽に参加出来るイベントを増やして行きたい。
	● 地域まちづくり協議会・区(自治会)・民生児童委員が一体となって地域(高齢者)の見守り強化と体制づくりが大事
	● 地域のリーダーの考えで強弱があり、地域のリーダー活動への支援が弱いように感じるのでよろしく。
	● 障害者福祉に対する支援が不十分だと考えます。障害者(社会的弱者)理解に関する事から障害者社会介助を支援する事への施策の充実が必要です。支援を必要とする人への支援は全ての人の生きやすさにつながるというのが原点を考えます。
活動について	● それぞれの生活が厳しい中、ボランティアとして、地域を支えていくのは難しい。賃金を受け取る仕事として地域を支えていくのなら担い手となる人も多くいるのではないかと。高齢者が高齢者を支えている今の●にはどうして同感はいかない。
	● 区教員、民生児童委員のなり手がなく、選考に●●しています。この状態が進めばいずれ活動が停滞又は出来なくなる可能性が大。
	● 個人情報も大切ですが、それがじゃましている場合もあると思います。 ● 区、自治会、民生委員、各ボランティア関係が情報を共有することもだいじだと思います
その他	● アンケート調査の内容がむづかしい

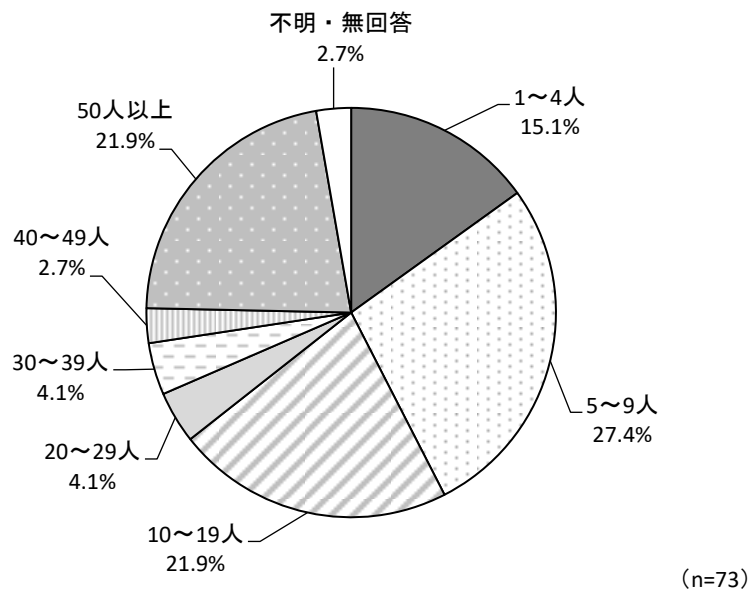
## V 団体アンケート調査結果

### 1. 団体について

問1 差し支えない範囲で、貴団体について教えてください。

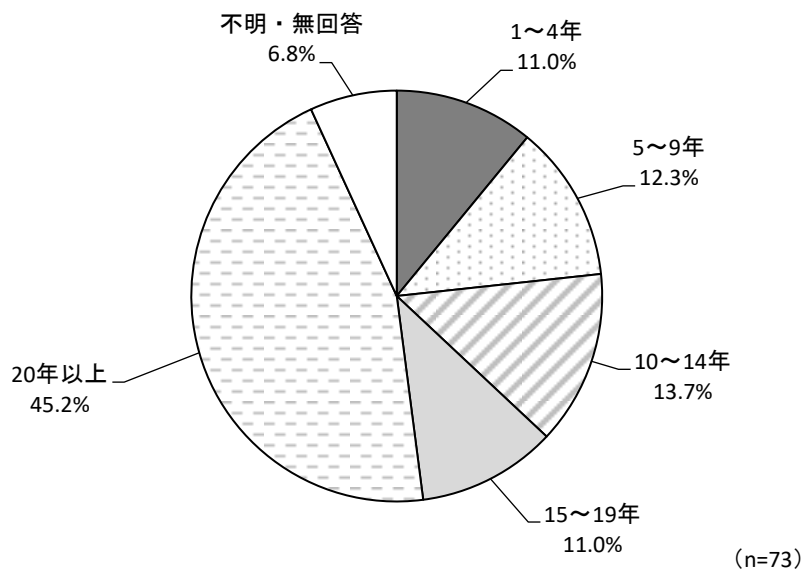
#### 【会員数】

会員数について、「5～9人」が27.4%と最も高く、次いで「10～19人」、「50人以上」がともに21.9%、「1～4人」が15.1%となっています。



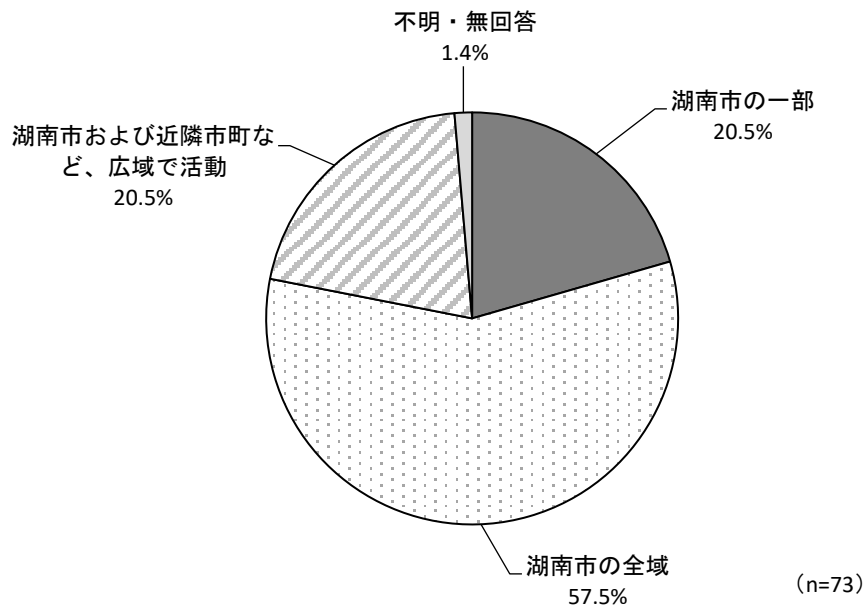
#### 【活動年数】

活動年数について、「20年以上」が45.2%と最も高く、次いで「10～14年」が13.7%、「5～9年」が12.3%となっています。



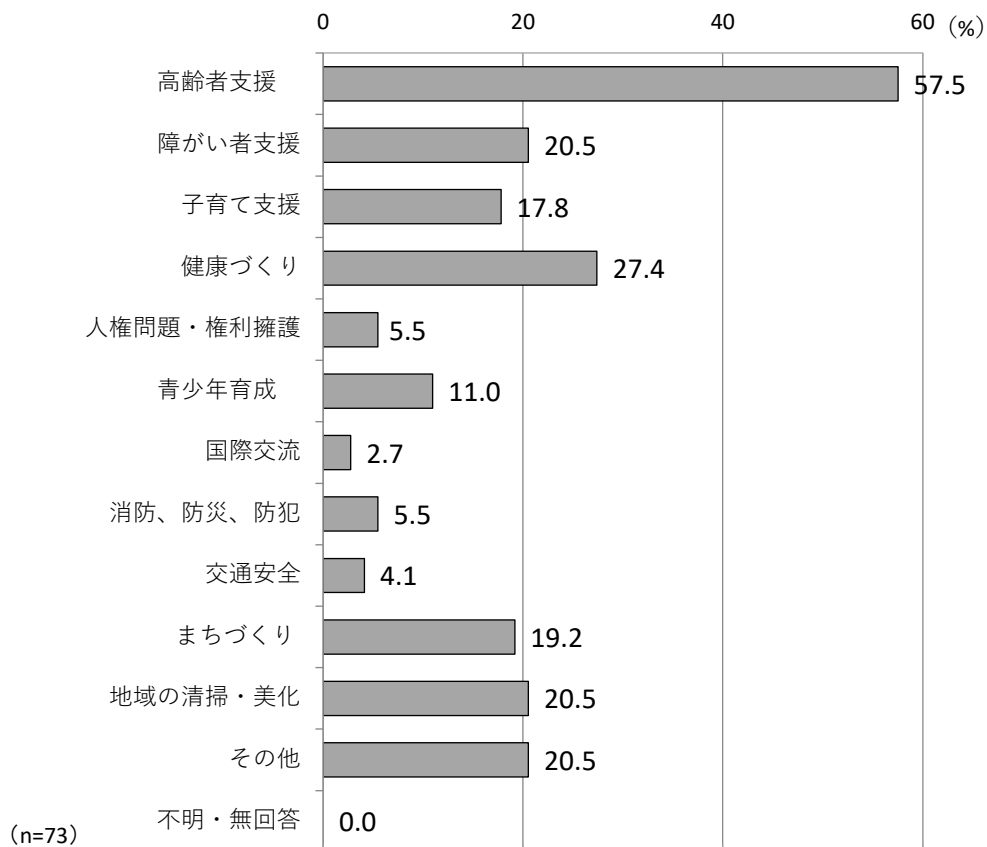
【活動範囲】（○は1つ）

活動範囲について、「湖南省の全域」が 57.5%と最も高く、次いで「湖南省の一部」、「湖南省および近隣市町など、広域で活動」がともに 20.5%、「不明・無回答」が 1.4%となっています。



【団体の活動内容】（○は3つまで）

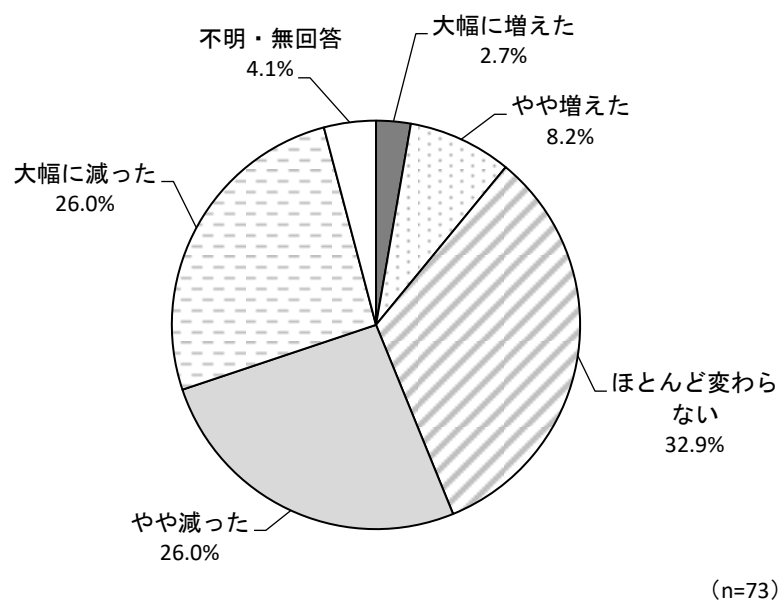
団体の活動内容について、「高齢者支援」が 57.5%と最も高く、次いで「健康づくり」が 27.4%、「障がい者支援」、「地域の清掃・美化」、「その他」がともに 20.5%となっています。



その他回答
● 自治会内交流、学童保育
● 高齢者（会員）の交流
● 高齢者交流
● フラダンスを通して交流
● 会員の社会参加促進活動
● 市内外の学校・幼保・地域からの依頼にもとづいて
● 施設の行事に参加
● 居場所づくり、すべての年齢
● 地域のサロン
● 子どもの読書支援、読みきかせ
● 再犯防止
● 罪を犯した人の立直り支援
● 更生保護
● 保護猫活動

問2 おおよそ5年前に比べ、構成員の人数に変化はありましたか。（○は1つ）

構成員の人数に変化について、「ほとんど変わらない」が32.9%と最も高く、次いで「やや減った」、「大幅に減った」がともに26.0%、「やや増えた」が8.2%となっています。

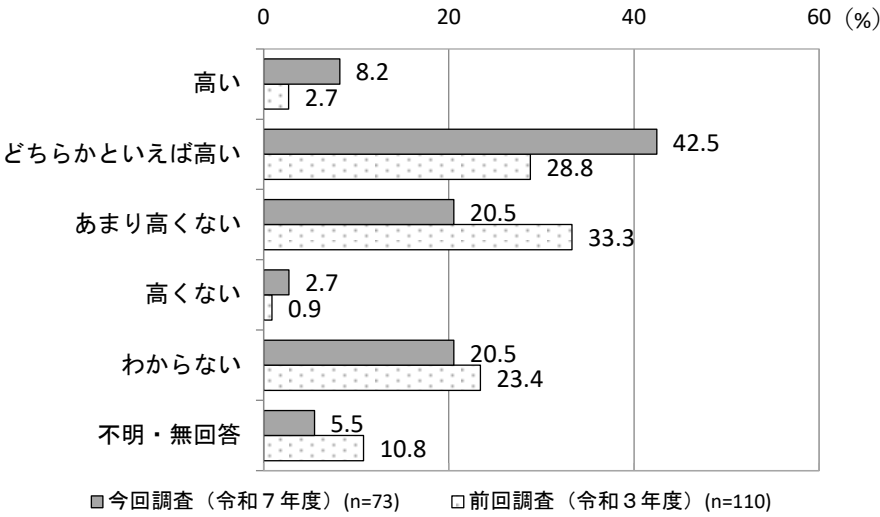


## 2. 地域について

問3 湖南省における住民相互の助け合いに対する意識は高いと感じますか。(〇は1つ)

湖南省における住民相互の助け合いに対する意識について、「どちらかといえば高い」が42.5%と最も高く、次いで「あまり高くない」、「わからない」がともに20.5%、「高い」が8.2%となっています。

前回調査と比較して、「どちらかといえば高い」が10ポイント以上高くなっています。



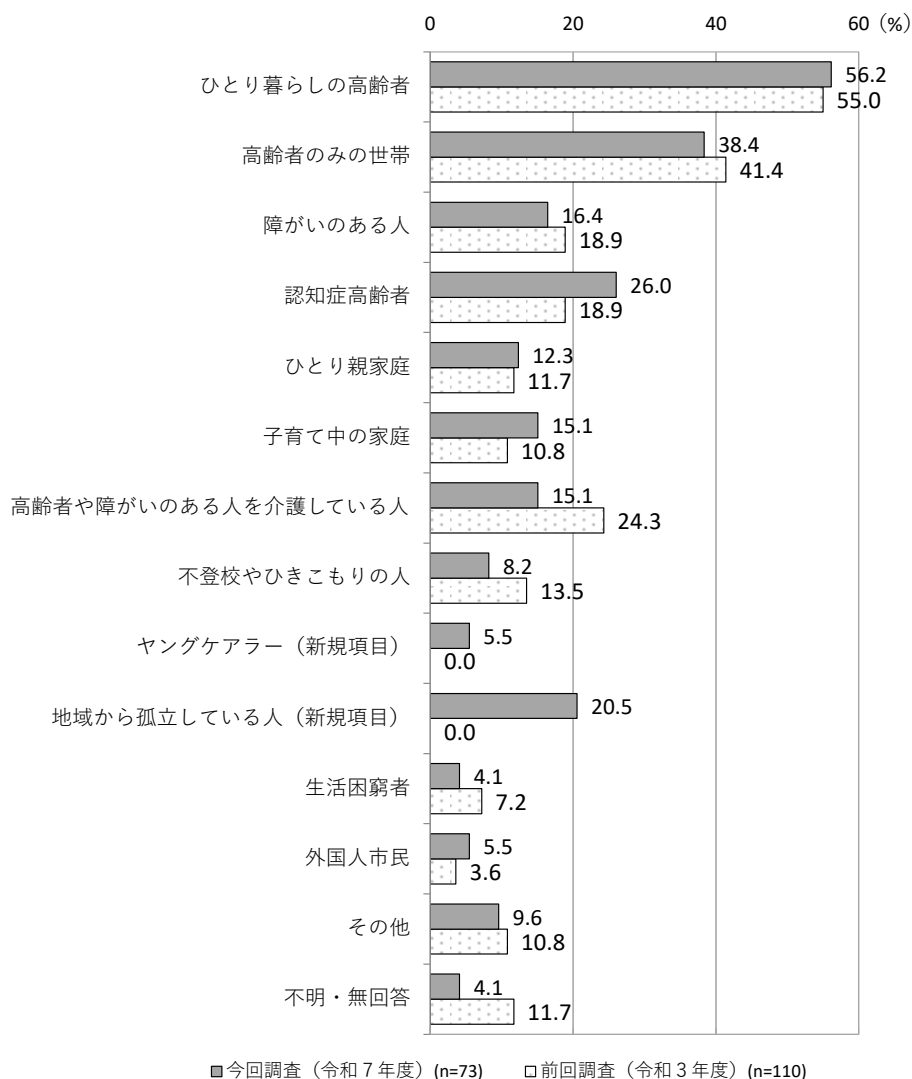
問4 貴団体の活動の中で、地域と一緒にいることや地域に向けて行っていることはありますか。あれば具体的な内容を教えてください。(自由記述)

地域と一緒にいること・地域に向けて行っていること
● 基本は音楽活動ですが演奏の合間に頭の体操（なぞなぞクイズ）等をしてみなさまに楽しんでもらっています。
● 毎月週2回延寿サロンを開いている。
● 野洲、守山両市のオカリナグループとの音楽交流会に参加し、地域のボランティア活動情報を交換している。
● 老人会主催の教養講座に地域の方に声かけを行っている時もあるが、参加はむずかしい。健康講座もよびかけたが参加してもらえなかった。講師様のためにもせっかくなら参加者が多い方がよいかと呼びかけている場合がある。
● 自団体の紹介の後、施設入所者と一緒に唄ったりクイズをしたり楽しい時間を作り出す。
● 大人から子供まですべての人に大型紙芝居を通して楽しい時間を過ごして頂ける様にと活動している。（呼んで頂けるならどの様な場でも行ってます）例、仏教婦人会、障害のある人の集い、未就園児対応、高齢者施設、学童、さくら教室（外国人）地域の住民の集い etc
● 十二坊トレイルランに協力している。 ● 年間2～3回のゴミ拾い
● 地域住民及び高齢者施設にて、運動、ストレッチ、栄養指導を行っています。
● 学校の人権学習 ● 幼・保でのお誕生日会 ● 自治会高齢者の集い ● 夏まつり ● デイサービスの催し 等年齢、場所に関係なく基本「ご依頼は断らない」として活動
● デイサービス、サロン、夏まつり、敬老会、障害者施設等、要望を受けて訪問し参加して交流しています。 ● 文化祭等に参加しています。
● 高齢者サロン、デイサービス、老人施設等に楽しんでもらっています。
● さんまん教室 ● 東しっこ教室等 ● 小学生への茶道教室 ● 甲西中学生徒への指導 ● その他
● 百さい体操 ● 団体主催の月例会時の講座
● あかり家さんへの紙芝居やかると、積木、その他色々
● 地域内愛宕神社のお社や境内清掃等
● 「社会を明るくする運動」での啓発活動 ● 登下校時の見守り活動 ● 子ども食堂の手伝い
● 地域のサロンに依頼されて演奏してみなさんと交流
● 地域、学校、障害者施設、老人福祉施設などから要請があれば、太極拳の体験指導に出向きます。特に最近ではイスに座ったままで上半身を主に動かす運動の指導が喜ばれています。
● 自らが主宰する音楽会に、無料で地域住民に参加してもらっている。
● 地域の美化活動
● 各地域団体や施設からのご希望によって、訪問演奏を行っている。
● 心が病んでいる方、寂しさを感じている方達に音楽の力で癒しと元気づけに役立つことを信じて活動しています。
● 笛のグループなので、ホームや自治会に行って演奏をしている。

地域と一緒にいること・地域に向けていること
● 地域住民（主に高齢者施設）に向けて娯楽講座
● 他の団体（湖南市のボランティアに登録していないグループ）と共同で、三雲の立志神社に奉納演奏を行ったことがあります。
● 保育施設、高齢者施設、自治会などで人形げきをしています。
● 敬老会、文化祭、福祉施設や地域サロン、イベント等で日本民謡、民舞の披露して交流しています。
● 地域住民のサロンで脳トレ教室の講師を行っている。
● 地域のイベント ● 公園整備
● 高齢者施設に手芸を指導している。
● 不定期ですが、大人の方にむけて”おはなしを語る会”をしている。
● 月に1回ビスガを訪問して、囲碁、将棋、オセロで交流する時間をもうけている。
● こなんアニマルマルシェを開催
● 基本、クラブ会員の交流（健康、友愛、奉仕）活動です。 ● この様な中で善水寺清掃は区と共催で実施。 ● 毎年4月末から「ふれあい広場」で鯉のぼり揚げ。
● 三雲区夏まつりにおいて、木工クラフト作りの指導を行った。
● 滋賀県下、ほとんどの市町社協にボランティア登録をし、依頼があれば健康体操、折り紙、バルーンアートなどの講師、子供食堂フェスタなどへの協力参加など活動しています。
● 登下校の子ども達に声かけ、あいさつ運動、見守り
● 定期的に音楽演奏の場に参加（自治会館で演奏している）
● 具体的な内容の事は出来ていない。
● 柑子袋区と一体となった納涼祭等の開催
● 地域住民や子供の利用の多い広場とその周囲の草刈り、清掃活動を行っています。年に2日間位です。
● 地域主催のイベント等で防災講座や支援活動をPRしている。
● 一年に一度開催している”ボランティアまつり”は市民全般に発信して参加を呼びかけている。市内の中学校にも参加でなく、参画を呼びかけをしている。
● 小学校の登下校で愛の声かけ運動
● 毎月一回、社会福祉協議会施設において、勉強会（講演、講義等）を実施 ● 絵画サークル（絵手紙、●●）、絵本の会（絵本読み聞かせ）、農園サークル、趣味の会（切り絵）、健康●●サークルの実施、勉強会日時に無料で実施
● 地域の街かどカフェの所へ出向き、住民と一緒に音楽を通して交流する。
● 「一般公開ケース」「ミニ集会」活動を推進し、地域住民に対する有る犯罪予防研究会、青少年検算育成等の後方や啓発、地域住民、学校関係者、保護司などが集まる。
● 市内小学校3年生に対し視覚障害に関する授業を要望に応じ行っている。お話しや体験子ども達に点字体験の授業も行っている。 ● 地域の皆様に公共施設を借り按摩などのサービスを行っている。
● 年一回開催している「ワールドフェスタこなん」では、外国人市民と地域の方が集いコミュニケーションの場を提供している。 ● 夏祭りやスポーツフェスタなどに外国人などの縁者を紹介している。
● ボッチャ大会や風船バレーボール大会は作業所や高齢者団体に参加依頼を出している
● 共生社会に向けて、協会、手話サークルの関係者を含めて、いろいろなテーマで学習会をすすめている（聴覚障害者サロン等）
● なし（2）

問5 貴団体が活動を進める中で、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。  
(○は3つまで)

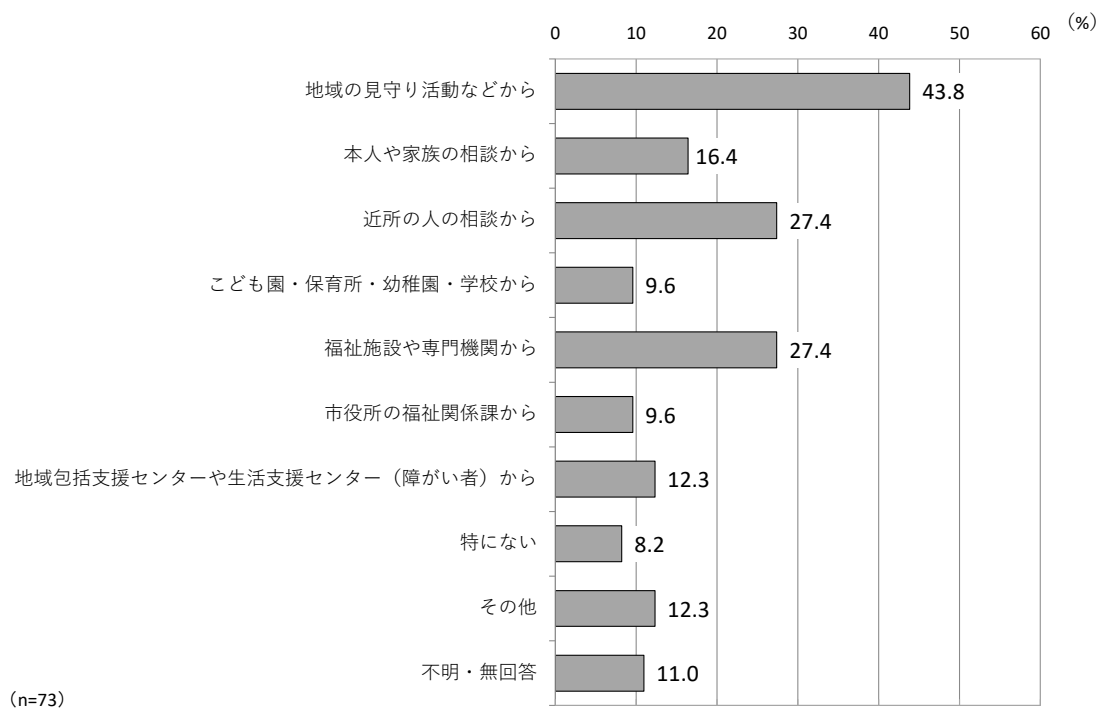
これから特に支援が必要だと思う対象について、「ひとり暮らし高齢者」が56.2%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が38.4%、「認知症高齢者」が26.0%となっています。  
前回調査と比較して、「認知症高齢者」が7ポイント以上高くなっています。



その他回答
● 高齢者全般
● 施設入所者
● 社会人の方のひきこもり
● 全ての人々
● 支援が必要だと思われる人全て
● 私達のボランティア活動は、問5にあるような詳細に絞った人を支援する活動ではなく、高齢者のサロン、認知症の方のグループホーム、子ども食堂、子ども園、障がい者の施設等への需要に合わせた出前です。
● 特になし

**問6 問5のような支援が必要な人をどのような機会に気づくことが多いですか。(〇はいくつでも)**

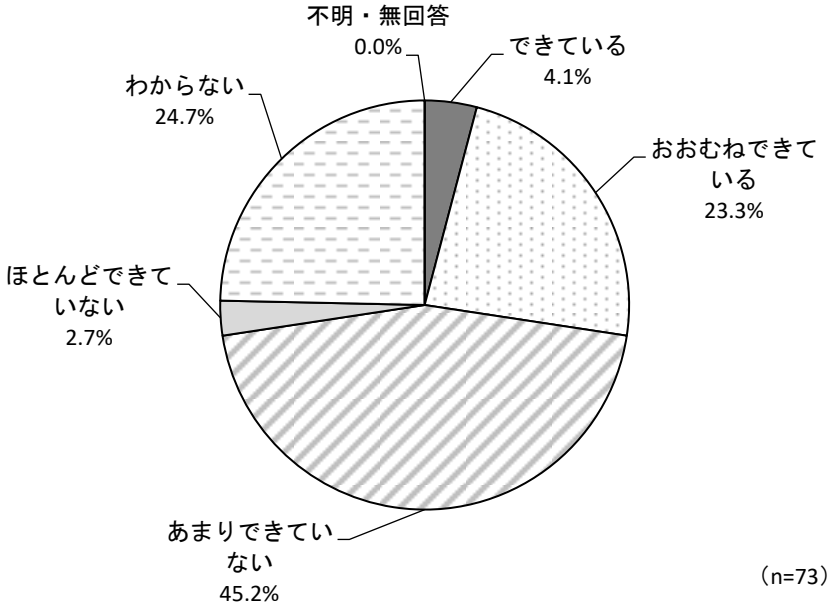
支援が必要な人をどのような機会に気づくことが多いかについて、「地域の見守り活動などから」が43.8%と最も高く、次いで「近所の人の相談から」、「福祉施設や専門機関から」がともに27.4%、「本人や家族の相談から」が16.4%となっています。



その他回答
● ボランティア活動先において経験
● 自分達の活動の中から
● 週2回、公民館でのふれあいサロンや毎週1回の100才体操、たくさんの方の来場を待っていますが、足がわるく公民館にこられない人が多い。
● 認知症が心配される人の外出が極端に多い。又は、車が一週間以上動かない等。
● こなんアニマルマルシェへの相談
● テレビ等から情報を得る。
● なかなか気付くことがない。
● 講演の依頼をうけてうかがうので支援に困られている状況に気づく状況が今はわかりません。
● 個人情報の関係で連携しようがないのでどうしようもない。連携が付けば喜んで会に仲間に加わり活動ができるのに。視覚障害者は特別に市の方から当協会を紹介してほしい。

問7 湖南省の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報は住民に周知できていると思いますか。(〇は1つ)

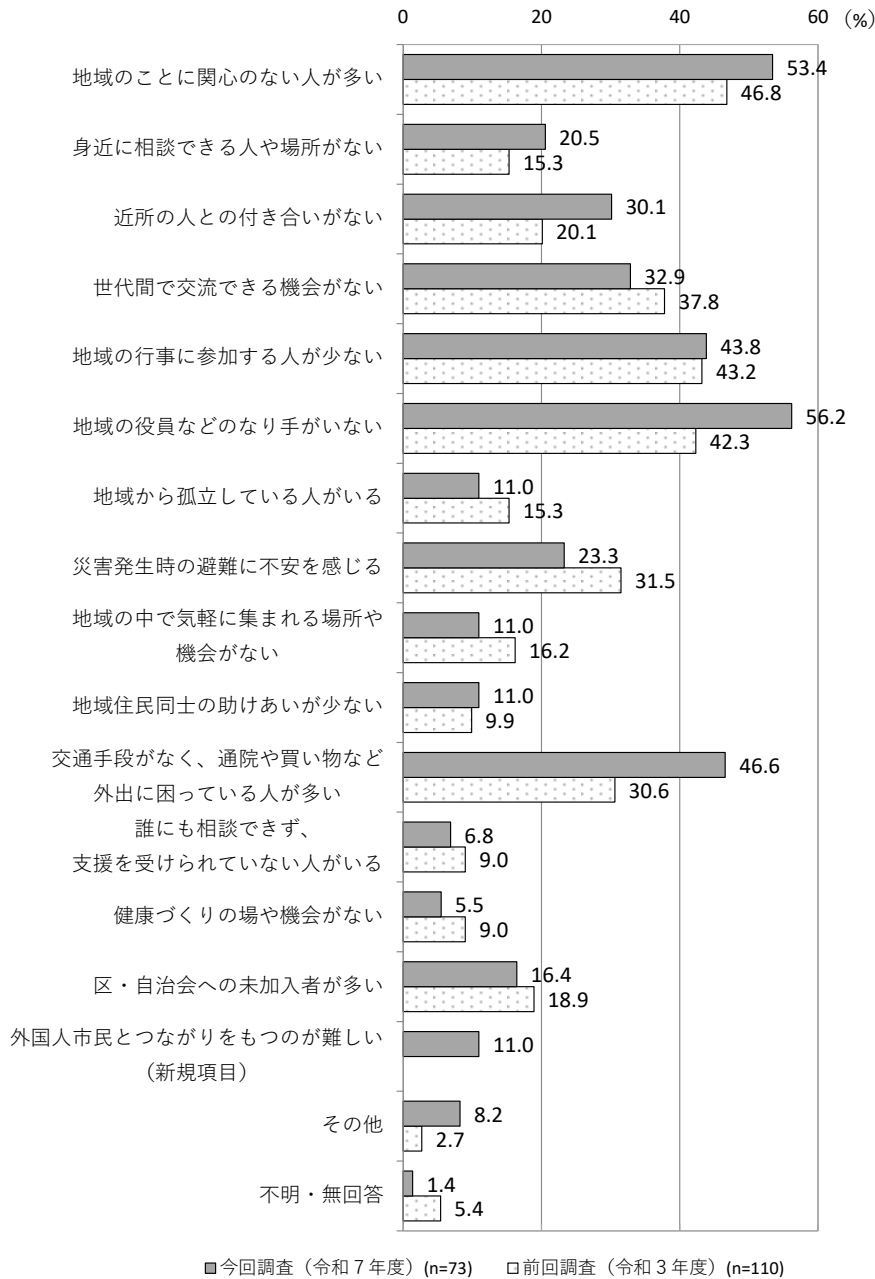
湖南省の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報の周知について、「あまりできていない」が45.2%と最も高く、次いで「わからない」が24.7%、「おおむねできている」が23.3%となっています。



**問8 ふだんの活動の中で感じる地域の課題や問題点はどのようなことですか。(〇は5つまで)**

ふだんの活動の中で感じる地域の課題や問題点について、「地域の役員などのなり手がいない」が56.2%と最も高く、次いで「地域のことに関心のない人が多い」が53.4%、「交通手段がなく、通院や買い物など外出に困っている人が多い」が46.6%となっています。

前回調査と比較して、「地域の役員などのなり手がいない」「交通手段がなく、通院や買い物など外出に困っている人が多い」が10ポイント以上高くなっています。

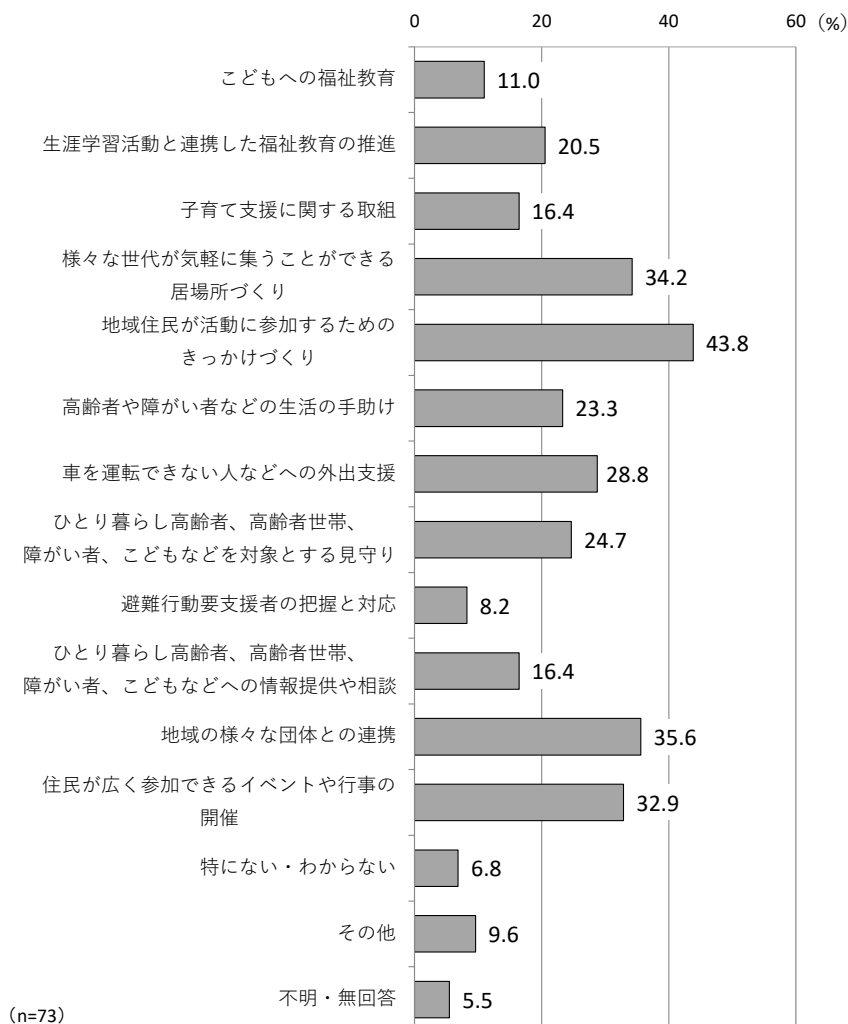


その他回答

- 区の三役、各組の組長の会議で、区として一年間の間で住民参加の行事を一つぐらいの方がよいのではと呼びかけても、組長の参加、出役がむずかしいと聞いています。たとえばやっとな夏祭りが行われ、一応組ごとのテントでヨーヨー釣りやフランクフルトの店は出来たが、別にボランティアをつのりやっとな夏祭りが出来たようです。
- こなんアニマルマルシェにて相談が多いのにも関わらず、市役所のサポートも無く、後援もない。あまりにも民間団体への負担が多い。
- 高齢者の居る世帯の情報を把握しづらい→家庭内の課題問題を知られたくない
- ふだんの活動を知らない方が多いと感じています。情報が適切でないように思います。
- 公演をたのしんでいただけることが多いので、この活動の中で地域の課題というのがどこかというのはわかりません。

問9 今後、団体として支援対象者だけでなく地域に対してできることは何かありますか。  
(〇はいくつでも)

今後地域に対して取り組む活動としてできることについて、「地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり」が43.8%と最も高く、次いで「地域の様々な団体との連携」が35.6%、「様々な世代が気軽に集うことができる居場所づくり」が34.2%となっています。

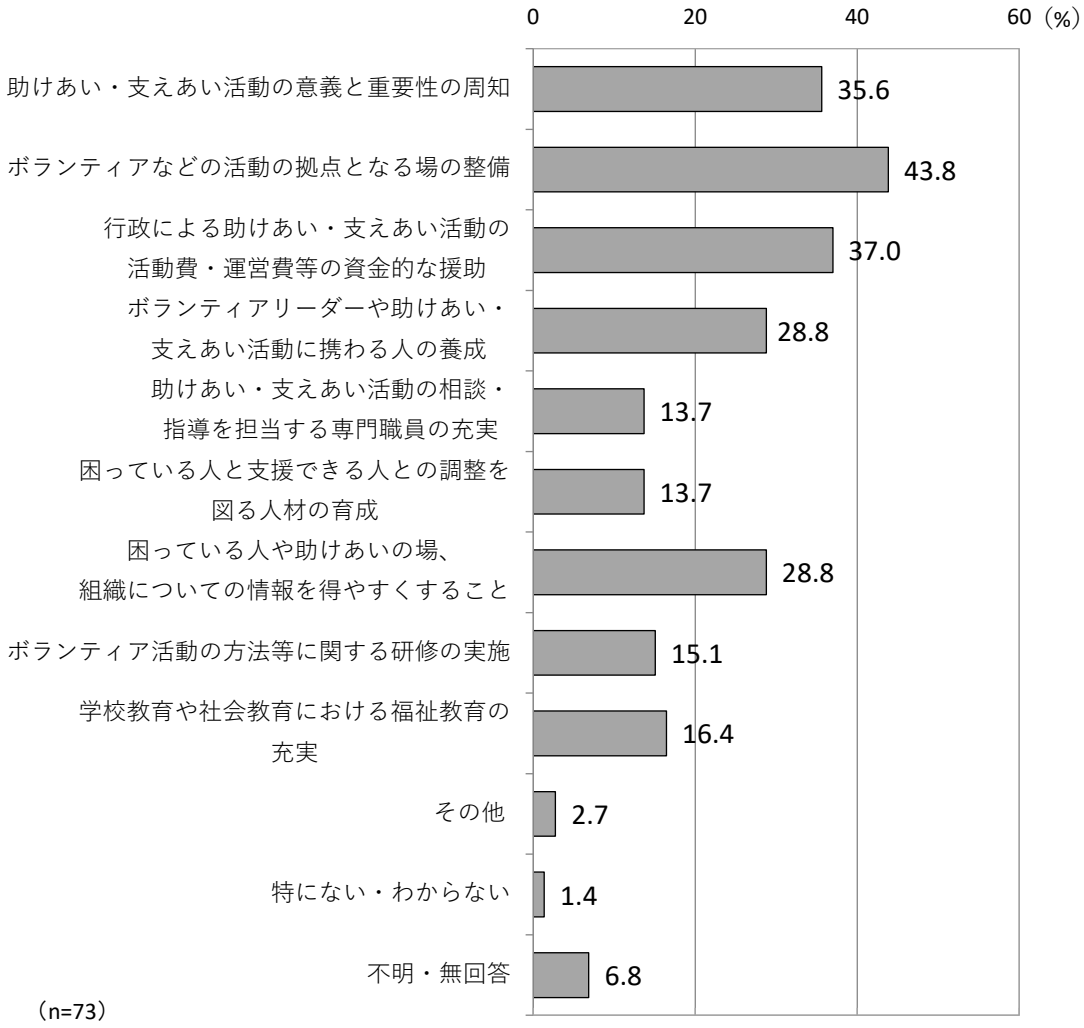


#### その他回答

- 夏祭り模擬店活動を通じて、協会、手話サークル、講座受講生の交流を深める
- 居場所づくり
- 区のイベントには、区民の方々の中から選んで発表してもらおう場を作る（案外、同じ区の人出演となると参加する人が多いように思う）
- こなんアニマルマルシェにて住民から相談が多く、市役所からの後援をし、サポートが欲しい。
- 色んな、福祉サービス、イベントが有るが、その情報を知らない方が多い。参加される方々がまわりの方への直接の声かけをすれば
- 地域の婦人会、青年団、日赤奉仕団他各種団体が廃止になっている。さまざまな団体が維持して行くのがむずかしい。高齢化はもちろんであるが、60才代の方が仕事を続けている又団体に入って活動するのにかけて、まして役員で自分の時間を削ることが出来ない、しない。さまざま要因があるが。
- 人数も多く、居住場所も様々なので、団体が主となってできる事は無いと思う。

問10 地域における助け合い・支えあい活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

地域における助け合い・支えあい活動を活発にするために重要だと思ことについて、「ボランティアなどの活動の拠点となる場の整備」が43.8%と最も高く、次いで「行政による助けあい・支えあい活動の活動費・運営費等の資金的な援助」が37.0%、「助け合い・支えあい活動の意義と重要性の周知」が35.6%となっています。

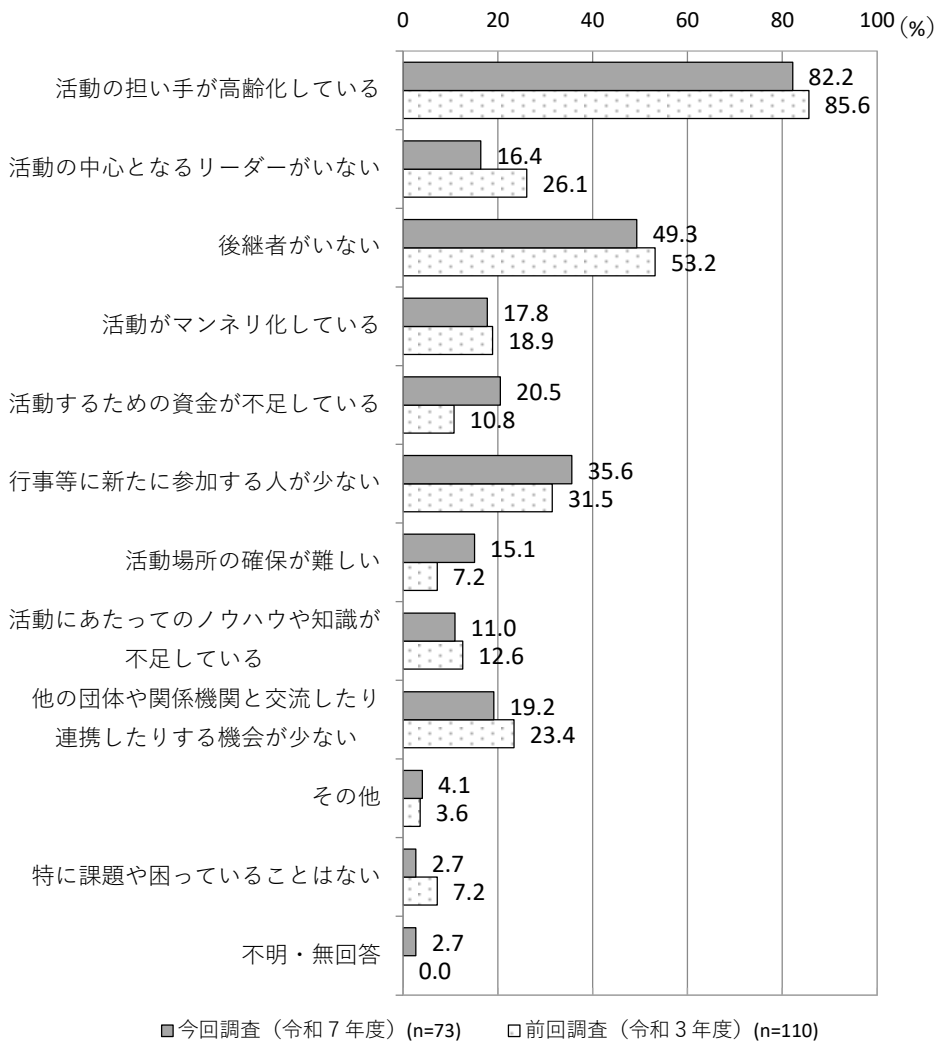


### 3. 活動について

問 1 1 活動を行う上で、課題だと感じることや困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

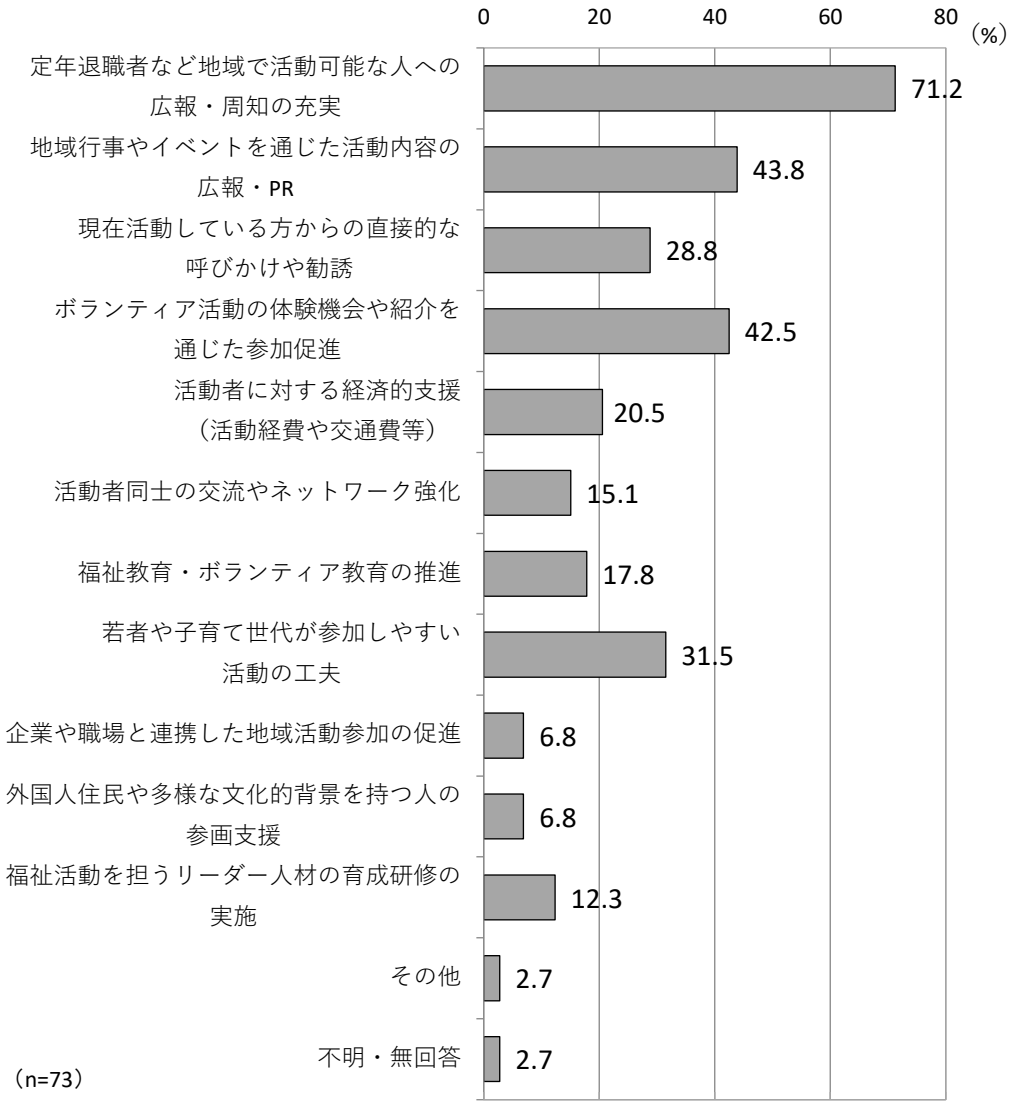
活動を行う上で課題だと感じることや困っていることについて、「活動の担い手が高齢化している」が82.2%と最も高く、次いで「後継者がいない」が49.3%、「行事等に新たに参加する人が少ない」が35.6%となっています。

前回調査と比較して、「活動するための資金が不足している」「活動場所の確保が難しい」が5ポイント以上高くなっています。



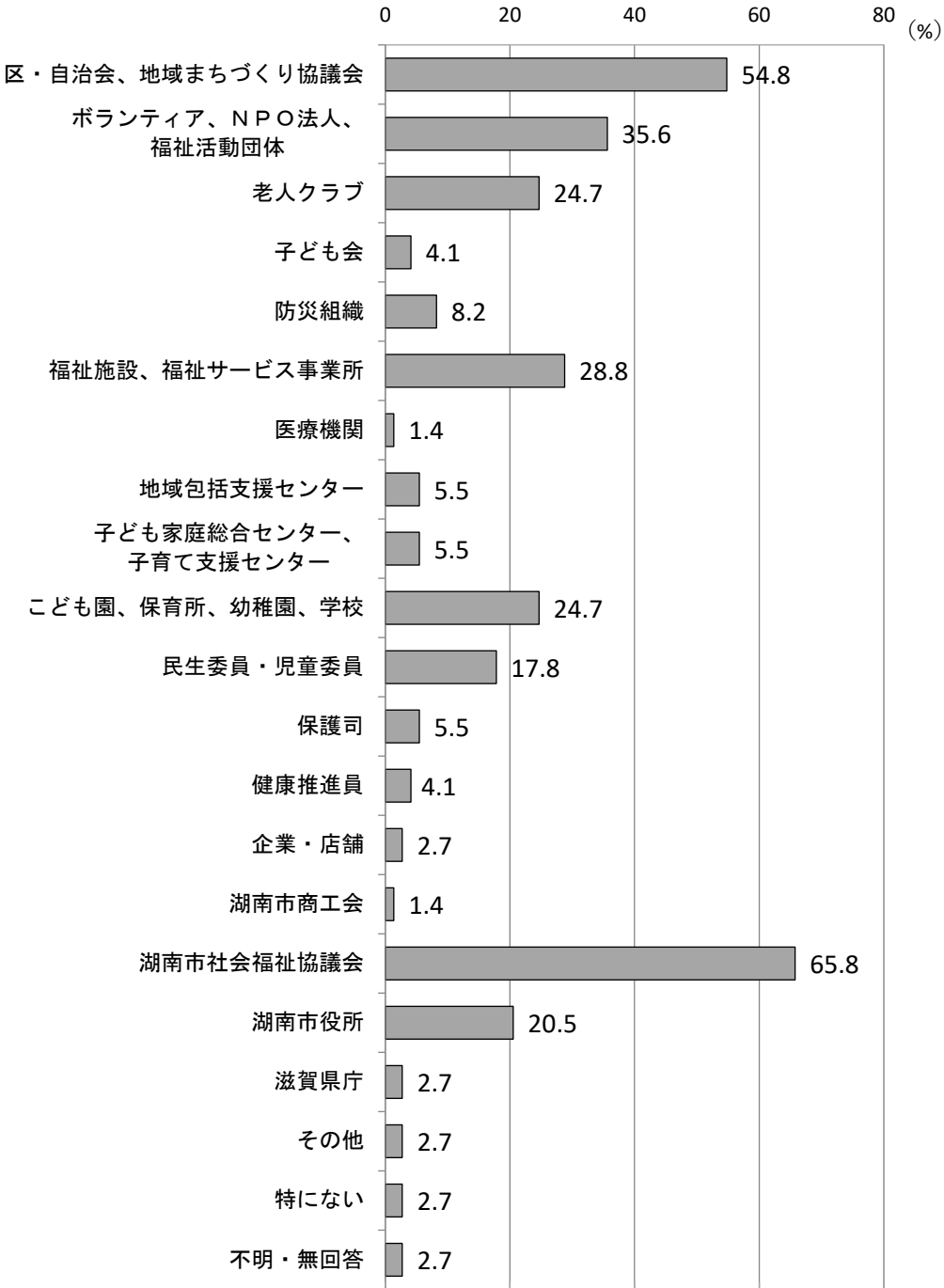
問 1 2 地域において新たな担い手を発掘し、育成していくためには、どのようなアプローチや取り組みを行っていく必要があると思いますか。(〇は4つまで)

地域において新たな担い手を発掘し、育成していくためのアプローチや取り組みについて、「定年退職者など地域で活動可能な人への広報・周知の充実」が71.2%と最も高く、次いで「地域行事やイベントを通じた活動内容の広報・PR」が43.8%、「ボランティア活動の体験機会や紹介を通じた参加促進」が42.5%となっています。



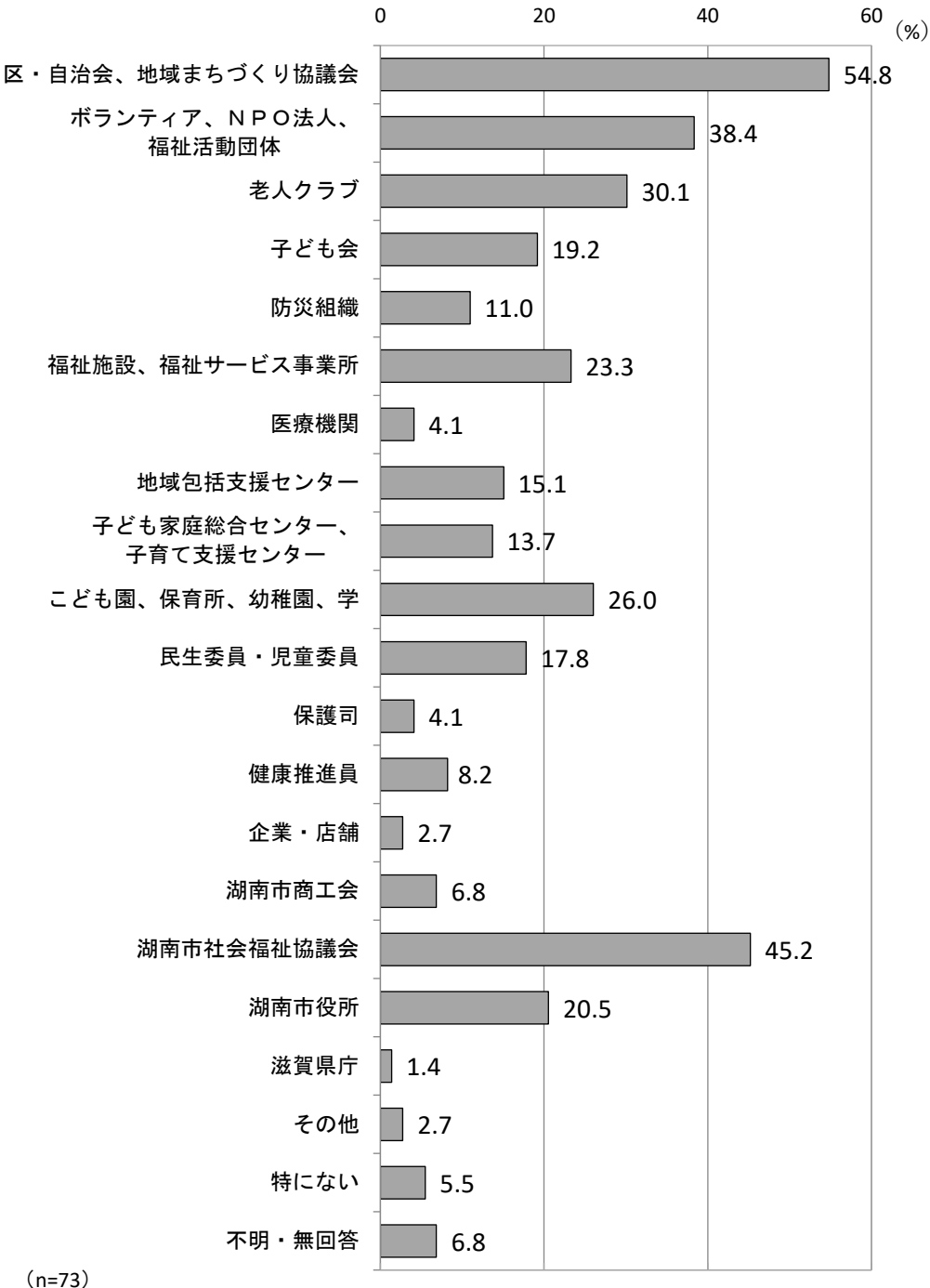
問 1 3 地域での活動の際に、どのような組織・団体などと交流や連携して活動されていますか。  
 (〇はいくつでも)

地域での活動の際に交流や連携をしている組織・団体について、「湖南省社会福祉協議会」が 65.8%と最も高く、次いで「区・自治会、地域まちづくり協議会」が 54.8%、「ボランティア、NPO法人、福祉活動団体」が 35.6%となっています。



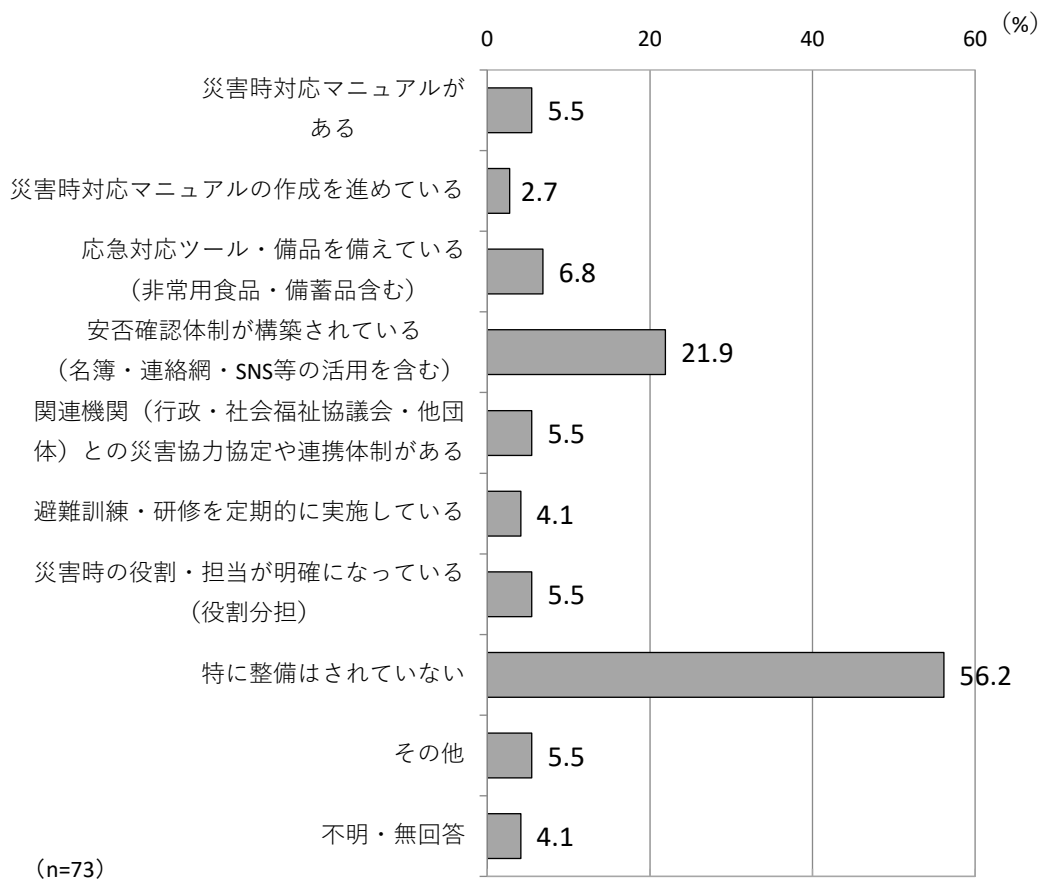
問14 今後、地域での活動を行う際に、交流や連携したい組織・団体などがありますか。  
 (〇はいくつでも)

今後地域での活動を行う際に交流や連携したい組織・団体について、「区・自治会、地域まちづくり協議会」が54.8%と最も高く、次いで「湖南省社会福祉協議会」が45.2%、「ボランティア、NPO法人、福祉活動団体」が38.4%となっています。



問15 災害発生時、あなたの組織における体制はどの程度整備されていますか。  
(〇はいくつでも)

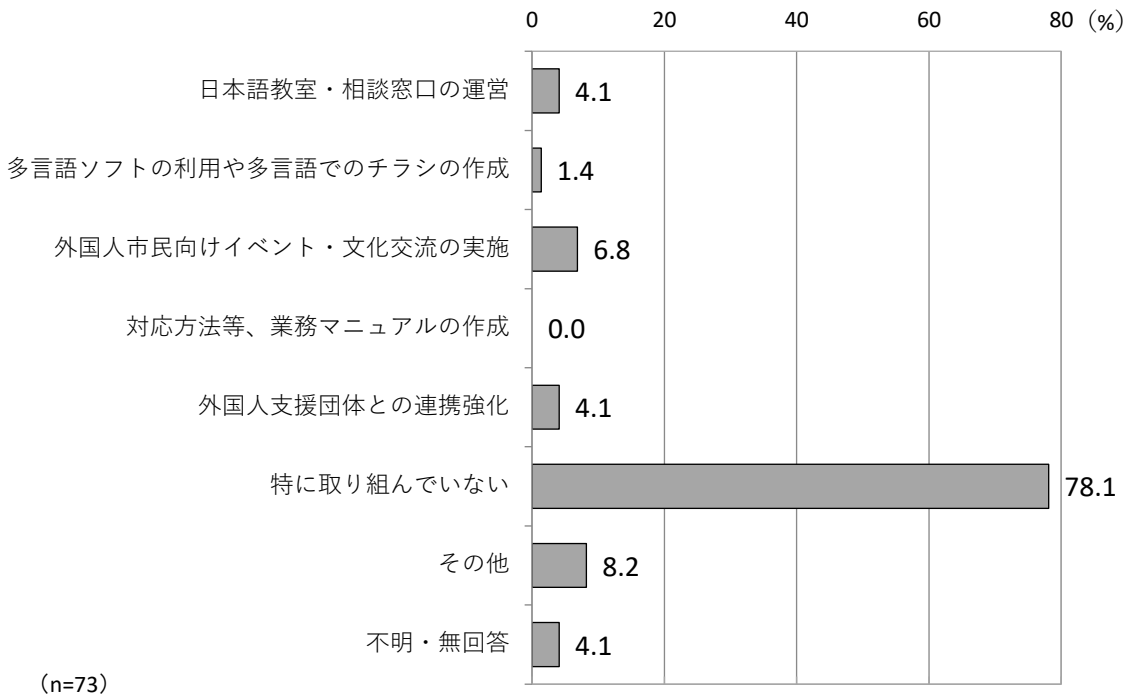
災害発生時、組織における体制について、「特に整備はされていない」が56.2%と最も高く、次いで「安否確認体制が構築されている（名簿・連絡網・SNS等の活用を含む）」が21.9%、「応急対応ツール・備品を備えている（非常用食品・備蓄品含む）」が6.8%となっています。



その他回答	
●	ペット保険
●	知らない。未確認
●	特に決めていない

**問 1 6 外国人市民向けの支援や交流を行っていますか？**  
(〇はいくつでも)

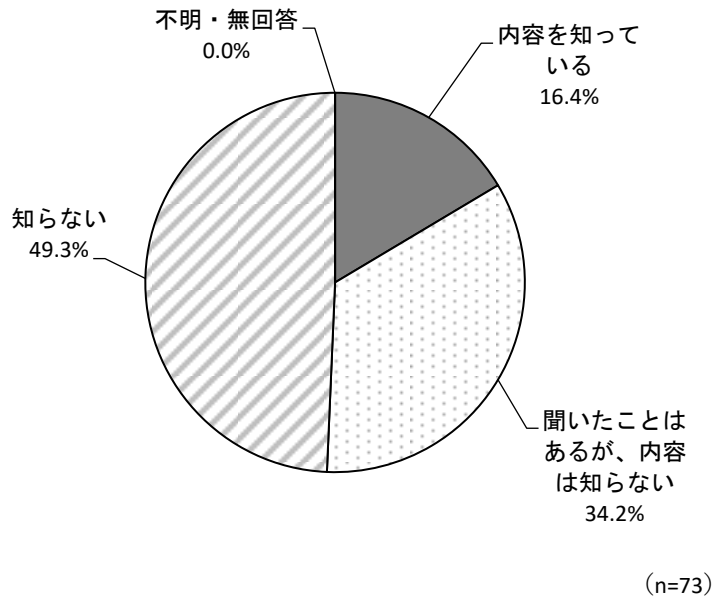
外国人市民向けの支援や交流について、「特に取り組んでいない」が 78.1%と最も高く、次いで「その他」が 8.2%、「外国人市民向けイベント・文化交流の実施」が 6.8%となっています。



その他回答
● さくら教室 (水戸小)
● ボランティアでさくら教室に年 3 回行ってる
● さくら教室でのボランティア実施
● 日本語教室 (学校内) より依頼あり出向いたことあり
● 入園前の幼児であればとくにありません。

問 17 湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画について知っていますか。  
(○は1つ)

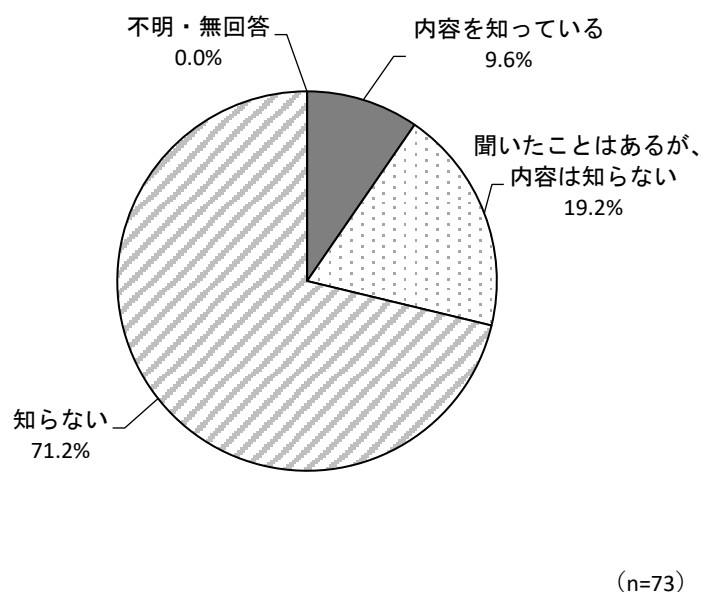
湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画について「知らない」が49.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が34.2%、「内容を知っている」が16.4%となっています。



問 18 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援※体制整備事業について知っていますか。(○は1つ)

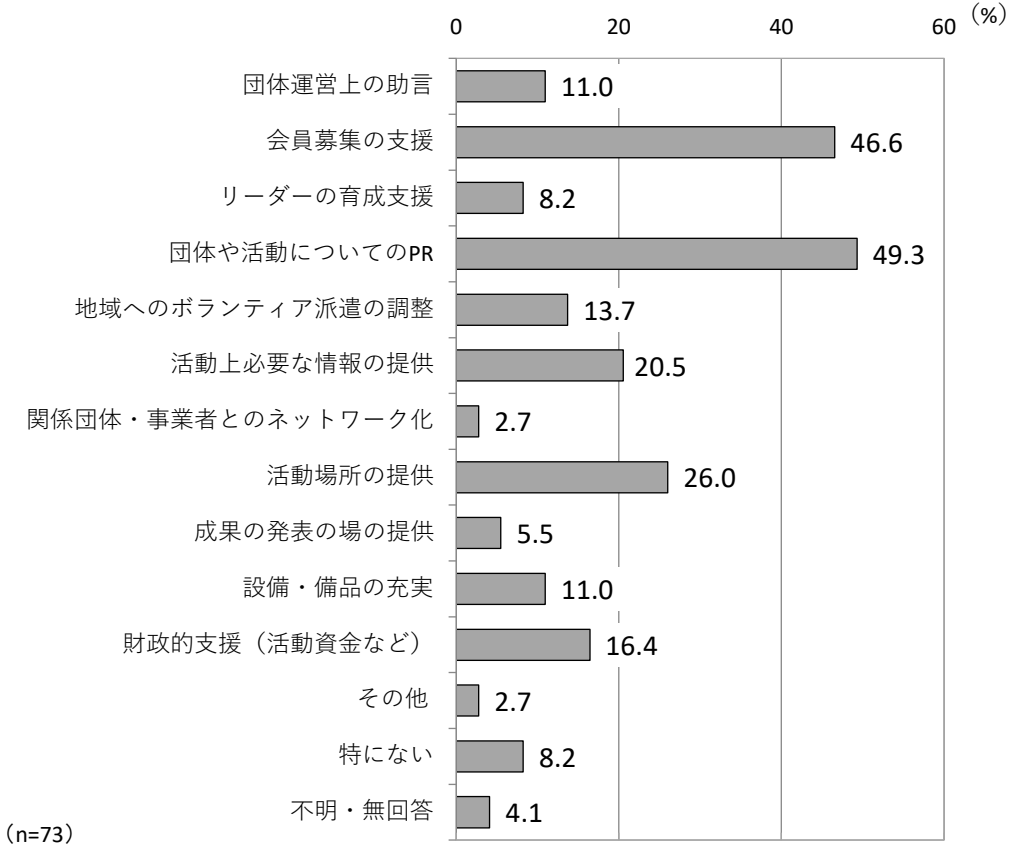
※重層的支援：年齢や属性にかかわらず、生活上の困難を抱えるすべての人に対し、分野横断的かつ包括的に支援を行う考え方。各分野の支援をつなぎ、地域全体で誰もが安心して暮らし続けられる体制の構築をめざすものです。

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援体制整備事業について、「知らない」が71.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が19.2%、「内容を知っている」が9.6%となっています。



問 19 貴団体が地域で活動する中で、市や社会福祉協議会に期待することは何ですか。  
 (〇は3つまで)

地域で活動する中で市や社会福祉協議会に期待することについて、「団体や活動についてのPR」が49.3%と最も高く、次いで「会員募集の支援」が46.6%、「活動場所の提供」が26.0%となっています。



## 4. 自由記述

その他、地域福祉の推進について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

分野	自由回答
支えあいについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 隣り近所がどのように暮らしておられるかよい意味での関心をもち、おせっかいも必要な時がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域で本当に困っている人は、なかなか声を上げにくいものです。こんな事で困った、こんな時に困った、こんな困っている人を知った、こんな事があれば助かるのか…etc. 様々な情報・経験を拾い上げるのが現実味があると思いますが、難しいことです。やはり机上だけで考えず、人と話し合うことが重要だと思います。初めから「シナリオ」を考えず、ただただ話を聞いてみる機会をうまく作れたら良いのではないかと思います。地域福祉は「平均的な」「最大公約数の」取組でなく、個々に対する具体的な取組が必要ではないかと思えます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化社会の今、私の御近所もお年寄りが多くなってしまいました。地域福祉を知らない方、あらゆる福祉を利用されている方、さまざまです。地域の行事、イベント等は元気な方が誘ってあげて、参加を促す。その時交わす挨拶、会話の中で福祉の事を教えてあげて頂く事が重要だと思います。この様な事が地域福祉の推進になればと思います。</li> </ul>
連携・活動への支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回のアンケート問 17 や問 18 の 1. 湖南省第四次地域福祉計画や地域福祉活動計画、2. 支援体制を構築する重層的支援体制整備事業なるものがありますが、どの様な計画なのかあまり知られておらず、私も聞いたことはありますが、内容は不明となり、知られておらず、市政への協力でどう取組めば良いのか、その手はずがわからず、そえんとなり市政の参画が徐々にすすんで行く様で、住民として不安を感じる時もあります。より具体的な事業計画を私達にも判る様 PR お願いします。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近年、高齢者や生活困窮者における多頭飼育崩壊が増えており、独居老人によるペットの置き去りも問題になっております。民間団体かボランティアとコミュニケーションを取り、解決を図っていきたいです。活動するにあたり、あまりにも市役所からの協力も無く、ボランティアへ任せきりになっている。市役所からの協力や後援がある事で活動がしやすくなります。人を助ける活動、そして環境課題解決です。よろしくをお願いします。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政や社会福祉協議会出身の活動家をほとんど見かけない。上記の職員の研修をして、体験を推進してはどうか。企業では、実施しているところがある。例えば、「ボランティアまつり」のボランティアとかある。</li> <li>● V コーデーネーターさんが良く動いてくれ、助かっている。</li> </ul>
参加者について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティア活動に参加している方は沢山おられますが、私の周りの人も 1 人が何ヶ所も活動していて、いつも忙しく動いていますが、興味のない人は声をかけても参加されなく、その所がいつも矛盾を感じています。退職されてもお元気な方にもっと参加してほしいですね。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 我々のボランティア活動は地域福祉の推進に多少なりとも貢献していると思うが、我々のグループは担い手の不足、高齢化が進んでおり、今後も活動ができるかどうかが喫緊の問題である。今後も活動が継続できるよう対応して行きたい！</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子高齢化が進む中で、老人クラブの場合 65 才以上の人口は増加しているが就労者も多く、新規加入者が少ない事が活動の中でネックとなっている。老人クラブを運営する中で体調をこわす人も多くなり、その状況把握に苦労する部分もある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昔とは違って、60 代・70 代の方が仕事を続けておられるので、60 代の後半～70 前後の若い人の入会者が非常に少ない。リーダーや役員になって頂ける人がいなくて、現在の役員が 80 代～90 位まで続けなくては行けないので、老人会の活動がこの先続けられるのか心配です。会員様の人数は減ることはあっても、増えることはかなり困難と思われます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会員の高齢化で若者の入会が難しく、会員数は年々減少傾向です。幸い私の住む東寺は二世帯同居（敷地内）が多いので、若い方が停年される迄、親世代の方に席を置いてもらっているので、活動には総会以外は参加してもらえませんが、これからは、会の良さ、交流できる良い面を若い方々に知ってもらいたいと思います。私は長い間、会員で席を置き、高齢になった今元気で石部の方々と交流できる事に感謝しています。</li> </ul>

分野	自由回答
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どのボランティアグループも高齢化が著しいです。次につなげていく方法を考える必要があると思います。市として、福祉に対する更なる対策を施していただきたいのはもちろん、ボランティア活動に対する支援、ご理解を強く望みます。</li> </ul>
活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私達のグループ活動は地域福祉への参加と言うより笑顔を届ける役目しかできていません。優しい気持ちでつながっていただけたいと思っています。</li> <li>● 私自身10年間ボランティア活動の続きとしてあかり家さんにメンバーと一緒にいかせてもらっていますが、これが良いとか？わからない事ばかりですが、何とか今後も続けて行けたらと思っています。</li> <li>● 私達の活動はご依頼を受けた時に相手先に出かけて行って演奏をご披露し、最後には皆さんで共に歌って楽しい時間を過ごして頂くものです。演奏メンバーは”ボランティア”に協力を惜しまないプロの音楽家ですので「地域福祉の推進」に寄与しているような大それた感覚は持ちあわせてはおりません。長年培ってきたプロの演奏技術で聴いて下さる方々の心の癒しと心の健康にお役に立てればと願い活動しています。</li> <li>● 高齢者だけのサークルです。意外とどのようなサークルがあるか、知らないと感じています。60才代の若いメンバー(?)が入会するとサークルの空気も変わってきます。市民にもっとどんなサークルがあり、どんな活動をしているか広報・PRを充実してほしい。「広報こなん」の特別号を発行し、ボランティアサークルの紹介を是非してほしい。知らない方々に知らせるコト！まっている知らない方々も多くおられるはずで。高齢者の交流の輪が広がるのでは…</li> <li>● 音楽演奏ボランティア活動しております「コンプリオ・きりん」の代表川嶋と申します。日頃、社協さんからの依頼を通じてプロジェクト使用し、介護施設の慰問演奏(キーボード・大正琴・オカリナ・ハンドベル)で音楽交流をしています。依頼全般が高齢者対象の介護施設ボランティアになっていまして、私の希望は年齢層の幅を広げ幼稚園、小学校の児童のボランティア活動も広げたく思っています。しかしながら、私自身そういうボランティアのジャンルの開拓が分かりません。できましたら社協さんから通じてお世話頂ければと願っています。音楽を通して、心豊かに子供たちが成長するお手伝いをしたいのです。子供たちの笑顔が周りを幸せにし、また潤いのある日常生活になることを祈っています。よろしくお願ひします。</li> </ul>
活動への支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳児検診の時に、赤とんぼの事を伝えていただければと思います。</li> <li>● 団体会員の減少、高齢化で、会の維持がむつかしくなっている。個人情報保護により、団体の活動情報を個人に届ける手段がない。会員増のためにも、団体の活動を個人に届ける(知ってもらう)方法に取り組んでもらいたい。</li> <li>● 地域集会所の活動を願いたい。また活動をしていても、一部の住民しか知らない事が多く、全戸に周知できるようにしてほしい。</li> <li>● 社協(下田、岩根)でしている脳トレ教室の様子を見学してほしいです。その後、良ければ地域の方にこのような所もあるとPRしてほしいです。</li> <li>● 先日TVで知ったのですが、「終身サポート事業者団体」があるそうですが、滋賀県にはあるのでしょうか？是非立ち上げて頂きたいと思っています。</li> <li>● 市役所建てかえに伴い、社会福祉センターの存在(場所確保)が必須となっていますが、今後どのように実施、確保されるか不安です。活動を続ける上で最重要課題です。</li> <li>● 湖南市内、近隣地域への公共交通が少ない。もっと充実させてほしい。</li> <li>● それぞれのボランティア活動で備品等、保管する場所が欲しい。</li> <li>● 身近に集える場所が欲しい。</li> <li>● ファミレス等湖南市内も少なくなった。もう少し欲しい。</li> <li>● 会員の居場所づくりとして、障害者スポーツを通じて、毎週集まれるように活動していますが、来年度から体育館が使用料が上がる事から資金面で苦しいです。又、夏の猛暑、冬の寒さ、体育館環境は厳しいものがあります。小学校の体育館の冷暖房設備の設置事業が終了した時点から、市内の体育館に冷暖房設備を計画的に設置して下さい。</li> </ul>
障がい者について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 視覚障害者は本人はできない事ばかりです。患者同士(当協会)が良い窓口になれますが、会員以外の方に連絡が取れない状態(個人情報の関係)で、福祉課や民生委員さん位は教えて頂く何かを考えてほしい。希望</li> </ul>

分野	自由回答
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何といても市手話言語条例を制定して、社会、地域、教育機関に手話言語の啓発、普及をすすめることが共生社会へのステップとして必要と考える。手話言語をコミュニケーション手段として生きる人達と地域との結びつきをつくる為には手話言語の法制化が不可欠である。</li> </ul>
防災について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家の裏にグランドゴルフ場があり、防災無線から「これは試験です。」等の音声は流れてきますが、声が割れて聞こえ、何と言っているのか内容が聞こえにくいのですが、もし災害が起きた場合、避難場所等どこへ行けばいいのかという話がよく出ます。</li> </ul>
アンケート調査について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回のこのアンケートは大変よいことだと思います。ただ、なぜ必要と思うのか？なぜ、なぜ？などの問いかけがないと、問題や改善策の立案、深層問題への展開が難しいのではと思います。</li> <li>● 湖南省在住の一市民として、地域福祉に対して、答えられる事はありますが、団体のボランティアグループとして（湖南省からの依頼で活動しているメンバーは、草津、大津、野洲など、ほとんどが他の市町村在住者）返答できる事ができにくい質問項目もありました。答えられるところで記入しました。申し訳ありません。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コミュニティバスの運行について、甲賀病院への直通バスを多くの高齢者が切望されている。</li> <li>● 私自身、地域福祉についてよく理解できていませんが、自分のことは、自分で守れるよう知識や力をつけていきたい。</li> <li>● みんなの居場所、健康維持、認知予防、高齢者から若い方へ！75</li> </ul>

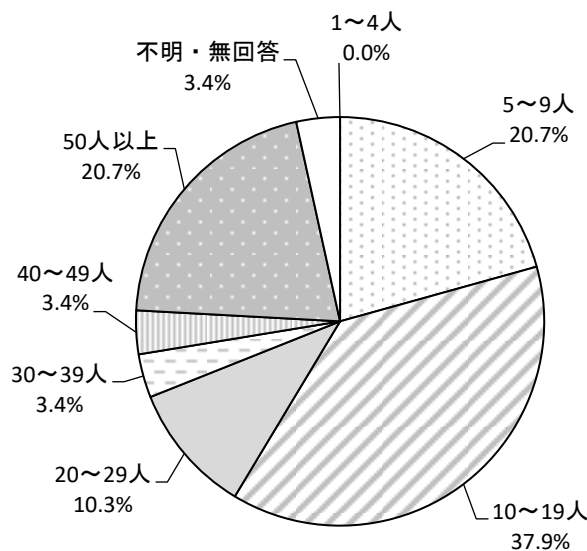
## VI 福祉事業所アンケート調査結果

### 1. 事業所について

問1 差し支えない範囲で、貴事業所について教えてください。

#### 【職員・従業員数】

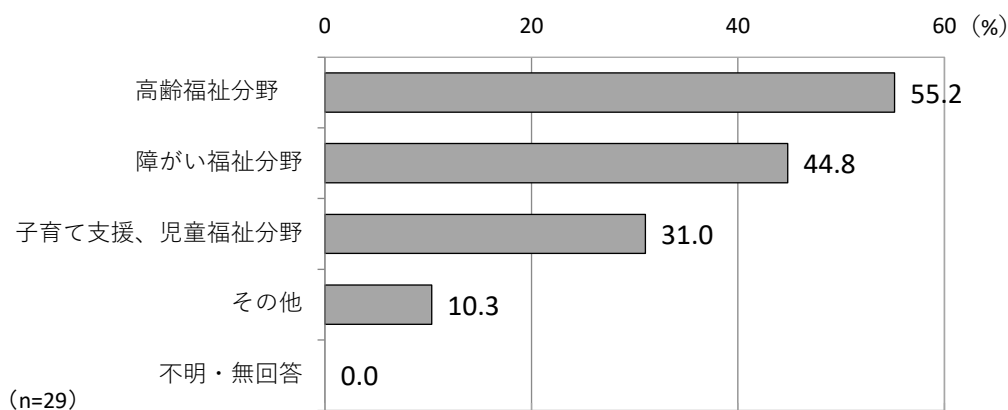
職員・従業員数について、「10～19人」が37.9%と最も高く、次いで「5～9人」、「50人以上」がともに20.7%、「20～29人」が10.3%となっています。



(n=29)

#### 【事業区分】(○はいくつでも)

事業区分について、「高齢福祉分野」が55.2%と最も高く、次いで「障がい福祉分野」が44.8%、「子育て支援、児童福祉分野」が31.0%となっています。



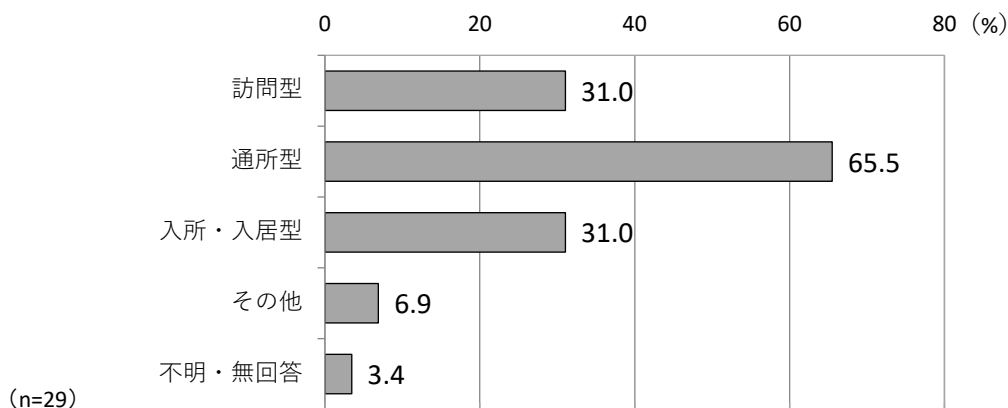
(n=29)

#### その他回答

- 福祉有償運送
- 若者支援
- 医療

【サービス区分1】（○はいくつでも）

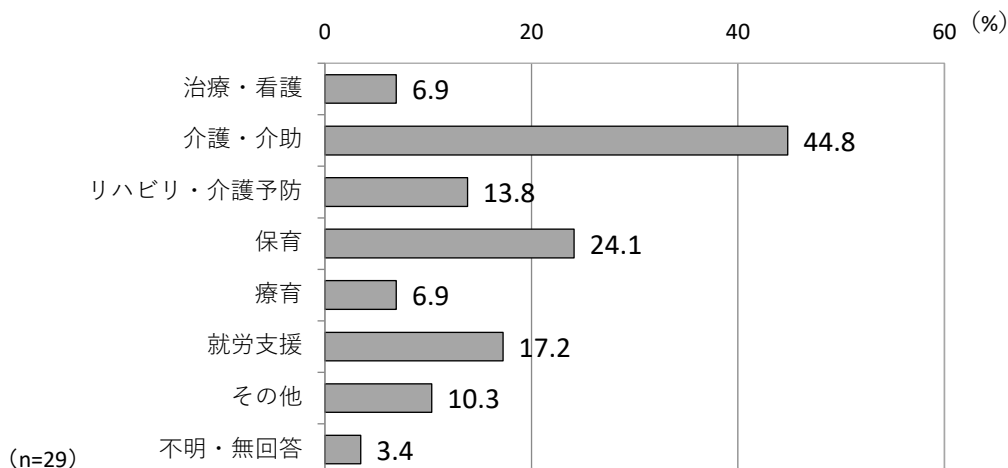
サービス区分1（訪問型／通所型／入所・入居型）について、「通所型」が65.5%と最も高く、次いで「訪問型」、「入所・入居型」がともに31.0%、「その他」が6.9%となっています。



その他回答	
●	小規模多機能型居宅介護
●	保育所、学童保育所

【サービス区分2】（○はいくつでも）

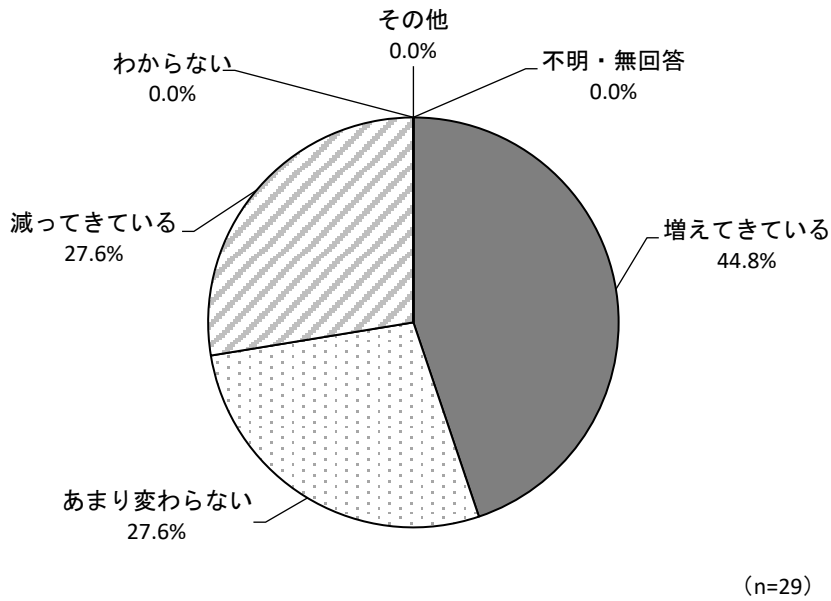
サービス区分2（サービスの内容）について、「介護・介助」が44.8%と最も高く、次いで「保育」が24.1%、「就労支援」が17.2%となっています。



その他回答	
●	子育て支援
●	共同生活援助
●	相談支援

**問2 最近5年間で、全体的な利用者の増減傾向を教えてください。(○は1つ)**

最近5年間の全体的な利用者の増減傾向について、「増えてきている」が44.8%と最も高く、次いで「あまり変わらない」、「減ってきている」がともに27.6%となっています。

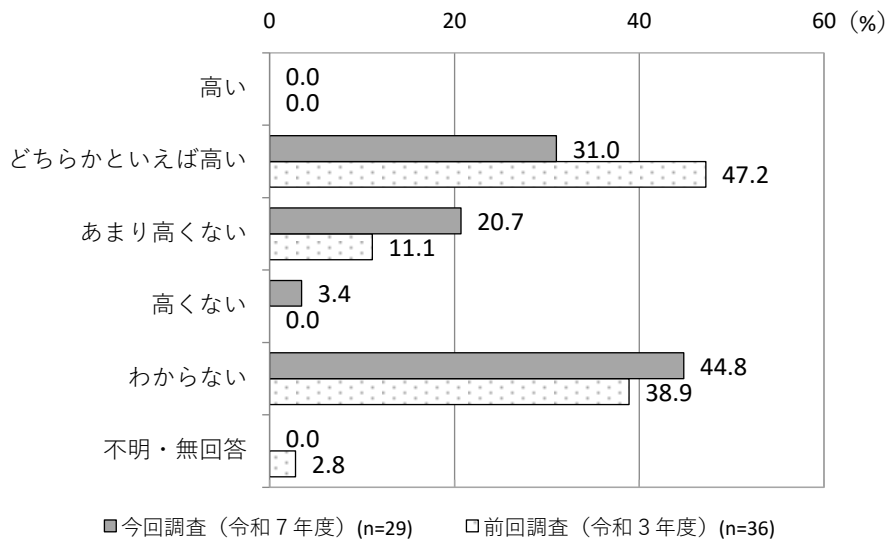


## 2. 地域について

**問3 湖南省における住民相互の助け合いに対する意識は高いと感じますか。(○は1つ)**

湖南省における住民相互の助け合いに対する意識について、「わからない」が44.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば高い」が31.0%、「あまり高くない」が20.7%となっています。

前回調査と比較して、「どちらかといえば高い」が15ポイント以上低くなっています。



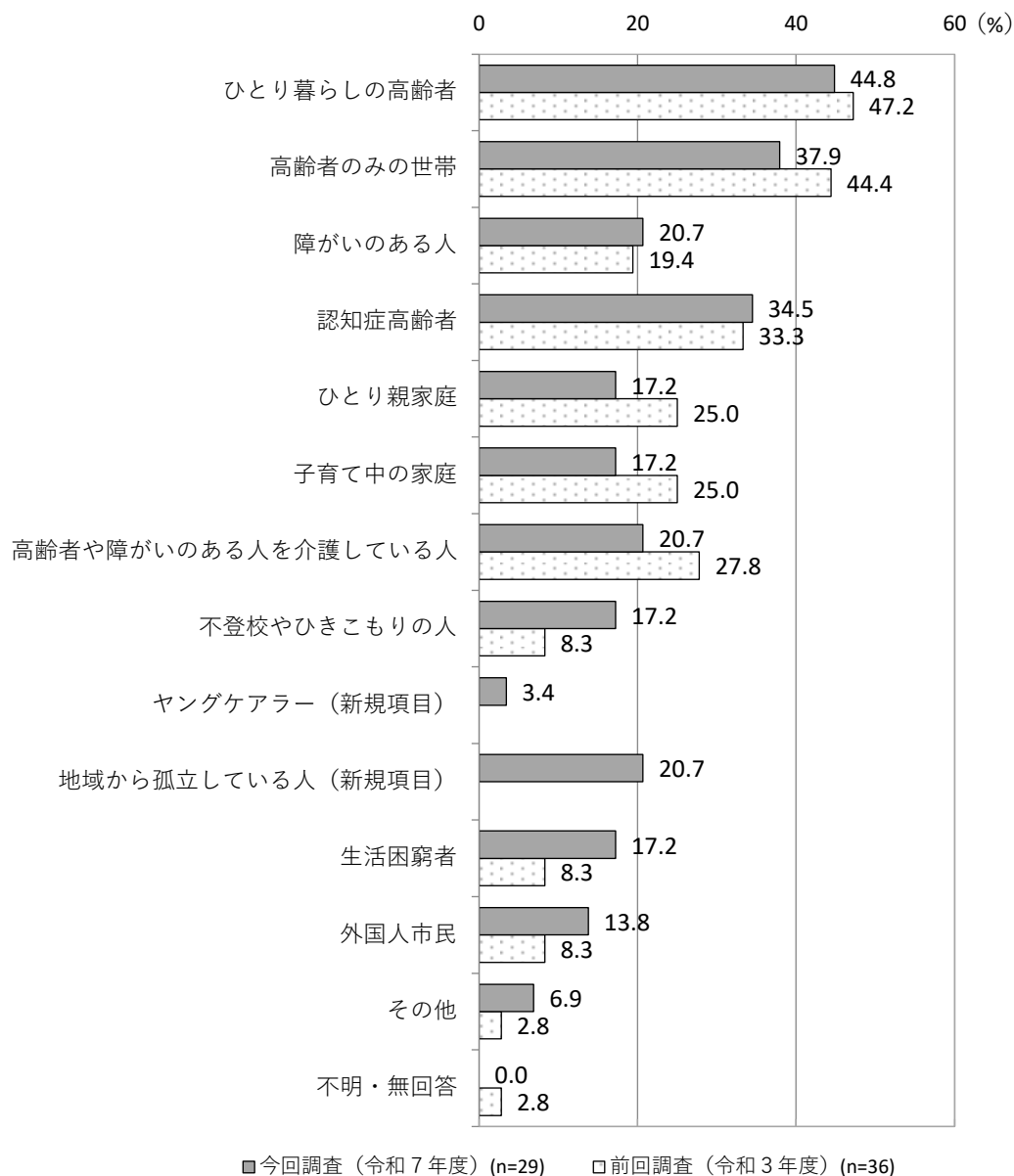
問4 貴事業所の活動の中で、地域と一緒にいることや地域に向けて行っていることはありますか。あれば具体的な内容を教えてください。(自由記述)

地域と一緒にいること・地域に向けて行っていること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ふれあい祭り</li> <li>● 市家庭児童相談所からケース共有いただき、家庭介入を行っている</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療生協としての取り組みの中で、地域住民に向けて保険講座や介護予防の行事を開催している。</li> <li>● 年一回は地元の共同で祭りを行っている</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症講座</li> <li>● サロン</li> <li>● じんけんのまつりへの参加</li> <li>● コミュニティセンターひなまつり参加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湖南市の地域ボランティアをレクで利用</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年一回認知症講演会</li> <li>● つどいカフェ（ご近所の方や認知症の人とその家族などが集どる場所）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今年度は針区の祭りに参加しました。</li> <li>● 常時は、甲西地域包括支援センターの運営の中で、地域に向けた発信を行っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域ケア会議には参加しているが、他は特にない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2025年11月30日まで民生児童委員で活躍していました。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 百歳体操</li> <li>● 愛宕祭りの出展</li> <li>● 小学校との交流</li> <li>● さつまいもの空中栽培</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくりセンター</li> <li>● ふれあいまつり参加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域授民に生き生き百歳体操の場所を提供している。</li> <li>● 病院は通院のための無料送迎をしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域住民に向けて（権利擁護セミナーを開催している。出前講座を開催している。なんでも相談会を開催している。）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域のイベントへの参加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● （保育）未就学児が母娘と気軽に遊びに来れるような園庭開放を行ったり、定期的に遊びを提供できる環境作り、子育て相談を積極的に行っています。</li> <li>● （介護）地域の方に野菜の作り方を教わったり、地域のボランティアの方と交流できる場を提供しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 河川清掃</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水戸まちづくりフェスタへの参加</li> <li>● 青少年美術展出展</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元のまち協や団体等の主催するイベントなどへの参加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学童の運営委員会に区長・民生児童委員がメンバーになっていただいている。</li> <li>● 岩根まちづくりフェアに学童も参加し、作品出品やバザー出店をしている。</li> <li>● 学童でのもちつき行事に民生委員に来所いただき、もちつきや子どもの交流をしていただいている。</li> <li>● 市の青少年美術展に学童児童の作品を展示し、地域の方々にみていただいている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所主催でヨガの講師を招き事業所利用者だけでなく地域の希望する方も参加できる親子ヨガの開催を広報。リラックスや親子の関わりなど様々な効果を期待しています。</li> </ul>

問5 貴事業所が活動を進める中で、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。  
(〇は3つまで)

これから特に支援が必要だと思う対象について、「ひとり暮らし高齢者」が44.8%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が37.9%、「認知症高齢者」が34.5%となっています。

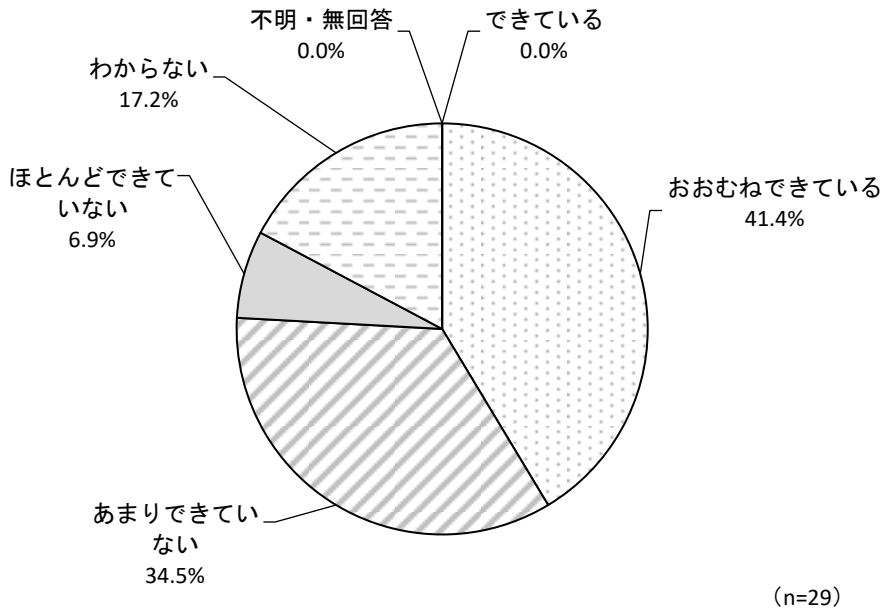
前回調査と比較して、「生活困窮者」「外国人市民」が5ポイント以上高くなっています。



その他回答
● 障害のある子どもや親に対する家庭支援
● 児童虐待のある家庭や要保護家庭

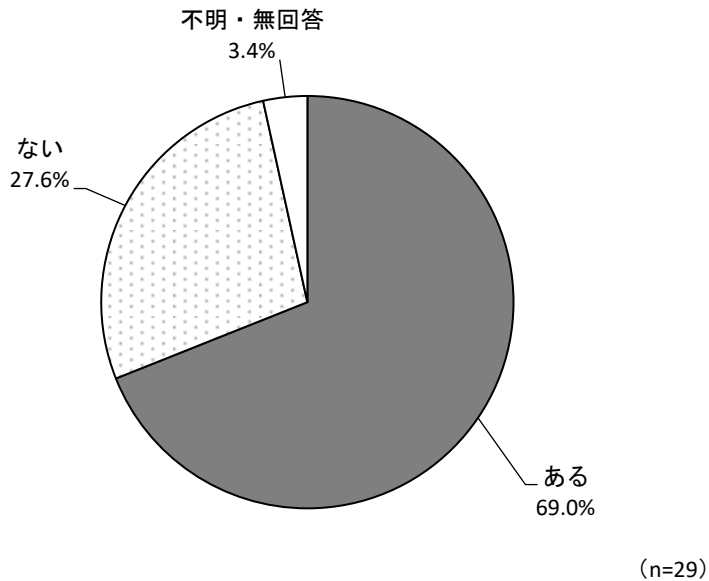
**問6 湖南省の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報は住民に周知できていると思いますか。(〇は1つ)**

湖南省の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報の周知について、「おおむねできている」が41.4%と最も高く、次いで「あまりできていない」が34.5%、「わからない」が17.2%となっています。



**問7 地域の中で、既存の公的な制度や福祉サービスだけでは対応が不十分だと思う福祉課題はありますか。(〇は1つ)**

既存の公的な制度や福祉サービスだけでは対応が不十分だと思う地域の福祉課題について、「ある」が69.0%、「ない」が27.6%となっています。



<問7で「ある」と回答された方>

問8 課題の内容とその課題に対してどのような支援が必要だと思いますか。(自由記述)

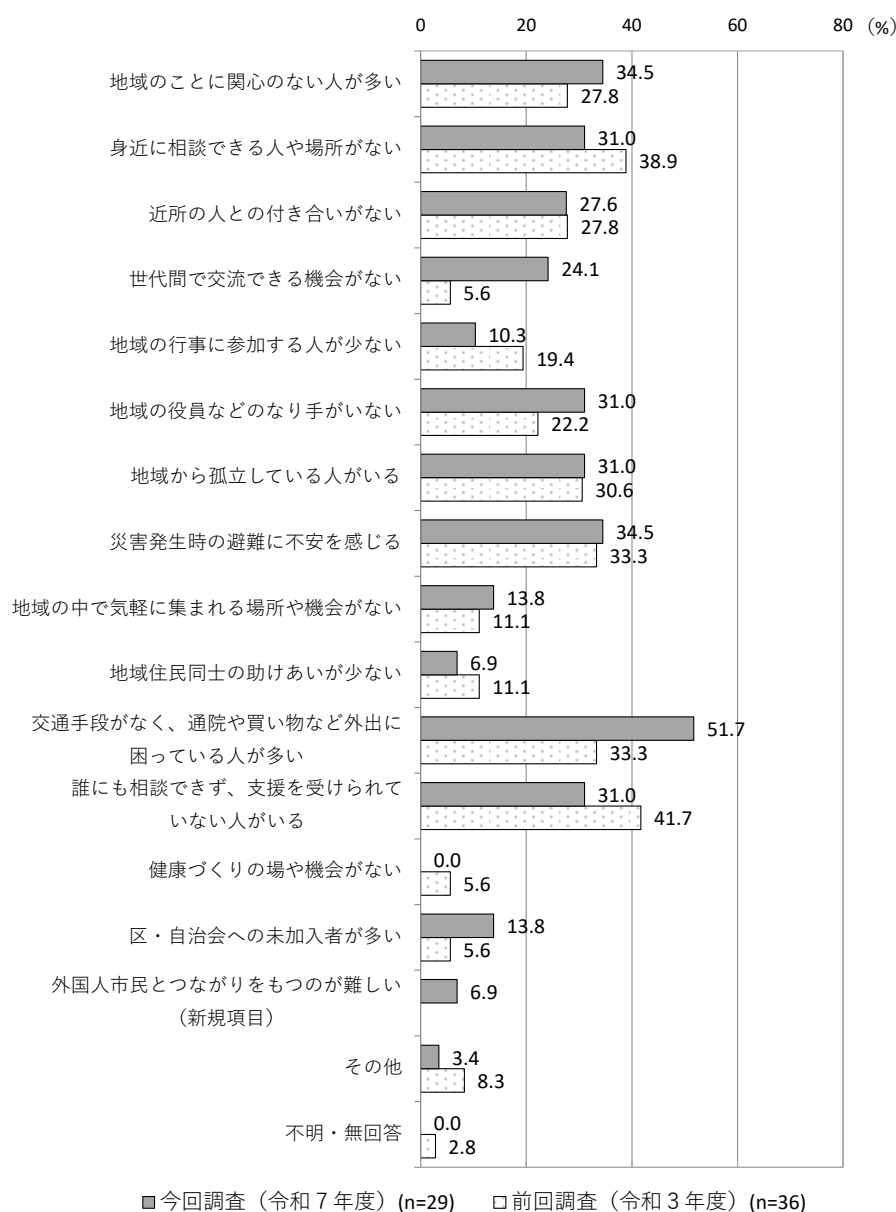
課題	必要な支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行動障害を呈する子どもとその家庭に対する直接的な支援は乏しく、レスパイト的な支援に頼らざるを得ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直接介入できるようなアウトリーチ型の支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害の方の高年齢化</li> <li>● 先を見ていない支援者の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 何もしなくても、500円をわたし、昼食を出す作業所、利用者にとって意味はありますか？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不登校児及び家族ケア</li> <li>● 何らかの課題で見守りや支援が必要な家族に対しての</li> <li>● 障がいのある人の休日の過ごしへの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不登校支援は「本人が望む居場所作り」が大切なので制度に無いことを現状に合わせて作り出す必要がある。</li> <li>● 発達支援センターと教育機関、福祉事業所等の有機的な連携をさらに進めて行きたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不登校になっている児童とその家庭の中にはどうすればよいのか困っているケースが多い。</li> <li>● 児童虐待ケースや要保護家庭はちいきからも孤立しやすく、保護者への支援や相談事等は欠くことができない。</li> <li>● 小学校が学級閉鎖時、対象学級児童が全員が学校でも受け入れをしないようになっているが、それにより、就労できない保護者は困っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不登校児童、家庭への支援</li> <li>● 虐待・要保護家庭への支援</li> <li>● 小学校がインフルエンザやコロナ感染で学級、学校閉鎖時の感染していない児童の預かり保育</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不登校やひきこもり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 居場所づくり</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ひきこもり、不登校</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域から孤立している方へのアプローチ</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域、近所とのつながりない人への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市やセンターなどではなく、私共のように地域のある施設で情報を得て、細かな支援交流ができないものかと常に考えている。若干の活動費も必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通機関の利便性</li> <li>● ケアマネ不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NP0等が送迎サービス等に取り組んでおられるが、市営のものを増やさなければならない。</li> <li>● JRの複線化の早期解決</li> <li>● 他市で行われている様な補助金をケアマネにも支給する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 買物が足がないため行けない</li> <li>● 地域の方の認知症の理解</li> <li>● 家族の支援</li> <li>● 福祉へ出す負担が大きい</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動手段が困難な人達にどう対処していくか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動手段の提供（タクシーチケットの充実）（交通手段の確保）</li> <li>● 買い物系のサービス</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者のみの世帯や一人暮らしの高齢者が増えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活を支える支援…車を手放した高齢者には移動支援が必要</li> <li>● 健康を支える支援…日常的に人と関わる場面が必要</li> <li>● 安心・安全を支える支援…何かあった時に気づいてもらえる仕組みが必要</li> <li>● 孤立を防ぐ支援…だれもが社会参加・生きがいもてる場所が必要</li> <li>● 支援で大切なのは支えすぎない、孤立させない、早く気づくことが大切だと考えています。</li> </ul>

課題	必要な支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化の進展に伴う日中独居の認知症高齢者の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活支援体制整備事業の地域支え合い推進員の人員を増加させ、住み慣れた地域で安心して住めるようにし、若い世代の離職防止につなげる。</li> <li>● 地域毎に支援員を補うボランティア組織の育成、ネットワークづくりを進め、支援する体制を整える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身より問題を抱える人の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 死後事務や遺品処分など家族や親族が行うことから前提の事柄について自分自身が決めておく支援</li> <li>● 上記の内容を他者任せではなく、自分ごととして主体性をもってもらえるような支援（啓発）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護保険利用手前のひとり暮らしの方の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安否 安全確認</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当法人は主に高齢者を対象としており、介護保険制度の中での対応となるが、要介護認定前や、障害福祉制度の対象とならないが、支援が必要な狭間の方に対しての支援方法や支援費などが必要と感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別ケースでどこが窓口となり、支援費をどこから出すかなど「制度外で対応できない、仕方がない」ではなく、協議していくことが必要。市の横出しなど、柔軟に考えていってほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護事業所従事者が減っており、運営が困難と感じることがある。また、従事者（スタッフ）にパワハラをする市民が増えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国人を含めた福祉事業従事者の育成</li> <li>● 外国人スタッフへの住居の提供</li> <li>● パワハラに対する対応（主に行政）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業所を利用している人の支援はもちろんのこと、その家庭にも何等かの問題があり、その家庭にアプローチが必要だが、困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係機関や行政が課題を抱えている家庭に入れるような仕組みが必要。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活保護受給者への就労支援（指導）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受給者への面談（訪問）を多く実施し、本人への就労意欲を植え付ける。</li> <li>● ケースワーカーの増員</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材確保</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 制度を知らない、訪問の場合、知識がない、制度が分からない、又知ろうとしないので…利用して初めて分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 啓発しても…無理があるので地域の中で1人暮らしや、高齢世帯を民生委員がよりおこし、包括に繋げるのが良いと思います。</li> </ul>

問9 ふだんの業務・活動の中で感じる地域の課題や問題点はどのようなことですか。  
(〇は5つまで)

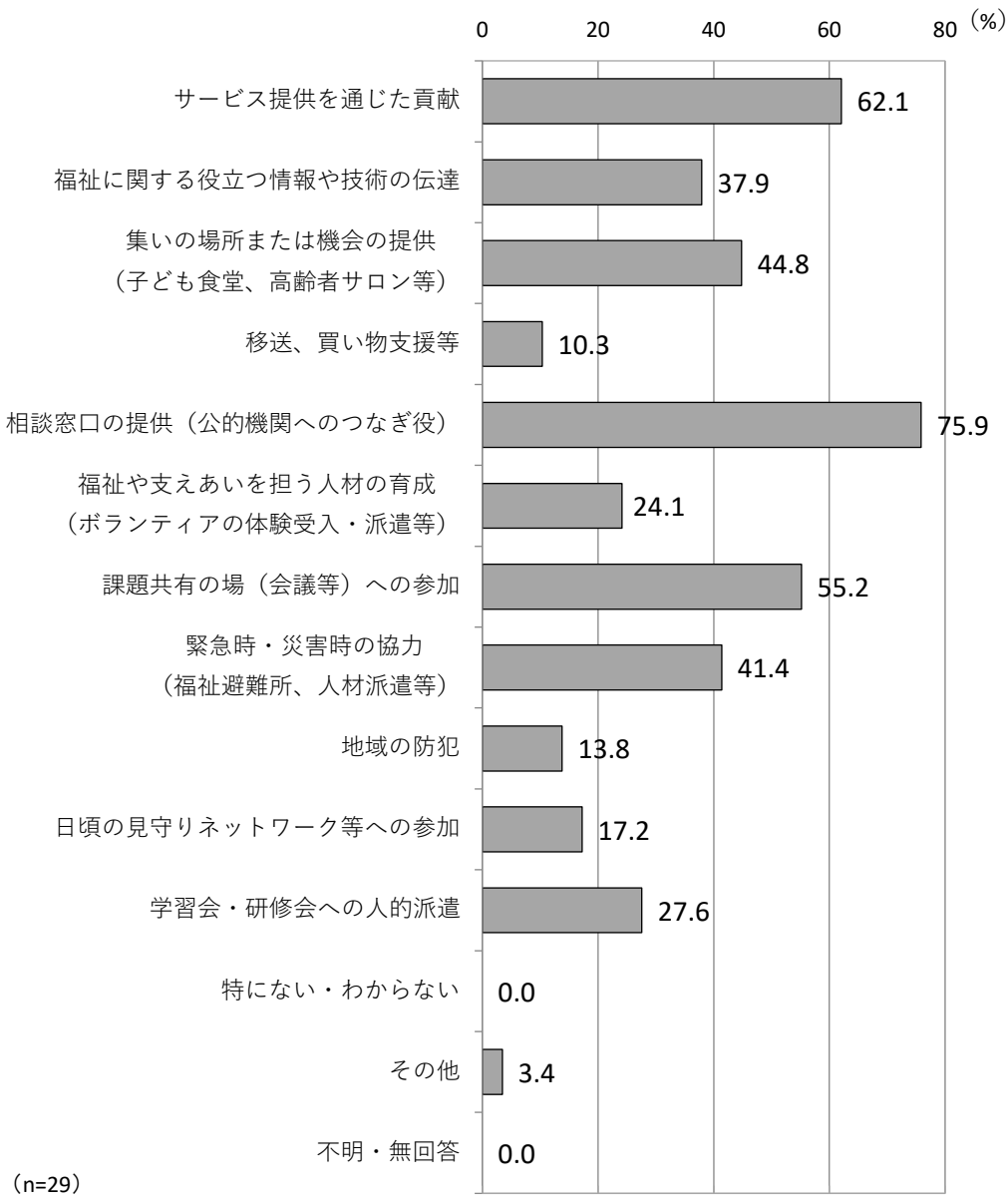
ふだんの業務・活動の中で感じる地域の課題や問題点について、「交通手段がなく、通院や買い物など外出に困っている人が多い」が51.7%と最も高く、次いで「地域のことに興味のない人が多い」、「災害発生時の避難に不安を感じる」がともに34.5%、「身近に相談できる人や場所がない」、「地域の役員などのなり手がいない」、「地域から孤立している人がいる」、「誰にも相談できず、支援を受けられていない人がいる」がともに31.0%となっています。

前回調査と比較して、「交通手段がなく、通院や買い物など外出に困っている人が多い」が15ポイント以上高くなっています。



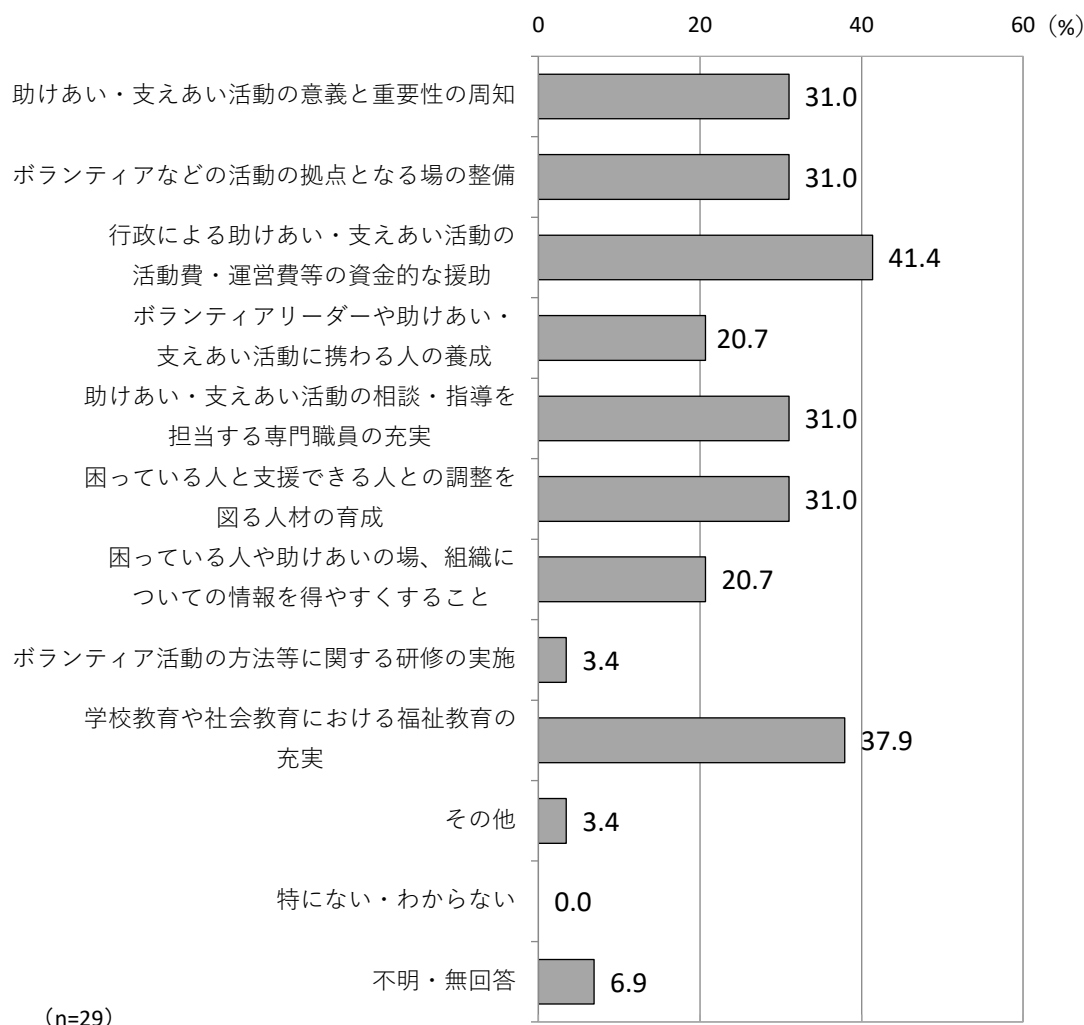
問10 今後、事業所として支援対象者だけでなく地域に対してできることは何かありますか。  
(〇はいくつでも)

今後地域に対して事業所としてできることについて、「相談窓口の提供（公的機関へのつなぎ役）」が75.9%と最も高く、次いで「サービス提供を通じた貢献」が62.1%、「課題共有の場（会議等）への参加」が55.2%となっています。



問 1 1 地域における助け合い・支えあい活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

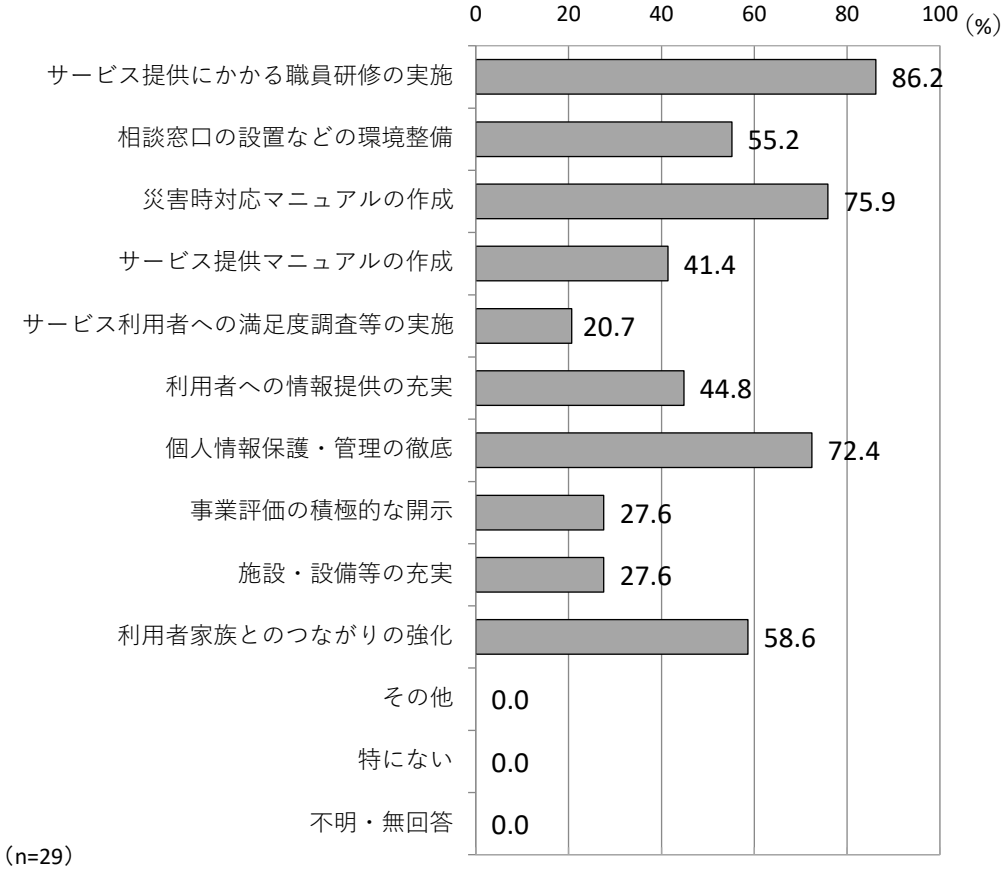
地域における助け合い・支えあい活動を活発にするために重要だと思ことについて、「行政による助けあい・支えあい活動の活動費・運営費等の資金的な援助」が41.4%と最も高く、次いで「学校教育や社会教育における福祉教育の充実」が37.9%、「助けあい・支えあい活動の意義と重要性の周知」、「ボランティアなどの活動の拠点となる場の整備」、「助けあい・支えあい活動の相談・指導を担当する専門職員の充実」、「困っている人と支援できる人との調整を図る人材の育成」がともに31.0%となっています。



### 3. 活動について

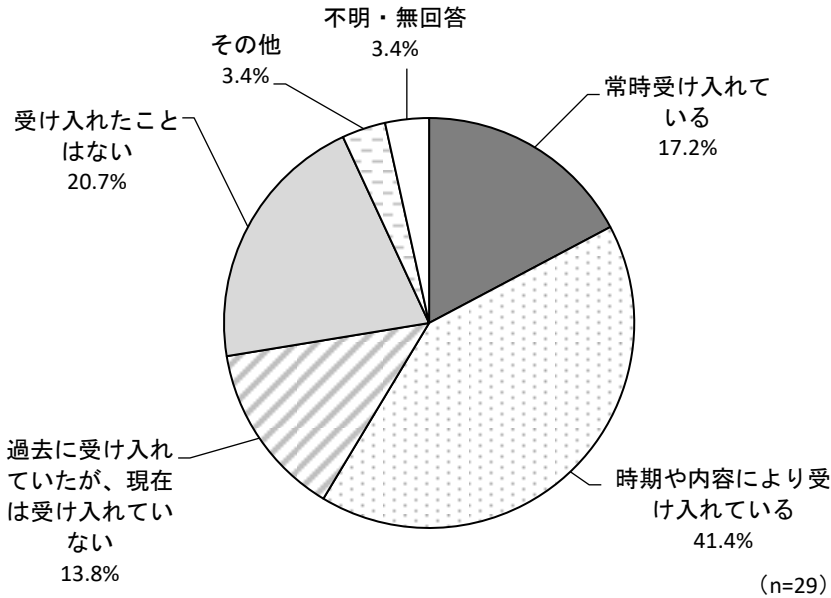
問 1 2 貴事業所において、ふだんの業務でサービスの質の向上のために取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

ふだんの業務でサービスの質の向上のために取り組んでいることについて、「サービス提供にかかる職員研修の実施」が86.2%と最も高く、次いで「災害時対応マニュアルの作成」が75.9%、「個人情報保護・管理の徹底」が72.4%となっています。



問 1 3 貴事業所において、ふだんの業務で湖南省内の団体や住民によるボランティアの受け入れを行っていますか。(○は1つ)

ふだんの業務で湖南省内の団体や住民によるボランティアの受け入れを行っているかについて、「時期や内容により受け入れている」が 41.4%と最も高く、次いで「受け入れたことはない」が 20.7%、「常時受け入れている」が 17.2%となっています。



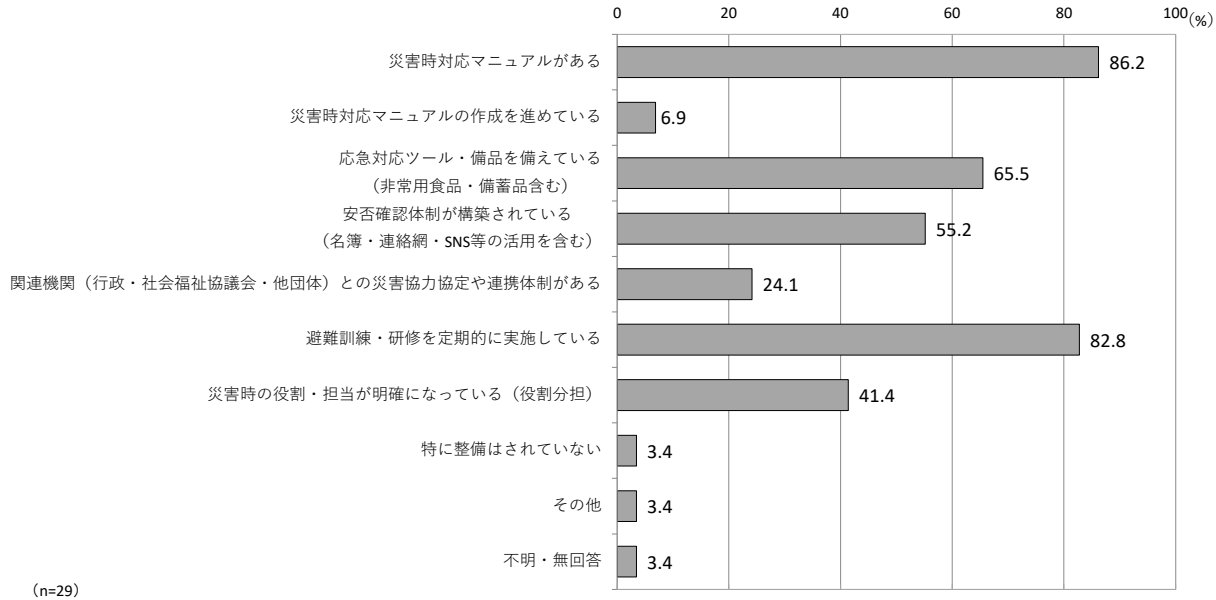
<問13で「常時受け入れている」または「時期や内容により受け入れている」と回答された方>

問14 ボランティアによる具体的な活動内容を教えてください。(自由記述)

活動内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護事業所の利用者の見守りをさせていただくことで介護員の本来業務がスムーズにできている。また、利用者は施設外の人との交流で楽しめている。</li> <li>● 事業所やサロンに市のボランティア協会の方や有志による各種演奏で利用者やサロン参加者が楽しんでいる。</li> </ul>
● 歌やマジック等のレクリエーションボランティア
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行事に行って下さり歌やおどりを利用者とのしんでもらってます。</li> <li>● つどいカフェではボランティアさんが対応して下さってます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティアセンターを通じてイベント系の受入れ</li> <li>● 民生児童委員による清掃活動</li> <li>● 個人ボランティアによるウエス切り</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゴージャカーテン</li> <li>● イベント時の出し物依頼</li> </ul>
● 事業所内のレクリエーションの提供
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 花壇の整備</li> <li>● 空中栽培への協力</li> <li>● ボランティアセンターさんからの派遣</li> </ul>
● 出前講座
● レクリエーションの提供
● イベント（バザーなど）の時の協力
● イベント出店への協力
<ul style="list-style-type: none"> <li>● （保育）近隣の中学校、高校の職業体験の場としてボランティアの受入れをしている。</li> <li>● （介護）湖南省で活動しているボランティア団体の方が訪問して下さっている。学生ボランティアの受入れ募集を行っている。</li> </ul>
● 子どもたちとの放課後の生活支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作業への参加</li> <li>● 敷地内の清掃</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大型紙芝居（かぐや姫）に来所して出前ショウ</li> <li>● マジッククラブに来所して出前ショウ</li> <li>● よし笛コンサートに来所して出前ショウ</li> </ul>
● 地域からの受入イライは基本的に受け入れている。
● 行事への参加依頼（紙芝居など）

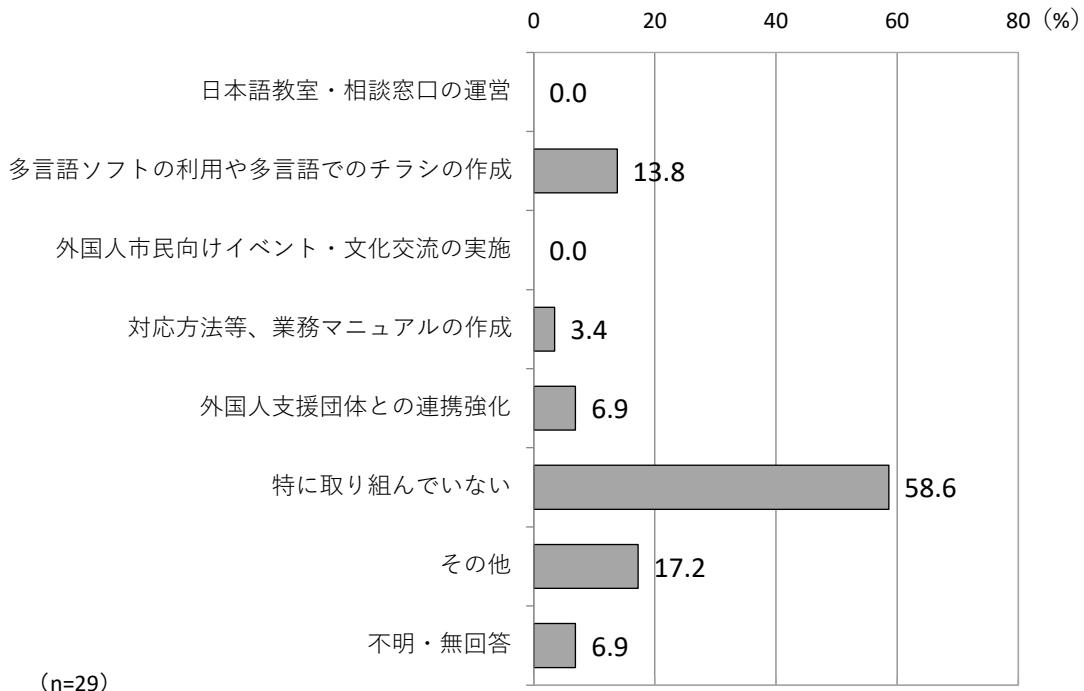
**問15 災害発生時、あなたの組織における体制はどの程度整備されていますか。(〇はいくつでも)**

災害発生時、組織における体制がどの程度整備されているかについて、「災害時対応マニュアルがある」が86.2%と最も高く、次いで「避難訓練・研修を定期的実施している」が82.8%、「応急対応ツール・備品を備えている（非常用食品・備蓄品含む）」が65.5%となっています。



問 1 6 外国人住民向けの支援や交流を行っていますか？（〇はいくつでも）

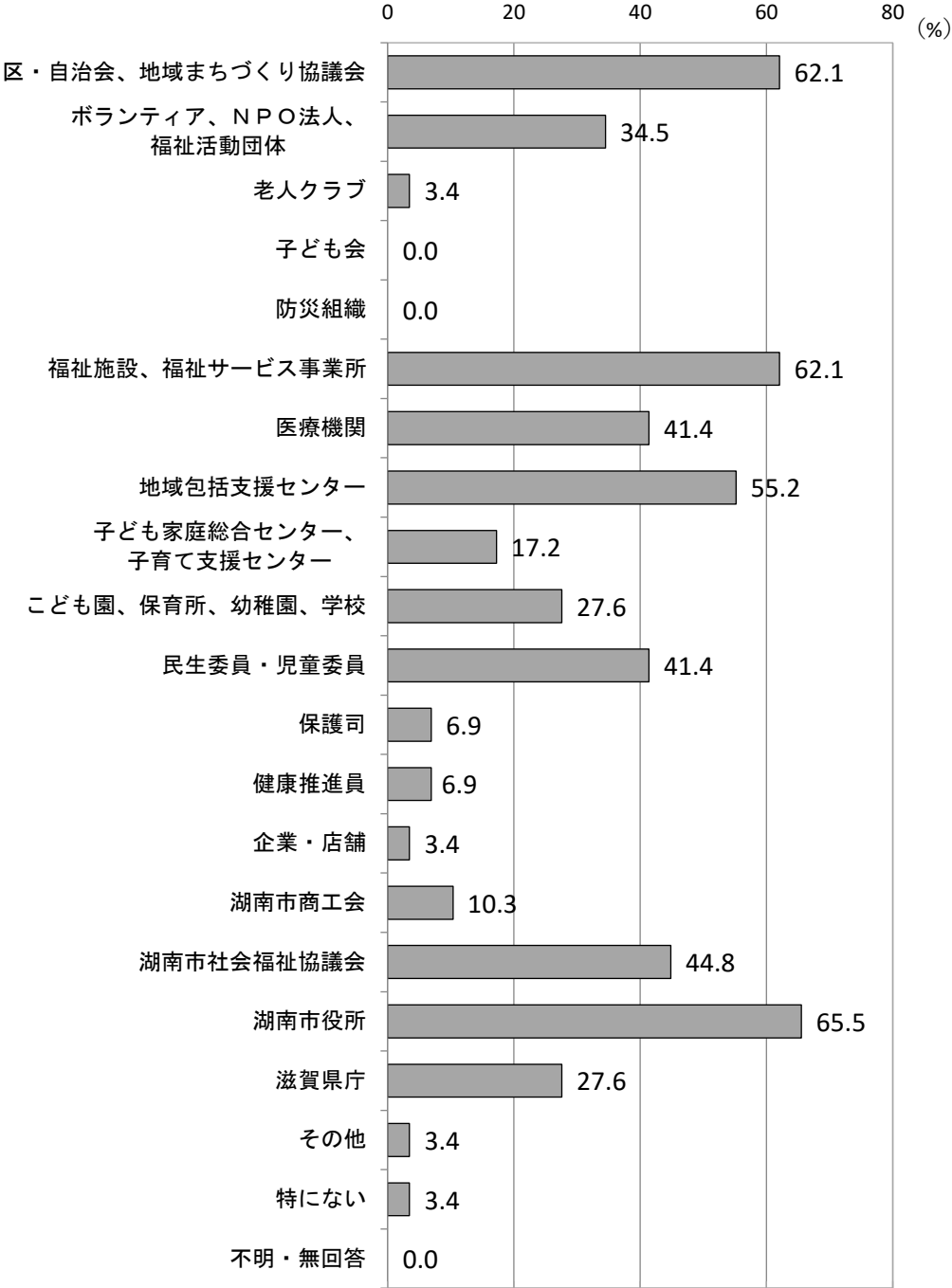
外国人住民向けの支援や交流について、「特に取り組んでいない」が 58.6%と最も高く、次いで「その他」が 17.2%、「多言語ソフトの利用や多言語でのチラシの作成」が 13.8%となっています。



その他回答
● 法人が取り込んでいます
● 近隣に住む外国人家庭との交流
● 雇用している外国人スタッフの家族との交流
● 外国籍保護者交流会
● 通訳の配置
● 通訳職員の配置

問17 地域での活動の際に、どのような組織・団体などと連携して活動されていますか。  
(〇はいくつでも)

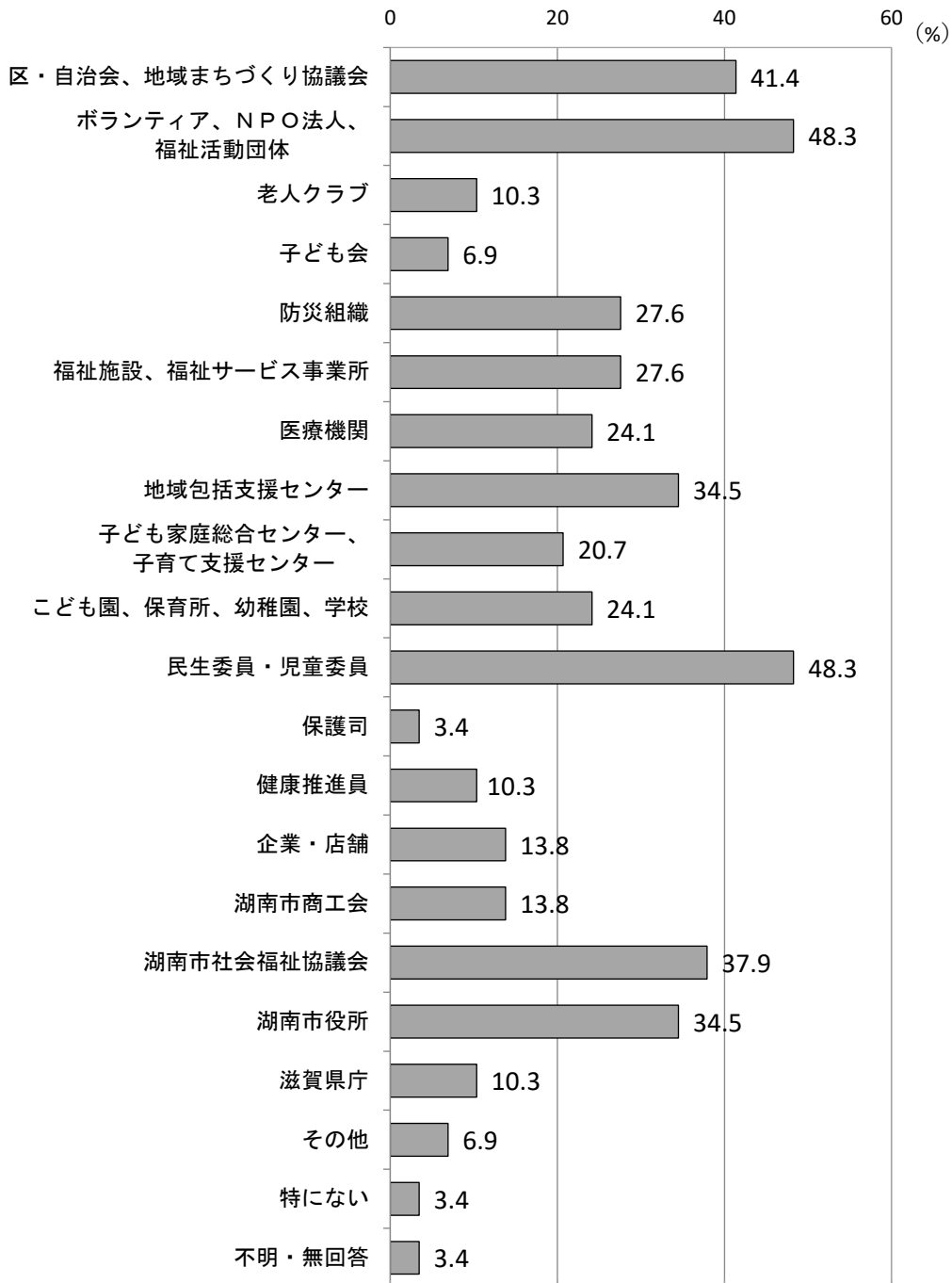
地域での活動の際に連携している組織・団体について、「湖南省役所」が65.5%と最も高く、次いで「区・自治会、地域まちづくり協議会」、「福祉施設・福祉サービス事業所」がともに62.1%、「地域包括支援センター」が55.2%となっています。



(n=29)

問18 今後、地域での活動を行う際に、連携したい組織・団体などがありますか。  
(〇はいくつでも)

今後地域での活動を行う際に連携したい組織・団体について、「ボランティア、NPO法人、福祉活動団体」、「民生委員・児童委員」がともに48.3%と最も高く、次いで「区・自治会、地域まちづくり協議会」が41.4%、「湖南省社会福祉協議会」が37.9%となっています。



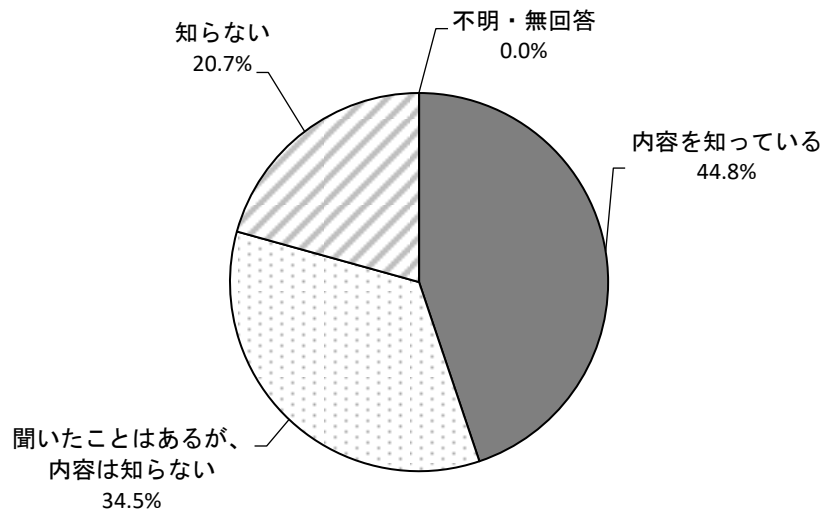
(n=29)

その他回答

- 外国人支援団体
- 特別支援学校

問 19 湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画について知っていますか。  
(○はいくつでも)

湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画について、「内容を知っている」が44.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が34.5%、「知らない」が20.7%となっています。

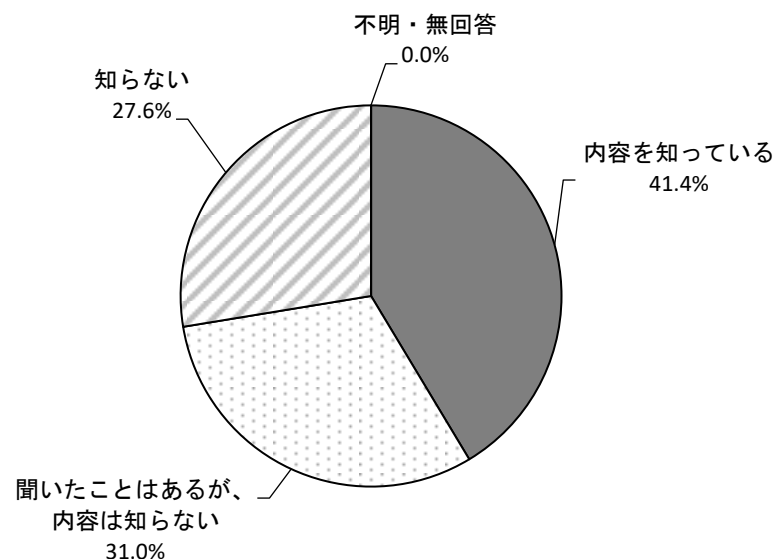


(n=29)

問 20 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援※体制整備事業について知っていますか。(○はいくつでも)

※重層的支援：年齢や属性にかかわらず、生活上の困難を抱えるすべての人に対し、分野横断的かつ包括的に支援を行う考え方。各分野の支援をつなぎ、地域全体で誰もが安心して暮らし続けられる体制の構築をめざすものです。

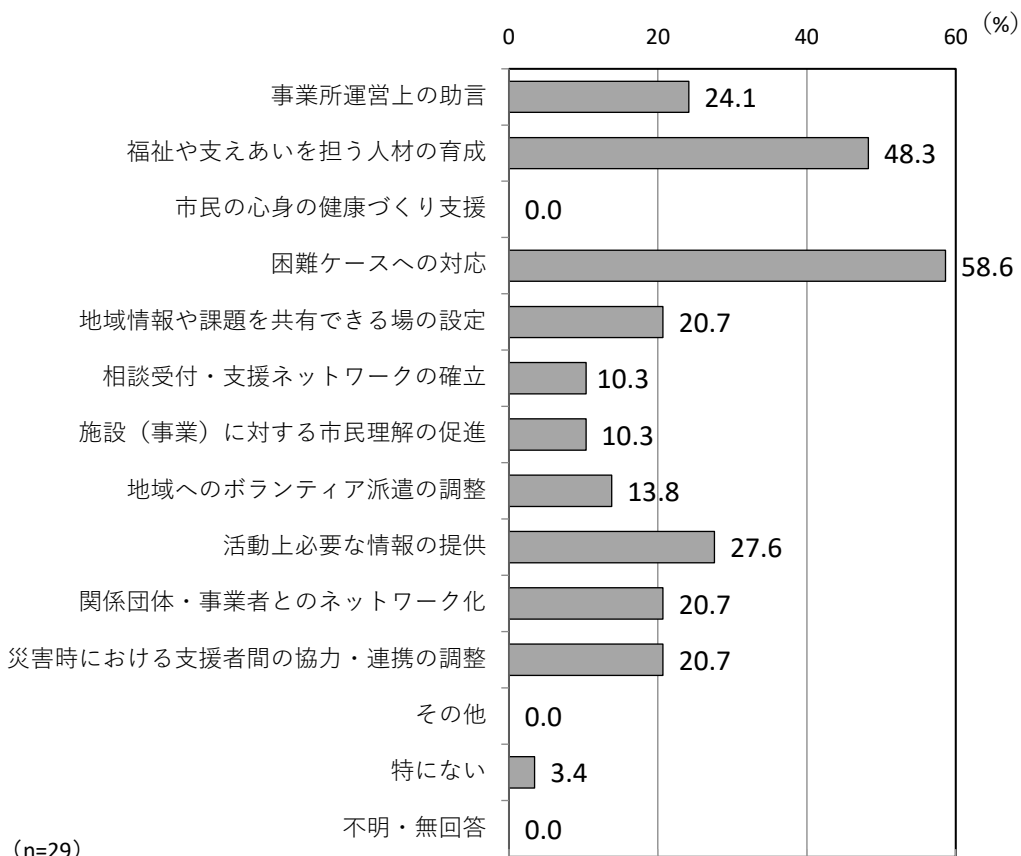
地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援体制整備事業について、「内容を知っている」が41.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が31.0%、「知らない」が27.6%となっています。



(n=29)

問 2 1 貴事業所が地域で活動する中で、市や社会福祉協議会に期待することは何ですか。  
(〇は3つまで)

地域で活動する中で市や社会福祉協議会に期待することについて、「困難ケースへの対応」が 58.6%と最も高く、次いで「福祉や支えあいを担う人材の育成」が 48.3%、「活動上必要な情報の提供」が 27.6%となっています。



## 4. 自由記述

その他、地域福祉の推進について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

分野	自由回答
業務上の課題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①特定技能制度等を活用した外国人材は今後も増えていきます。日本人の採用が非常に厳しく、若手の労働意欲の低下も社会にとって大きな課題です。そのため、外国人材に頼らざるを得ないのですが、地域での住いの確保と法人の費用負担はとても大変です。他の市町では家賃補助をしている所もあります。湖南省でも是非、助成化を検討下さい。</li> <li>● ②美松苑では虐待ケース、低所得者を受け入れることが他施設に比べて多いです。その分、利用料を回収できないケースも増えています。行政としてしっかりクライアントの将来のビジョンを見据えた支援をお願いします。</li> </ul>
連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢福祉課が見えて来て、相談や困難事れいで話し合う場や助けてほしい、訪問介護との連携が無く…話し合いの場を増やしてほしい。</li> <li>● 提出が遅れて申し訳ありません。福祉・教育・行政…etcいろいろな方に個々の課題があり丁寧に解決するためにはやはり連携が大切であると感じることが多いです。</li> </ul>
地域の支えあいについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域によって福祉の関心度が違うように感じます。</li> <li>● 情報があまり入ってこないため、誰が、近隣で困っておられるのかわからない。</li> </ul> <p>事業所としては</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ご近所さんにちょっとした用事、仕事を頼む姿勢</li> <li>● 近隣の人たちへのちょっとした応援（挨拶をしたり、声かけ、書類の説明や記入、買い物、事業所の送迎時に近隣の人が乗り合う等）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 若者の力を生かす取組をすすめてほしい。</li> <li>● 地域に貢献したいという若者の力を生かしていないと感じる。一方で支援を必要とする若者への支援も十分に届いていないのではないかと。学校卒業後の支援が不十分だと感じる。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後とも学童保育所へのご理解とご指導をお願い申し上げます。</li> <li>● 日頃の御尽力に敬意を表します。医療機関ではありますが、医療福祉生協の附属にもなりますので連携して取り組める事も多々あろうかと思えます。出来る事はそれなりにあるかと思っておりますので協力して地域を守っていきたいと思えます。</li> </ul>

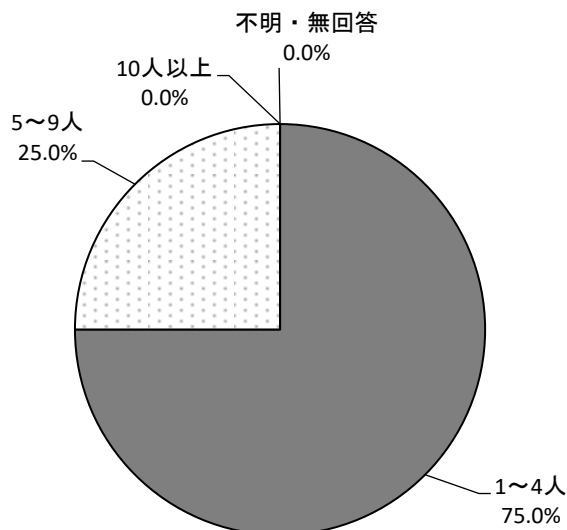
## VII 相談支援機関アンケート調査結果

### 1. 組織・体制について

問1 差し支えない範囲で、組織・体制について教えてください。

#### 【従業員数】

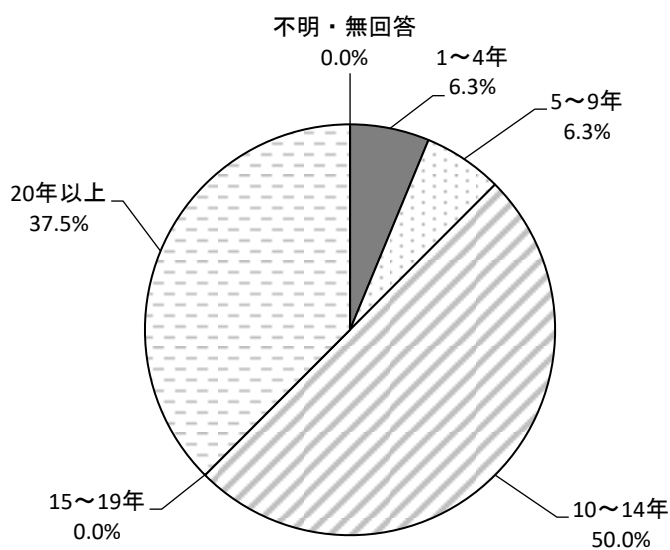
従業員数について、「1～4人」が75.0%と最も高く、次いで「5～9人」が25.0%となっています。



(n=16)

#### 【運営年数】

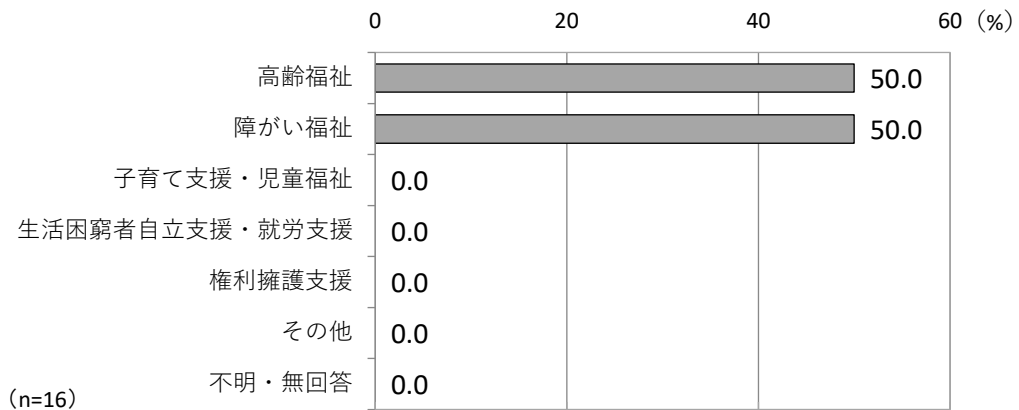
運営年数について、「10～14年」が50.0%と最も高く、次いで「20年以上」が37.5%、「1～4年」、「5～9年」がともに6.3%となっています。



(n=16)

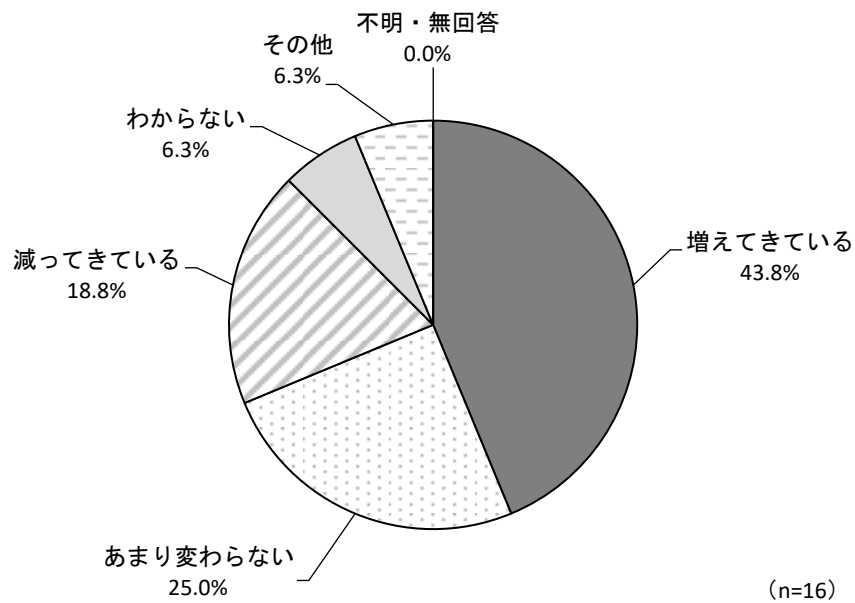
【支援対象分野】（○はいくつでも）

支援対象分野について、「高齢福祉」、「障がい福祉」がともに 50.0%となっています。



問2 最近5年間で、全体的な利用者の増減傾向を教えてください。（○は1つ）

最近5年間で全体的な利用者の増減傾向について、「増えてきている」が 43.8%と最も高く、次いで「あまり変わらない」が 25.0%、「減ってきている」が 18.8%となっています。



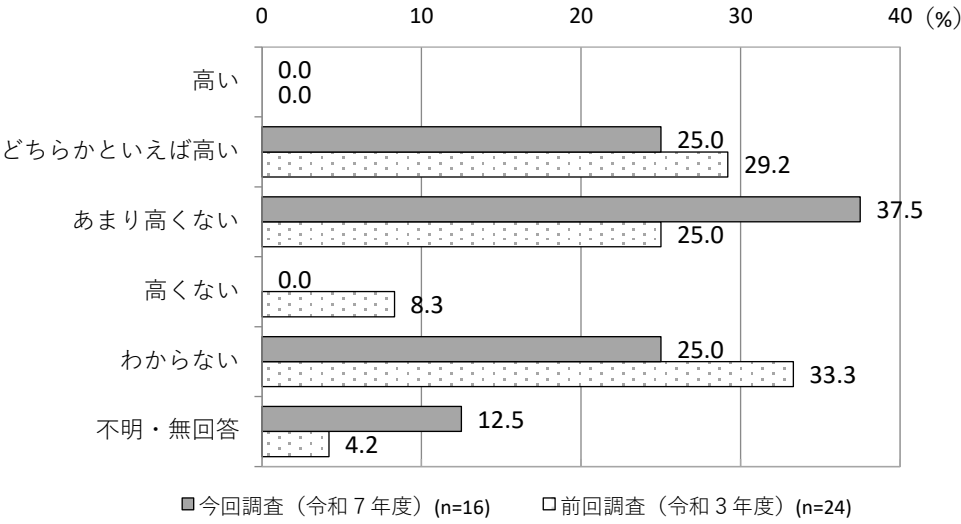
その他回答
● 職員体制による

## 2. 地域について

問3 湖南省における住民相互の助け合いに対する意識は高いと感じますか。(○は1つ)

湖南省における住民相互の助け合いに対する意識について、「あまり高くない」が37.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば高い」、「わからない」がともに25.0%、「不明・無回答」が12.5%となっています。

前回調査と比較して、「あまり高くない」が10ポイント以上高くなっています。



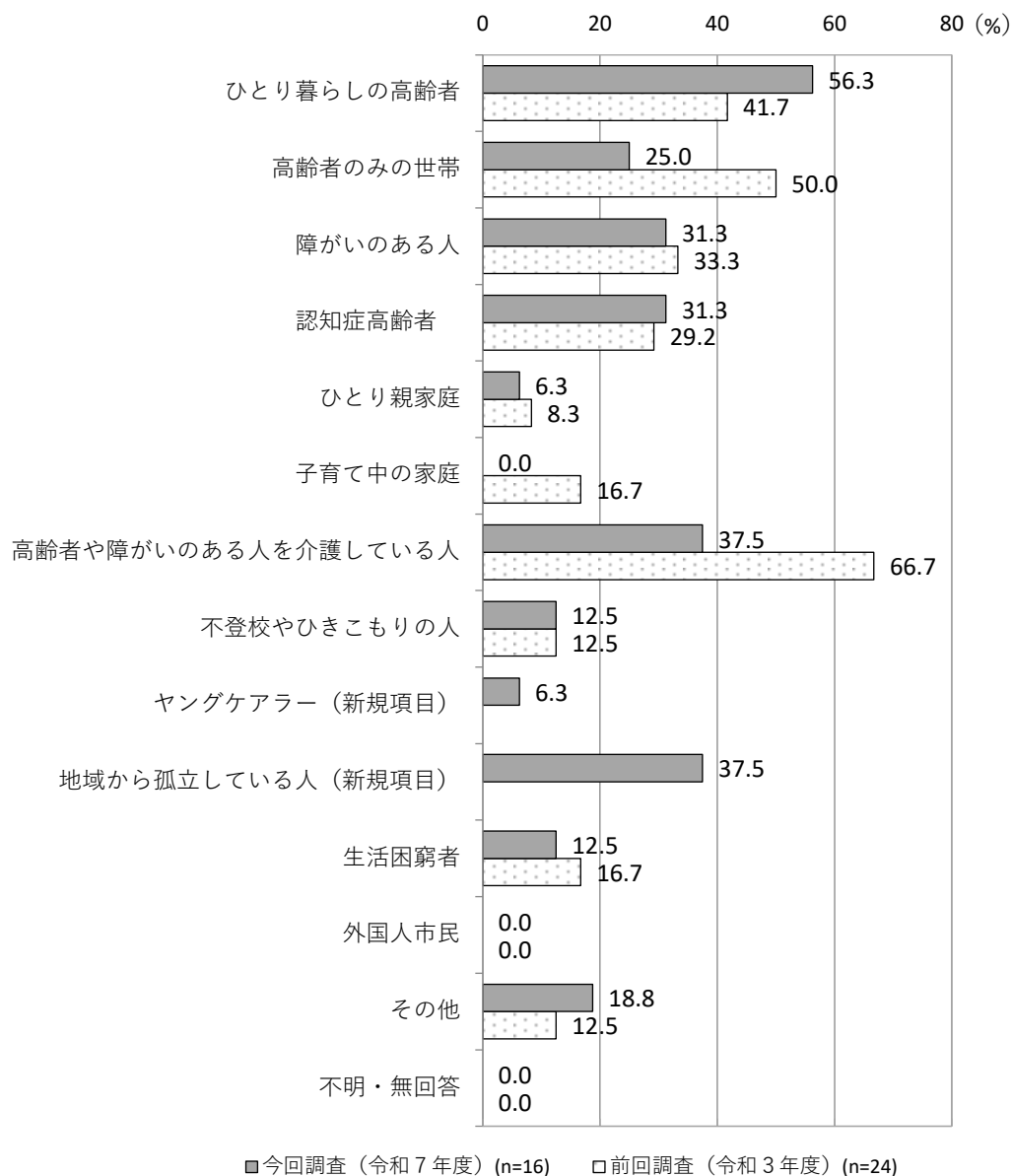
問4 業務の中で、地域と一緒にいることや地域に向けて行っていることはありますか。あれば具体的な内容を教えてください。(自由記述)

地域と一緒にいること・地域に向けて行っていること
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域で行われる行事に、事業所として出店を行い、地域の人達と触れあう機会を作っている。また、事業所の活動を知ってもらう為に通信を2～3ヶ月に一度発行し、約3000件の家に配布している。その通信の中に高齢者向けのお手伝い(有償)をすると広告をしており、今迄多くの人に利用してもらっています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生協組合としての健康づくり活動 (健康チェック→近隣店舗や各地域での祭り、班会)</li> <li>● お祭りの開催</li> <li>● 生協内での健康講座、講師活動</li> <li>● 市町村への請願</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● サロンプログラムで地域のイベントに参加(耐久マラソン等)</li> <li>● サロンにボランティア参加</li> <li>● まちづくり協議会の会議に参加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人権研修などで講師の依頼があれば協力。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法人で開催しているサロンや認知症啓発講座に相談対応できる専門職を配置している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくり協議会参加</li> <li>● 地域カフェの開催</li> <li>● 中学校との地域清掃</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民生児童委員も対象にした研修会の実施(災害時支援など)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第1層地域支えあい推進会議への参加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● お話ボランティア的なコミュニケーションを中心にちょっとしたお手伝いを提供する“虹色の輪”の運営会議に定期的に参加している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者さんがボランティアに見学へ行った</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特にありません</li> </ul>

問5 相談支援の活動を進める中で、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。  
(〇は3つまで)

これから特に支援が必要だと思う対象について、「ひとり暮らしの高齢者」が56.3%と最も高く、次いで「高齢者や障がいのある人を介護している人」、「地域から孤立している人」がともに37.5%、「障がいのある人」、「認知症高齢者」がともに31.3%となっています。

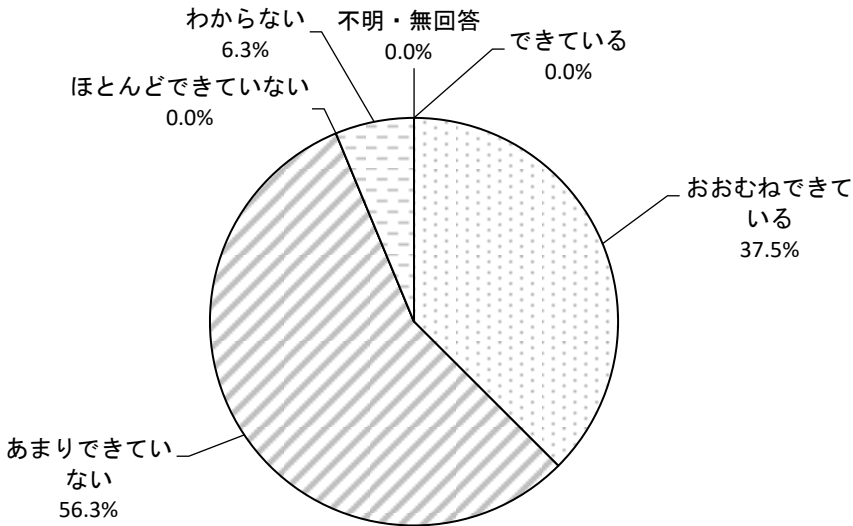
前回調査と比較して、「ひとり暮らしの高齢者」が10ポイント以上高くなっています。



その他回答
● 経済事情を抱える家庭
● 特性をもつ子供とその子を養育する親
● 高齢の親が介護の中心を担っている人

問6 湖南省の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報は住民に周知できていると思いますか。(〇は1つ)

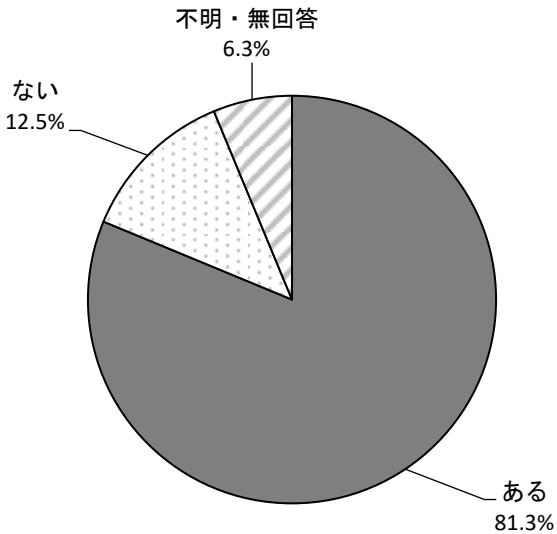
湖南省の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報の周知について、「あまりできていない」が56.3%と最も高く、次いで「おおむねできている」が37.5%、「わからない」が6.3%となっています。



(n=16)

問7 地域の中で、既存の公的な制度や福祉サービスだけでは対応が不十分だと思う福祉課題はありますか。(〇は1つ)

既存の公的な制度や福祉サービスだけでは対応が不十分だと思う地域の福祉課題について、「ある」が81.3%、「ない」が12.5%となっています。



(n=16)

<問7で「ある」と回答された方>

問8 課題の内容とその課題に対してどのような支援が必要だと思いますか。(自由記述)

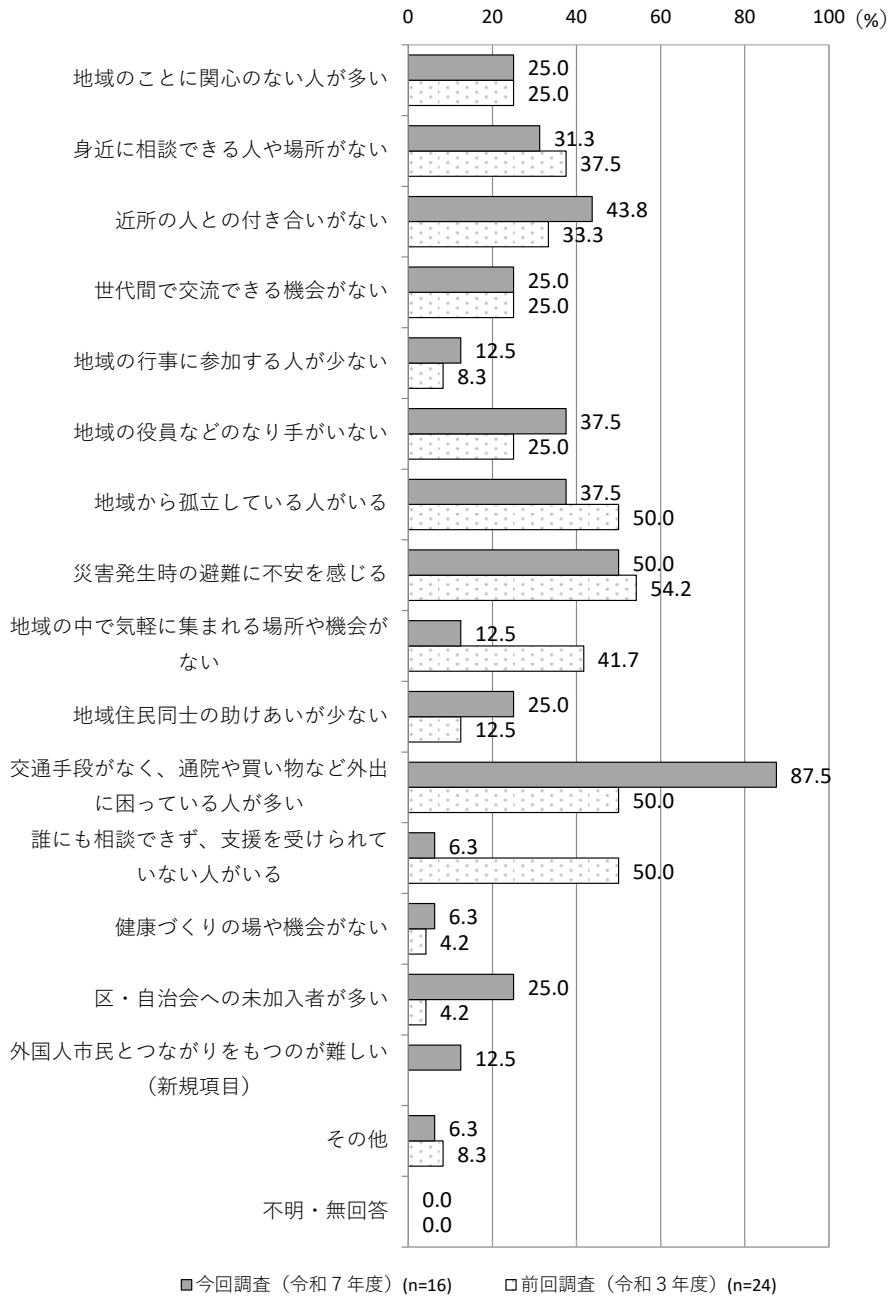
課題	必要な支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引きこもりの障がい者が居る家族、両親と3人暮らし、父親は無関心。母親は子供の言いなり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 母子共に支援をしないと、子供の成長が危ぶまれる。子供さんだけの支援ではなく、家族への支援を考えていかないと偏った支援では誰も幸福感を得られないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不登校生徒の教育機関終了迄の follow 体制</li> <li>● ひきこもり当事者をチームで支える支援体制</li> <li>● 障害者が介護保険に雇用(移行)していく流れ(システム化)</li> <li>● 入所施設から退所する方の地域移行</li> <li>● 施設が休日の間の居場所</li> <li>● 交通のアクセスの不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不登校児や養護施設からの支援の継続は現在のケースの中から優良事例などから連携の実行を選出する</li> <li>● ひきこもり支援は「どこかにまかせればいい」といった雰囲気は払拭していく</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通機関が限られており、高齢者や自家用車のない方の外出ができる環境を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (以前あった)相乗りタクシー等、気軽に利用できる輸送手段があると外出しやすくなると考えられる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①路線バスが減便していて、車いすに乗っておられるなど障がいがある方の移動手段がなくなっている。</li> <li>● ②災害時の職員体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①移動支援</li> <li>● ②BCPの作成</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動支援</li> <li>● 災害時支援</li> <li>● 日常の安否確認</li> <li>● 制度のはざまの支援</li> <li>● 生活困窮者支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いずれにしても市が先頭に立ち、早急に考えていく必要がある。そうしないと、少子高齢化社会は乗り越えられない。</li> </ul>
<p>ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 転倒、急な時に発見が遅れる</li> <li>● 通院、服薬管理が困難</li> <li>● 掃除、調理、買い物が困難</li> <li>● 電球交換など「制度の狭間」の問題</li> <li>● 生活リズムの乱れ</li> <li>● 金銭管理ができない</li> <li>● サービス契約の理解が不十分</li> <li>● 詐欺被害リスク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 訪問介護・訪問看護・通所系サービス等を活用した見守り体制の構築</li> <li>● 日常生活の継続と安全確保を目的とした支援</li> <li>● インフォーマルサービスの活用</li> <li>● 社会的孤立の予防</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 独居で身寄りが居ない、交通手段の無い方の買物や、行政、入退院手続等の契約をする人が居ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 代行でやって下さる方、サービス</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軽度知的障害の方のSNS等のネットリテラシーが身につけていないことからトラブルになる、もしくは巻き込まれる可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軽度の知的障害者に対するネットリテラシーに関する研修、啓発</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 支援学級に通わせる保護者に、福祉の情報が広がりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報提供機会を作る。</li> <li>● 特別支援教育コーディネーターの先生のフォロー(先生に入れば保護者にも届くかも?)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害をお持ちの方についての移動(外出)の支援</li> <li>● 地域柄公共交通機関が十分でない。</li> <li>● また障害により利用しづらい方がおられる</li> <li>● 移動支援事業をされている事業所が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タクシー券・バス乗車券等の助成制度はあるがもう少し拡充してほしい。</li> <li>● 移動支援事業の単価(報酬)を上げ事業が参入しやすくなれば良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日中独居の認知症があるけれど介護サービスのお世話になりたくないと思っている高齢者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の見守りの目</li> <li>● 地域の行事に誘い出してくれる近所との関係作り</li> <li>● 徒歩で行ける圏域に集いの場</li> <li>● そこに関わる地域住民にポイント制?で何かしらの特典、報酬制度</li> </ul>

課題	必要な支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受診介助（付き添い者不在、送迎車の課題、搬送時同乗）</li> <li>● 入院・退院時の支援（備品の届け出、入院中の事務手続き）</li> <li>● ひとり暮らし、家族が遠方の方の緊急連絡先や対応する方がいない。</li> <li>● 認知症で症状が強く受け入れ先がない場合。</li> <li>● ケアマネ・シャドワーク全般</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記内容に対して相談や支援が受けられるしくみ作り。 →行政や医療機関へのケアマネ業務の周知、理解を広めてほしいです。「支援したくない」のではなく、出来ずに困っているのはケアマネも同じです。家族がいない、対応出来ないから「ケアマネの仕事！」（又はそのように）と言われるのは残酷です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①障がい福祉サービスの供給量不足（事業所が足りない）</li> <li>● ②福祉人材の不足</li> <li>● ③潜在的ニーズの掘り起こしができていない</li> <li>● ④災害時支援（福祉避難所が機能するのか？）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①事業者の誘致</li> <li>● ②事業所に対する運営に関する補助</li> <li>● ③地域の見守り体制の強化。「気になる」家庭の訪問活動</li> <li>● ④地域住民を巻き込んだ研修会、訓練の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存の公的な制度や福祉サービスはある程度はあるものの人材不足で余力がなく、十分に機能していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉従事者の確保</li> </ul>

**問9 ふだんの中で感じる地域の課題や問題点はどのようなことですか。(〇は5つまで)**

ふだんの中で感じる地域の課題や問題点について、「交通手段がなく、通院や買い物など外出に困っている人が多い」が87.5%と最も高く、次いで「災害発生時の避難に不安を感じる」が50.0%、「近所の人との付き合いがない」が43.8%となっています。

前回調査と比較して、「交通手段がなく、通院や買い物など外出に困っている人が多い」が35ポイント以上高くなっています。

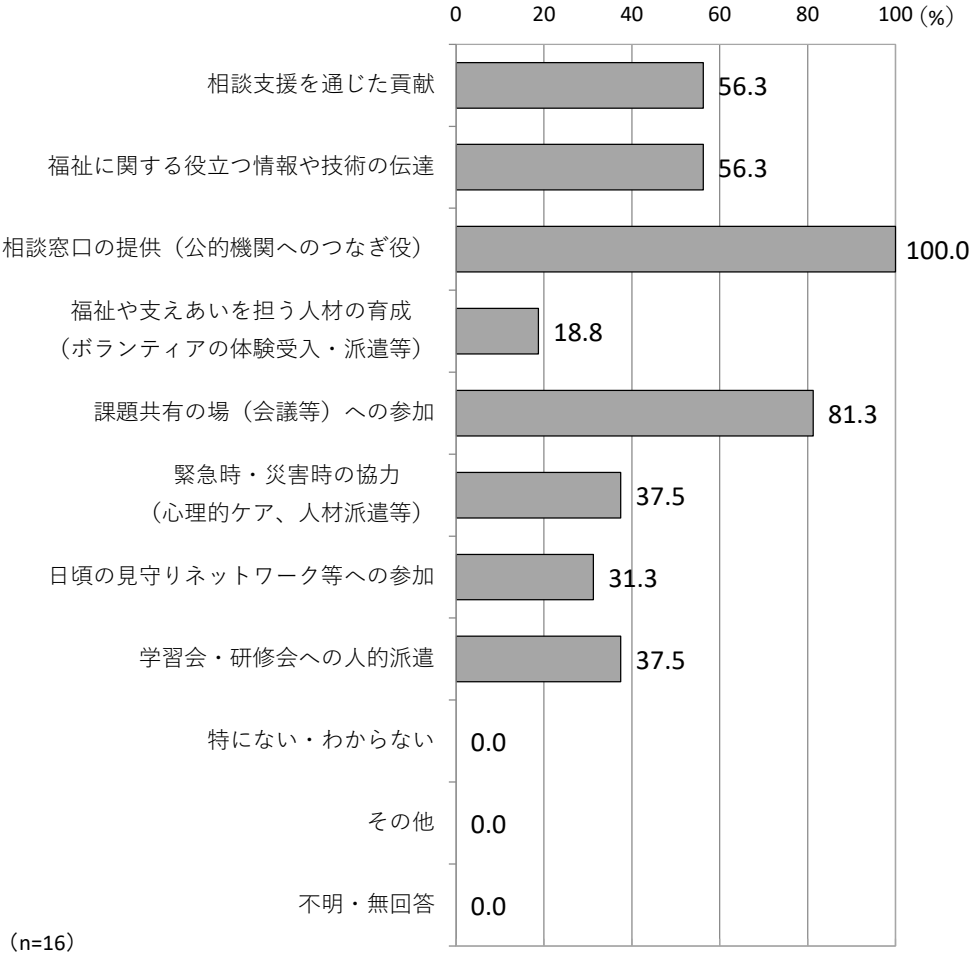


**その他回答**

- 地域より関心度が低い

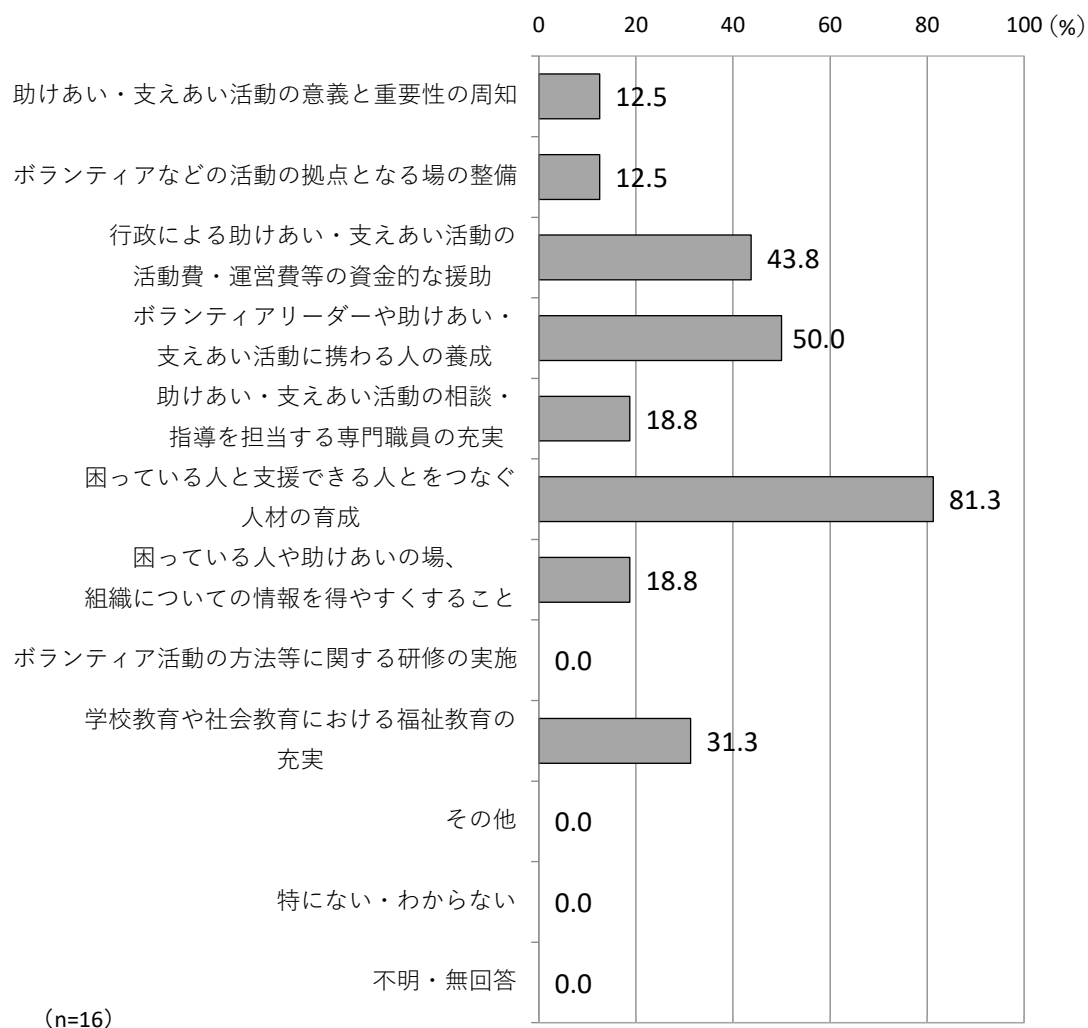
問10 今後、相談支援機関として支援対象者だけでなく地域に対してできることは何かありますか。(あてはまるものすべてに○)

今後、相談支援機関として支援対象者だけでなく地域に対してできることについて、「相談窓口の提供（公的機関へのつなぎ役）」が100.0%と最も高く、次いで「課題共有の場（会議等）への参加」が81.3%、「相談支援を通じた貢献」、「福祉に関する役立つ情報や技術の伝達」がともに56.3%となっています。



問 1 1 地域における助け合い・支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

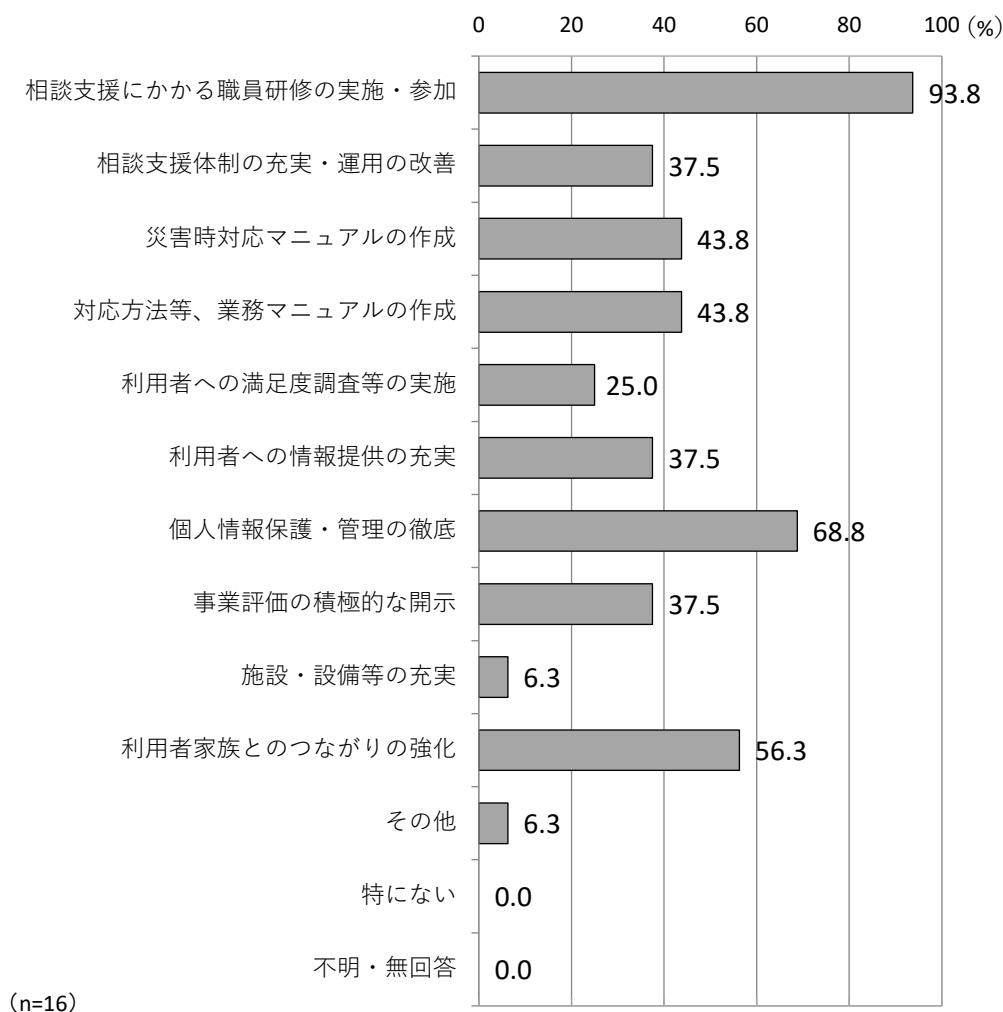
地域における助け合い・支え合い活動を活発にするために重要だと思ことについて、「困っている人と支援できる人とをつなぐ人材の育成」が81.3%と最も高く、次いで「ボランティアリーダーや助けあい・支えあい活動に携わる人の養成」が50.0%、「行政による助けあい・支えあい活動の活動費・運営費等の資金的な援助」が43.8%となっています。



### 3. 活動について

問 1 2 ふだんの業務で相談支援の質の向上のために取り組んでいることはありますか。  
(〇はいくつでも)

ふだんの業務で相談支援の質の向上のために取り組んでいることについて、「相談支援にかかる職員研修の実施・参加」が93.8%と最も高く、次いで「個人情報保護・管理の徹底」が68.8%、「利用者家族とのつながりの強化」が56.3%となっています。

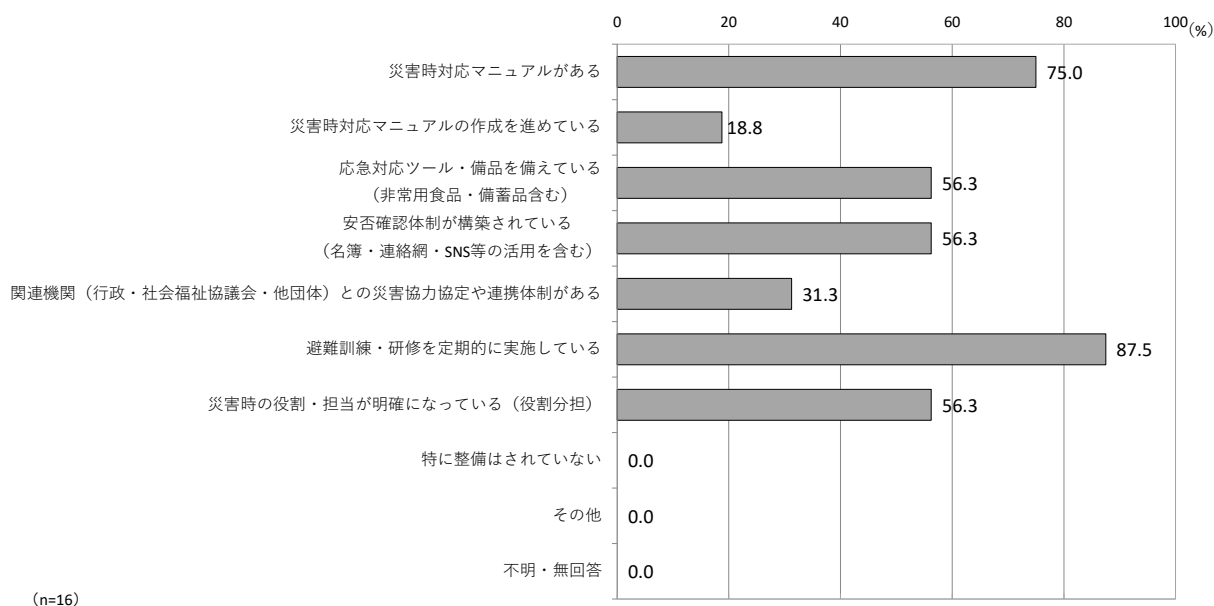


その他回答

● 人材育成、フォローアップ

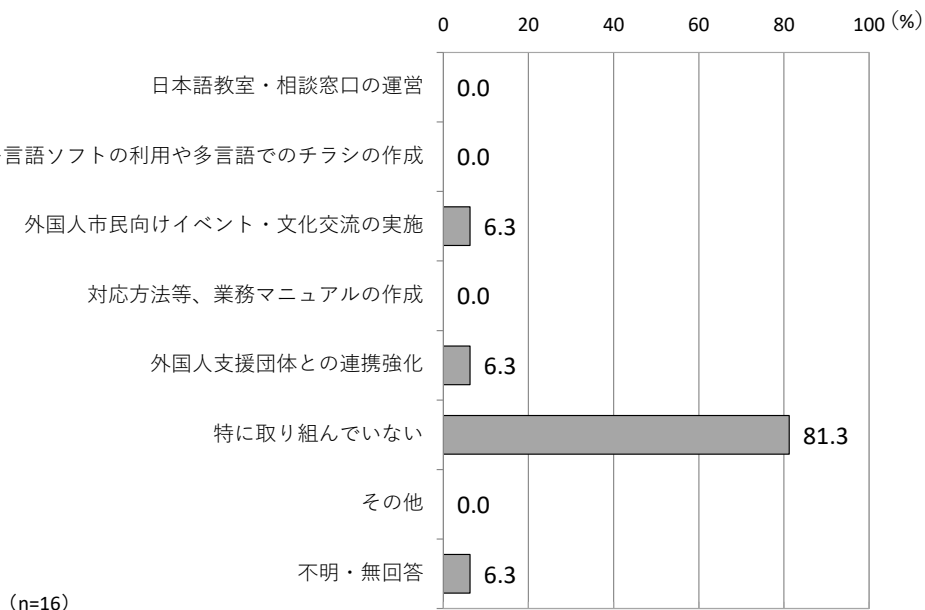
問13 災害発生時、あなたの組織における体制はどの程度整備されていますか。  
(〇はいくつでも)

災害発生時、組織における体制がどの程度整備されているかについて、「避難訓練・研修を定期的に実施している」が87.5%と最も高く、次いで「災害時対応マニュアルがある」が75.0%、「応急対応ツール・備品を備えている（非常用食品・備蓄品含む）」、「安否確認体制が構築されている（名簿・連絡網・SNS等の活用を含む）」、「災害時の役割・担当が明確になっている（役割分担）」がともに56.3%となっています。



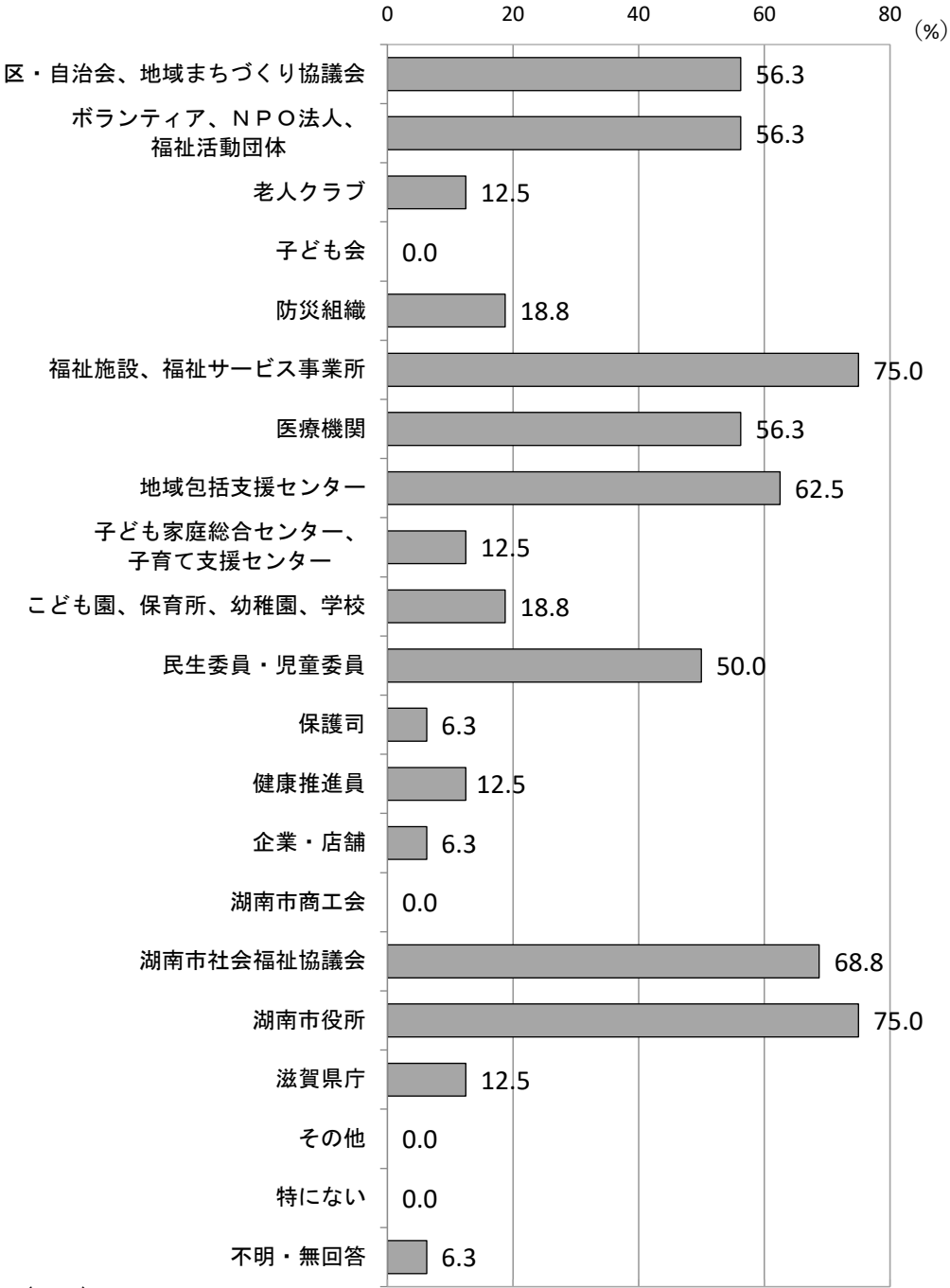
問14 外国人市民向けの支援や交流を行っていますか？ (〇はいくつでも)

外国人市民向けの支援や交流を行っているかについて、「特に取り組んでいない」が81.3%と最も高く、次いで「外国人市民向けイベント・文化交流の実施」、「外国人支援団体との連携強化」、「不明・無回答」がともに6.3%となっています。



問15 地域での活動の際に、どのような組織・団体などと連携して活動されていますか。  
(〇はいくつでも)

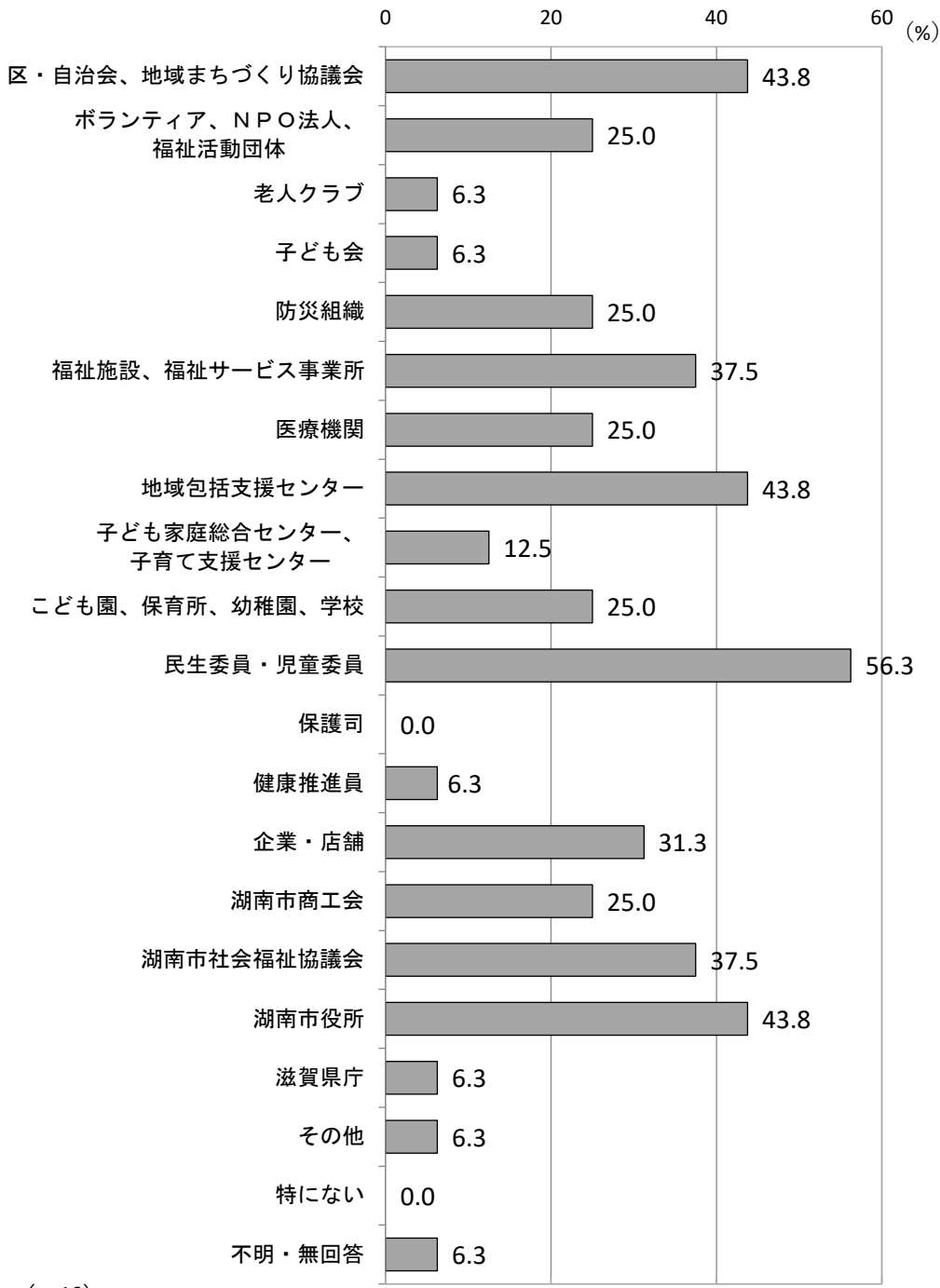
地域での活動の際に連携している組織・団体について、「福祉施設、福祉サービス事業所」、「湖南省役所」がともに75.0%と最も高く、次いで「湖南省社会福祉協議会」が68.8%、「地域包括支援センター」が62.5%となっています。



(n=16)

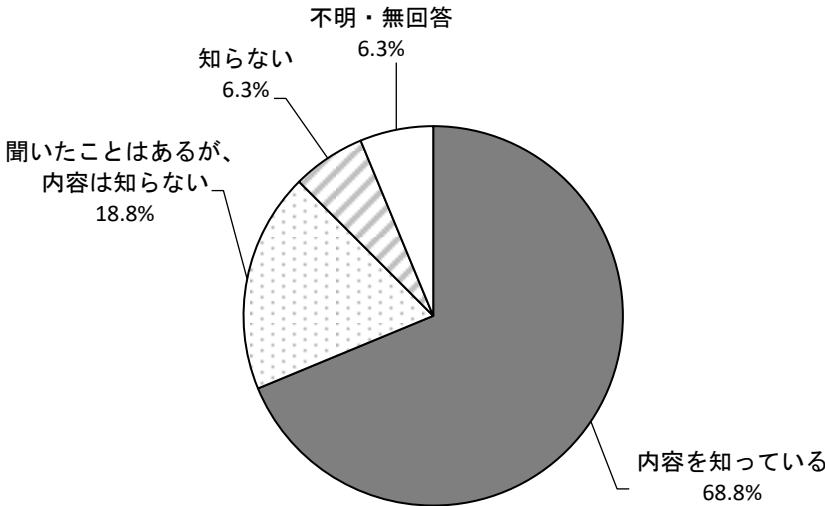
問16 今後、地域での活動を行う際に、連携したい組織・団体などはありますか。  
(〇はいくつでも)

今後地域での活動を行う際に連携したい組織・団体について、「民生委員・児童委員」が56.3%と最も高く、次いで「区・自治会、地域まちづくり協議会」、「地域包括支援センター」、「湖南省役所」がともに43.8%、「福祉施設、福祉サービス事業所」、「湖南省社会福祉協議会」がともに37.5%となっています。



問 17 湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画について知っていますか。(○は1つ)

湖南省第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画について知っているかについて、「内容を知っている」が68.8%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない」が18.8%、「知らない」、「不明・無回答」がともに6.3%となっています。

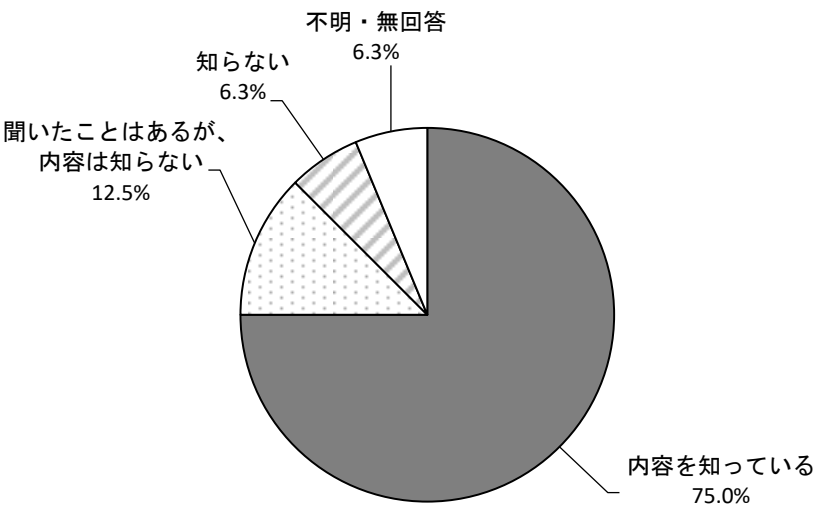


(n=16)

問 18 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援※体制整備事業について知っていますか。(○はいくつでも)

※重層的支援：年齢や属性にかかわらず、生活上の困難を抱えるすべての人に対し、分野横断的かつ包括的に支援を行う考え方。各分野の支援をつなぎ、地域全体で誰もが安心して暮らし続けられる体制の構築をめざすものです。

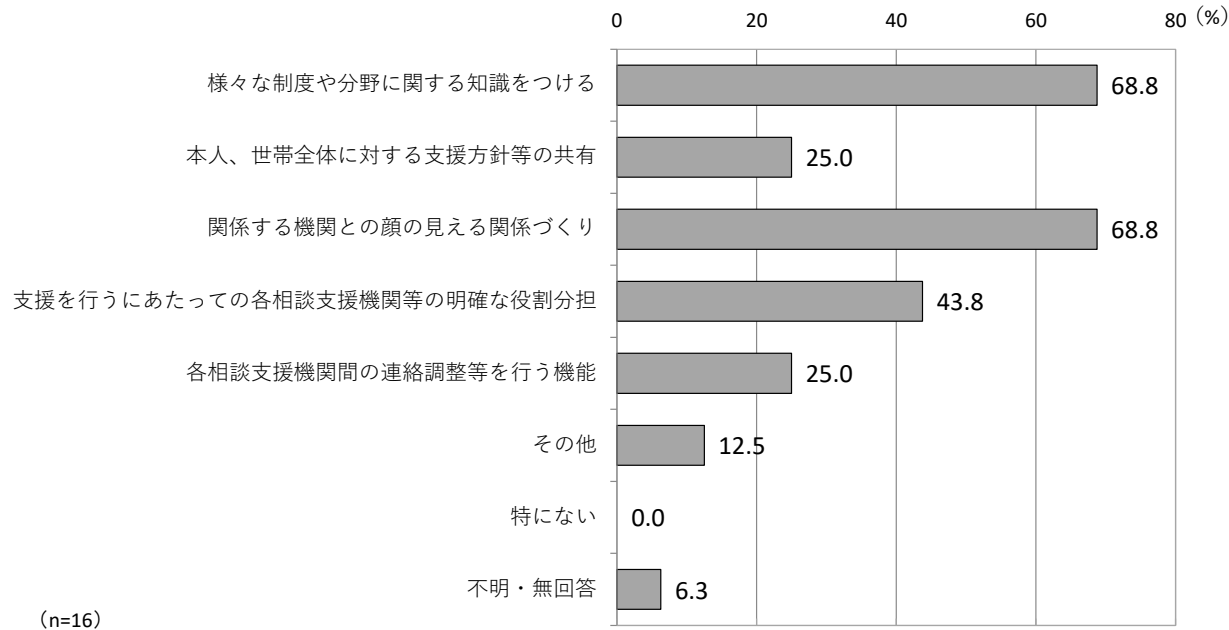
地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援体制整備事業について知っているかについて、「内容を知っている」が75.0%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない」が12.5%、「知らない」、「不明・無回答」がともに6.3%となっています。



(n=16)

**問19 断らない相談や包括的な相談支援を実施するために、今後強化が必要と思われる機能や取組は何ですか。(〇は3つまで)**

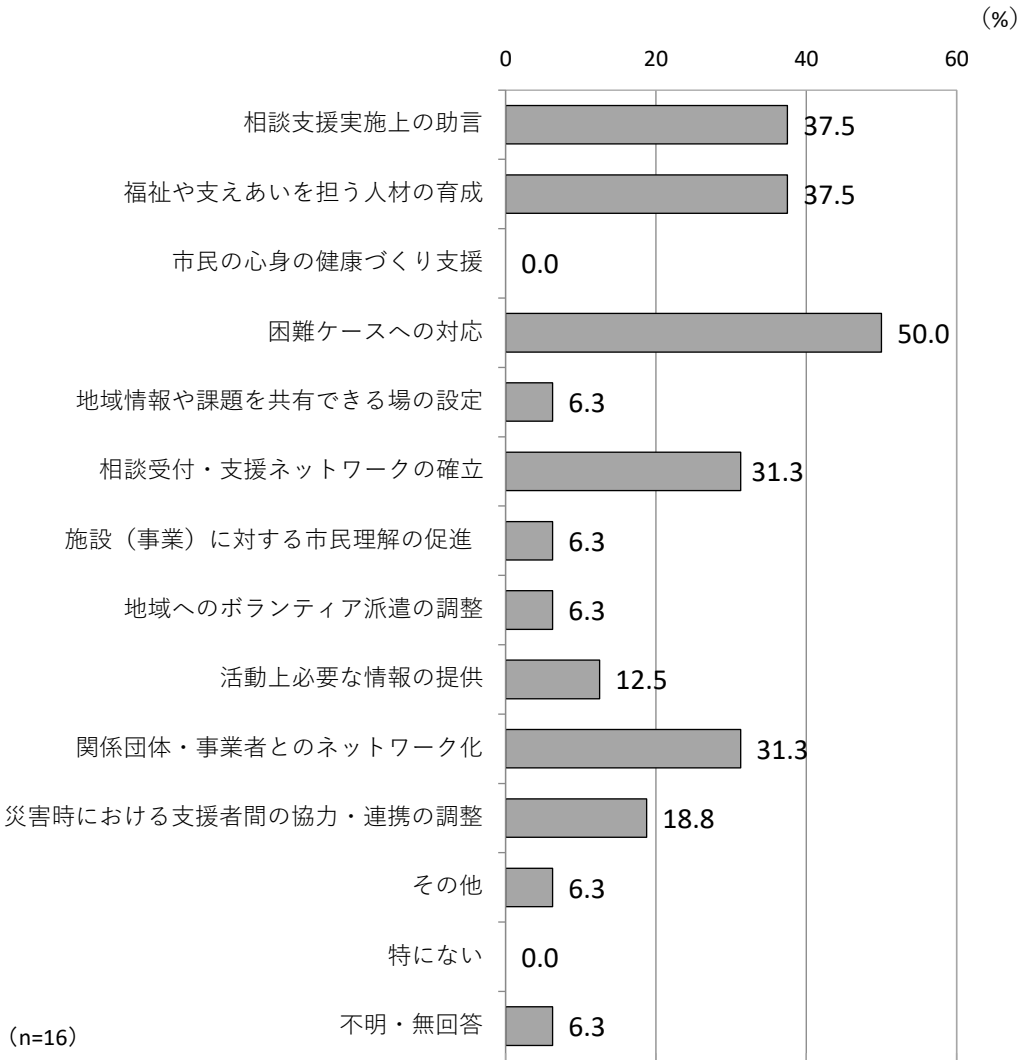
断らない相談や包括的な相談支援を実施するために今後強化が必要と思われる機能や取組について、「様々な制度や分野に関する知識をつける」、「関係する機関との顔の見える関係づくり」がともに68.8%と最も高く、次いで「支援を行うにあたっての各相談支援機関等の明確な役割分担」が43.8%、「本人、世帯全体に対する支援方針等の共有」、「各相談支援機関間の連絡調整等を行う機能」がともに25.0%となっています。



その他回答	
●	人材確保
●	インシアチブ。リーダーシップをとる機関の設置

**問20 地域で活動する中で、市や社会福祉協議会に期待することは何ですか。(〇は3つまで)**

地域で活動する中で市や社会福祉協議会に期待することについて、「困難ケースへの対応」が50.0%と最も高く、次いで「相談支援実施上の助言」、「福祉や支えあいを担う人材の育成」がともに37.5%、「相談受付・支援ネットワークの確立」、「関係団体・事業者とのネットワーク化」がともに31.3%となっています。



その他回答
● 身寄りのない方への対応

## 4. 自由記述

その他、地域福祉の推進について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

分野	自由回答
業務上の課題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インフォーマルなサービスはあっても事業所自体が知り得てないので、利用者さんにお手伝い出来ない難点があり。</li> <li>● もっと積極的に市の研修や、情報を知り得る活動に参加する必要があると、考えています。</li> <li>● ケアマネ業務を通じて各家庭の様々な課題や問題に触れています。介護サービスの必要性、利用すれば改善、解決する事例であっても、その利用料が払えなくてはサービスにつなげられません。また、長年利用されている方が入院されその期間を求められたり、支援出来ない状況にお叱りを頂く事もありますが、専門外の内容や本来、地域連携が担うべき内容もあります。本来担うべき部門が機能していないと思います。私達も無償で対応している事も多々あります。しかし、一事業所である以上、しっかりそこへ報酬が支払われるものと思います。事業継続のためにも。</li> </ul>
連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 湖南省でも重層的支援体制整備事業があることから高齢分野障害分野でも連携の必要性を感じる。生活圈地域ケア会議に障害分野の相談支援専門員等が参加する機会を設けることで、高齢支援の場で把握された課題など障害分野と相互に共有できる場が良いと感じる。</li> <li>● いつも障がい福祉課さん、家児相さん、発達支援員さんにお世話になっております。地域のことで悩むことがあった時、助けていただき、心強く思っています。市の必要な部署と上手く、スムーズにやりとりできれば、これまで以上に地域の福祉も推進していけるような気がします。(いつもスムーズですが)</li> </ul>
地域の支え合いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ禍以降、地域と様々な関係機関とのつながりが疎遠になってしまいました。権利主張の流れもあるのか、任意団体、組織である自治会や PTA 活動から抜ける人も多くいらっしやると聞いています。高齢の先輩方が地域を支えているという状況です。湖南省ならではの障がいのある人もない人も、子どもも高齢者も、外国籍の方も、安心・安全に暮らしていける街づくりを希望します。現福祉事業従事者の責任も大きいのだと感じています。地域に対しては、これまでのように組織に縛られない、気軽に参加できる、協力できる、負担の少ない参加できるしくみの創出が必要だと感じています。具体的にはよくわかりませんが…。</li> <li>● 地域福祉を考える時、障がいのある人の存在にあまりスポットライトが当たっていないと思います。その要因の一つは、専門的なフォーマルサービスに頼るしかなく、「住民同士の互助(インフォーマルサポート)」が機能していない点にあります。地域が障がいのある人をフォーマルな支援の対象として分離し、生活上の困りごとが共有できていないことも現況だと思います。地域と障がいのある人とを意図的に結びつける(顔が見える)しかけができないでしょうか?地域住民による自然な助け合いが生まれる基盤づくりを是非実施していければと思います。</li> <li>● 今後超高齢化を迎える湖南省としては介護予防の取り組みは必要と考えます。市民活動として広がっていけるような毎日の介護予防の運動など、声をかけ合いながら、皆が取り組んでいけるとよいですね。</li> </ul>
移動支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内巡回バスが草津線と連動した時刻になっていない時間帯がある。</li> <li>● 市内巡回バスが駅への行き来だけでなく、日々の生活に即したものになってもらいたい。現状では市内のスーパーや医院に行く際、不便を感じる。</li> <li>● 地域福祉や移動支援について行政、民間、住民が一緒に考える研修会や場があるとよい。</li> <li>● 移動支援の充実をお願いしたいです。</li> </ul>